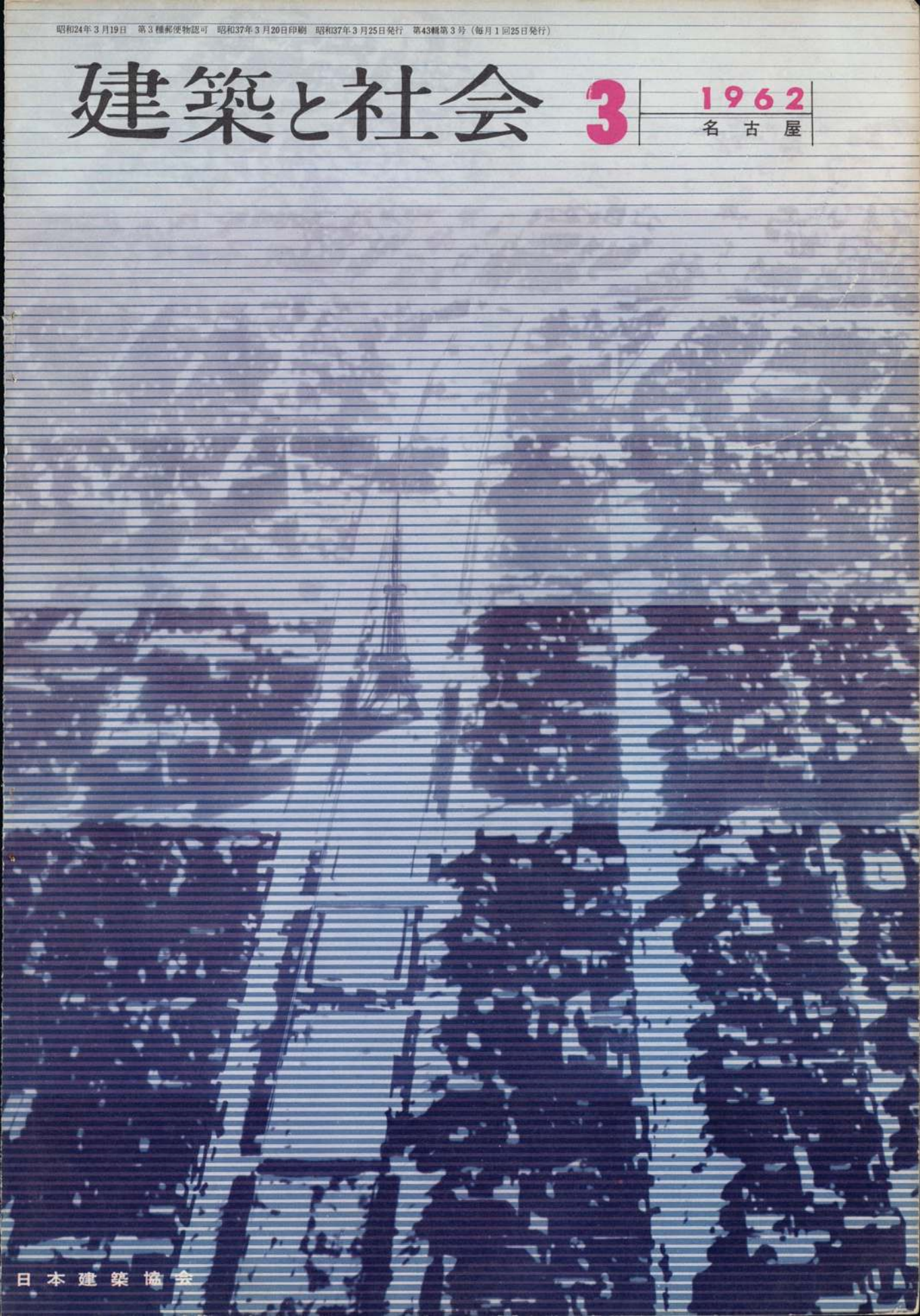
昭和24年3月19日　第3種郵便物認可　昭和37年3月20日印刷　昭和37年3月25日発行　第43輯第3号（毎月1回25日発行）

建築と社会

3

1962

名古屋



日本建築協会

明るい床材
三星プラスタイル



三星アスファルトタイル
三星Pタイル（2耗厚）
三星マチスタイル

規格寸法　304.8㎜×304.8㎜　厚サ 3.2㎜

価格　3.3平方米　2,300円 ～ 4,800円（材工共）

三星の弾性床タイルは何れも製法の専売特許品で、日本の多湿多雨の気候でも優れた性能をもつ、舶来品の追随を許さない製品です。

●屋外には使用出来ません

●各製品毎のカタログ見本
技術報告書を御請求下さい

◆特　徴

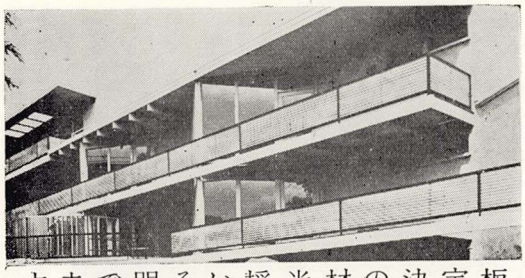
施工後故障が少い・工期が早い
価格が手ごろである・手入掃除が簡単
色彩が自由に選択出来る・永持ちする

三星ルーフイングの

田島応用化工株式会社

工場小台営業所　東京都足立区小台町633　TEL (911) 1181(代)
本社神田営業所　東京都千代田区神田岩本町13　TEL (866) 6148(代)
大阪出張所　大阪市西区京町堀上通1～14　TEL (441) 5951(代)
夜間管理人室用　TEL (441) 9910(代)

日東紡の新建材



丈夫で明るい採光材の決定板



美しく丈夫なプラスチック床材

日東紡
FILON
ファイロン ニットータイル

日東紡績株式会社

東京本社　東京都中央区八重洲6－1　電(281)0211　大阪支店　大阪市東区高麗橋5－1　電(202)1301
名古屋営業所　名古屋市中区御幸本町通り9－8　電(23)0945・4414　福岡出張所　福岡市橋口町15－1　電(74)8992

すまいをカラー設計する美しい床材

- 程よい弾力性
- 美しい色彩
- 工事が簡単
- 価格が手頃

ビニラート VINYLART タイル

各種製品　リノリユーム・リノタイル・Nタイル・スポンジシート

TOYO LINOLEUM MFG CO.LTD.

美しい床材をつくって40年

東洋リノリユーム株式会社

大　阪・大阪市南区順慶町通り4丁目（三和ビル）TEL 271－5051（代）
東　京・東京都中央区銀座4丁目（三和ビル）TEL 561－1701. 2564

防火・断熱・遮音……三拍子揃った壁、天井材！

音もさえぎる
断熱（サンドイッチ）ボード



・屋外防火一級試験に合格しました（D式 25㎜）不燃材と同じ**防火力**ですから、**簡易耐火構造**の内、外壁にも使用されます。

空気をとじ込めたカベ。——熱伝導率は、モルタルの1/3！……独特の**サンドイッチ**方式で完成した理想的な美しい壁体です。**断熱・防火**の良いことはもちろん**しゃ音**の効果が大好評です。

●軽い●強さはスレート板の3倍以上●施工が簡単●費用が安い…●**広い用途**——**内壁・外壁・天井**（**野地板兼用**）・**間仕切りなどに。**

ネオ・ユニオンボード姉妹品 アコニオン

防火・断熱に「吸音」の機能をプラスした天井野地板兼用材ができました。**とくに公会堂・体育館・ガレージなどに最適。**



法定不燃材

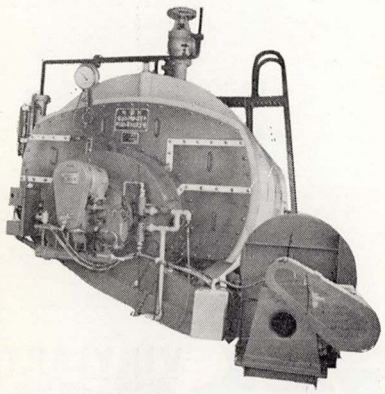
ネオユニオンボード

JIS許可工場 **旭化工板製造株式会社**

大阪営業所・大阪市北区茶屋町３８　電(371) 6555～7
東京出張所　千代田区神田須田町１の５　電(291) 6691～5
工　　場・尼　崎　・　鈴　鹿　・

（カタログ贈呈）

驚異的な蒸発量



MPボイラ
500型

重　油　焚
許可不要で
3.5屯/時

株式会社 平川鐵工所

本　社　大阪市大淀区大仁西２丁目１　電話大阪(451)1975(代)～8
東　京　東京都中央区八重洲６丁目７　電　話　東京（281）7787～8
九　州　福岡県小倉市富野５４５　電　話　小　倉　（52）４８６２

● あなたの忠実な…

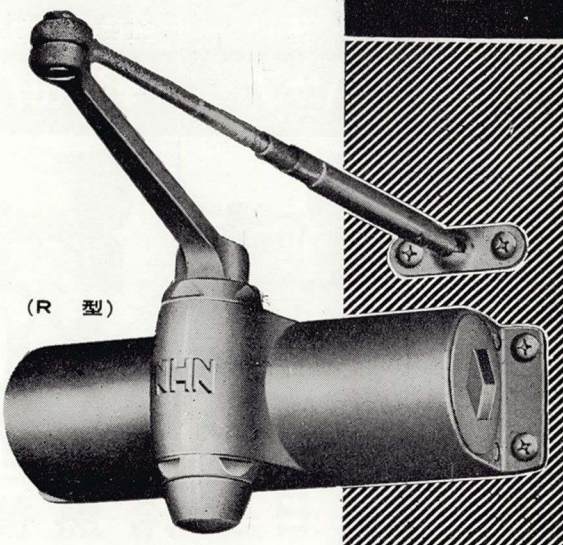
ドアーボーイ！

NHN

＊紫綬褒章に輝く＊

日・米・英・独，各国特許

ニッカナ ドアーチエック



(R 型)

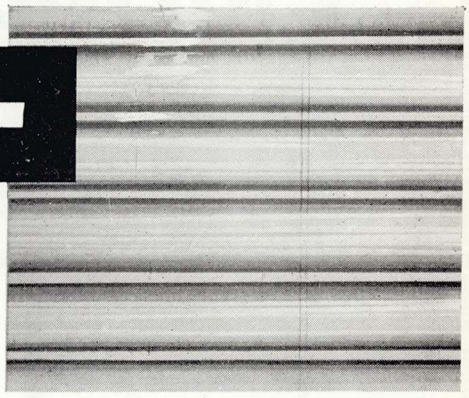
日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

型状優美
故障絶無

亜鉛鍍金の上に塗装した

東洋シヤッター



キングスプリングシヤッター

見えない所まで心をくばった……

■スプリングシヤッター ■重量スプリングシヤッター

■自動シヤッター ■手動電動スチールシヤッター

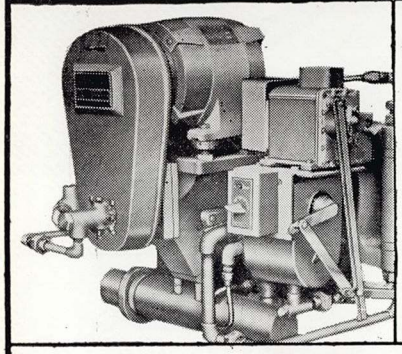
東洋シャッター株式会社

本社・工場 大阪市西淀川区佃4ノ33 TEL⑪-2812~3·3116·0414
東京支店 東京都大田区新井宿5ノ547 TEL (771)-1171
名古屋支店 名古屋市中区下日置町2丁目7番地 TEL㉜ 5954·6324
出張所 岐阜、京都、神戸、横浜、津、福岡
その他出張所特約店は全国主要都市にあり

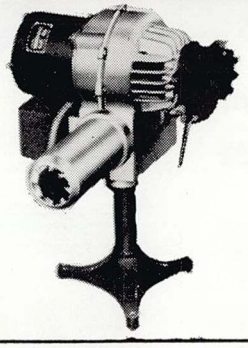
詳細カタログ呈上

最高水準を行く

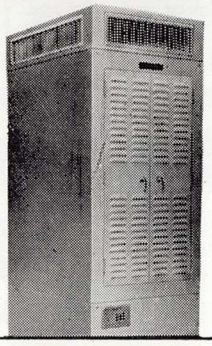
サンレー 重油は
全自動 ロータリ
重油バーナ



サンヒート 軽油は
全自動 ガンタイプ
軽油バーナ



サンヒート 暖房は
全自動 グロスチューブ
温風暖房機



日共冷熱機材株式会社

本　　社　大阪市大淀区天神橋筋六丁目五(天六阪急ビル)電話 大阪(351)代表1476(直通)7071(交換)
東京出張所　東京都千代田区神田神保町1丁目　電話 東京　(291)　2718
名古屋出張所　名古屋市東区石町1丁目28番地　電話 名古屋　(97)　6194

完全な防水に…

レオパノールBA

- 永久に老化しない
- 伸びる（伸長率 500%）
- −30°C〜+70°Cの範囲で完全に使用し得る
- 酸、アルカリに強い

ドイツと技術提携により国産化完成
製造元　タキロン化学株式会社

防水の
コンサルタント
各種防水の設計から施工まで



日本綜合防水株式会社

取締役社長　山崎慎二

本　　社　東京都千代田区神田猿楽町1の9(大平舎ビル2階)
電　話　(291)1604・4302・6922
大阪営業所　大阪市東区道修町1−4(松井ビル)
電　話　(202)6884
工事々務所　東京都板橋区板橋町6の3356　電話　(961)9089

地盤の注入に…　(薬液注入工法)

特許 **ケ・ミイ・ゼクト工法**



驚異的低価格

性能も乗心地もトップレベル
中高層建築に最も理想的な

規格型乗客用昇降機

パブリベータ

定　員	6人用・8人用
運転条件	交流可変速度45 m／min
操作方式	セレクチブ、コレクチブ （運転手なし乗合全自動式）
位置表示	フラッシュライト式
扉	乗場、カゴ共1枚片引自動扉 （セフティーエッヂ付）
乗場寸法	760㎜×2050㎜

◆クマリフトP－6の機構、制御方式等に画期的な設計を採り入れ面目一新しました。
此の機会に呼称をパブリベータと改めました。

規格化と量産
然も総てに画期的な

特許
クマリフト ジュニアー

J－30
食堂・喫茶店向
三相・単相　100V／200V与HP
積載量　25kg　毎分速度　20m
カゴ鋼製　有効500×500×600㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付
出入口　三方向自由
全機構が整付のため通路工事簡易

特許
クマリフト マスター



M－50
食堂・旅館向
三相交流　200 V与HP
積載量　50kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　有効 600×600×750㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付　出入口三方向自由

M－100
料理店・ホテル・学校給食・商店・工場向
三相交流　200V 1HP
積載量　100kg　毎分速度30m
カゴ鋼製　有効750×750×900㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付　出入口三方向自由

M－200
三相交流　200V　2HP
積載量　200kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　900×900×1050㎜
押釦式全自動運転・各階扉付

M－300
三相交流　200V　3HP
積載量　300kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　1,000×1,000×1,200㎜
押釦式全自動運転・各階扉付

クマガイ　日本エレベータ協会々員

クマガイ工業株式会社

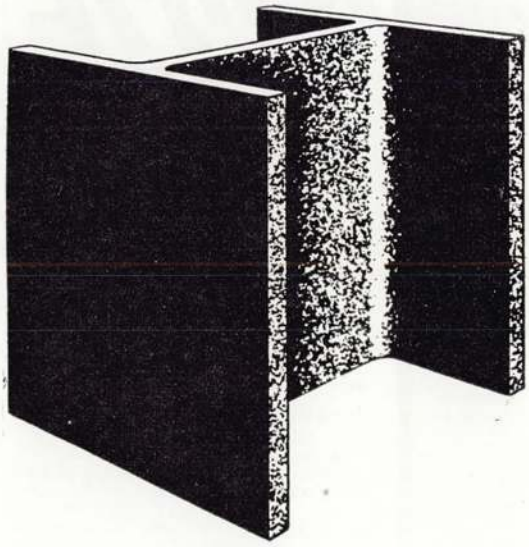
大阪市西区京町堀二丁目三十番地
電話 441－4748・0209・7788　381－0822・2686・4527

東京支店　東京都北区岸町1－9　TEL東京（911）4253・（919）3062
名古屋支店　名古屋市中区東陽町7－2　TEL　名古屋（24）0372
京都営業所　京都市中京区二条通西洞院西入　TEL　京　都（23）3560

● 明日の日本を礎く……

H形鋼

■構造用H形鋼
■基礎杭用H形鋼



用途

- 基礎杭
- 仮設
- 地下鉄
- 建築
  - ビル
  - 工場
  - 発電所
  - 学校
  - その他
- 隧道
- 橋梁
- 鉄塔、鉄柱
- 港湾
- 桟橋
- 船舶
- 機械



八幡製鐵株式會社

アスファルト防水は年限保證する
日本アスファルト防水工業会の仕様による
経験と技術の工業会員へ

日本アスファルト防水工業会員名簿　（イロハ順）

地区別	会社名	住所	電話
北海道地区	日本スレートKK	札幌市北三条東4－1	②3458・4426
東北地区	大和工業KK 仙台出張所	仙台市二日町1－2	③7790・②0335
関東地区	井上瀝青工業KK	東京都中央区銀座東2－13	(541)1974-5
	伊藤建材KK	東京都台東区浅草田島町77	(871)5311(841)5729
	北条瀝青工業KK	東京都中央区湊町3－7	(551)2676・4382
	YK金岡興業	東京都新宿区柏木5－1172	(361)5947・(371)1337
	高山工業KK	東京都千代田区神田小川町1－8	(251)0161-3・1301-2
	瀝青建材KK	東京都中央区銀座東3－11	(541)6945・7834
	桑原建材KK	東京都文京区新諏訪町6	(921)0448・0647
	大和工業KK	東京都荒川区南千住6－42	(891)1144-6・7155-7
	マサル瀝青工業KK	東京都台東区新坂本町61	(841)8501・(871)2851
	藤井工業KK	東京都文京区林町94	(941)0271・2582
	KK三柏商会	東京都千代田区神田同朋町3	(251)8867・7517
	KK金港商店	横浜市西区高島町1－1	㊹7846・8476-7
東海地区	中央建材工業KK	名古屋市中区南久屋町3－12	㉔0496・2066・8700
	日本建材興業KK	名古屋市西区南押切町5－12	㊺6860・2574・0415
近畿地区	日新工材KK	大阪市西区新町北通1－17	㊶3785-6・2721
	マルエス工業KK	大阪市福島区上福島南1－152	㊺2360・2030
	KK新光商店	大阪市南区塩町通2－13	㉖7195-7・4467
	高山工業KK 大阪営業所	大阪市北区老松町2－19	㊶5976-8
	清水興業KK	大阪市北区鶴野町34	㊼0251-3
中国地区	豊永建材KK	広島市南竹屋町103	④3567
	東中國防水工業YK	岡山市磨屋町22	③2211・6302
四国地区	大三工業KK	高松市内磨屋町7	②8697
	KK山本商会	松山市萱町2－95	②2717・8422
九州地区	日新興業KK	延岡市本小路74	4305
	大同工業KK	宮崎市橘通6－82	8155-6
	KK工材社	門司市大里東通10丁目	㊳1468-9
	安藤工事KK	福岡市大浜1丁目新町95	②6968・③5765
	KK北原建材商会	鹿児島市上之園町62	④0001-2

日本アスファルト防水工業会関西事務所

大阪市西区新町北通1-18　　日新工業KK大阪営業所　㊶ 5281-3

日本レイヨン

楽しさを敷きつめる

あらゆる繊維の中で摩擦と
屈曲に対して最も強い繊維
ニチレ・ナイロン使用です
優れた吸音性と弾力性にも
富んでいます。

ニチレ® ナイロン

プリマカーペット
総発売元 日綿実業（株）

ウイルトンカーペット
総発売元 丸紅飯田（株）

ノーブルカーペット
総発売元 伊藤萬（株）



日本レイヨン株式会社
本　　社　大阪市東区今橋３丁目５（202）2141
東京事務所　東京都中央区八重洲３丁目７（201）8811

最新の設備　優秀の製品

三和シヤッター



建設大臣登録
(ト)4082

甲種・乙種防火シヤッター
電動式・手動式・スプリング式
其他のシヤッター全般

三和シヤッター株式会社

本店	尼崎市久々知字コエ23	電	代表(401)5341
札幌支店	札幌市琴似町琴似522	電	(3)7438 (5)1519・6873
旭川営業所	旭川市常盤通三丁目	電	509 7
帯広出張所	帯広市西2条南7丁目6	電	3856・3857
東北支店	仙台市土樋112	電	(3)3296・9618
秋田営業所	秋田市長野下新町26	電	278 3
新潟営業所	新潟市春日町西2丁目	電	(3)1443
盛岡営業所	盛岡市菜園城ヶ根町1丁目14	電	(2)7407
平営業所	平市古鍛治町10の3番地	電	330 3
東京支店	東京都板橋区新河岸町38	電代表	(933)7156
新宿営業所	東京都新宿区新宿1丁目60	電	(341)2478・9678
神田営業所	東京都千代田区神田松住町12山京ビル	電	(251)6278 (291)3841～4
品川営業所	東京都品川区五反田1丁目125	電	(441)1300
横浜営業所	横浜市中区弁天通3丁目45	電	(2)7278
高崎営業所	高崎市下和田町429	電	2166
宇都宮営業所	宇都宮市旭町1丁目34,28	電	7722
甲府営業所	甲府市紅梅町21	電	2442・6292
水戸営業所	水戸市東原町4717の1	電	8635
名古屋支店	名古屋市中村区広井町2丁目46八洲ビル	電	(54)2846(55)9786
静岡営業所	静岡市安東1丁目17	電	(3)2846(2)6931
長野営業所	長野市事科町739	電	(2)5292
松本出張所	松本市袋町149	電	2497・4744
四日市出張所	四日市市四ツ谷新町2823	電	2443
大阪支店	尼崎市久々知字コエ23	電代表	(401)5341
大阪南営業所	大阪市阿倍野区三明町1丁目22ノ3	電	(771)8217
大阪北営業所	大阪市大淀区天神橋筋8丁目23	電	(351)2300
神戸営業所	神戸市葺合区生田町3丁目23	電	(22)0189
京都営業所	京都市中京区新町通御池上ル中之町42	電	(22)0900
金沢営業所	金沢市栄町65	電	(3)3130
彦根営業所	彦根市四番町88	電	2053
高松営業所	高松市塩上町809	電	(3)4290
高知営業所	高知市旭町3丁目50	電	(2)1576
徳島営業所	徳島市船場町2丁目21	電	(2)0659
広島営業所	広島市千田町3丁目856	電	(4)3756
九州支店	福岡市渡辺通5丁目92	電	(75)5181(75)6901
小倉営業所	小倉市中津口3丁目76	電	(5)3201
熊本営業所	熊本市南千反畑町1622	電	(2)0893
佐世保営業所	佐世保市汐見町37の3	電	5513
鹿児島営業所	鹿児島市平野町1119	電	(2)6762
宮崎営業所	宮崎市旭通2の7	電	2314



ミヅシマ
株式会社 水島商店

大阪・大阪市西区北堀江上通一丁目 TEL ㊿ 3514・8246
京都・京都市中京区蛸薬師烏丸西入 TEL ㉒ 5363・0214
福岡・福岡市下対島小路一二八 TEL ③ 2 7 0 6
工場・京都市右京区西院松井町八 TEL ㊽ 1 6 9 7

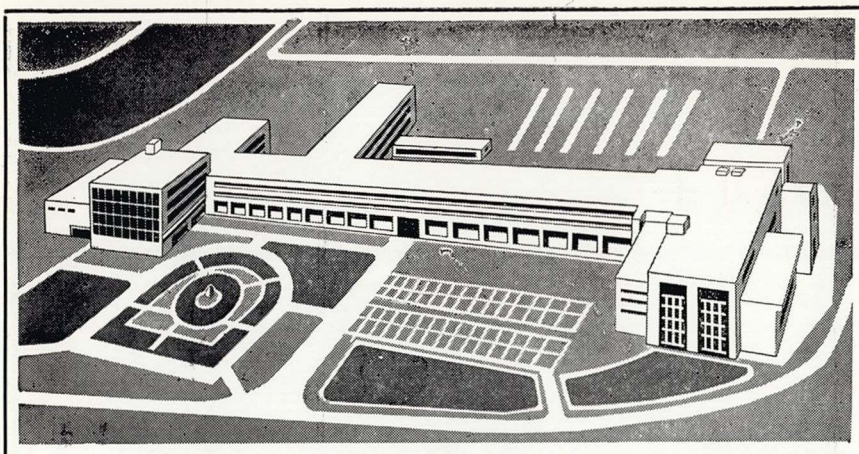
アルミパールタイル
ヤハズラス
新
木モセメント板
カラーベストス
ボード
建
スロール
ビニール加工板
メラミン加工板
材
ビニ床タイル
プリント合板

四ツ橋 カモト
生きる近代建築に
魂ある文化材

30メーカー代理店

モデルハウスと展示
すまいの用木店
西区立花通2電(531)2843

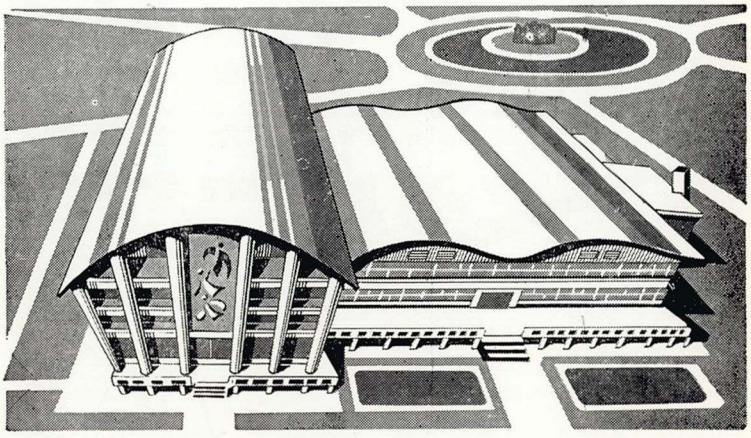
大阪・四ツ橋
株式会社 山本建材社
TFL (541) 1861～5・2131・2233・7060・7161



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーキング材　シールセメント



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL(271)7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町6—101
　　TEL (807) 代表 0161～5

大阪営業所及大阪工場
　　大阪市東淀川区堀上通り3－39
　　TEL (391) 0924～5・2045・2079

'62 新春発売
新形洗面器のトリオ



L 1305

ジュピター
タナ、ソデ付洗面器
陶器、金具セット
1級　¥ 15,400
並級　¥ 13,900



L 1223

ヴィナス
前丸洗面器
陶器、金具セット
1級　¥ 15,000
並級　¥ 13,560



L 1306

アポロ
タナ付洗面器
陶器、金具セット
1級　¥ 14,200
並級　¥ 12,700

Toyotoki
東洋陶器株式会社
本社／小倉　工場／小倉、茅ケ崎、滋賀
大阪営業所／大阪市東区高麗橋 Tel (231)4518～9
1424



床材の王座（キング）！
ロンタイルK
30 cm × 30 cm ・厚さ 2

新発売
ロンリウムK
182 cm 巾・厚さ 2 mm、3 mm・長尺

従来のロンリウム・ロンタイルの姉妹品として、川口ゴムの最新の設備で完成したビニル新床材で、色調・摩耗性・耐燃性・耐油性など格段と優秀性を有します。ロンリウムK・ロンタイルKはいずれも全層同質で耐摩耗が強化され、然もソフトな質感は公共建築・ビル・車輛の床にピッタリとし価格も一層経済的になっています。

ロンプレート
網入等各種類そろった塩ビ波板
ニューロンプレート
使いやすい、トタン小波の普及品
ロンガラス
用途の広い、透明・半透明塩ビ平板
ロンフイックス
丈夫で汚れない最新の壁・襖貼材
ロンリウム
品質随一と定評のある床張材
ロンタイル
あらゆる床にマッチする美しい床材

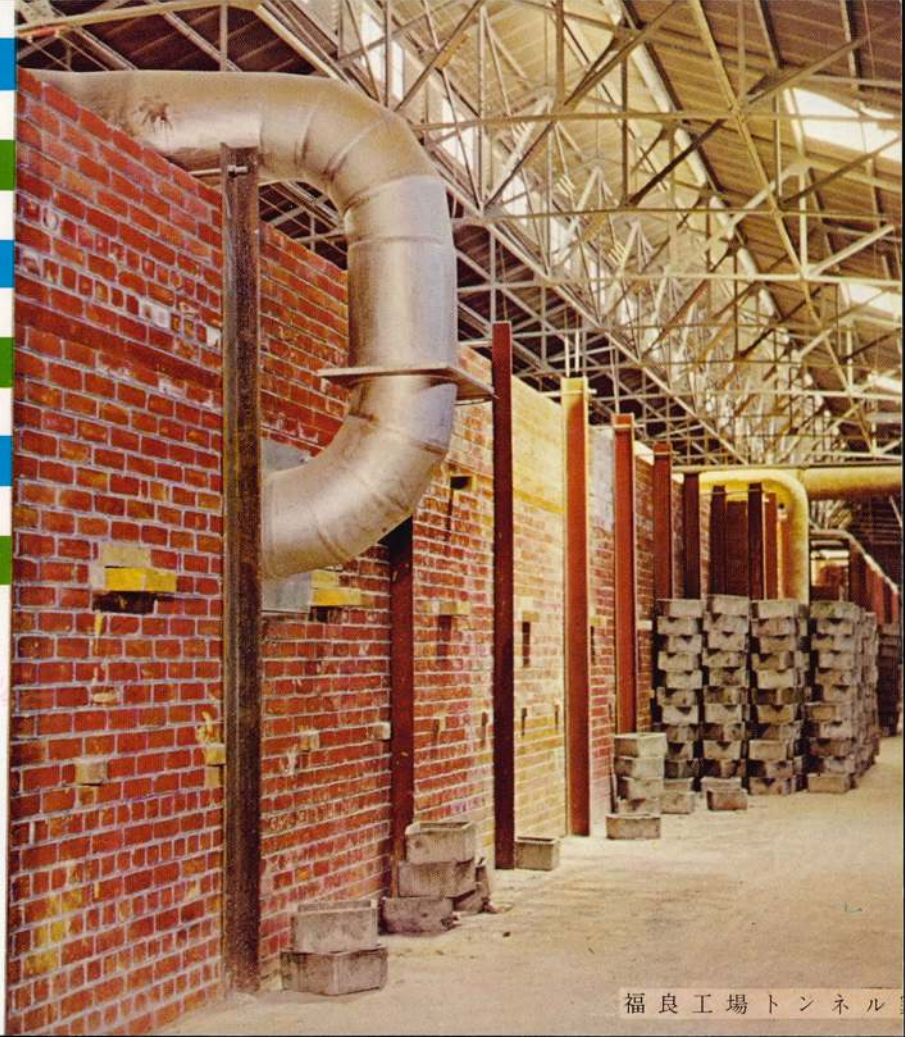
川口ゴム工業株式会社

本社・工場　東京都葛飾区本田四ツ木町54　電話　東京(697) 6141(代表)
蒲生工場　埼玉県越谷市大字蒲生2740　電話草加(0871)2033蒲生 112
外国部　東京都千代田区神田鍛冶町2－16　電話　東京(291) 3588～9
神田営業所　東京都千代田区神田鍛冶町2－16　電話　東京(291) 0003～4
大阪営業所　大阪市南区北炭屋町33　電話　大阪(271) 4358～9

最高の設備と技術が生んだ

ダントウタイル

淡陶株式会社



福良工場トンネル

ダントウ タイル

壁に張り上げて見て気持のよい色合無暗に余分の光沢を放たない表面

何時までもアキが来ないセラミックの良さを生かしたダントウタイルを

ダントウフロアタイル-P

床には新しい床材料　ダントウフロアータイルP

モダンリビングの設計に　オフイスのレイアウトに

DK

淡陶株式会社

大阪支店　大阪市西区阿波座南通1の1　電話代表(54)8523

東京支店　東京都中央区日本橋浜町3の3　電話(671)7309 (661)7297

本社及阿万工場　兵庫県三原郡南淡町伊賀野　電話阿万10・110

福良工場　兵庫県三原郡南淡町福良　電話福良19・322

伝統と技術を誇る淡陶の製品

通常払込料金加入者負担

払込通知票

口座番号	※ 大阪	十	万	千	百	十	番
			3	9	9	7	5
加入者名	※ 日本建築協会						
金額	※	億	千	百	十	万	千	百	十	円
払込人住所氏名	※									
備考										

受付局日附印

（郵政省）

文字は正確、明りように、数字はアラビヤ数字を使つてお書き下さい。

各票の※印欄は、払込人において記載して下さい。

通常払込料金加入者負担

払込票

口座番号	※ 大阪	十	万	千	百	十	番
			3	9	9	7	5
加入者名	※ 日本建築協会						
金額	※	億	千	百	十	万	千	百	十	円
払込人住所氏名	※									
料金	払込 円	特殊 円								
備考										

受付局日附印

（郵政省）

局番号 印

記載事項を訂正した場合は、その箇所に証印して下さい。

各票の記載事項に間違いのないことをお確め下さい。

この欄は、加入者あての通信にお使い下さい。

通　信　欄

¥……円也

45周年記念事業資金　　口

（1口　¥500）

昭和37年度監事
本部所属評議員当選

昭和37年度監事ならびに本部所属評議員当選通知

昭和37年2月22日開催の通常総会において下記のとおりそれぞれ当選せられましたので，ここに会告申し上げます。

記

監　事　1名

竹　内　成　夫君（竹内建築事務所長）

本部所属評議員　44名（部門別五十音順）

（技術部門）

相川　三郎 君（西野田工高教諭）
泉　資一郎 君（府住宅建設課主査）
恩田　一則 君（市消防局建築係長）
金沢　弘真 君(不動建設エコン事業部次長)
木村　秀夫 君（松村組工事課長）
鈴木　洋也 君（東畑建築事務所）
滝本　安規 君（国鉄大阪工事局天王寺工事区）
寺沢　一夫 君（大林組研究室）
楢崎　正也 君（阪大講師）
橋本　喬行 君（日建設計工務）
前田　大二 君（市建築課防災強度係長）
松尾　文吉 君（大阪郵政局施工課長）
光崎　育利 君（大阪工大講師）
武藤　藹吉 君（銭高組工事部長）
村上　秀夫 君（八幡製鉄技術サービス課）
山本　純孝 君（安井建築設計事務所）

（綜合部門）

神谷　新一 君（竹中工務店常務取締役）
喜治　繁次 君（奥村組取締役）
坂本　広吉 君（浅沼組専務取締役）
芝地　　光 君（戸田組常務取締役）
七尾　健三 君（銭高組取締役）
矢野　豊作 君（藤木工務店取締役）
吉本　一夫 君（間組大阪支店建築次長）
青柳　不折 君（岡本組副社長）
西田　太郎 君（西田工業常務取締役）
和田　真一 君（東和組社長）

（電気部門）

嘉納　伝三 君（三宝電気社長）
唐住　　侑 君（紅屋商会常務取締役）
鳴尾　源蔵 君（大阪電気暖房取締役）
松本芳太郎 君（松重電機社長）
山上　孟男 君（星屋電気社長）

（管工部門）

浅見　政一 君（昭和温調大阪支店長）
伊勢　清志 君（アイエス工業社長）
牛田　正郎 君（日本熱学工業社長）
平川　久一 君（平川鉄工所社長）
藤井　徳義 君（新晃工業社長）

（建材部門）

赤堀　富吉 君（日本金具大阪出張所長）
大内　力夫 君（ABC 商会大阪出張所長）
小林　広仲 君（小林武雄商店社長）
立野　一郎 君（ユニオン社長）
西村　忠義 君（新光クロス社長）
春田　政三 君（中外商工社長）
山崎　達夫 君（マルエス工業社長）
横田　辰三 君（満点製作所社長）

創立45年記念事業資金のお払込みについてお願い

本会の創立45年記念日が近づき，式典ならびに各事業，行事の実施が漸次迫ってまいりました。これが事業資金については大方のご賛同を得て団体会員各位よりは逐次お払い込みをいただいておりますが，個人会員各位よりのお申込みはまだ十分でございません。時節柄ご迷惑と存じますが何卒全会員の力を結集する意味において是非ご応募下さいますよう重ねてお願い申し上げます。

追てお申し込みは1口¥500。数口を希望致します。挟み込みの振替用紙をご利用下さい。

創立45年記念事業資金受領報告（1）

（1月号に報告分再録）

創立45年記念事業資金下記のとおり受領致しました。厚くお礼申し上げます。

記

¥ 3,000　新井組殿
¥ 1,000　飯田賢次殿
¥ 500　市山悦也殿
¥ 2,000,000　五日会殿
浅沼組殿
新工務所殿
安藤建設KK支店殿
大林組殿
奥村組殿
鹿島建設KK支店殿
勝呂組支店殿
神崎組支店殿
熊谷組支店殿
鴻池組殿
佐藤工業KK支店殿
島藤建設工業KK出張所殿
清水建設KK支店殿
銭高組殿
大成建設KK支店殿
大鉄工業KK殿
大日本土木KK支店殿
竹中工務店殿
鉄道建設工業KK支店殿
戸田組支店殿
飛島土木KK支店殿
中島組殿
西松建設KK支店殿
日産建設KK支店殿
間組支店殿
藤木工務店殿
藤田組支店殿
別子建設KK支店殿
前田建設工業KK支店殿
真柄組支店殿
松村組殿
三井建設KK支店殿
村上建設KK支店殿
森本組殿
¥ 500　大村重吉殿
¥ 1,000　大屋寿一殿
¥ 100,000　大阪建築事務所殿
¥ 80,000　大阪電気商会大阪暖房商会殿
¥ 10,000　奥村重兵衛商店殿
¥ 2,500　加藤太郎殿
¥ 500　河井千浩殿
¥ 1,000　川瀬渉殿
¥ 500　木田実殿
¥ 500　木原繁実殿
¥ 100,000　近畿電気工事KK殿
¥ 10,000　同　神戸支店殿
¥ 5,000　同　広島支社殿
¥ 500　国広勲殿
¥ 500　桑野英殿
¥ 500　佐伯一夫殿
¥ 1,000　財田文夫殿
¥ 5,000　三機工業KK広島支店殿
¥ 500　三協建設工業KK殿
¥ 10,000　三宝電機KK殿
¥ 1,000　曽我貫一殿
¥ 30,000　第一工業KK大阪支店殿
¥ 5,000　大成建設KK広島支店殿
¥ 500　大領一男殿
¥ 500　宅間和三郎殿
¥ 1,000　武田彦蔵殿
¥ 1,000　谷弘之助殿
¥ 100,000　十日会殿
¥ 70,000　東洋リノリウムKK殿
¥ 5,000　中国新聞社殿
¥ 15,000　中国支部役員一同殿
¥ 5,000　朝陽電気KK殿
¥ 5,000　東畑謙三殿
¥ 100,000　東畑建築事務所殿
¥ 500　名田辰雄殿
¥ 200,000　日建設計工務KK殿
¥ 1,000　西側甚右衛門殿
¥ 10,000　日本管工業KK大阪営業所殿
¥ 20,000　日本電設工業KK大阪支店殿
¥ 50,000　日本熱学工業KK殿
¥ 2,000　伴野貞三殿
¥ 5,000　日立工事KK大阪営業所殿
¥ 500　藤田達男殿
¥ 1,000　藤田令二殿
¥ 500　藤村稔殿
¥ 5,000　富士電業KK殿
¥ 5,000　富士輸送機工業KK殿
¥ 500　槙武殿
¥ 500　町口太喜男殿
¥ 500　森浩殿
¥ 5,000　森井電業KK大阪支店殿
¥ 500　八尾良蔵殿
¥ 100,000　安井建築設計事務所殿
¥ 2,000　山内嘉兵衛殿
¥ 10,000　山田工務店殿
¥ 1,000　山本久男殿
¥ 5,000　大和栄衛殿
¥ 1,000　吉川秀夫殿

合　計　¥ 3,099,500

会と催

創立45年記念式典ならびに行事挙行

来る3月30日の創立45年記念日当日およびこれに引き続き，つぎのとおり記念式典ならびに諸行事を執り行ないます。会員諸氏多数のご出席参加を期待申し上げます。

記

1. 記念式典
   3月30日（金）午後2時　於太閤園
1. 表彰式
   3月30日（金）　式典に引き続き　於太閤園
1. 記念祝賀会
   3月30日（金）3時——4時半　於太閤園
   一般出席者会費　¥500　25日までに電話で申込みのこと。
1. 特別見学会
   3月31日（土）
   （イ）大阪の新建築巡り　（別掲参照）
   （ロ）京都の名園巡り　（別掲参照）
1. 会員余技作品展　（別掲参照）
   3月29日（木）——4月3日（火）　於阪神百貨店8階画廊
1. 懇親ゴルフ大会　（別掲参照）
   3月29日（木）　於宝塚ゴルフクラブ

追て，組立住宅に関するシンポジウム，講演会，慰霊祭，記念出版（日本民家集）*，運動会，宿泊を伴なう特別見学会* などについても逐次発表致します。*予告参照（別掲）

特別見学会

特別見学会「大阪の新建築巡り」要領

日　時　3月31日（土）午前9時大阪駅西口出発
人　員　50名
大阪駅西口バス駐車場出発（京阪観光バスで9時）

①	大阪市体育館	（9.20→9.50）
②	四天王寺・五重塔・金堂・講堂	（10.00→11.00）
③	東本願寺難波別院・御堂会館	（11.20→12.00）
④	日本板硝子本社	（12.10→13.30）
⑤	日本興業銀行大阪支店	（13.30→14.00）
⑥	関西電力本社	（14.10→15.00）
⑦	新阪急ビル	（15.20→16.00）
⑧	会員余技作品展観覧	（16.10→17.00）

（阪神百貨店8階会議室・解散　17.30）注：（ ）は見学時間
25日までに電話でお申込みのこと。

特別見学会

特別見学会「京都の名園巡り」要領

日　時　3月31日（土）　京都駅東口バス駐車場，京阪観光バスで10時出発。
人　員　50名
会　費　500円（精進料理，抹茶，拝観料）
申　込　25日までに電話でお申込みのこと。会費は当日持参のこと
行　程　京都駅出発10.00→西芳寺（10.30—11.50）→天竜寺（精進料理の昼食）（12.00—13.00）→竜安寺（13.30—14.30）→妙心寺・退蔵院（14.40—15.40・抹茶接待）→南禅寺・金地院（16.00—17.00）→京都駅前17.30解散
解説者　庭園　中根　金作氏（京都府文化財保護課）
　　建築　川上　貢氏（京大助教授・工博）

*会員余技作品展

45年記念行事
会員余技作品展

会員の余技作品「絵画・書・彫刻・版画・模型・拓本・いけ花・その他」約70余点を展示公開いたします。
3月29日（木）～4月3日（火）午前10時～午後6時
於阪神百貨店8階画廊（大阪・梅田）
会員はもとより多数お誘いの上ご観覧下さい。

*懇親ゴルフ大会

懇親ゴルフ大会

日本建築協会ゴルフ同好会会員以外の本会会員の参加を歓迎いたします。なおオフシャルハンディの無い方はハンディ30としてご出場願います。
3月29日（木）　スタート午前9時
於宝塚ゴルフクラブ　27ホールメダルプレー
会費　6.000円（プレー諸費と懇親会費・賞品）
賞　　優勝者に日本建築協会長賞を贈呈　他賞品多数あります。
お申込み　往復ハガキに氏名・年令・職場名・所属クラブ名・ハンデキャップを記載「懇親ゴルフ大会」宛で15日までに到着するように願います。

記念行事予告

—45年記念行事予告—

「倉敷と鞆のタイ網を見る会」（詳細：4月号発表）

日　時　5月19日（土）・20日（日）
人　員　約30名（本会会員）
行　程　5月19日（土）　大阪駅発8.15（急行・ぶんご）→倉敷駅着11.24—（貸切バス）→旅館くらしき（昼食）→民芸館→陶器館→大原美術館・同分館→倉敷市庁舎—（貸切バス）→（仙酔島宿泊）5月20日（日）　旅館 9.00→タイ網→（貸切バス）→福山駅発（急行・さつま）→大阪駅着17.58（解散）

—見学会予告—

「黒部峡谷と発電所を見る会」（詳細：5月号発表）

日　時　7月21日（土），22日（日），23日（月）
人　員　約30名（本会会員）
行　程　7月21日（土）名古屋駅11.00発（準急木曽）→葛温泉宿泊
7月22日（日）黒部川第4発電所その他見学→宇奈月温泉宿泊
7月23日（月）大阪駅夜帰着予定

*記念出版予告

「ふるさとのすまい」—日本民家集—
6月発行で編集を進めております。
B6判（四六版）・グラビア印刷美麗仕上げ，予価500円。全国民家約250点集録。研究の手引き思い出：執筆者：今和次郎，竹内芳太郎，蔵田周忠，石原憲治外。

懇親ソフトボール大会

本会の役員，評議員，委員の中より選抜して「官公庁公社，連合」「建築事務所連合」「建設業連合」「学校，会社営繕，設備建材連合」の4チーム10人制で，トーナメントにより優勝チームを決定する。
5月2日（水）午後1時—5時
於大阪郵政局グランド（大阪市北区道本町）
観覧および応援に多数ご参加下さい。

「鉄骨鉄筋コンクリート
構造設計　実例集」
好評発刊中
会員特価2,900円は3月31日が期限です。期間中に1月号挟み込みの「会員購読券」をご利用下さい。

ダイハツ池田第二工場見学会

・工場見学会・

ダイハツ工業株式会社池田第二工場見学会

（大阪府建築士会と共催）

建築概要

建築位置　大阪府池田市神田町1番地
工　期　自昭和35年8月1日
　　至昭和36年11月17日
設計施工　株式会社　大　林　組
構造規模　工場……S 造，平家1部2階建
　　事務所，食堂その他… RC造，平家2，3階建
敷地面積　153,319m²（46,530坪）
建築面積　62,063m²（18,775坪）

1．日　　時　3月19日（月）午後1時（出発）―5時半（帰着）解散
1．集 合 所　大阪駅西口バス駐車場（関西観光バス使用～大林組ご提供）
1．申　　込　電話で17日（土）までにお申込み下さい。
　　ただし定員50名に達したときは期日前でも締切ります
1　備　　考
　当工場は現在全面操業中でありますので，建物の見学はもとより，軽4輪車および小型4輪車の製造状況を工場係員の御案内によつて，併せ見学させていただくことになつております。

桂離宮と修学院離宮見学会

桂離宮と修学院離宮見学会

本会恒例の標記離宮見学会を下記要項により催しますから，折返し往復ハガキでお申込み下さい。なお見学時間は宮内庁京都事務所の許可次第参加者にお知らせします。

記

（1）申込方法　申込は往復ハガキに限る。＜往信用＞に（1）希望離宮名（1ヵ所に限る），（2）氏名，（3）年令，（4）勤務先及び職名，（5）現住所　＜返信用＞に差出人住所氏名を明記のこと。

（2）参加者の決定　3月30日までに到着のハガキにより抽せんを行ない決定し，参加者に通知いたします。

（3）見学予定日及び定員

・修学院離宮　5月28日（月）29日（火）30日（水）
　定員　30名（3班に分れます）
・桂　離　宮　5月26日（土），5月28日（月）～31日（木）
　定員　30名（5班に分れます）

（4）見学時間は未定　大体午後の予定

（注）桂離宮見学は1級建築士の資格をもつ者に限ります。

建築カラースライド予約頒布

日本建築学会製作：建築カラースライド予約頒布

頒布方法

・申込締切　3月20日
・支　　払　申込と同時払込み
・申込場所　日本建築学会近畿支部（本会内）
・頒布予定　4月下旬

○日本建築史（1組200枚，頒価6,000円，〒を含む）
　日本建築の上古より徳川末期までの代表的現存建物を選びその全景，内部，細部などを200枚に集約す。

○軽量コンクリートの工法（1組90枚，頒価2,700円，〒を含む）
　本会建築工事標準仕様（JASS）により懇切に軽量コンクリートの工法を順を追つて示す。

○コンクリートブロック造の工法（1組100枚，頒価3,000円〒を含む）
　ブロック造建物の基礎より仕上りまでの設計施工過程を現場撮影し目で見る指導書。



特　徴

1. 取扱いが簡単……取付金具とセットになっています。
2. 価格が安い……規格品のため，従来の半分の予算で充分です。
3. 種類が豊富……用途に応じたデザインを自由に撰択出来ます。

カタログ差し上げます。

三菱レイヨン株式会社

東　京　東京都中央区京橋（新光ビル）　電話　281—5551
大　阪　大阪市北区中之島（新朝日ビル）　電話　202—2241
名古屋　名古屋市中村区堀内町（毎日会館）　電話　55—7131

鉄筋中層アパートなどの

ガス風呂基準設計を募集！



最近、ガス風呂の普及率は、めざましい上昇を示しております。これはガス風呂の高い熱効率をはじめ、入浴中に自由に湯かげんができる便利さ、燃料のストックがいらないこと、ススや煙で汚れることもない清潔さといったすぐれた特長が、広く浸透した結果だといえます。
大阪ガスでは、昨年５月に組立式ガス風呂ハウスをデビューさせるなど、つねに需用家の便宣をはかるとともに、よりいっそう使いやすいようにと努めてきました。
そこで今回、鉄筋中層アパートを主としたガス風呂についての基準設計に関する漸新なアイデアを、みなさまから下記のとおり募集いたし、より完全なものを決定したく考えております。ふるってご応募ください。

応募要項

●応募に必要な図面および書類

(1)鉄筋中層建物(アパートなど)で、10坪から20坪程度の住宅を前提とする。

(2)住宅平面図　1/50

(3)浴室廻り平面図および断面図　1/20

(4)設計意図（着想・考え方）を簡潔に記した書類

●応募者の資格

個人に限る

●応募件数

制限なし

●応募用紙

特に制限なし

●応募者名の記入

住所、氏名、年令を記入のこと

●作品の送り先

大阪市東区平野町〈東局〉
大阪瓦斯株式会社　営業部営業課

●応募締切 昭和37年４月30日

郵送に限る
当日の消印あるものは有効

●審査

日本建築協会副会長　東畑謙三
京都大学名誉教授　森田慶一
大阪瓦斯株式会社
応募作品は返却しない
入選作品の版権は独占しない

●審査の発表

日本建築協会発行の
「建築と社会」７月号誌上

●賞金

特賞　50,000円　１名
入選　30,000円　２名
佳作　10,000円　若干

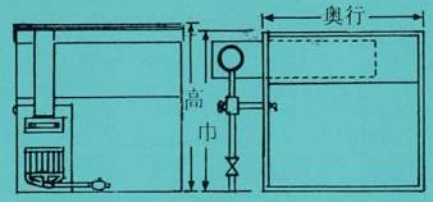
設計上の注意事項

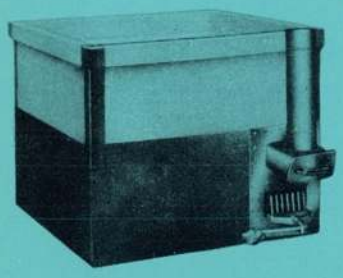
(1)浴槽、釜、バーナー、配管材料などは、大阪ガスの規格品を採用すること
(2)燃焼用空気は浴室外からとり、浴室内空気としゃ断されていること
(3)排気は屋外に出し、煙道取り付けの場合は室内にバフラーを必ず取り付けること
(4)パイロットは浴室外より点火が好ましい
(5)浴室の排水方法を考慮すること

▶ガス風呂規格品◀

＊詳細につきましては、大阪ガス営業部営業課まで
お問い合わせください。ＴＥＬ大阪（202）2221

浴　槽



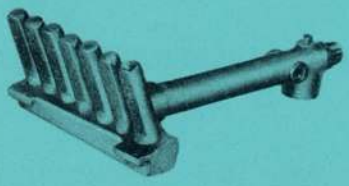


●釜の取り付けは左右いずれも可

30—100型　さわら製浴槽（１人用）
高約670㎜　幅約760㎜　奥行約700㎜　約140ℓ入

30—120型　さわら製浴槽（１人用）
高約670㎜　幅約790㎜　奥行約760㎜　約180ℓ入

バーナー



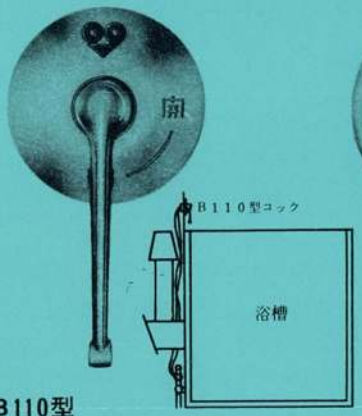
32—105型　箱風呂バーナー



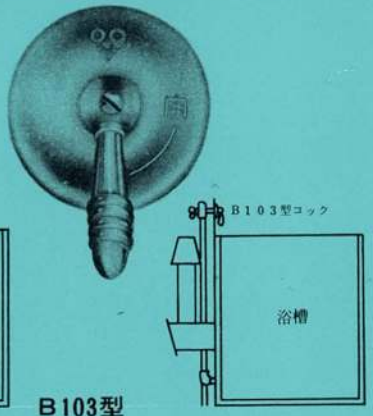
32—106型　箱風呂バーナー
（左側通路）

湯加減コック

湯加減コックは、浴室からバーナーの点滅を行なうのに用いるコックで、ガス連絡管をバーナーに至る途中で浴室外の釜焚口上部壁まで引き上げ、浴室内に取り付けたハンドルで室外のコックを動かすもの（Ｂ103型）と、浴室内に取り付けたハンドルで焚き口側のコックを操作する型式（Ｂ110型ワイヤー式）のものとがあります。

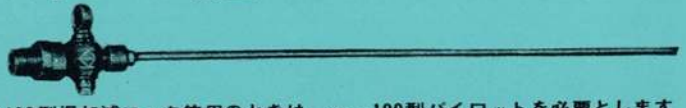


Ｂ110型



Ｂ103型

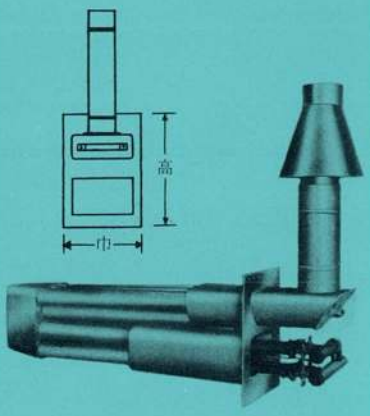
パイロット　35—100型



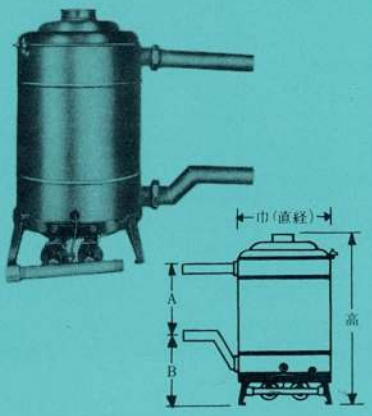
Ｂ103型湯加減コック使用のときは、35—100型パイロットを必要とします

箱風呂釜　31—123型

前板寸法　高 365㎜　幅 260㎜
奥行 640㎜　銅製　ろう付け



31—301型　外焚釜
寸法　高 549㎜　直径 302㎜



バフラー

バフラーは、図のように逆風でガスの火が消えるのを防止する役目をします
屋内に焚き口がある場合は、差込煙突の上にバフラーを取り付け、その上に煙道を取り付けるようにします。

35—200型







美しい床……

しかも永い間耐える事が特長です。優れた製品として皆様に御満足願える様、最高の施工技術を持って弊社で責任施工を致しております。

桂のビニールタイル

床材料の販売・工事（責任施工）

（カタログ呈上）

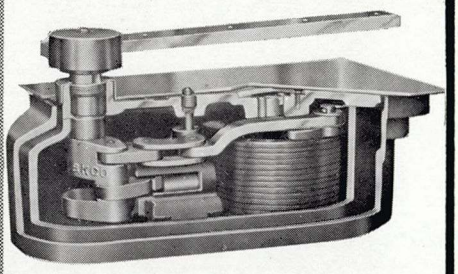
株式会社 **桂 商会**

営業部 大阪市天王寺区上本町三丁目23電話（761）0695番
本 社 大阪市大淀区天満橋筋六丁目12電話（351）6625番

S.K

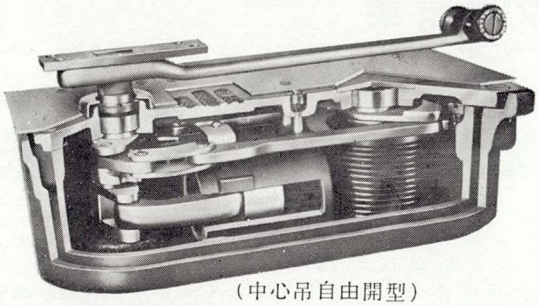
近代人の感覚にマッチする

ユートピア印



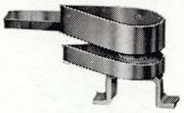
（片開持出吊り型）

フロアーヒンヂ　ピポットヒンヂ



（中心吊自由開型）





上枠・上扉　　下枠・下扉
（ピポット・ヒンヂ持出し吊り型）
（カタログ御入用の節は御申込下さい）

製造元

敷島金物株式会社

大阪府布施市横沼町1の46　電話布施（721）7-7-13～4
東京都千代田区神田三崎町2の26　電話東京（332）5310・（301）0403

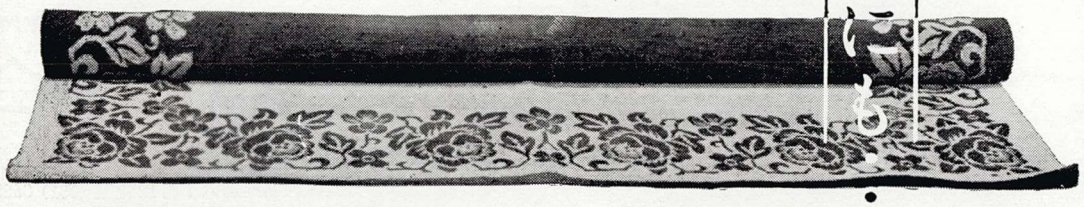
Toray
Reg. Trade Mark
東洋レーヨン株式会社

美しい
花園をお部屋に…

丈夫で弾力性に富み、ホコリがたたないので大へん衛生的です。お部屋の雰囲気にマッチしたカーペットをお選びいただくため、あらゆる色柄を豊富に準備いたしております。室内に豪華な感覚と新鮮で楽しい雰囲気を漂わす東レ・カーペットをぜひお試し下さい

東レ カーペット

二重織・銀鈴織・富士織・三重織・装美織・額縁三重織・三美織などがございます
東レ・カーペットのほか、東レ・フラットーヨー使用ファンシーラッグ(夏の敷物)も好評を頂いております



東レカーペット発売元—(株)辻田文平商店(大阪市住吉区南住吉町4の59)　ファンシーラッグ発売元—丸紅飯田(株)

広瀬式組立建築
インスタントハウス　から本建築まで!!

最新の設備と
優秀な技術を誇る

鋼管構造建築
重量型鋼建築
軽量型鋼建築

工場
倉庫
ガレージ
事務所
労務宿舎
体育館
移動教室
その他

綜合建設業
建設大臣登録　(ト)第4133号
設計・製作・施工・販売

広瀬ハウス工業株式會社

本　社　大阪市西区西長堀北通3丁目2の3　TEL (531) 9351代表 (541) 7721代表
東京支店　東京都中央区日本橋小舟町2の7(小舟ビル)　TEL (661) 4974. 4844
大阪工場　大阪市港区北福崎西之町8　TEL (571) 5137
玉船工場　大阪市西区九条中通4丁目400　TEL (541) 3041代表
東京工場　東京都江東区北砂町6丁目148の2　TEL (644) 7854

建築と社会

3

名古屋特集

1962年・第43集・3月号・目次

作品作風

東海銀行本店……設計監理 日建設計工務株式会社…1
施工 株式会社竹中工務店

トヨタ自動車工業KK本館……工事監理 トヨタ自動車工業建築土事務所…6
設計施工 株式会社竹中工務店

名古屋工業大学講堂……設計監理 中建築設計事務所…11
施工 株式会社間組

新阪急ビルディング……工事監理 阪急不動産株式会社…14
設計施工 株式会社竹中工務店

建築の眼……22
担当50音順：赤崎尚信・南一美・宮川吉夫・山中孔

本文

とら群像……森川音三郎…23

伊勢湾台風と建築のその後……原清…24

特集・名古屋リポート——計画者の視角から……33

1. 都市計画への註文がき
とくに名古屋の現在と将来のために……はっとりちゆき…34
2. 名古屋の土地利用計画……奥田千蔵…38
3. 名古屋の公共施設——水道事業……松尾博雄…43
4. 地域計画と工場誘致……御舩哲…47
5. ニュータウン開発をめぐって……若林時郎…51
6. 新しい計画の方法論を模索する……長峯晴夫…56

トピックス

1. 名古屋の駐車場……水野誠…58
2. ACR & JAM……広瀬一良…58

名古屋 座談会：街造りの現状と将来……59
——地下街・駅西・バスターミナル——
出席者 一円俊郎・水野金市・城戸久・谷重幸・
宮本良三・溝口聞・三輪恒・石原巌・
山根正次郎・片山節義・川口喜代枝・浜田瑞穂・
宮地二郎・相徳定幸

近代建築調査委員会報告 27

神戸地方裁判所……坂本勝比呂…77

会報（1月分）……81

建物クリーニングの店

住宅美素工事の創始者

ビルディングの洗浄工事

木造建築洗浄美素仕上工事

株式会社 **美素工業所**

（登録商標）

大阪市東区瓦町二丁目（三和ビル）

電話（231）4938・5888・（771）8050

3

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会
SMデザイングループ

© 建築と社会

第43集

1962

売価 1部 150円・送料共

昭和37年3月20日印刷

昭和37年3月25日発行

編集人 松井昭光

発行所 社団法人 日本建築協会

大阪市東区北浜3丁目37

電話 大阪㊿ 9648・9649・9940番

振替口座大阪 39975番

発行人 沖田誠一

印刷所 株式会社研文社

大阪市北区堂山町66

電話㊿ 2091～3番

印刷者 綱野栄



設計監理	日建設計工務株式会社
建築工事	株式会社 大林組
空気調和設備工事	三機工業株式会社
電気設備工事	東海電気工事株式会社
受変電発電設備工事	株式会社 日立製作所
電話交換機設備工事	株式会社 日立製作所
衛生設備工事	須賀工業株式会社
昇降機設備工事	東洋オーチスエレベータ株式会社
	三菱電機株式会社

東海銀行本店



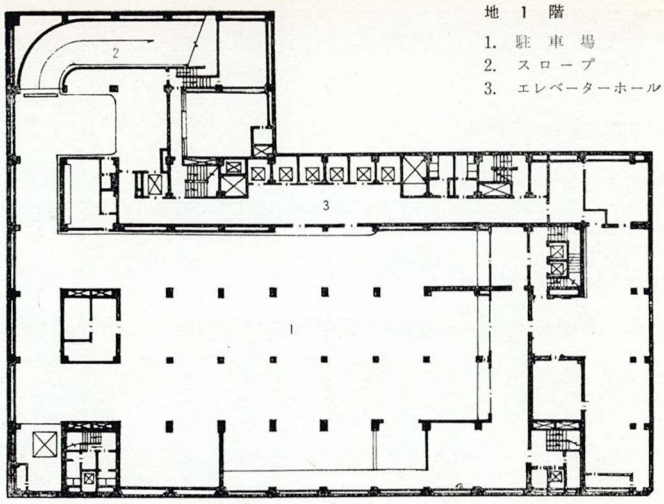
上　1階営業室　壁：練板　　カウンター：大理石貼　　床：ゴムタイル
下　2階営業室　光り天井枠ステンレス　柱：大理石貼　床：ゴムタイル



東海銀行本店

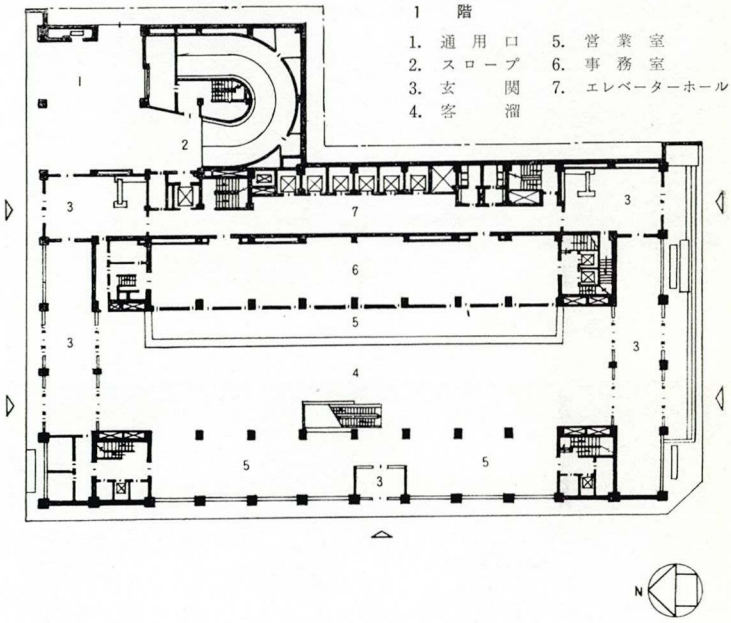
地　1　階

1. 駐　車　場
2. ス　ロ　ー　プ
3. エレベーターホール



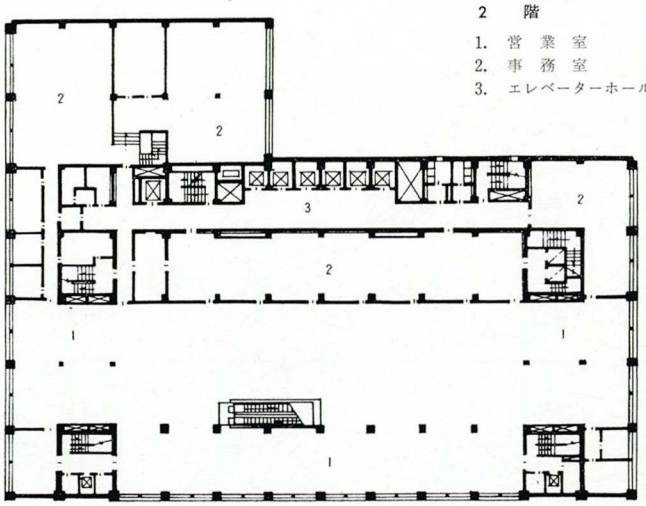
1　階

1. 通　用　口
2. ス　ロ　ー　プ
3. 玄　　関
4. 客　　溜
5. 営　業　室
6. 事　務　室
7. エレベーターホール



2　階

1. 営　業　室
2. 事　務　室
3. エレベーターホール



設計者のことば　　山根　正次郎

この建物の特徴としては，銀行建築の生命ともいうべき営業室の合理的な解決をあげることができよう。今までいくつかの銀行を設計してきたが，従来の営業室の形というものは銀行業務に素人である私にとっても，なにかひっかかるものがあった。それは営業室のもつ「接客部門」と「営業事務部門」という相異った機能をもつ二つの部門が，一つの空間に収められているために起る矛盾，（すなわち一つは短時間来行する客のため快適さ，華やかさを要求されると同時に外部から入り易い表現を持つべきであり，他はひたすらに能率よく働ける室内環境を求めるという相反する二つの機能から生ずる）に対する建築的処理の曖昧さからくるものであり，加うるに使用上からとかく客溜めが外光線の明るい部分を占めるという止むをえない平面の形が，さらにこの両者を同一空間に併置するという無理を強めているともいえる。

東海銀行本店の営業室には客溜りとカウンターと接客するテーラーの列，それから客のための相談の場があり，「営業事務室」はまったく別に切りはなされていて客の視野にはいらず，それぞれがそれぞれの要求する機能を満すのに最も適した空間をもっている。

この構想への銀行側の立脚点は多少ちがうかも知れないが，結果として，私の今までの気持のひっかかりをきれいになくしてくれたものであった。

日本の銀行建築としては，いささか新機軸といっていいと思う。



上　**7階談話室**　壁：練板　天井：葛布貼り
下　**7階大集会室**　壁：天井反射板練板　天井：葛布貼り



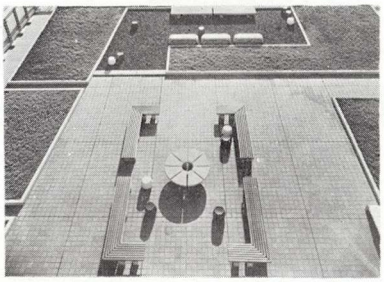
東海銀行本店

建築位置	名古屋市中区栄町２丁目１番地
敷地面積	4,185.010m² （1,265.96坪）
建築面積	3,751.441m² （1,134.81坪）
延面積	36,957.257m² （11,179.52坪）
工期	昭和34年４月 ～ 昭和36年３月

建築規模

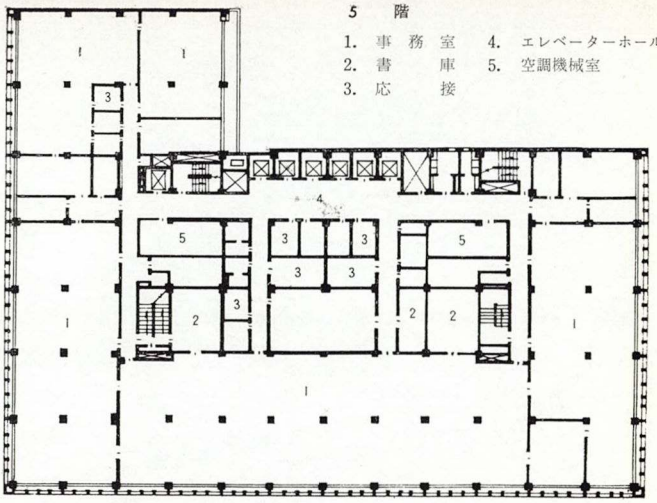
構造	鉄骨銀筋コンクリート造
階数	地下２階（地下中２階付）地上８階 塔屋３階
高さ	軒高 31.00m 塔屋高 43.00m
基礎	木田式深礎地業，一部鋼管杭打
外装	１階及び２階 本磨仕上花崗石貼 窓ステンレスシャッター付 ３階以上 小叩き仕上擬石ブロック貼 窓スティールサッシュ二重

屋上庭園



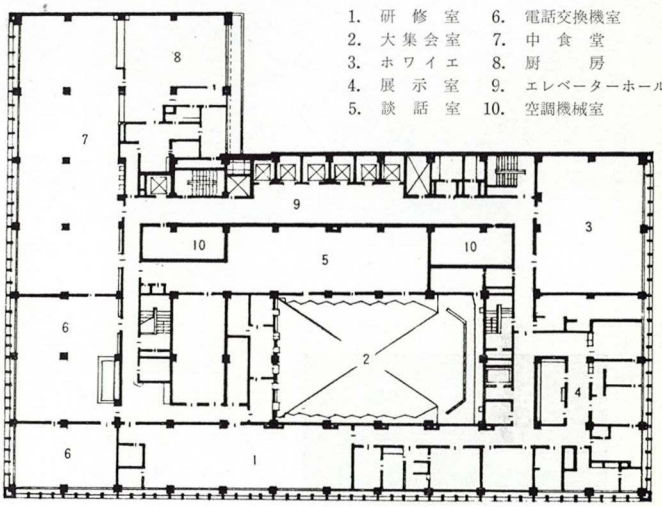
5 階

1. 事務室
2. 書庫
3. 応接
4. エレベーターホール
5. 空調機械室



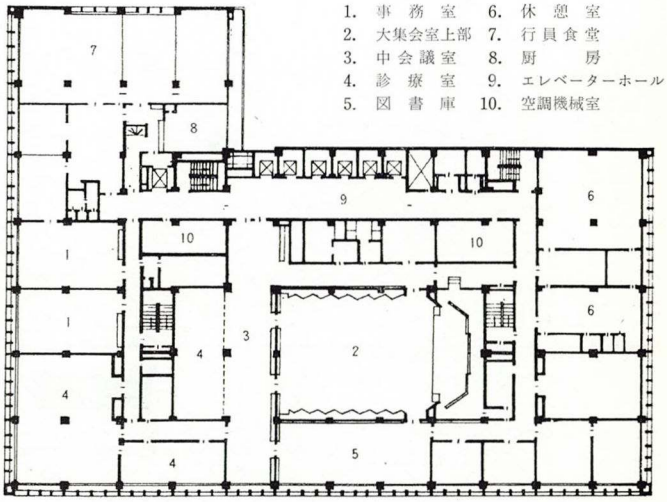
7 階

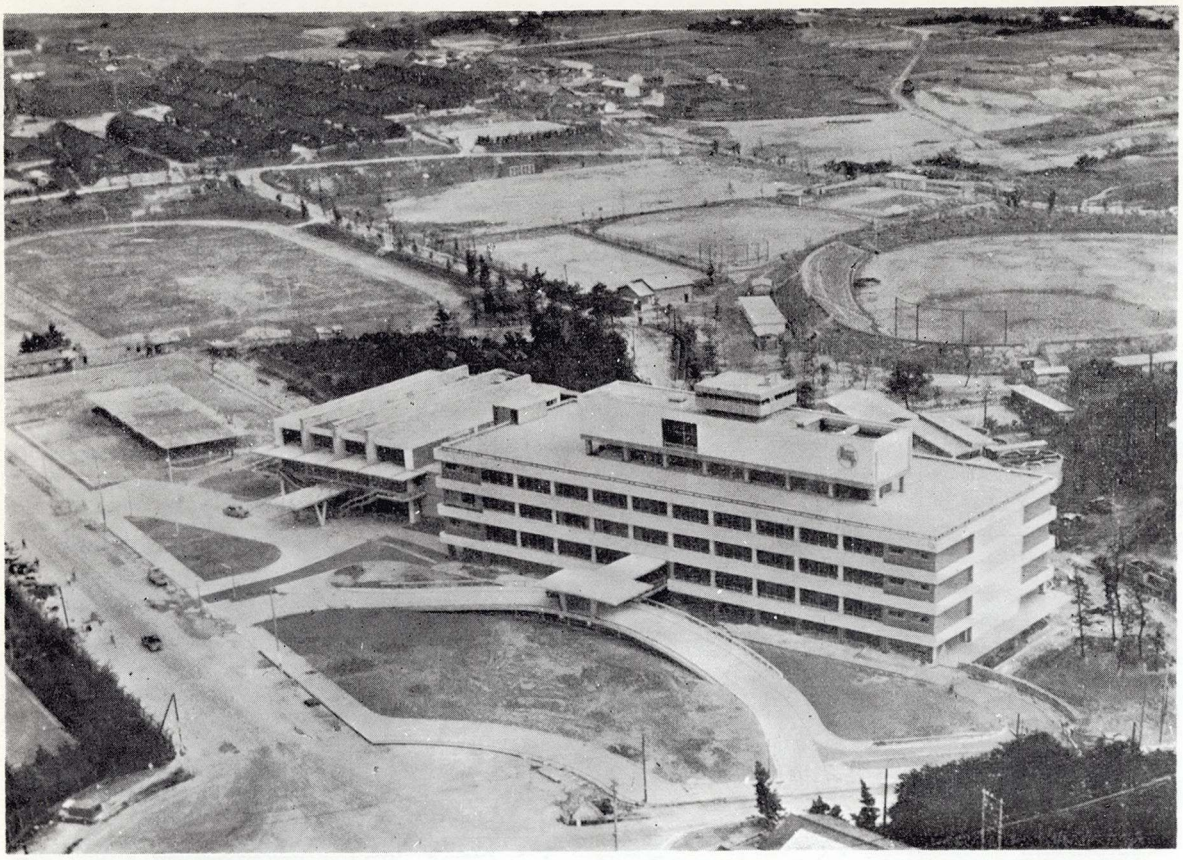
1. 研修室
2. 大集会室
3. ホワイエ
4. 展示室
5. 談話室
6. 電話交換機室
7. 中食堂
8. 厨房
9. エレベーターホール
10. 空調機械室



8 階

1. 事務室
2. 大集会室上部
3. 中会議室
4. 診療室
5. 図書庫
6. 休憩室
7. 行員食堂
8. 厨房
9. エレベーターホール
10. 空調機械室





本館および敷地の鳥瞰　　写真上：トヨタ総合グランド　工場は右下にある

トヨタ自動車工業 株式会社 本館

工事監理　トヨタ自動車1級建築士事務所
設計施工　株式会社 竹中工務店

所在地　豊田市豊田町1番地
工　期　昭和34年7月17日～35年8月26日

外部仕上

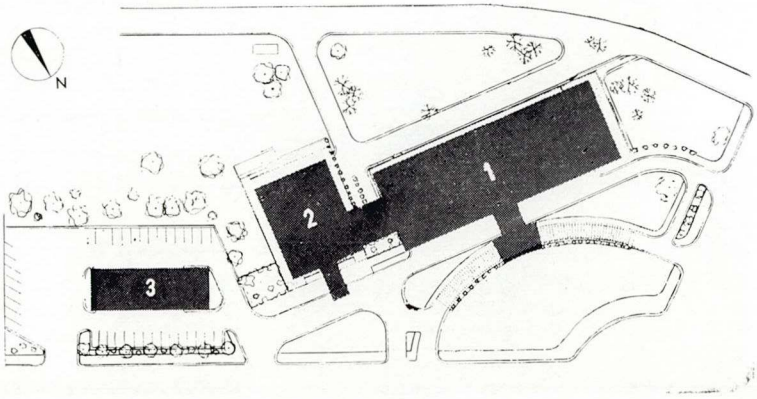
本　館

壁：小口タイルおよび6丁掛テラカッタタイル張り
柱型：窓部分アルミパネル，地下部分コンクリート打放シ仕上
軒天井：アルミエンドレスパネル
窓：アルミサッシ

P.R.センター

壁：小口タイルおよび6丁掛テラカッタタイル張，コンクリート打放し仕上
柱型：コンクリート打放し仕上および小口タイル張り
軒天井：アルミエンドレスパネル
窓：アルミサッシ

配置図　1. 本　館　2. PRセンター　3. 駐車場上屋





外観正面（北面）　左がPRセンター

規　　模　　地上3階　地下2階　塔屋4階付
　　鉄骨鉄筋コンクリート造
敷地面積　　２２７，０００m²
建物面積および主な用途

階	m²	主　な　用　途
R_4 R_3	75.858	エレベーター機械室，望楼
R_2	376.200	展望室，空調機械室
R_1	227.531	エレベーターロビー，空調機械室
3	2,116.264	I.B.M.関係諸室，事務室，会議室，会計機室，書庫
2	2,246.826	役員関係諸室，事務室，会議室
1	3,284.093	玄関，応接室，事務室，会議室，P.R.センターホール
MB	3,266.433	食堂，印刷製本室，タイプライター室，テレタイプ室，電話交換室，放送室，事務室，P.R.センター展示室
MB_1	25.438	係員室
B_1	2,680.461	食堂，厨房，金庫室，書庫，機械室，電気室，地下道
合計	14,399.104	

外に　附属屋　452.000　　外来運転手控室，駐車場
　　P.R.センター収容人員　　大ホール　600人
　　小ホール　100人
高　　さ　　軒　高　14.060m（標準地盤よりパラペット天端）
　　最高高　25.400m
深　　さ　　8.150m（標準地盤より基礎下端）

設計者のことば

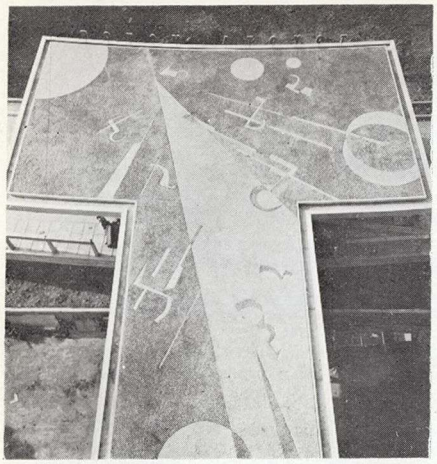
竹中工務店名古屋支店設計部長　**宮地　二郎**

大工場の敷地から道路一筋へだてたこの建築の敷地は，22万7千m²もある広い面積に恵まれておりましたが，ちょうど本館の計画されていた位置に南へ下った急斜面があって，その高低差が約5米もありました。本館設計に当ってまず第一に，この地盤の傾斜を有効に処理しなければならなかったのです。本館建築は自動車生産工場に対するに管理運営部門のみであるため，外部の出入が頻繁で，しかも交通連絡の関係からいってすべて乗車自動車によらざるを得ない条件から主要玄関はユッタリ広く前庭を廻って半階の高さをいうに上れるアプローチを設ける計画が立てられました。こうすることによって会社の駐車場と自家用車通勤の特別の人達のアプローチを，主玄関直下に取っても道路面より僅少の斜路で楽に作ることができました。こうして敷地内の斜面は利用することができ，敷地内の松の自然林もかなり残し得て風致を損なうことも少なく保てました。

本館建築は管理事務的であり，ホールはPR専用の建物でありますので，棟別にして必要な階高から生じた差違は連絡部の階段で調節をとりました。何分敷地の余裕が充分ありましたので，ホールに来るバスのアプローチも別個にすることができ，駐車場設備も相当の広さとなり，自動車交通を主体とする，全体の建設計画をうまく実現できたと思います。

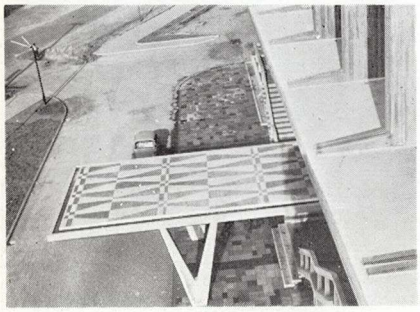
外観背面（南面）　右がPRセンター





1階本館ポーチ庇屋根

PRセンターポーチ庇屋根



トヨタ本館新築工事の施工について

竹中工務店名古屋支店　土方　義之

優れた建築物，生命の鼓動を感ずるような建物というものは，卓絶した設計を，優れた施工技術によって適確に具現化されたものにのみ，与えられる言葉だと思います。本工事施工に当っては，かかる観点から，建物の性格を熟知し，設計者の表現せんとする意図を徹底的に究明し，設計，仕様に正確，忠実であることは論を待ちませんが，綿密な綜合打合，安全確実な段取，迅速正確な施工をモットーに，内包せる建築設備との関連性をまず考慮し，使用せる素材の長所の最大活用，欠点の排除，補正をし正確にして堅牢なくるいのない，しかも美しいものをと心掛けました。以下限られた紙面のことでもあり，重点的に二，三の施工工程を列記します。

1.　基礎工事

建物建設位置が南傾した斜面に計画されているので，基礎設定地盤の不均一が懸念され，詳細地質調査の結果，やはり非常に変動があり，基礎底面に位する部分の60%は地耐力をほとんど期待できない砂質粘土層が約2mの深さに達することを察知し，不良の地層を良質耐力地層に入れ換える地質改良工法を採用して良結果を得た。

2.　コンクリート工事（主として打放しコンクリートについて）

この建物に打放しコンクリートの良き面，素材の美などをあますことなく具現し，環境との融合によってデリカシーな味わいを出したい，とする設計者の意図からして，この建物の打放しコンクリートの占めるウエイトは決定的なものであり，施工に先立ち材料の選定，調合計画，配車，打設，養生計画を綿密かつ慎重に行ない，前後十数回の各種試練りの結果配合を定め施工をしたが，幸いにして良結果を得たようである。

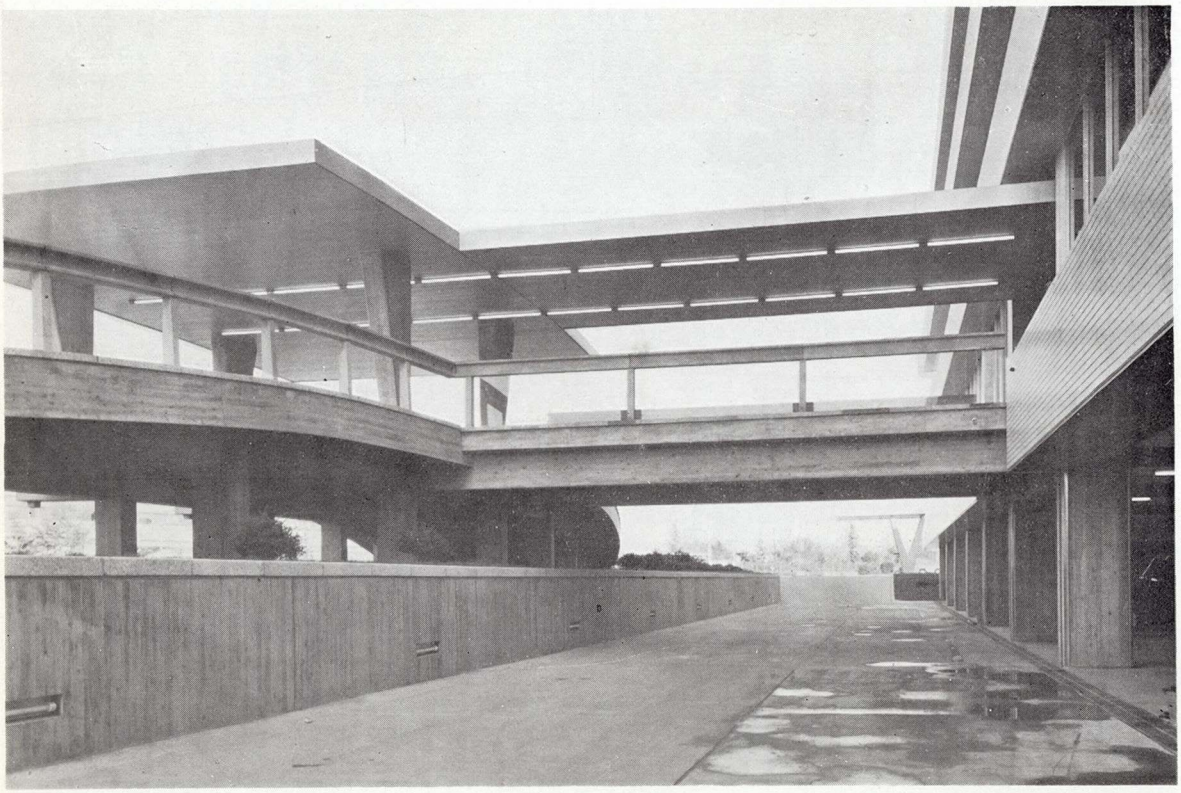
3.　建具工事（主としてアルミサッシュについて）

外部サッシュ全面および内部にも比較的多量にアルミ製建具（材料 耐蝕アルミニウム63S T5 15V硫酸アルマイト）を使用されているので，取付け方法に関しては直接アルミ面とコンクリート面，モルタルの接着することを極力さけすべてコンクリート施工図により正確にコンクリート中に防錆アンカーボールトおよびインサートを打込み，これに型枠除去後防錆処理済捨枠を緊結した。その後工程と見合せてでき得るかぎり後にサッシュヂグを取付けるようにし，アルミサッシュ取付後は取合部をすべてコーキング材にて充填した。

4.　安全管理その他

すべての事業は人の和なくして成されずといわれていますが，建設工事においてはことにこのことなくして成果を得られないことは論を待ちません。幸いにして本工事においてはこれに反するような事態もなく，全工期113万時間無災害記録が達成されたことは，この単的な表れであり施工の良否にも大きな影響を与えるものと思います。

中地階駐車場より，1階玄関アプローチを見る





◀ 1階ロビー

床：リノタイル
壁：外国産大理石
　　ステンレスパネル
天井：アルミエンドレスパネル

トヨタ自動車工業
株式会社　本　館

▼ 2階ロビー

床：リノタイル
壁：ウォールナット練板
天井：アルミエンドレスパネル



▼ 事務室

床：リノタイル
壁：モルタル下地　スプレッドサテン吹付
天井：アコーステックテックス



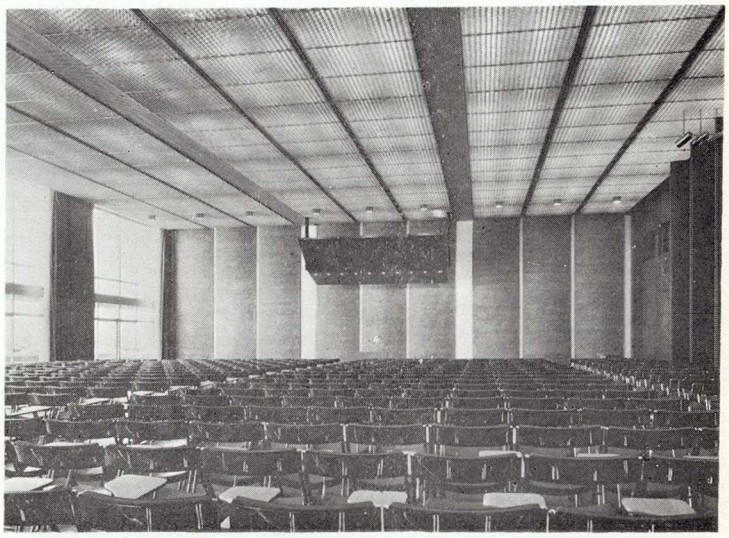
1階PRセンターホールロビー ▶

床：玉砂利洗出
壁：松練板
　　6丁掛テラカッタイル
天井：アルミエンドレスパネル

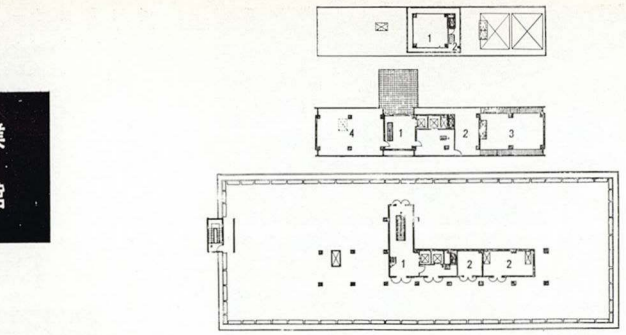


1階PRセンターホール ▶

床：桜フローリングブロック
壁：テッセラ，松練板
天井：光天井アルミハニルーバー



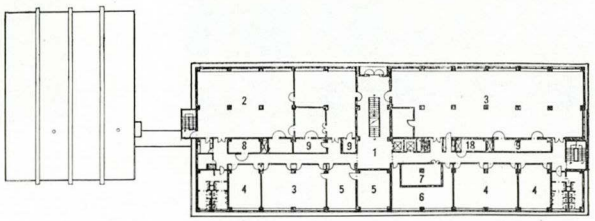
トヨタ自動車工業
株式会社　本　館



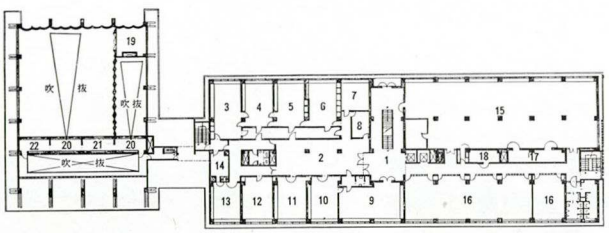
R 3. 4
1. エレベーター機械室
2. 望　　楼

R 2
1. 展 望 室
2. 水 槽 室
3. クーリングタワー
4. 空調機械室

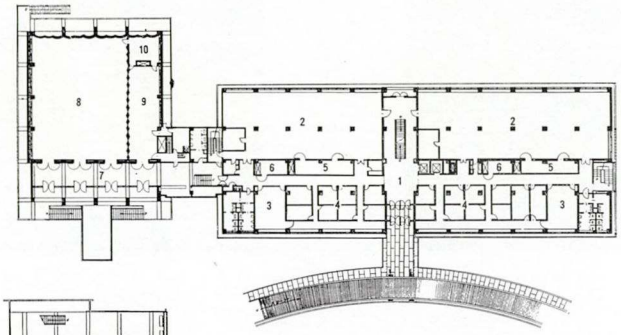
R 1
1. ロ ビ ー
2. 機 械 室



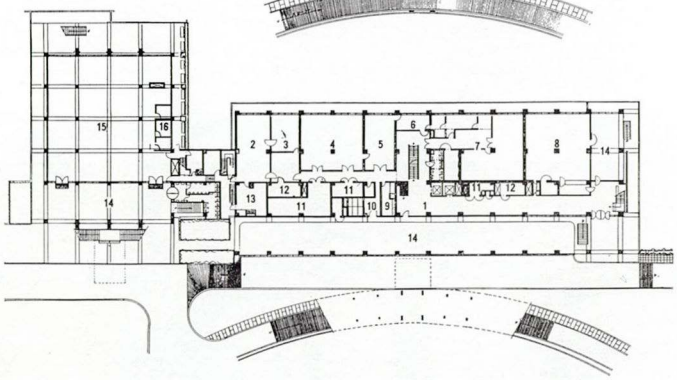
3 階
1. ロ ビ ー
2. I B M
3. 事 務 室
4. 会 議 室
5. 資 料 室
6. 会計器室
7. 書　　庫
8. 空調機械室
9. ロッカー室



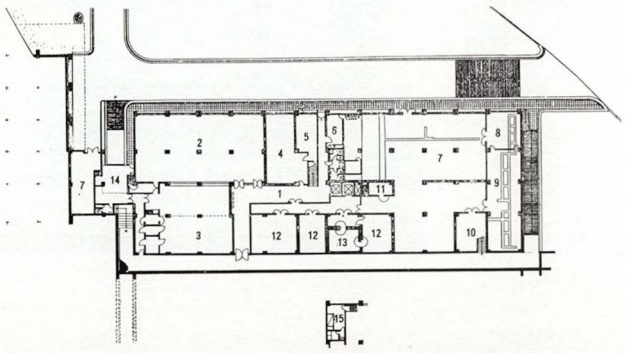
2 階
1. ロ ビ ー
2. ホ ー ル
3. 社 長 室
4. 副社長室
5. 専務常務室
6. 重 役 室
7. 応 接 室
8. 秘 書 室
9. 貴 賓 室
10. 談 話 室
11. 来賓食堂
12. 会 議 室
13. 役員食堂
14. 配 膳 室
15. 事 務 室
16. 会 議 室
17. ロッカー室
18. 空調機械室
19. 控　　室
20. 照 明 室
21. 電 気 室
22. 技 師 室



1 階
1. ロ ビ ー
2. 事 務 室
3. 会 議 室
4. 応 接 室
5. ロッカー室
6. 空調機械室
7. ロ ビ ー
8. ホ ー ル
9. 小ホール
10. 控　　室



中 地 階
1. エレベータ ロビー
2. 課長用食堂 兼会議室
3. 部長用食堂 兼会議室
4. 印 刷 室
5. タ イ プ 室
6. テレタイプ 室
7. 電話交換室
8. トヨタ自動車健康保険組合
9. 守衛溜リ
10. 運転手控室
11. 倉　　庫
12. 空調機械室
13. 配 膳 室
14. ピ ロ チ
15. 展 示 室
16. 応 接 室

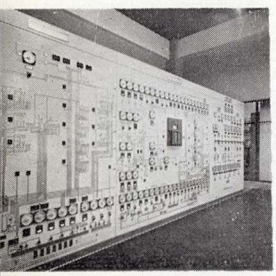


地 1 階
1. ロ ビ ー
2. 従業員食堂
3. 厨　　房
4. 来客食堂
5. 厨　　房
6. 美装詰所
7. 機 械 室
8. 監視盤室
9. 電 気 室
10. 蓄電池室
11. 塵埃焼却炉
12. 倉　　庫
13. 金　　庫
14. 仕 込 場
15. 係 員 室

主な設備

冷暖房空気調和設備
受変電設備
蓄電池設備
照明設備
拡声装置設備
電気時計設備
火災警報設備
避雷針設備
電話設備
商業及工業用TV受像装置設備
ラジオ受信装置設備
インターホン設備
自動車在庫表示及指令設備
給排水・衛生設備
消火栓設備
給湯設備
プロパンガス設備
エレベーター設備
ダムウエイター設備

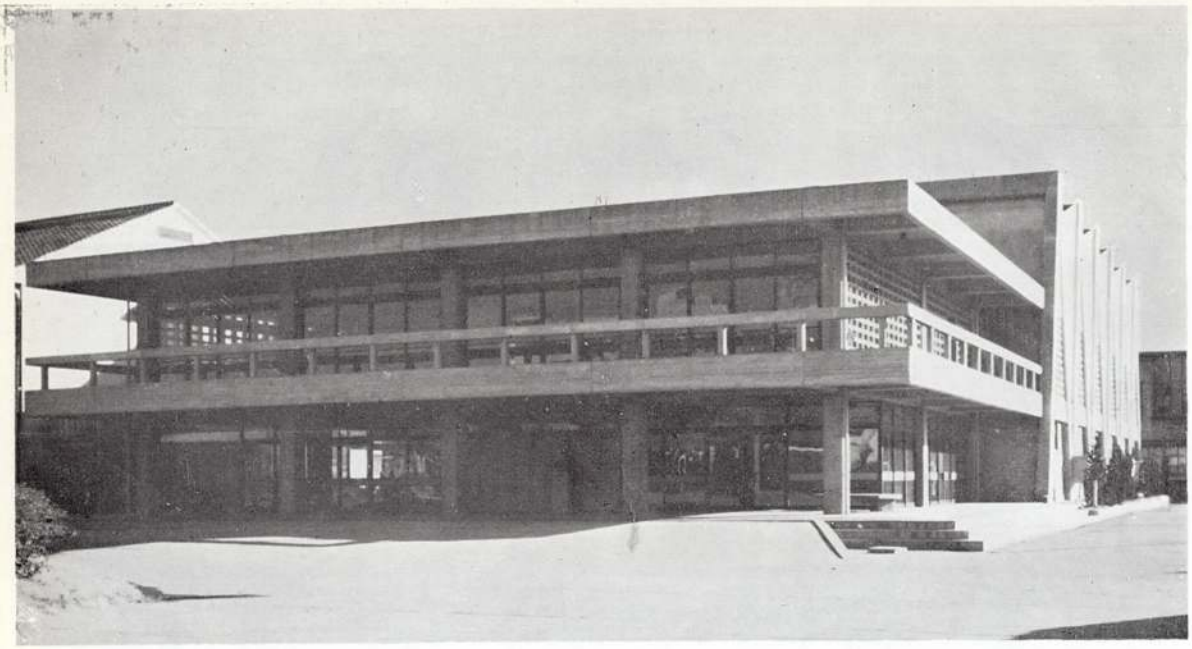
地階電気室監視盤





施　主　名古屋工業大学創立50年記念会
設計監理　合資会社中建築設計事務所
施　工　株式会社　間　　組

名古屋工業大学
講　堂



柱梁および庇鼻コンクリート打放し
外壁コンクリート空洞ブロック，焼過レンガ色違い，および黄色テラカッタタイル
屋根アスファルト露出防水ホワイタス仕上

名古屋工業大学 講堂

所在地	名古屋市昭和区御器所町
工期	昭和33年6月 ～ 34年4月
規模	
建築面積	1，221．676 m²
延面積	1，887．267 m²
建物総高	11．440 m
構造	鉄筋コンクリート造地上2階 地下1階
設備概要	
電気設備	受電 3相3線式3300V 動力 3相3線式 電灯 螢光，白熱燈の他舞台照明設備 弱電 拡声設備，電話，感知器
衛生設備	給水 水道引込 排水 自然排水，一部ポンプアップ 消火 屋内消火線4ケ所
換気設備	送風機1台，排風機1台による
暖房設備	細山HF700，ガスファーネスによる温風暖房

設計者のことば

中建築設計事務所　文責　広瀬　一良

本講堂は名古屋工業大学創立50年記念事業の一環として建設されたものである。

要求されたものはオーディトリアム（約800名収容で，講演，演劇，音楽などに使用できるマルティ・パーパスホール）と会議室2室であった。立地条件としてもすぐ東に木造本館があって，将来RC造に改築されるため，それとの連絡通路も考慮にいれ，会議室の位置が決定された。

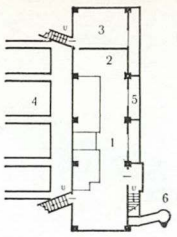
オーディトリアムの基本方針としては24mのスパンをRCのシェルターで包みたいということと折壁による拡散反射（音の）を期待して折版構造を採用した。

設計開始は32年であったためまだ折版のデーターも少く屋根，壁の接合部の解決，主筋のアンカーの方法などに苦心した。屋根スラブのコンクリートはスランプ10cmとした。

講堂は前記のように多目的に使われるためステージの取扱い方および音響処理にも苦心した。ステージは学校演劇の意見を多く入れることになったが，今考えればその必要はなくもっと思いきって処理すればよかったと考えられる。残響は結局レクチュアーを主とする多目的ホールと考えて処理した。気積は5.26m³/人でマルティホールとしてはやや多めである。最適残響時間を1.20秒（500%において）として計算値，実測値は下表の通りである。

%	250	500	1,000	2,000	white
計算値 ½満員時	1.303	1.16	1.16	1.02	
実測値	0.9	1.1	0.9	1.1	1.1

低周波部分で特にTrが落ちたのはその部分のTrを500%以上の部分と揃えようと意識しすぎたためで，最近のオーディの傾向としては平均してTrを長くとっているから基準残響を今少し長くとってもよかったと思っている。また模型実験を行なわないかぎり実測値は計算値より平均して，0.1～0.2の落ちがあることも注意したい。（ただし，小ホール，およびエコーその他の障害は除く）



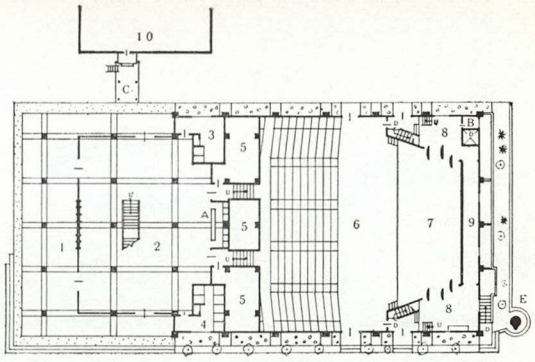
地　階

1. 暖房機械室
2. 電　気　室
3. 倉　　庫
4. リターンピット
5. ドライエリヤ
5. 排　気　塔

1　階

1. ピ ロ テ ィ ー
2. ホ　ワ　イ　エ
3. 界 子 便 所
4. 女 子 便 所
5. 倉　　庫
6. オーディトリウム
7. ス テ ー ジ
8. 控　　室
9. 通　　路
10. 既 設 本 部

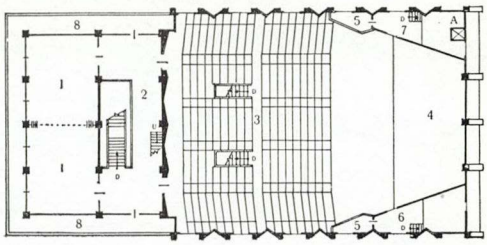
A. ク ロ ー ク
B. 便　　所
C. 渡 リ 通 路
D. ダ　ク　ト
E. 排　気　塔



2　階

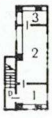
1. 会　議　室
2. ホ　　ー　　ル
3. オーディトリウム
4. ステージ上部
5. スポットバルコニー
6. 調 光 器 室
7. 放　送　室
8. バ ル コ ニ ー

A. ダ　ク　ト



3　階

1. 技 士 控 室
2. 映　写　室
3. 整 流 器 室



オーディトリアム

A）舞台ホリゾント砂付サテン吹付，両袖¼円反射板付，天井同反射板固定1，上下可動1

B）客席　前⅓天井8分板下地ハードボードネリ付け，後部天井木毛板下地空間明けの上ハードボード張り，両脇壁：折版壁部分コンクリート，モルタル塗りビニールペンキ仕上，同凹部有孔ベニヤ，リブ打ち，後壁ロックウール下地空間明け有孔ベニヤネリ付，床リノタイル





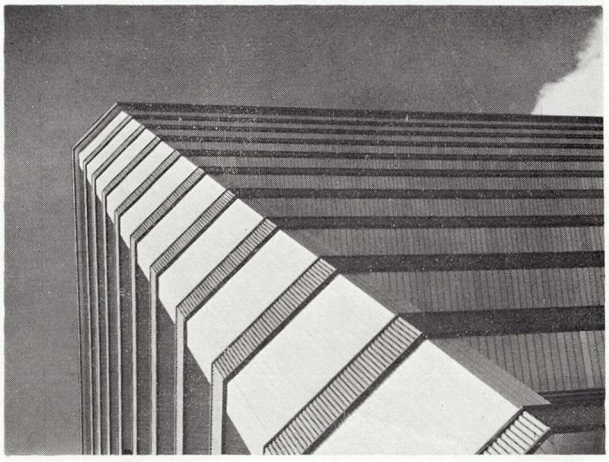
新阪急ビルディング

工事監理　阪急不動産株式会社
設計施工　株式会社 竹中工務店





屋根：防水モルタルクリンカータイル貼
庇：アルマイト加工アルミリブプレート
西側柱及梁型：カラコンモザイクタイル
壁：磁器小口タイル
窓：ステンレスサッシュ・グレーペンペアグラス嵌込(西側アルミサッシュ)
1階壁及柱型：外国産花崗石貼及ステンレスガラススクリーン



新阪急ビル設計について

小川　正

このビルディングの設計にあたって最も問題になったのは，この梅田周辺ターミナルの特殊性と大阪駅前高層化計画の一環としてのオフイスビルの在り方の検討であった。終日数十万の歩行者の流れに対する地上階巾員4米のアーケードは，その90%を吸収して地下連絡通路に導入しており，床面積50,000平方米におよぶ事務所および店舗に対し地上，地下階における本館への導入ルートと立体交流の問題，自動車による円滑な寄付きと駐車などの公共面積の強調，それに容積率，などの条件によって建築基準法第57条新例によって昭和35年12月許可された，地上41米，地下22米の17層におよぶ高層事務所を主体とした建築である。

近代事務所建築として最も重要な条件として室内環境を優位に保つことである。このために空気調和設備については各階ユニット方式を採用し，窓側系統は分離させ全館に渉って電気集塵器による室内空気の濾過清浄化をはかっている。

外部騒音の遮断については，グレペーン重層グラス使用のステンレスおよびアルミナム併用の特製単位窓はもちろん，街頭暗騒音を逆に反射させ室内よりの視野を拡くするため，各階庇上部を32°傾斜させ，窓面えの入射を防ぐ実験に基いた設計である。音響学の権威ハリス氏もこの提案に興味をもち，その効果を認めている。無響室における横型実験により窓面音圧が$\frac{1}{3}$～$\frac{2}{3}$に減少する結果が明らかにされている。現場測定と併せて別に報告したいと考える。

また市営高速地下鉄外管と4.5米に接近した地下壁を全館22米の深さに掘さくして，それらに何等の支障を見なかったことも，この軟弱地盤下における竹中式深礎工法の技術的勝利であった。

グレイのアルミナムの庇と銀白のステンレスの単位窓の建続するゆるやかなカーブが，この建築の基調となったが，乱雑なこの地区の都市の色彩から隔離された，憩いの一角を創り出したい意図でもあった。

（KK竹中工務店取締役，設計担当）





新阪急ビルディング

建築位置	大阪市北区梅田8番地	
敷地面積	4,079.5 m²	(1,234.05坪)
建築面積	3,409.25m²	(1,031.3 坪)
建築延面積	52,947.76m²	(16,016.97坪)
内訳		
地下5階	16,796.69m²	(5,081.0 坪)
地上12階	34,629.39m²	(10,475.0坪)
(基準階	2,844.57m²)	(860.48坪)
深さ	基礎底面	GL−22.000m
高さ	軒高	GL+41.000m
	最高軒高	GL+53.000m
	鉄塔尖端	GL+73.000m
工期	着工	昭和34年10月1日
	竣工	昭和37年1月23日
基礎工法	特許	竹中式深礎工法
主体構造	鉄骨鉄筋コンクリート	

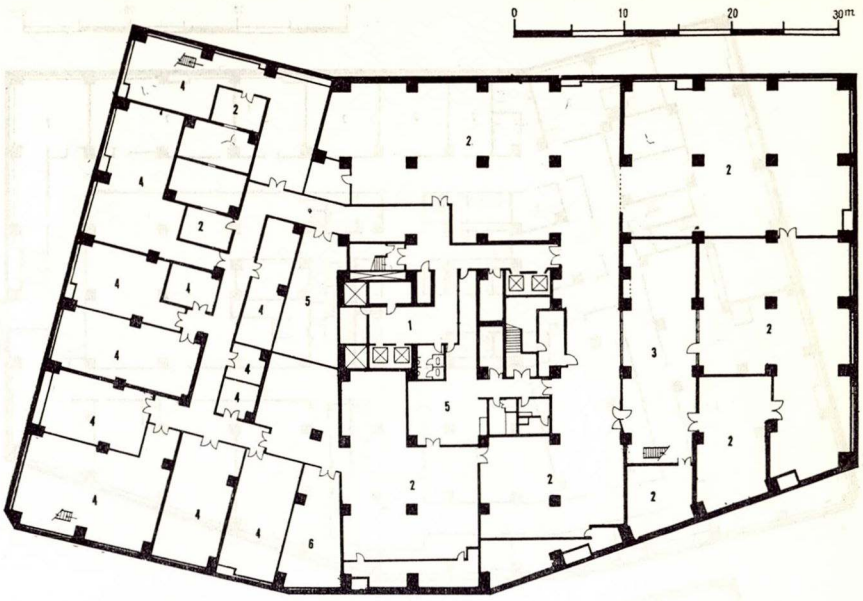
上：地下アーケード

下：地階エスカレータロビー

地下工法について

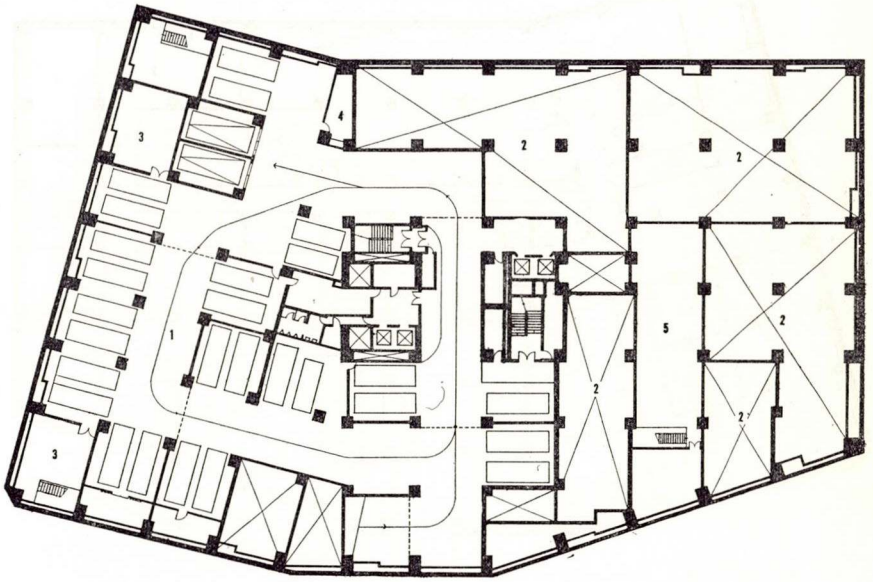
この新阪急ビルの工事においては，竹中式深礎工法により，日本ではじめての総地下5階のものが，しかも梅田地区のような軟弱地盤のところで完成された。この工法は，山留鉄矢板のかわりに，竹中式オーガーパイルの柱列で，強度の高い山留を行ない，建物の躯体を直接支保工（山留のための仮設構築物）として兼用し，地下1階から各階毎に掘削しただけ地下に向って躯体を構築していく特許地下工法である。作業は無音無振動ででき，また躯体を支保工とするため，安全かつ合理的経済的な工法である。

新阪急ビル平面図



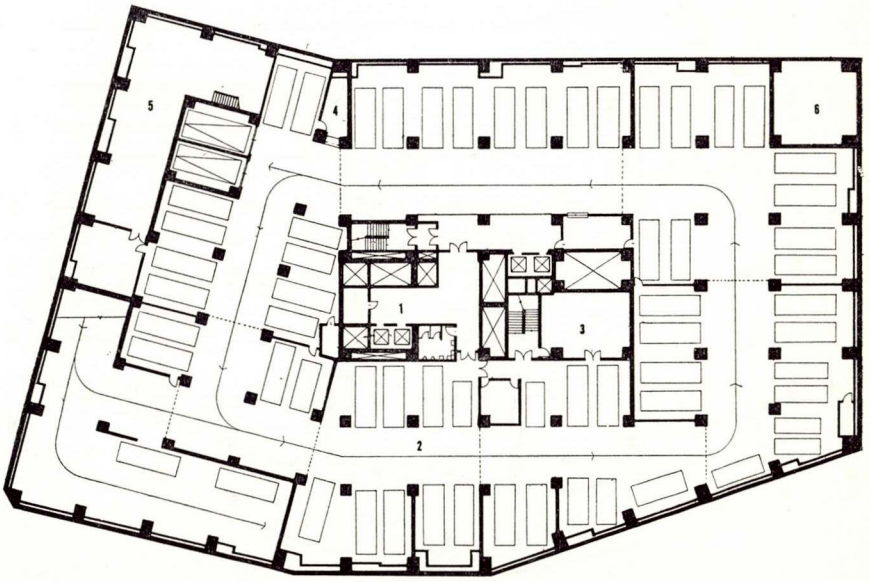
B 5 階

1. エレベータロビー
2. 機 械 室
3. 中央操作室
4. 貸 倉 庫
5. 従業員控室
6. 工 作 室



B 4 階

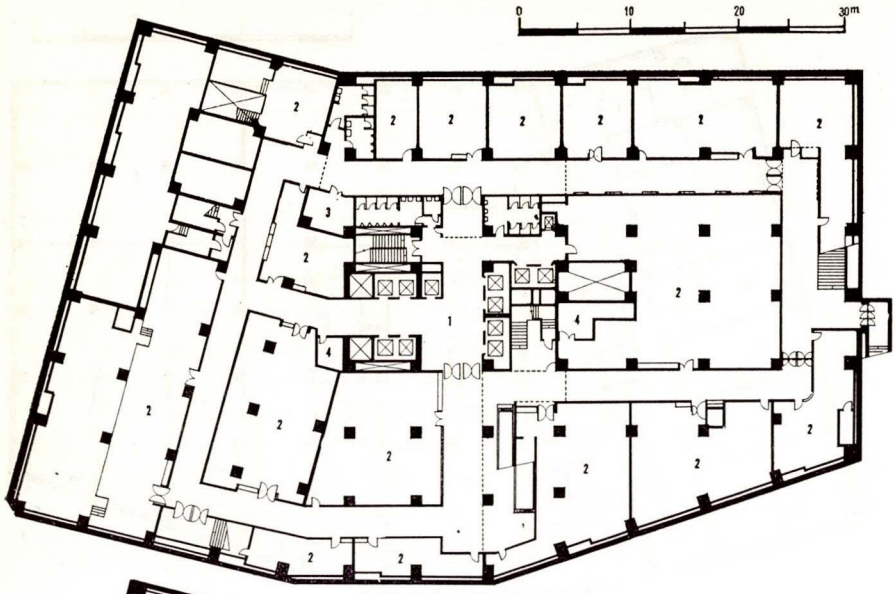
1. 駐 車 場
2. 機械室上部
3. 貸 倉 庫
4. 管 理 室
5. 中央監視室上部



B 3 階

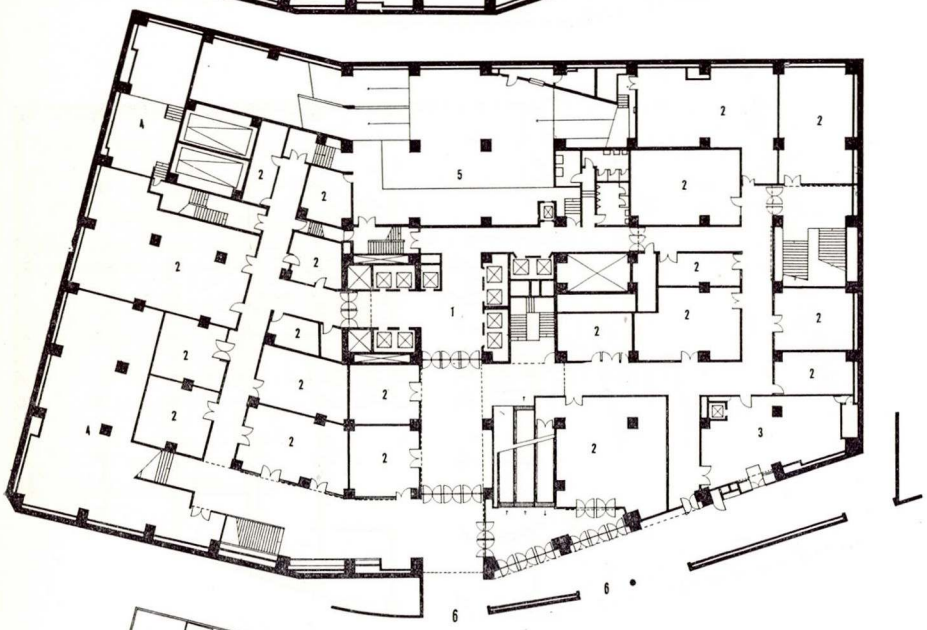
1. エレベータロビー
2. 駐 車 場
3. 温 調 室
4. 運転手控室
5. 貸 店 舗
6. 管 理 室

新阪急ビル平面図



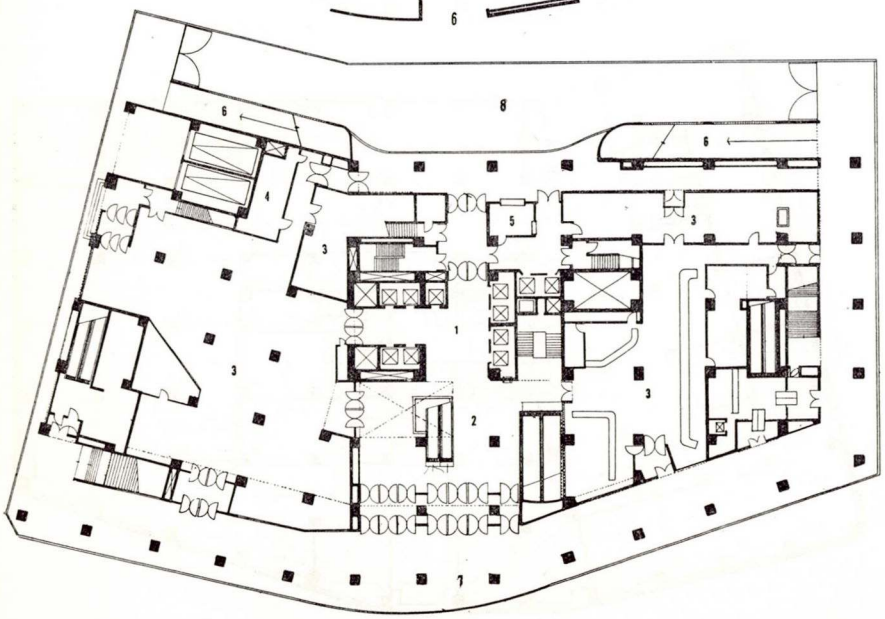
B 2 階

1. エレベータロビー
2. 貸 店 舗
3. ファンルーム
4. 分電盤室



B 1 階

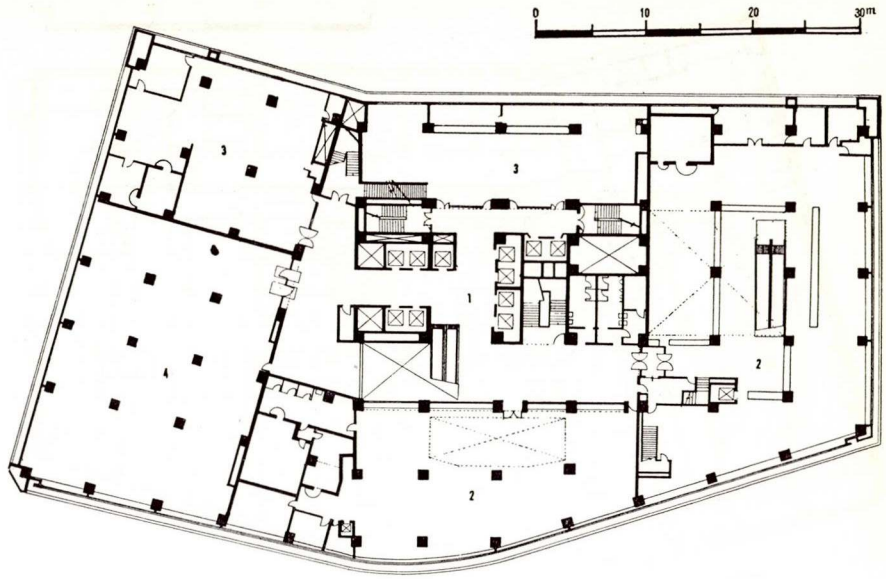
1. エレベータロビー
2. 貸 店 舗
3. 銀 行
4. 貸 室
5. 荷 受 場
6. 地下連絡



1 階

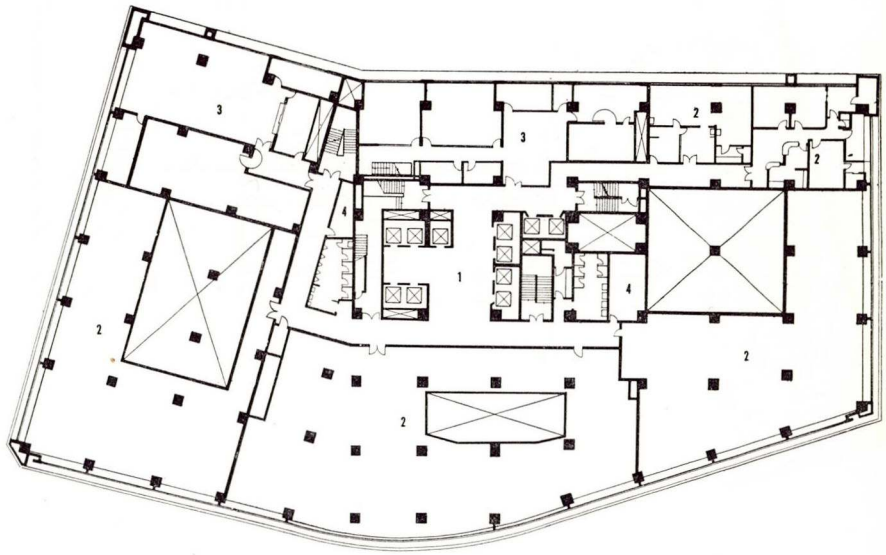
1. エレベータロビー
2. ロ ビ ー
3. 貸 店 舗
4. 喫 茶 室
5. 守 衛 室
6. スロープ
7. アーケード
8. 車 道

新阪急ビル平面図



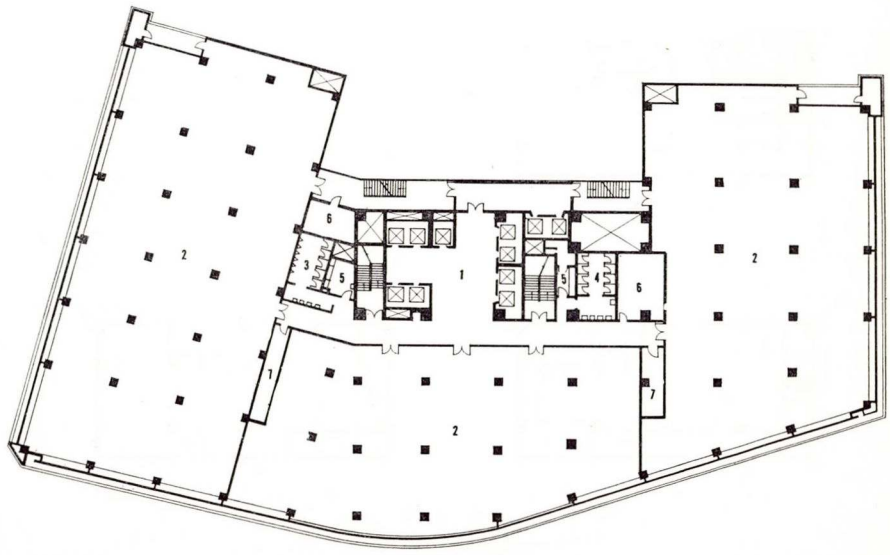
2　階

1. エレベータロビー
2. 銀　　行
3. 証券会社
4. 貸　　室



3　階

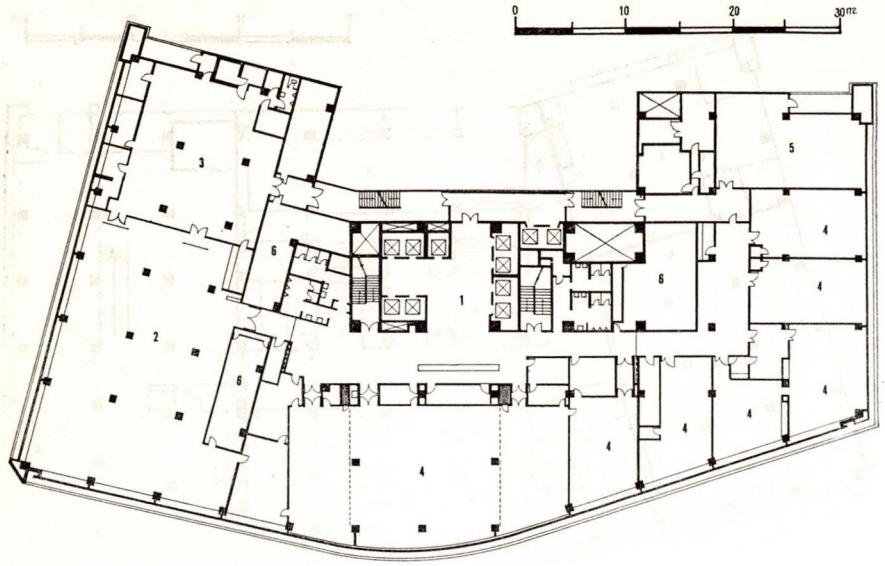
1. エレベータロビー
2. 診　療　室
3. 貸　　室
4. 温　調　室



4 ～ 11 階

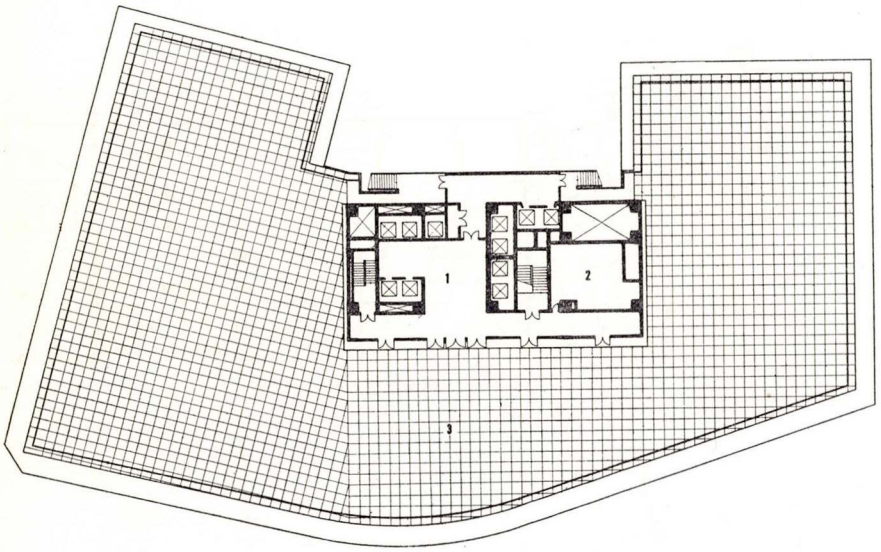
1. エレベータロビー
2. 貸　　室
3. 男子便所
4. 女子便所
5. 湯　沸　室
6. 空　調　室
7. 分電盤室

新阪急ビル平面図



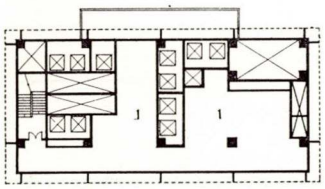
12　階

1. エレベータロビー
2. レストラン
3. 厨　　房
4. 貸会議室
5. ビル事務所
6. 空 調 室

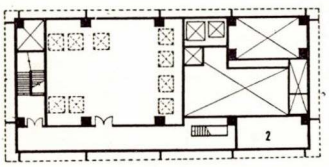


R　1　階

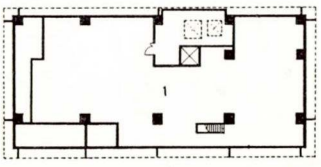
1. エレベータロビー
2. 機 械 室
3. 屋　　上



R　2　階



R　3　階



R　4　階

R 2 階～R 4 階

1. 機 械 室
2. エアーチャンバー



1階玄関ロビー



特別応接室



12階集会室



12階レストランパレス

新阪急ビルディング

専　門　家

長寿にいたる人は野菜を好むようだ。やすい目ざしはうまいし栄養食でもある。高い河豚を食って生命を失う人もある。鯖のバタ焼はコックの腕の見せ場だともきく。

ケンラン豪華な超デラックス住宅も，舶来の香水や白粉を拭い去ったら，十人並以上というのは数少ない。建築はその時代の技術と生産品で組立てられるのだから，どれもこれも似たような直方体空間の組合わせになり易いのは無理もない。しかし坪20万もの家で，昔の殿様みたいに〝鯛の目玉の肉〟ばかりつつき回すのは上手な金の使い方ではなかろう。芦屋の山の上にモダンな鉄骨住宅の隣に，手足の不自由な彫刻家が独りで建てたコンクリートの粗末な住まいがある。専門家がみたらおかしいところも沢山あるが歪んだ天井や不整形の壁のかもす空間には時間とエネルギーが刻み込まれているなと感ずる。

専門家というものは，案外専門家でない場合が多いような気がする。　(AH)

建　築　と　寸　法

建築の設計が人間生活のためのよりよい生活空間を作ることを目的としている以上，建築の要素である寸法は，人間とともにあらねばならない。人体動作は建築寸法の中で最も重要な寸法であり，モデュールの決定には重要な役割を果すものである。適正建築空間を作るためには，目的機能と，必要設備の種類と大きさを知るとともに，人体動作寸法を知ることが大切である。

寸法が現在のようにメートル制で行なわれている限り，メートルで表わされる寸法は単純なほどよいことはいうまでもない。10cm を基本に選んでいる多くのモデュールもその立場から導き出したものであろう。しかもこの基本モデュールは多くの建築家が考えているそれぞれのモデュールの数値が設計の必要度からいって共通があるように，モデュールの数値の違いにかかわらず，共通の問題として追究する必要があろう。　(MK)



けんちくの眼　担当50音順：赤崎尚信・南　一美・宮川吉夫・山中　孔

（本号と次号は上記の執筆者に担当してもらいます）

採　算　性

建築がおこされる場合よくいわれる言葉で〝採算性〟というものがある。この点だけにしぼってみても，今日みられる多くの建物はどういう姿勢でこの問題に対処したか，その考察の深浅が容易に判断される。

ただ単に自分の主張する不規則な土地に建蔽率の高さを誇っているもの，あるいは社会全体の発展に目を背けた頑固な姿も見られ，それらの中にはその基本的機能すらも半減しているものも見うけられる。これらの建物はそれぞれその実現までに多くの努力が重ねられたであろうことは容易に推察されるにもかかわらず，この現実は建物がその実施の段階にうつされる前にその採算性に十二分の考慮を要求されることを示している。

この企画の段階では建築家はその専門的洞察力でリードすることは少なく，これが現在の都市混乱を呼んでいるとも考えられるが，われわれが豊かな社会生活を享受できるためにも，この高度の採算性が強く要望される所以でもあろう。　(YT)

建　材　ラ　ッ　シ　ュ

A氏の住宅を依頼されて設計中の建築家にＴＥＬがあった。応接間の壁は○○ライトにして欲しいというのである。ああよろしいと答えたものの，建築家はそれがどんな品物かはっきり解らない。いろいろ調べてみると某メーカーのものであることが解った。後日A氏に会って聞いてみると，ある婦人雑誌の住宅欄に出ていたということだった。こういったことは果して建築家の恥なのか，それともハンランする新建材の無統制からくるものなのか，同じ材質でもメーカーによって呼称が違いそれぞれの特性を生かしたもの？　がずいぶん出まわっている現在である。チョイト見かけた新材料をいちいち設計者にいわれてはたまらない。（設計者としてはもちろん化学組成とか特長は解っていても商品名として解らない場合もある）。一般の人は週刊誌，テレビ，婦人雑誌，ＥＴＣ．のＰＲにより新建材の名前は案外よく知っているのである。新建材の名前と特長を覚えるだけでも大変だし，それらを十分検討してうまく選分け好適所にしかもうまくデザインをするということは，建築家としては建材ラッシュに追いまくられてうれしい悲鳴どころか，苦しい悲鳴を上げねばならない昨今ではなかろうか。　(MY)

特別広告掲載業者目次

（順不同）

昭和37年3月号

KK大林組…… I
KK竹中工務店…… II
KK竹中工務店……作品欄
日本板硝子KK…… III
盤城セメントKK…… IV
大阪生コンクリートKK…… IV
内外木材工業KK…… V
KK大阪硝子店…… V
KK淀川製鋼所…… V
理研鋼材KK大阪営業所…… VI
KK奥村重兵衛商店…… VI
KK鈴木シヤタア商会…… VI
東洋リノリュームKK…… VII
KK三木塗装店…… VII
三友工業KK大阪支店…… VII
KK中村塗装店……VIII
旭硝子KK……VIII
日本アスベストKK大阪支店…… IX
KK矢橋大理石商店…… IX
丸五木材KK…… IX
KK熊取谷石材店…… IX
有限会社関西タイル商会…… IX
KK大阪防水建設社…… IX
KK阪急百貨店…… X
高砂熱学工業KK…… XI
近畿電気工事KK…… XII
栗原工業KK…… XII
KK大阪電気商会大阪暖房商会……XIII
KK西原衛生工業所大阪店……XIII
三栄建材工業KK……XIV
築柴木材工業KK大阪支店……XIV
松尾橋梁KK……XIV



東　海　銀　行　本　店

設　計　日建設計工務株式会社

施　工　株式会社　大　林　組



トヨタ自動車工業KK本館

設計・施工　株式会社 竹中工務店

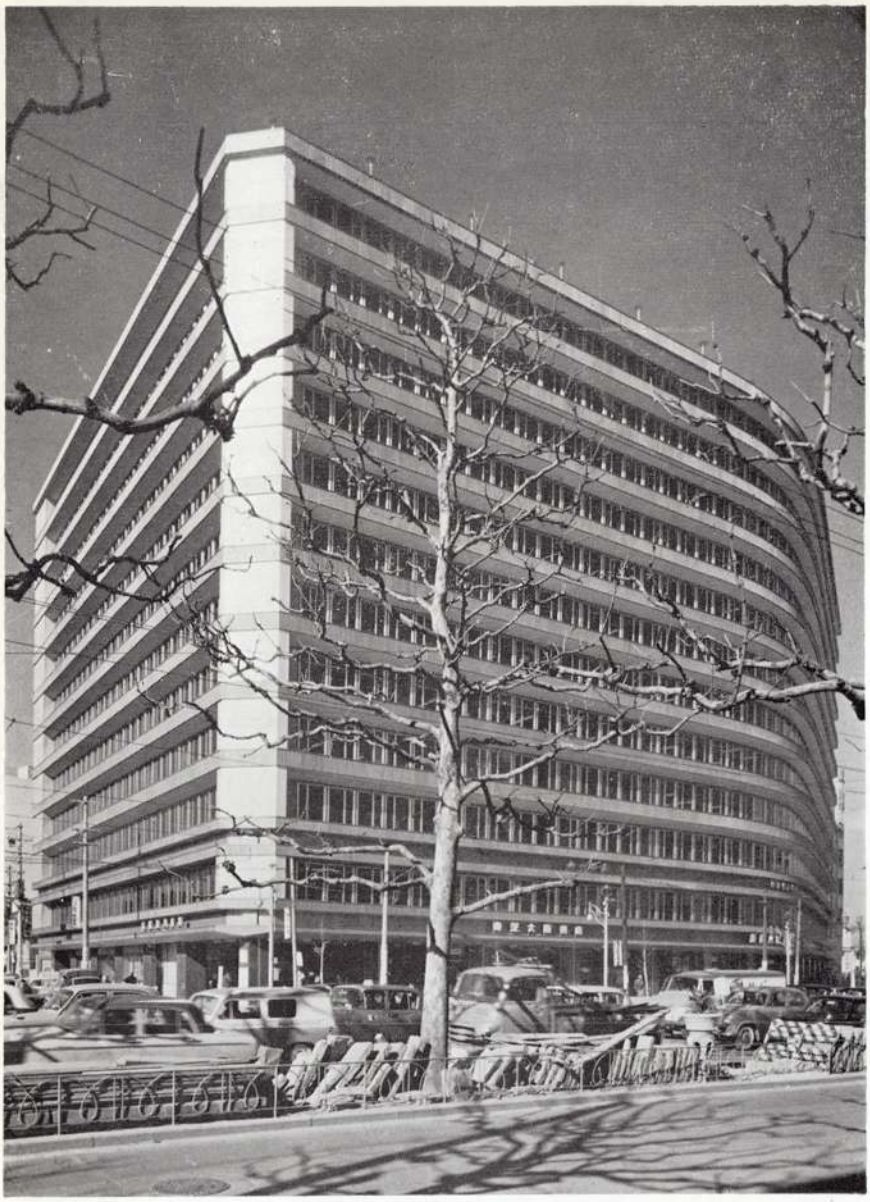


新　阪　急　ビ　ル

すべての窓には，熱線吸収ガラス，グレーペーンと普通の磨板ガラスを組合せた断熱遮音性のサーモペーン複層ガラスが使用され，グレーペーンの落ちついた色調はアルミとステンレスに見事にマッチしています。

日本板硝子

新阪急ビル



セメント　　盤城セメント株式会社

生コンクリート　　大阪生コンクリート株式会社

新阪急ビル



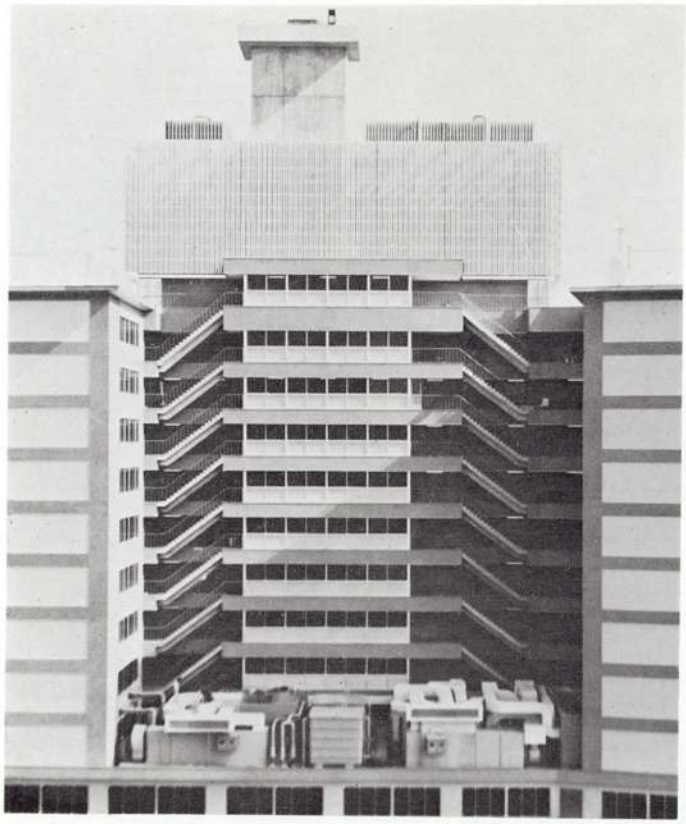
パレス食堂・造作

内外木材工業株式会社



玄関ドアー・硝子工事

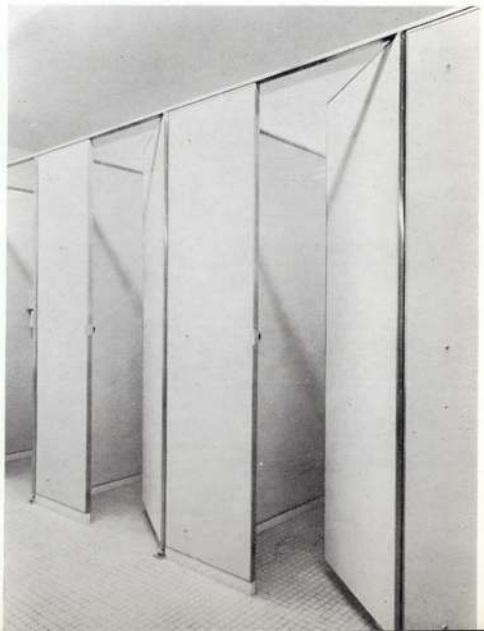
株式会社　大阪硝子店



◀ ヨドウオル内外装兼用パネル

株式会社
淀川製鋼所
業務部琺瑯課

▼ ヨドウオルトイレットスクリーン





理研分銅式防火引戸（ヒューズ付）



新阪急ビル地下街スクリーン

理　研　鋼　機　株　式　会　社　大　阪　営　業　所

新　阪　急　ビ　ル

各階事務室・日進式ボード下地御採用

株式会社　奥　村　重　兵　衛　商　店



シヤタア工事

株式会社　鈴　木　シ　ヤ　タ　ア　商　会





各階事務室：リノリューム
廊下階段：リノタイル
巾　木：ビニラートタイル使用

東洋リノリューム株式会社

新阪急ビル

塗装工事

株式会社　三木塗装店



天井吸音板工事

三友工業株式会社大阪支店





テンパライト・ドア

新阪急ビルには，テンパライト・ドアが257枚取付けられています。強靭な12粍厚研磨板硝子の透明度とステンレス・フレームの輝きは，このビルの偉容に一段と豪華さを添えています。

旭硝子株式會社

新阪急ビル

塗装工事　株式会社　中村塗装店





トンボ印 **No. 6450**
ファイアボードペイント仕上

各階バルコニー天井
〃 エレベータホール天井
〃 湯わかし室天井

日本アスベスト株式会社大阪支店



大理石工事

株式会社 矢橋大理石商店

新阪急ビル

止水丸大	丸五木材株式会社
花崗石工事	株式会社 熊取谷石材店
タイル工事	有限会社 関西タイル商会
ショットクリート工事	株式会社 大阪防水建設社



12 階 貴 賓 室



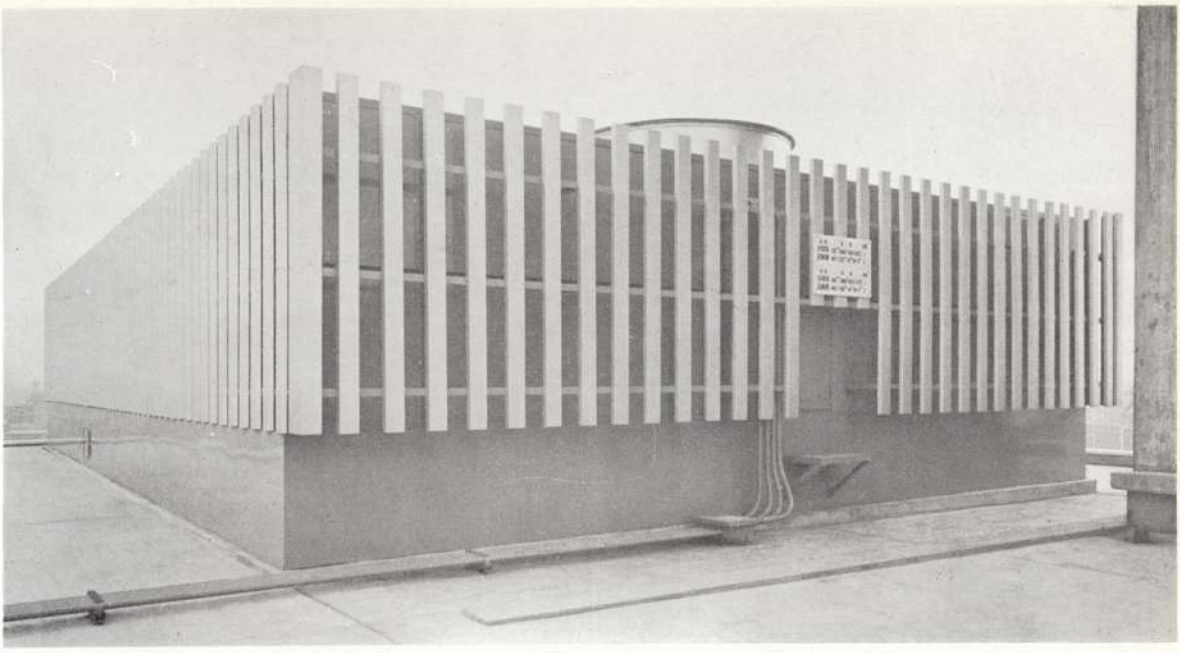
12 階 集 会 室

新 阪 急 ビ ル

家 具 装 飾　　株式会社　阪 急 百 貨 店



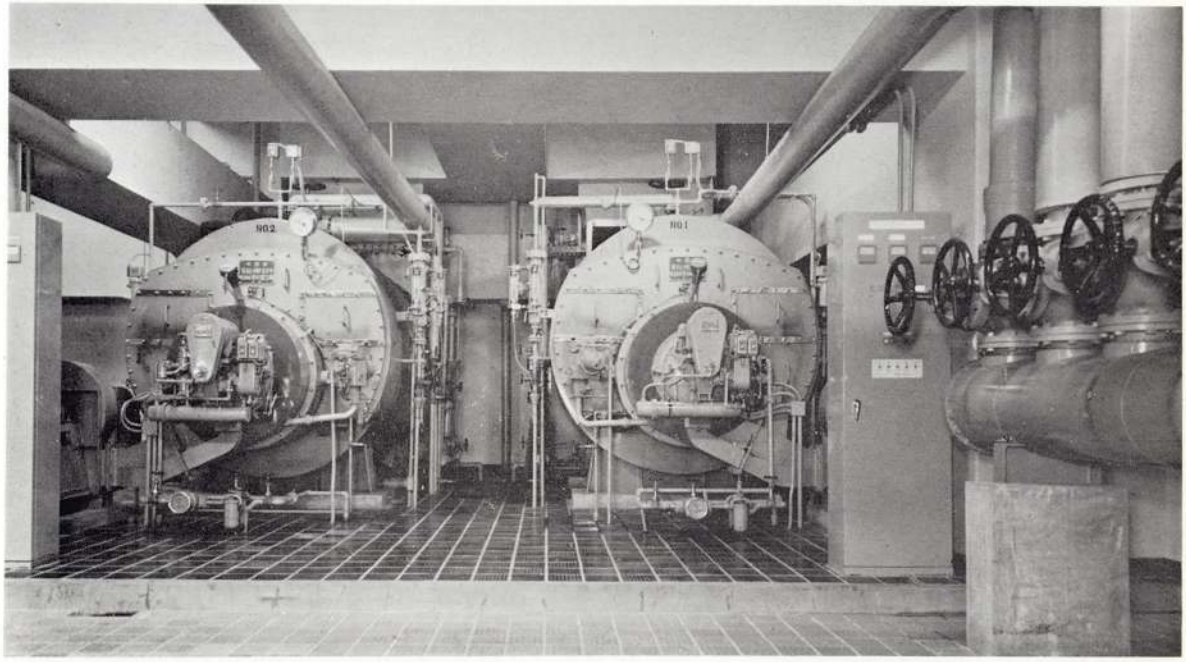
12階レストランパレス



1030冷凍屯高砂式クロスフロー型冷却塔

新阪急ビル　　冷暖房設備工事　　高砂熱学工業株式会社

MP 505 汽缶 （地下5階）



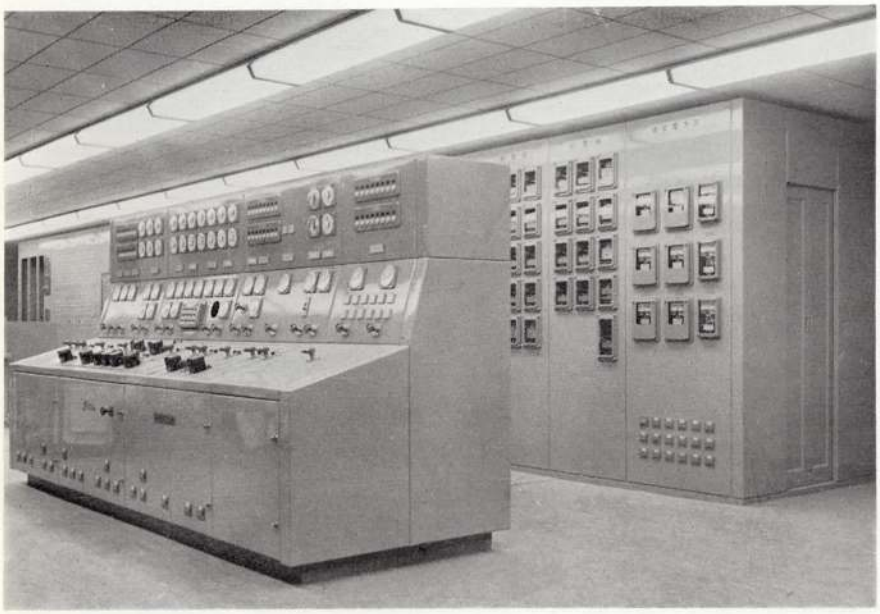


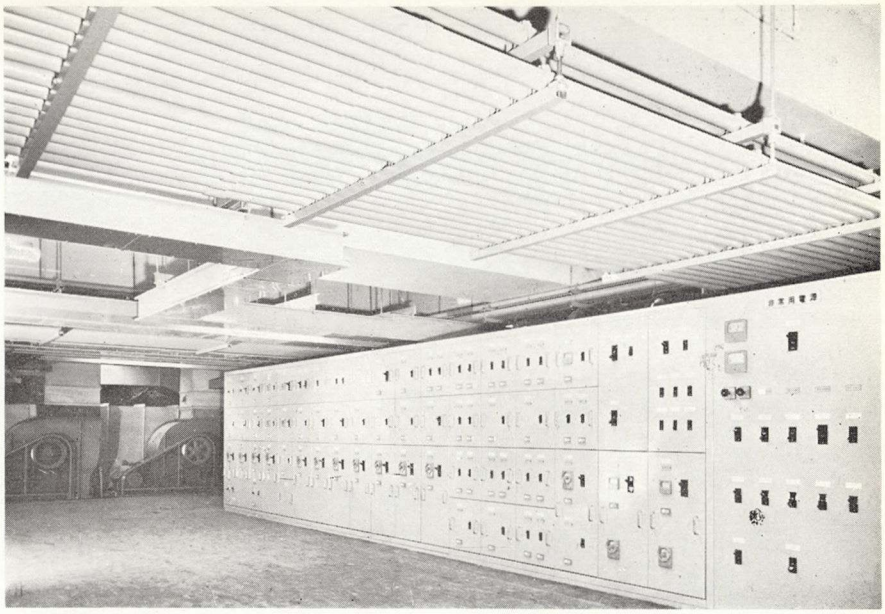
2階吹抜けより三井銀行前ロビー

電気設備工事　　栗原工業株式会社

電気設備工事　　近畿電気工事株式会社

操作用ミニチュアーベンチボード



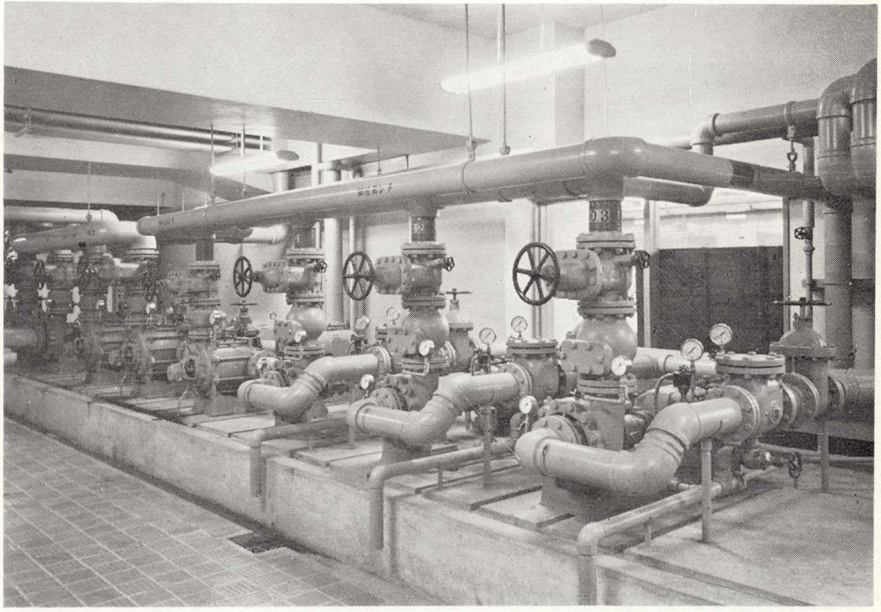


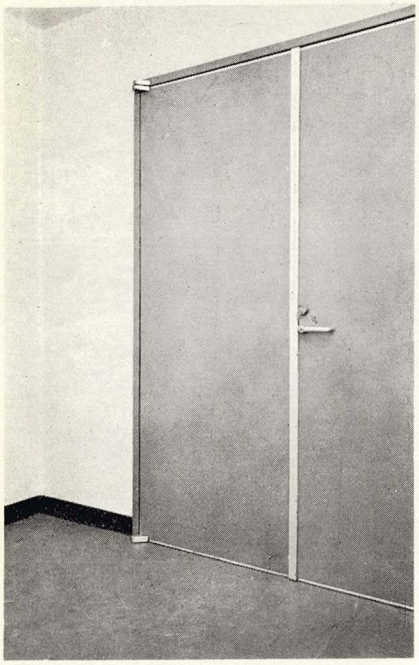
幹線配管ならびに動力操作機構

電気設備工事　　株式会社　大阪電気商会　大阪暖房商会

給排水設備工事　　株式会社　西原衛生工業所大阪店

機　械　室





新阪急ビル

ステンレスカバー
スプリング止

新型ピボットヒンジ

4階以上各階使用

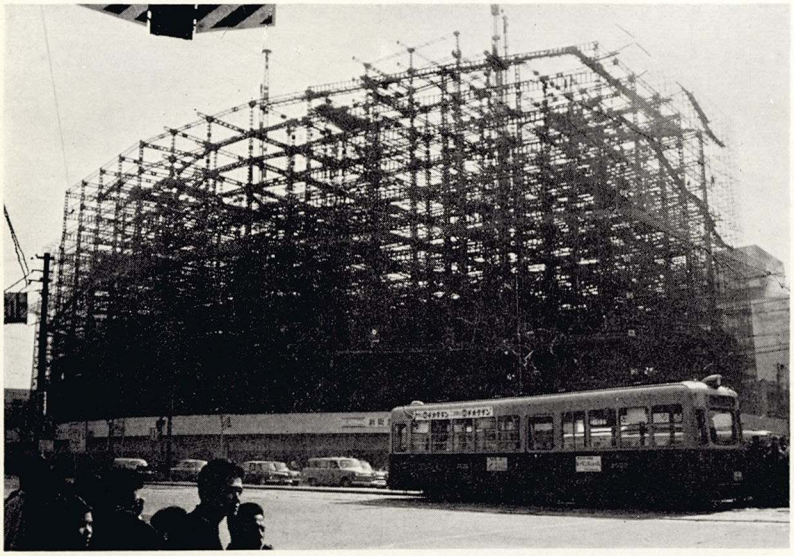
三栄建材工業株式会社

和洋建具
室内造作
船舶建具造作
高級ベニヤ工事
} 請負

築柴木材工業株式会社大阪支店

大阪市東区横堀6—8—1

鉄骨工事　　松尾橋梁株式会社



とら群像

森川音三郎

とら年というので，虎の置きもの（主として陶器）の集まったこと算えて八頭に及んだ。この大虎小虎が年末年始にかけて机上狭しと並列することになったから驚いた。誇張して申せば座右周辺にジャングルのムードがただよって来たのである。

あまりのことに一頭づつを来訪者に進ぜようと思ったが，寄贈者の厚意を無にするようで忍びない。丑年といえば牛，虎年といえば虎，どうしてこうも殺到するのであろう。

思えばこれが日本の実相のようだ。都市には人間がひしめき，汚水が溢れる。山や海へ行けばスキー服や海水着で埋まっている。温泉へ逃避すればハヤリウタで悩まされるのがオチである。

観光地のみではない。港では沖待ちの船で動きがとれず，揚げも卸ろしもならずに船員は空白を嘆いているのだ。試みに脚下の名古屋港のことを調べてみると，昨年の6月はじめから12月末にかけて，長期港内の碇泊によるもの延べ351隻を算え，平均所要日数を超ゆること1,895日に上り，船主の蒙った損失は12億4千万円と推定される。また沖待ち碇泊によるものは同じ期間で610隻に上り，その船主に及ぼした損失は9億3千余万円と見られる。ほんの7ヵ月間に21億8千万円のロスで，これを年間に推算すれば37億3千万円という巨額になる。しかもこれは名古屋港だけの話である。全国の重要港湾のロスを積算したらどれほどになることやら，考えてもゾッとする。

公共投資の立ちおくれ，殊に港湾道路の整備改修の不十分なことは耳にタコのできるほど聞かされているが，さてこうして数字を上げてみるとなるほどとうなずかれる。景気の調整もよし，貿易の自由化もよし。なにごとにも立ち向って行がねばならぬが，このような見えざるロスを一刻も早く解消せねばなるまい。

とらの群像と出船入船のラッシュでは三題ばなしにもならぬが，こんな二題のトピックでも日本の抱えている幾多の懸案に繋がってゆくのである。

走れ走れ！　と上を向いて走ってゆくのは非能率であり，不採算でもあるのだ。ここらで安座調息してみてはどうか。おのずから窮通するものがあろう。

（筆者　名古屋商工会議所専務理事）

伊勢湾台風と建築のその後

原　　清

昭和34年9月26日夜半，愛知，三重，岐阜の諸県下を襲った伊勢湾台風は，一瞬にして本市に死者 1,900余名，全壊7,700余戸，浸水 67,300余戸という台風史上空前の被害を与えた。この苛烈を極めた被害の状況については，当時すでに関係各方面で徹底的な調査が行なわれ，その都度詳細な発表がされているので，いまあらためてここに記載の必要はないと思われるが，それからすでに 2年有半。この間もっとも惨禍をこうむった本市南部低地帯のその後の状況についてやや旧聞に属する嫌があるのみならず，いささか標題と合致しないうらみもあってはなはだ恐縮であるが，他に持ち合わす種もないので，直接私どもの関与した建築行政部面――私は当時建築局指導課の一係長として住宅金融公庫融資による災害復興住宅の認定業務とその後建築基準法の規定に基づく災害危険区域の指定事務に携わった――を主としてその一断面を紹介することとする。

1. 災害危険区域の指定

本市は，昭和36年3月24日名古屋市条例第2号をもって「名古屋市災害危険区域に関する条例」を公布し同年6月1日から施行している。この条例は申すまでもなく伊勢湾台風の惨禍にかんがみ，今後再びこのような災害を繰り返えさないよう防災対策の一環として制定されたものである。台風直後，国においては対策本部を設置したが，本市においてもこれが対策樹立のため市長を会長とし，学識経験者，関係諸団体代表，関係行政機関の職員および市会議員のなかから選ばれた90人の委員からなる名古屋市災害対策協議会が結成された。この協議会において「名古屋市災害対策要綱」が定められたが本要綱は昭和35年度以降強力に推進しなければならない諸般の施策についての方針を樹立したもので，建築関係事項として

（1）防火体勢の強化
（2）災害危険区域の指定
（3）公共施設などの永久構造化
（4）公営住宅および学校施設の永久構造化
（5）災害対策関係調査

などを取上げている。当時建設省から全国的に災害危険区域の指定についての勧告もあり，われわれとしても是非これを具体化すべく決意したのであるが，何分にも全庁あげて災害後の応急措置に忙殺され，基本的な調査を行なう余裕はまったくなかった。そこで昭和34年11月，都市計画ならびに建築技術の分野からみた被害調査と建築基準法第39条に基づく災害危険区域の指定にともなう建築規制の原案作成方を建設省建築研究所に依頼したわけであるが，同建築研究所では本市の依頼を直ちに諒とし，同年11月下旬から12月上旬にかけて10日間にわたり第1研究部長新海悟郎氏ほか5名の研究員を本市に派遣し，本市職員および高校生40名を動員して現地調査が行なわれた。

この調査結果に基づき，昭和35年1月「災害危険区域の指定基準（第1次案）」が提示されたが，本基準案の意図するところは「今次台風によるおびただしい損害の直接原因は予期しない高潮による堤防の決潰にあるが，根本的には，海抜零メートル以下の干拓地が計画性にうすく市街化したことに帰因すると考えられ，その対策としては，低地域の体質改善（地上げ，建築規制）が絶対の必要条件で，原則として建築物の地盤面の高さを N.P（＋）3メートル以上と規制することが是非必要である」とされていたため，土木関係方面から強硬な反対意見が出た。すなわち，災害危険区域のうち，第1種に属する臨港地区は，明治の末期から昭和にかけての埋立地で地盤面が比較的高く，おおむね N.P（＋）4メートル以上の高さを有するが，その他はすべてそれ以前に造成された干拓地で，地盤は海抜零メートル以下の部分が多くこれを N.P（＋）3メートル以上に嵩上げすることは土量，運搬機関などの関係から不可能に近いということおよび現在道路の嵩上げについてはなんらの計画もないので，いたずらに建築敷地のみが地上げされた場合は，道路面と段

差を生じ，困った問題を生ずる可能性があることなどがその主な理由であった。

建築研究所では現地の意見をしんしゃくして同案を再検討の結果，同年3月あらためて第2次案を作成された。この案は，臨海地区における防災計画に関する諸事項—すなわち

（1）鍋田干拓地先と横須賀町地先とを結ぶ延長9粁の高潮防波堤が早期に建設されるものとする。

（2）天端幅と被覆が十分で，溢水に対し破壊しない河川，堤防が早期に建設され，その維持管理が十分行なわるものとする。

（3）災害時にも運転をしうる強力な排水ポンプ場が十分整備されるものとする。

（4）荒子川地区開発計画にともない，荒子川地区は土地区画整理事業によって，N. P（＋）1.3メートルまで埋立てられるものとする。

（5）横須賀町地先の埋立地が早期に建設されるものとする。

（6）貯木場は将来西部臨海工業地帯に移設されるまで，築堤その他木材流出防止施設が施されるものとする。

の6項目が一応満足するという条件のもとに立案されたもので，その要旨は，これらの土木工事を勘案して第1次案で問題となった地盤の嵩上げを一部緩和し，これを建築構造面で補足し，最少限人命の保護を図ろうとされたものである。

この第2次案を基礎とし，昭和35年5月，建築局指導部内において，「名古屋市災害危険区域に関する条例案」が起草された。本草案はその後数次の現地調査と検討のうえ8月指導部案として取りまとめられ，引続き関係各局において慎重な意見調整が行なわれた。この間建設省，名古屋市建築審査会，愛知建築士会などの意見もあって，その一部に修正が加えられ，去る昭和36年3月8日第58号議案として市議会に提出され同月10日議決を見たものである。

本条例は，建築基準法第39条を根拠とし，名古屋港周辺を含む南部低地域一帯を災害危険区域に指定し，その区域内における建築物の敷地および構造に関し災害防止上必要な制限を加えたもので，一口に申せば沿岸至近距離に居住施設の建築を禁止し，建築地盤面の嵩上げと床高および構造の耐水性を要求したもので，11条および附則からなっている。特に罰則が設けられていないのは，あくまでその成果を建築関係者の自主性に期待されたもので，条例違反のあった場合，必要に応じ本法第9条の適用によって是正の措置命令を発するという仕組みである。施行の経験にかんがみ，一部修正の要が認められているが，参考までにその全文を末尾に掲げておく。

2. 災害危険区域内の建築状況について

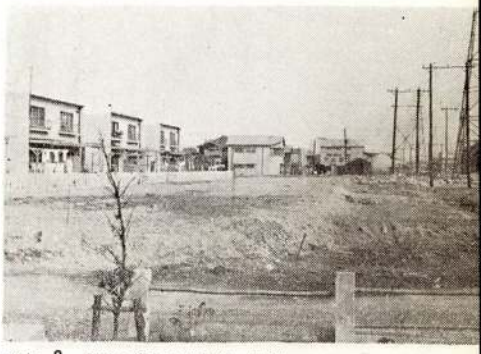
条例の施行に先立ち，あらかじめ施行後の影響を予測して規制の慎重を期するため同建築研究所に依頼して災害危険区域内の建築物の復興状況，今後の復興計画ならびに復興実現のための経済負担能力などの調査が行なわれた。この調査の結果，

（1）条例を施行した場合，地上げ工事を除けば，現在程度の災害復興住宅資金建設融資の域内であまり問題を起こさず，条例の適用は可能と考えられる。しかし，現在35%の建築物については復興計画を全然もっていないが，これらは一に復興資金の調達が不可能なことに起因しているとみられるので，こうした階層の復興を促進するために融資枠の拡大を考える必要があろう。

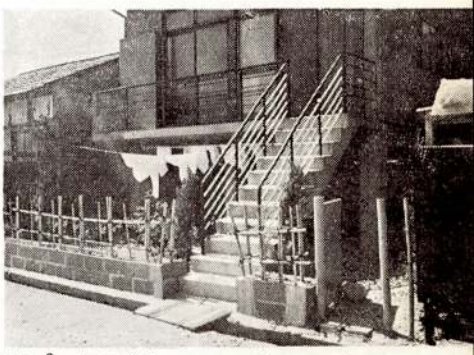
（2）条例適用のため在来の平家木造建築物に対する建築費の負担額は，2階建，1階耐水構造にする場合坪当り12%増となるが，この程度の建築費増は延坪の縮少などの手段により十分消化している。そのため災害危険区域第3種区域内に2階建



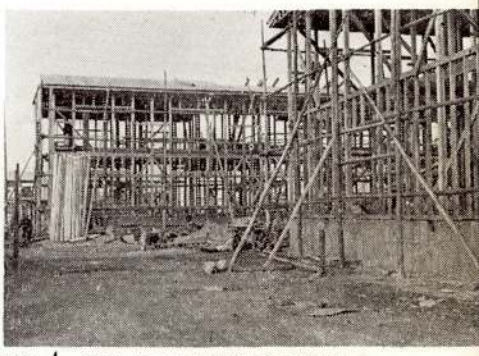
写真—1　敷地の嵩上げ（約60cm）（南区鳴浜町）



写真—2　敷地の嵩上げ（南区七条町）



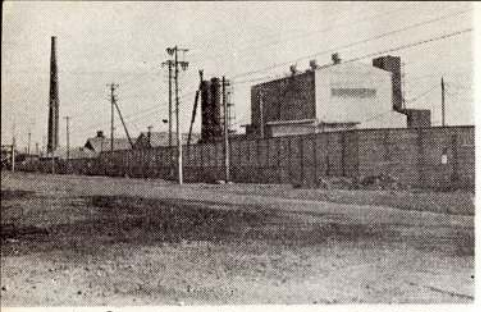
写真—3　床下を鉄筋コンクリート造ピロティ式とした木造住宅（南区笠寺町）



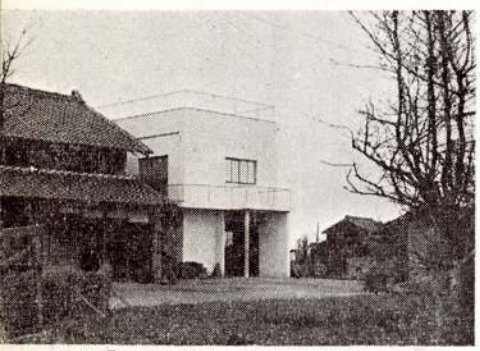
写真—4　基礎を高くした木造寮（南区七条町）

写真—5　ピロティ式とした床下を車庫に利用している会社事務所（港区昭和町）





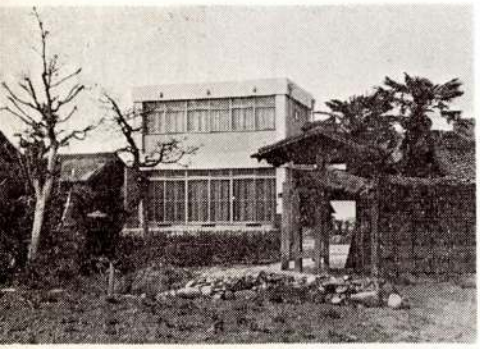
写真—6　工場周囲に設けられた防潮塀（港区船見町）



写真—7　R.C. 農家の一例（港区南陽町）



写真—8　R.C. 農家の一例（港区南陽町）



写真—9　R.C. 農家の一例（中川区富田町）

写真—10　R.C. 農家の一例（港区土古町）

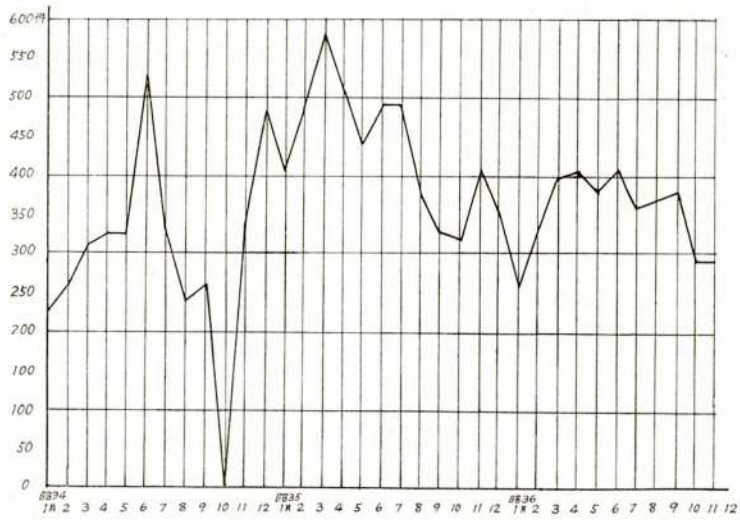


の規制を行なっても，その実現は可能である。ただ，第5種区域（南陽地区）でN.P（＋）2メートルの敷地地上げは建築工事費の35%内外の割増となるため，個人負担では実現は容易でない。特別の地上げ融資を別途に考えるか，その他適切な措置にまたねばなるまい。

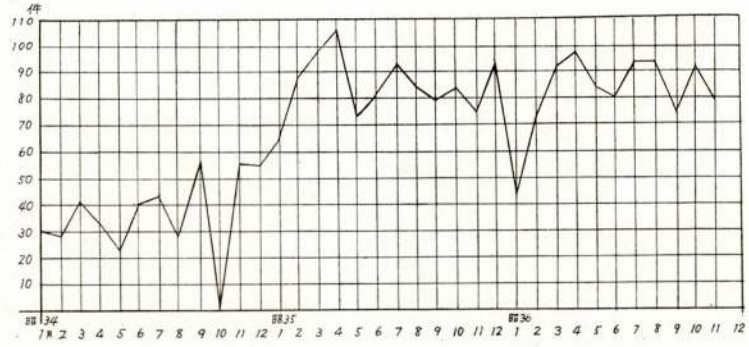
との結論を得ていたので，われわれとしては実施について十分の確信をもっていたわけである。

災害危険区域として指定された区域はおおむねね東海道本線，国道1号線ならびに一部関西本線で包まれた低地域で，港区の全域，南区，中川区の大部分および熱田区の一部であるが，この区域内についてその後とくに建築状況の調査はしていないので詳細は明らかでないが，これら災害4区の台風後今日までの確認申請状況は図—1のとおりとなっており，台風翌年の昭和35年は前年の約50%増という数字を示している。このうち，非木造建築物の件数増加はさらに急カーブをたどっている。

——図—2——一時暴落した地価もその後間もなくはね上り，昨今では災害前のそれをはるかに上回っている。これらのことは，防潮対策事業にともなう安心感もさることながら，名古屋市明日の発展方向が地理的条件により南方に宿命づけられていることを裏づけしているものでもある。中部有数の工業都市三重県四日市市は名古屋市の南方しこの間にある。関東の京浜，関西の阪神に対



図—1　災害4区確認申請受付状況



図—2　災害4区非木造確認申請受付状況

抗する地区は，中部においては名四地区を除いてはあり得ないのである。国道1号線の南約5キロの海岸線に沿って，総工費69億を投じ，いま新たに名四国道が建設中で明年5月には完工予定であるが，これが開通すればこの地区の意義はさらに一段と高まることになろう。

空前の大被害をこうむった災害地区の立上りには，当時少なくも1年以上を要すると想像されていたが，事実は意外に早く，大多数の工場が1～2ヵ月で操業を開始したことは誠に幸いであった。折しも満潮時に最大風速45.7m/secという強風にあふられて最高潮位5.31mという未曽有の記録を残した高潮によって，本市重工業地帯の大部分が海水をかぶり，このため機能を全く喪失したとみられた大工場の重要機械類が手入れの結果ほとんど再使用に耐えたことが大きな原因であった。3ヵ月余にわたって湛水し，2～3年の間は収獲が絶望視された南陽地区の水田も塩抜作業の結果翌年の秋には美しい黄金の波がうった。余談ではあるが，台風の結果預金がかえって増加した一事をみても，地味ではあるが根強い名古屋人の底力をうかがうに足るというべく，この底力が復興に与って力あったことは申すまでもないことである。

条例による建築規制については，前記のように元来本条例が理想案を一歩後退したものであるため，種々の問題点を含んでいるが，就中，建築地盤面の嵩上げについては施行前からとかくの批判があった。しかし既存建築物，仮設建築物などについては一部緩和の道も開かれており，施行後1年半の実績にかんがみるに，当初懸念された事項もさして粗齟を来たさず，おおむね円滑に実施されていると考えている。港の浚渫土砂は臨海埋立用が勢一杯で，民間の一般建築敷地の嵩上げについては原則として10キロ以上もある郊外丘陵地帯から運搬されている実情であるが，約2割の余盛りを見込んでも立米当り600円前後で納まっているようである。嵩上げされた新敷地と従来既存敷地の境界附近では凹凸を生じ，一部面白くない現象を呈しているところもあるが，過渡的段階としてやむを得ないと思う。ただ，予期したところではあるが，第5種区域に属する南陽地区はN.P（＋）0.5～0.6メートルの水田地帯であるため，これをN.P（＋）2メートルまで地上げして建築敷地とすることは工事費においても3割以上の増加となり，実施にやや無理があってむしろ2階建のR.C構造が流行となりつつあり，田園地区に異景を呈している。

高さ測定のための原点として条例は市内熱田区市場町22番地先国道1号線路上所在（熱田神宮の南約50メートル）の1等水準点174—1を指定し，その高さをN.P（＋）6,278メートルと押えているが，本市では施行の簡便に資するため昨年80万の経費を計上して災害危険区域内の要点1,850ヵ所の電柱に補助標示を行なうとともに，さらに近く38ヵ所の小中学校々庭に表示板を設置する予定である。

一般住宅については経済事情からやはりその大多数が木造であるが，台風後非木造が目立ってきたことは前記のとおりで，大なり小なり敷地および基礎の嵩上げを行なっておりまた2階建が圧倒的に増加していることは間違いない。災害時の経験—高潮浸水の速度は想像外に速く，屋外高所に避難の暇なく天井，屋根を破って脱出した実例が相当ある—にかんがみ，条例には緊急避難の用に供するため避難室，脱出孔が認められており，一時平家建の住宅にはこれらの施設を設けたものもあったが最近はむしろ2階建に改修いちじるしくは建増しを行なっていることは好ましい傾向であると思っている。ただし，地震，強風に対する十分な注意が必要である。

36.6．豪雨により，この地区の一部は再び水浸しとなり約23,000戸（市全域では約56,000戸）が浸水したが，床上浸水は極めて僅少であった。このときは伊勢湾台風とは逆で背後地からの雨水によったものであるが，堤防の完備と排水ポンプ場の強化によって数日で減水をみた。もちろん条例規制によって嵩上げされた建物はなんらの被害もうけなかった。元来が低地帯であるため豪雨のたびごとになにがしかの浸水をこうむり，毎年これを繰り返している実情で，このときは人命損障がなかった気楽さもあって，むしろ規制の必要性を再確認するためにも好個の資料であるとさえ思った次第である。

昨年の第2室戸台風では，伊勢湾台風の二の舞を踏んではと万全の態勢を整えて待機したが，中心が関西方面にそれたため，当市の被害は極めて軽微であった。いずれにしても年々才々，このように災害の襲来におののいているようではまことになさけない話で，防災対策についてはさらに慎重な検討を痛感するものである。

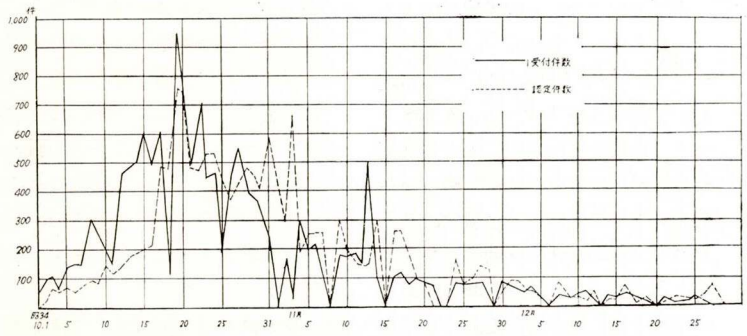
伊勢湾台風を契機として建築費がはね上った。台風直後には瓦1枚100円，亜鉛鍍鉄板1枚1,000円という無茶な取引もあったように聞いているが，これは別としても大工手間台風前800円が直後には1,000円～1,400円となり，屋根工に至っては実に800円が1,200円～2,000円に暴騰した。その後半年でやや値下りおおむね5割高見当で今日まで落ちついているようであるが，この現象は必ずしも当地方のみならず，全国的の趨勢のようで多分に社会情勢に支配されていると考えられるが，伊勢湾台風が一転機を画したことは間違いのない事実で，罹災者にとっては泣面に蜂とでもいおうか。重ね重ねの災難である。建築研究所の意見もあり，少なくも住宅関係については融資の手段を講じたく機会あるごとに金融公庫に災害特別枠の設定を

陳情しているが，いまだ解決されていない。ただ，規制による住宅の2階部と地上げの一部については特別の考慮が払われていることを附記する。

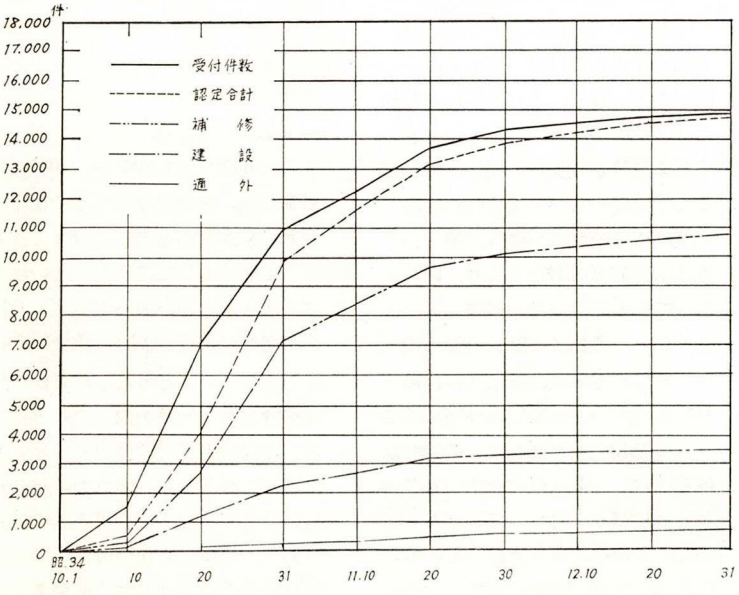
3．公庫融資による災害復興住宅について

火災，地震，暴風雨などにより大災害があった場合，罹災者のための住宅としては，災害救助法による応急仮設住宅，公営住宅法による罹災者用公営住宅，住宅金融公庫法による災害復興住宅などがあるが，われわれは，公庫の委託により，当時もっぱら災害復興住宅の認定業務に従事したわけである。

罹災率2割以上が補修資金として4万円から15万円まで，同5割以上が建設資金として30万円（公庫規定の改正にともない最近では補修資金21万円，建設資金42万円）までの融資の対象となる。その認定が，伊勢湾台風直後われわれに与えられた任務であったが，これがまた大変な仕事であった。予測したところではあったが，なかにはひげは伸び放題で被災に面やつれしたもの，あるいは泥にまみれた作業衣に脚絆巻の申請者なども交えて殺到し，台風翌月の10月19日には団地（社宅）申込みなどもあって最高件数を算し，実に1日の受付935件におよんだ。昨年9月26日が公庫規定による有効期間満2ヵ年目にあたり，申込みの一切を打ち切ったが，集計の結果によれば受付件数18,210件となり，結局台風直後の2ヵ月が山場であった。参考までに当時の申込み，認定の状況を示すと図―3，図―4のとおりである。



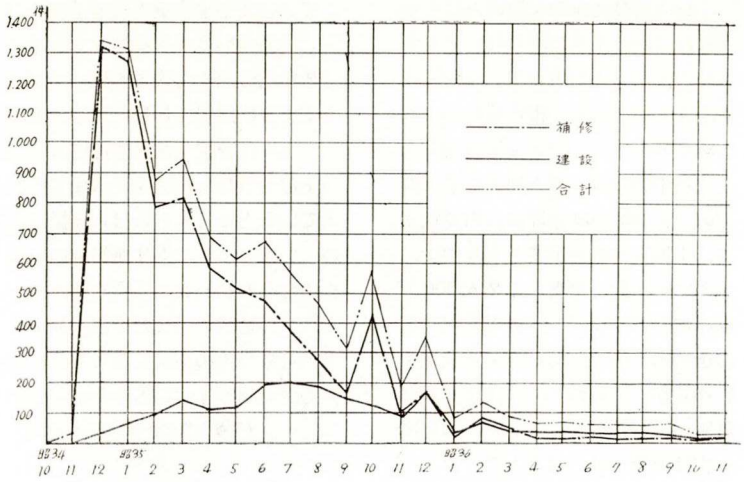
図―3　認定受付査定件数推移状況（昭34．12．31）



図―4　認定受付査定件数累計図（昭34．12.31現在）

建築基準法の規定に基く本市の確認申請件数は年間13,000～14,000件であるから，台風年末までの3ヵ月間の受付件数14,837件は優に年間のそれを上回っていることになる。担当者，申請者ともに未経験者で，一面において相談指導をするとともに他面において泥海と雑踏にまみれこの膨大な申請件数に追随して問題を起こさないように認定件数をこなすことは容易ではなかった。いまここに，いちいちその事例をあげるいとまはないが，業務の実施につれて種々の障壁に突き当った。しかも係員全員が程度に差こそあれ，いずれも被災者である。当時「人並に」という言葉が流行したが，壁に穴があき屋根瓦の一部が吹き飛んだ程度のものは罹災者の仲間に入らなかった。こうした悪条件下に年末までの約3ヵ月間，土曜，日曜なしで文字どおり不眠不休の認定業務が続けられたのであるが，幸い外廓団体などの厚意ある援助などもあって，とにかく大過なくこの急場を切抜けることができたのは感謝に堪えないところである。

昨年12月末の調査によれば，認定をうけ公庫融資によって工事を実施したものは9,635件で，認定申請件数の約半数にあたる。その内訳は，建設2,100件，補習7,535件であと金融機関に関する融資金返済事務を残し，地方公共団体としてのわれわれの委託業務は一切終了した。これらの月別竣工状況は図―5のとおりである。



図—5　伊勢湾台風に伴なう災害復興住宅融資住宅月別竣工状況表

4. 応急仮設住宅と災害公営住宅

災害直後，災害救助法に基づき罹災者の応急収容施設として取りあえず災害地区に 1,196 戸の仮設住宅が建てられた。6 団地に分けられ，団地によって戸数に差があるが最大の汐止住宅は 504 戸。なかには旧南区庁舎改造住宅40戸のように遊休施設を利用されたものも含まれているが標準型は平家建 6 戸長屋，壁下見板張，屋根波形鉄板葺，天井なし，1 戸あたり 5 坪（うち 0.5 坪は共同便所として別棟）という，いうなればバラック住宅で，それでも当時 1 戸当りの建設費約10万円を要したが，寒さに耐えかねて後から天井を張ったり，内部にベニヤの板壁を張ったりした。寄り着く先もない着のみ着のままの罹災者が収容されたわけであるから当然のこととはいえ，その後間もなく不良住宅化し，昨年夏には一部に集団赤痢が発生し，新聞紙上を賑わせたこともあった。

応急仮設住宅の収容期間は 2 ヵ年で，昨年末すでにその期限が切れているが，立退の段になると種々複雑な問題があって早急には片がつかず，その除却状況は現在までのところ 300 余戸に過ぎず差しあたり昭和36年度を初年度とする改良住宅（1 戸あたり10坪）建設 3 ヵ年計画が建てられている。本年度分 216 戸がこの秋までに竣工の予定で逐次これに移されることになっているが，全体の除却完了は早くて昭和38年度と考えられている。

災害公営住宅についても，台風時の市内の滅失住宅戸数約 8,300 戸に対して，昭和34年度 1,500 戸，同35年度 1,165 戸の割当をうけたが，これまた諸種の事情があって実施が遅れ，最近ようやく着工の運びになったところである。

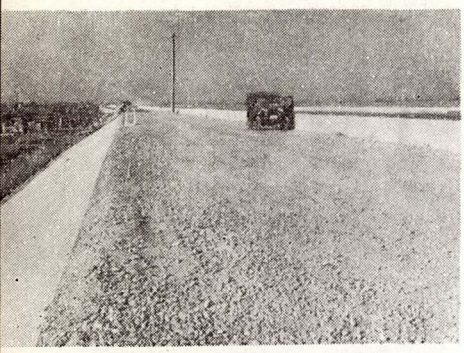
5. おわりに

かっての災害地区を舞台として，いま一環の高潮対策事業が着々と進められている。港湾護岸の決壊19ヵ所，同破損25ヵ所，河川堤防の決壊37ヵ所，同破損22ヵ所におよんだ名古屋港周辺および随所で寸断された南陽南方地区の海岸，河岸の防潮堤については国，県および市（名港管理組合）がそれぞれの所轄に応じて従来の堤防改修復旧工事を行なっているが，国および県の分についてはすでに約70%，市の分についても約50%以上の部分ができ上った。いずれも昭和38年度が竣工期限となっている。また知多半島横須賀町地先と対岸鍋田干拓地先とを結ぶ延長 9 キロにおよぶ伊勢湾防潮堤の築造事業もすでに基本的な一切の調査を終り総工費68億の巨費をもっていよいよ近く本質的な工事着手の段階にあり，さらにまた名古屋港からこの防潮堤に至る間の航路両側は数工区に分けられて昭和40年度までに大々的な埋立実施予定で，すでに横須賀町地先においては最近 100 万坪の埋立が完了し，九州八幡につぐ東海製鉄が建設中でその一部が操業を開始している。

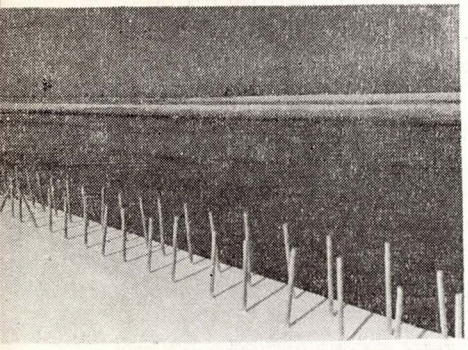
かって柴田，白水地区に人的大被害を与えた因をなした貯木場（直径 1 メートル余のベニヤ板用ラワン原木を貯溜している。）も周囲には R.C 造の堅固な流出防止壁が設けられ，港周辺の内陸部大貯木場はいずれもここ一両年の間に港外西寄りの鍋田方面に移されるはずである。

こうした土木事業の進歩にともなって伊勢湾台風による災害地区一帯の防災条件も今後急速に好転するものと考えられるが，それにしても伊勢湾台風級の高潮に対してはこれらの施設のみによってはその完璧を期することは困難であるとされている。この意味において現行災害危険区域に関する条例の基礎調査を行なった建築研究所では「この条例は，国，県および市が現在行なっている名古屋市の防災計画の一環として構成されているものであるため，これらの公共的施設が完成した暁においても，その施行を廃止すべき性質のものではない」と警告している。

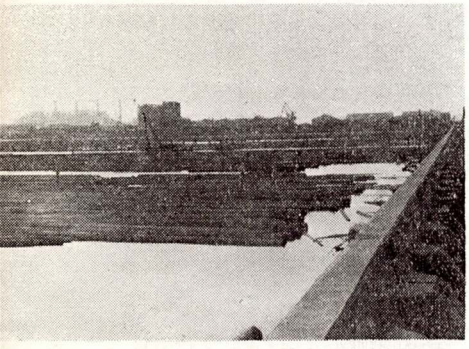
防災建築の促進，ひいては無災害都市の建設——この課題は，伊勢湾台風を契機とし，36.6．豪雨，第 2 室戸台風を裏づけとして，さらに大きくクローズアップされてきたといわなければならない。いままさに発展途上にある大名古屋市の陸の玄関名古屋駅前地区と海の玄関名古屋港周辺地区，このうち名古屋駅前地区



写真—11 改修中の河岸堤防（庄内川，新川河口附近）



写真—12 改修された河岸堤防（庄内川，新川河口附近）



写真—13 貯木場の木材流出防止壁
（港区船見町，8号貯木場）

は戦後短時日の間に驚異的な発展を遂げた。そしていままた市内第一の規模をもって駅前ロータリー周辺最後の一角に大名古屋ビル（仮称）が工事中で，笹島交差点から名鉄ビルにかけての一街区を画して全国一を誇る郊外バスターミナルが近く着工されんとしている。諸種の事情で本市再開発の一大がんをなしていた駅西地区も東海道線新幹線の敷設とともに，いよいよ大改造の機運が熟してきたようである。

これに引替え海の玄関の方はやや立遅れているような感がないでもないが，上記高潮対策事業，名四国道の開設と相まって，市自体においても昭和35年度からの5ヵ年計画のもとに現中川運河の西方地区荒子川周辺の一帯682,000余坪の水田を埋立て，土地区画整理事業を実施中で，すでに第1期工事として216,000余坪の埋立てを完了し，目下進出工場の選考中と聞く。引続き第2期工事に移るが，このなかには荒子川運河計画が織り込まれており，この地区一帯は東海製鉄の建設とタイアップして，いまや本市重工業地帯の核心として力強い息吹きをあげている。

2年前の悲惨な光景を思い起こすとまことに感慨は無量である。辺境においては一家全滅の悲運にあい，いまなお当時の惨害をそのままとどめているところもちらほら見掛けるが，いずれにしても建築指導の一端をになうわれわれの重責を顧みるとき，この地区の健全な発展を期するとともに将来の方針に誤りなかれかしと念じてやまないものである。

（筆者　名古屋市建築局審査課長）

名古屋市災害危険区域に関する条例

（昭和36年3月24日 名古屋市条例第2号）

（趣　旨）

第1条　建築基準法（昭和25年法律第201号。以下「法」という。）第39条の規定による災害危険区域の指定及びその区域内における災害防止上必要な建築物の敷地及び構造に関する制限は，この条例の定めるところによる。

（災害区域の指定）

第2条　次の区域を災害危険区域に指定する。

一　熱田区のうち，1級国道1号線以南で，堀川以西の区域

二　中川区のうち，1級国道1号線以南で，庄内川以東の区域及び関西本線以南で，庄内川以西の区域

三　港区の全域

四　南区のうち，東海道本線以西の区域

（災害危険区域の種別）

第3条　災害危険区域を次の5種に区分する。

第1種区域　直接高潮により危険のおそれがある臨海埋立工業地の存する区域

第2種区域　出水により危険のおそれある低地域の開発予定地の存する区域

第3種区域　出水により著しく危険のおそれのある低地域の既成市街の存する区域

第4種区域　出水により危険のおそれある低地域の内陸部既成市街の存する区域

第5種区域　出水により危険のおそれある低地域の農村集落の存する区域

2　前項に規定する災害危険区域は，規則で定める。

（高さの算定方法）

第4条　この条例において建築物の地盤面の高さ，床の高さ等は，名古屋港基準面からの高さ（以下「N・P（＋）」という。）とし，測量法（昭和24年法律第188号）第10条に規定する永久標識である1等水準点174—1（名古屋市熱田区市場町22番地先路上所在。N・P（＋）6.278メートルとする。）を基準として算定する。

（用語の定義）

第5条　この条例において次の各号に掲げる用語の意義は，それぞれ当該各号に定めるところによる。

一　耐水構造　次のイ又はロのいずれかに該当するものをいう。

イ　主要構造部である柱及びはりを鉄筋コンクリート造，補強コンクリートブロック造，組積造，鉄骨造その他これらに類する構造としたもの

ロ　軸組を浸水に対して特に堅固にした木造で，規則で定める構造としたもの

二　避難室　避難の用に供するため平家建の建築物の小屋又は天井裏に設ける居室以外の室で，次のイ及びロに掲げる構造としたものをいう。

イ　床面積の合計は建築物の延べ面積の10分の1以内，床の高さはN・P（＋）3.5メートル以上であること。

ロ　容易に屋根上に脱出できる開口部を有すること。

三　避難設備屋根上に脱出するための屋内からの階段若しくははしご及び脱出口をいう。

（居住の用に供する建築物の建築禁止）

第6条　第1種区域内においては，海岸線又は海岸線からの距離が50メートル以内で市長が指定する区域内に住宅，併用住宅，共同住宅寄宿舎，下宿その他常時居住の用に供する建築物を建築してはならない。

（建築物の地盤面の高さ）

第7条　災害危険区域内において建築物を建築

する場合においては建築物の地盤面の高さは災害危険区域の種別に応じて，それぞれ次の表に定めるところによらなければならない。

災害危険区域の種別	建築物の地盤面の高さ
第1種区域	N・P（＋）4メートル以上
第2種区域	N・P（＋）2メートル以上
第3種区域	N・P（＋）1メートル以上
第4種区域	N・P（＋）1メートル以上
第5種区域	N・P（＋）2メートル以上

2　次の各号の1に該当するものについては，前項の規定によらないことができる。

一　第2種区域内において，次のイ又はロのいずれかに該当し，かつ，地盤面の高さをN・P（＋）1メートル以上としたもの

イ　階数が2以下で，かつ，地階を有しない延べ面積が100平方メートル以内の木造，鉄骨造，コンクリートブロック造その他これらに類する構造の建築物で，容易に移転し，又は除却することができるもの

ロ　N・P（＋）2メートル以下の部分を将来基礎又は地階とすることができるもの

二　第3種区域内又は第4種区域内において，基礎をN・P（＋）1メートル以上としたもの

三　第5種区域内において，基礎をN・P（＋）2メートル以上としたもの

（建築物の構造）

第8条　災害危険区域内において建築物を建築する場合においては，建築物の構造は，耐水構造としなければならない。

2　第1種区域内において建築物を建築する場合においては，建築物の構造は，前項の規定にかかわらず，木造以外の耐水構造としなければならない。ただし，居室を有しない建築物で延べ面積が100平方メートル以内のものについては，この限りでない。

3　第2種区域内，第3種区域内及び第5種区域内において居室を有する建築物を建築する場合においては，1以上の居室の床の高さをN・P（＋）3.5メートル以上としなければならない。ただし延べ面積が50平方メートル以内の建築物で，避難室又は避難設備を有するものについては，この限りでない。

4　前項の区域内において，海岸線又はこれに近接する浸水のおそれのある河岸線からの距離が50メートル以内で市長が指定する区域内に建築物を建築する場合においては，安全上支障がないと認めて市長が指定する日まで，建築物の構造は，木造以外の耐水構造としなければならない。ただし，第2項ただし書の建築物及び第10条第1号から第5号までに掲げるものについては，この限りでない。

（公共建築物等の地盤面の高さ及び構造）

第9条　災害危険区域内において，学校，病院，集会場，官公署その他これらに類する公共建築物又は発電所，変電所排水ポンプ場その他これらに類する場合においては，第1種区域内を除き，延べ面積が50平方メートルをこえる建築物の地盤面の高さは，N・P（＋）2メートル以上とし，その構造は，木造以外の耐水構造としなければならない。ただし，N・P（＋）2メートル以下の部分を将来基礎又は地階とすることができる構造とした場合においては，建築物の地盤面の高さをN・P（＋）1メートル以上とすることができる。

2　共同住宅，寄宿舎又は下宿の用途に供するもので，延べ面積が400平方メートルをこえる建築物又は一団地内に建築する住宅戸数が10以上である場合のそれぞれの建築物の地盤面の高さは，N・P（＋）2メートル以上としなければならない。ただし，木造以外の耐水構造としたものでやむを得ない事由があると認めた場合及びN・P（＋）2メートル以下の部分を将来基礎又は地階とすることができる構造とした場合においてはN・P（＋）1メートル以上とすることができる。

（特殊の用途に供する建築物等に対する制限の緩和）

第10条　災害危険区域内において建築物を建築する場合においては，その建築物又は建築物の部分が次の各号の一に該当するものであるときは，第1種区域内を除き，当該建築物又は当該建築物の部分については，第7条第1項，第8条第1項および第9条第1項の規定によらないことができる。ただし，第六号に掲げるものについては，第8条第1項の規定を適用する。

一　巡査派出所，公衆便所その他これらに類する用途に供する建築物

二　船着場，木材集積場その他これらに類する用途に供する建築物

三　自動車車庫，電車車庫その他これらに類する用途に供する建築物

四　工場，事業場等における作業場で重要な設備装置がない部分

五　居室を有しない建築物又は居住室を有しない延べ面積が100平方メートル以内の附属建築物

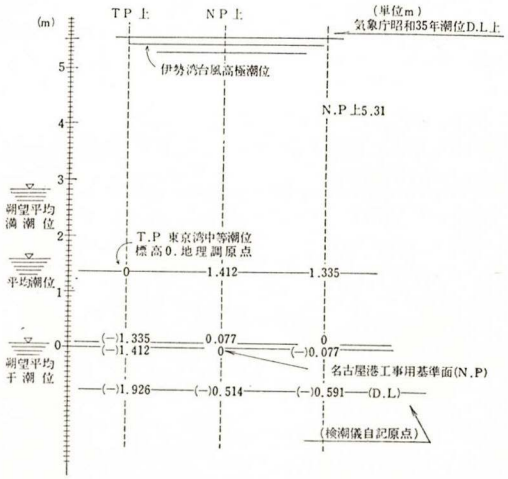
六　店舗，事務所その他これらに類する用途に供する建築物の部分又はこれらに附属する居住室の一部

（仮設建築物等に対する制限の緩和）

第11条　法第85条第4項の規定により，市長が6月以内の期間を定めてその建築を許可したものについては，第7条から第9条までの規定を，既存の建築物を増築し，改築し，又は移転する場合で，周囲の状況によりやむを得ないと認められるものについては，第6条，第7条，第8条第2項若しくは第4項及び第9条の規定は，適用しない。

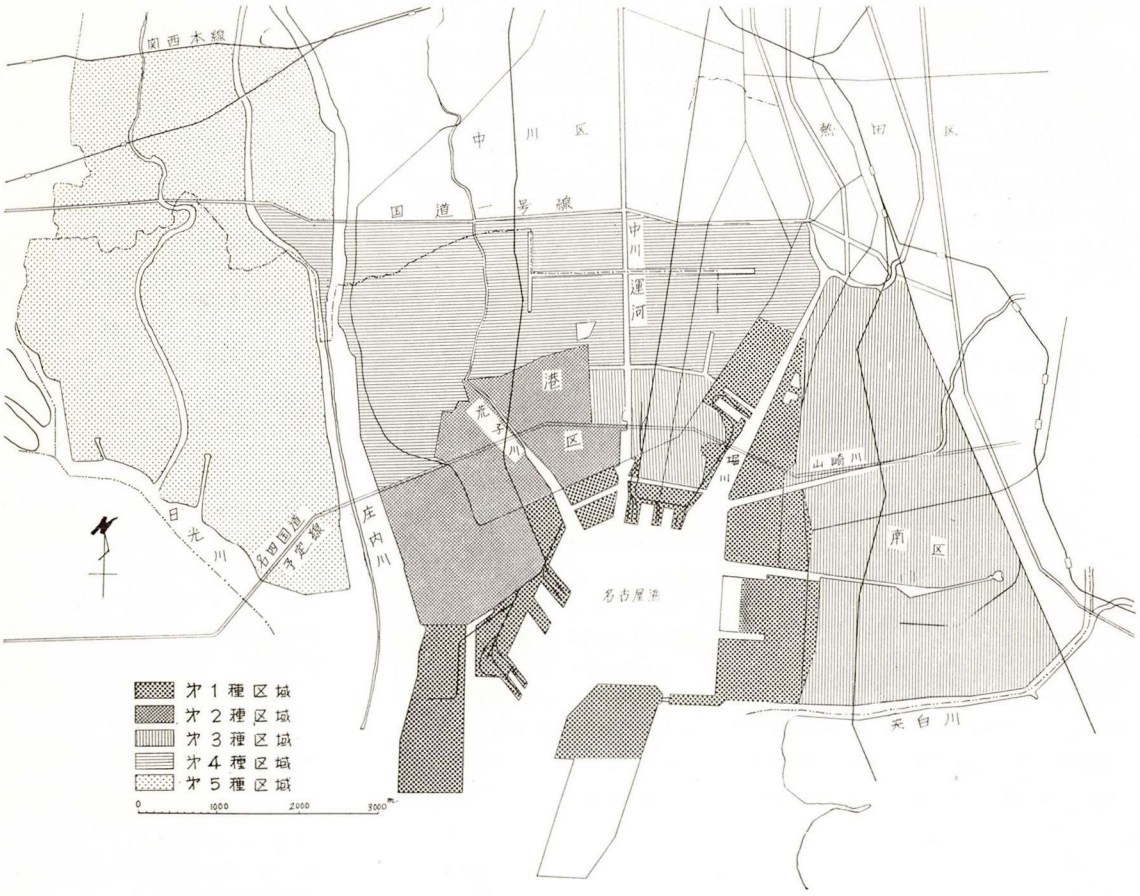
附　則

この条例は，公布の日から起算して3月をこえない期間内において市長が定める日から施行する。



名古屋港基準面（N.P.）の説明図

N. P. とは，Nagoya Peil の略で，名古屋港基準面の意である。T.P.） Tokyo Peil の略，東京湾中等潮位）より1.412m低くとつてある。これは名古屋港における最干潮位にほぼ近いものである。



名古屋市災害危険区域図

特集

名古屋リポート

—計画者の視角から—

■ 都市計画への註文がき　（はっとりちゆき）
■ 名古屋の土地利用計画　（奥田千蔵）
■ 名古屋市の公共施設　（松尾博雄）
■ 地域計画と工場誘致　（御舩哲）
■ ニュータウン開発　（若林時郎）
■ 新しい計画の方法論　（長峯晴夫）

今回の本誌の「名古屋特集」の依頼に応ずるために，日頃よりより集まって都市計画上の問題について論じたりしていた6名で，それぞれの立場から，この都市に光をあてることを試みた。

相互の内容については，とくに調整をおこなわなかったので，六つの原稿が一貫したテーマを追求しているとはいえないけれども，このままのかたちでご紹介することをお許しいただきたい。

今回の執筆を機会に，私たちも，いよいよお互いの討論を深めてゆきたいと念願している。大方のご叱声を賜ることができれば，これほど幸いなことはない。　（長峯記）

都市計画への註文がき

—とくに名古屋の現在と将来のために—

はっとりちゆき

名古屋市の都市計画が広く全国にも知られるようになってから数年にもなる。そのころの名古屋はいまだ計画も行き届かず計画の骨子であった道路の拡巾・拡長整理さえも未完成な個所が多く，舗装されない道路には絶えず砂ぼこりをあげていたものだし，かの有名な 100m 大路にはペンペン草がはえている始末であった。この様子をみて，心なき人々の嘲笑をかったものだったが，復興計画の進展にともなって，いよいよ街並は整理されていき，いまでは都心部においてほとんど新しい様相を現わし面目を一新した。こうした今日を見抜いた立派な計画に対して，昨今では，名古屋の都市計画はわが国の都市計画事業のなかでもっとも秀れたものとの定評をかち得てしまった。

もともとわが国有数の都市として成長を示してきた名古屋市は第二次大戦によって大きな被害をこうむったけれども，戦後いちはやく立直ると同時に，新しい時代を予期して都市計画の新しい空間へのアプローチのための姿勢を固めた。その見事さは他の都市の追随を許すところではなかった。そこには，市当局首脳の並々ならぬ心構えがあったとともに，この都市改造に対するねらいを支える計画の戦略と戦術とをいちはやく準備した用意周到な態勢があったという事実を見逃してはなるまい。

折しも，本年度「朝日文化賞」が名古屋市の都市計画上の立役者であった田淵寿郎氏（元市助役）に与えられ，その事業上の功績を大いに賞讃したことは，「現代都市の悩み」(1)がわが国はいうにおよばず世界的な問題となっている昨今まことに当を得た評価であるといってよかろう。

ところで，「現代都市の悩み」は，わが名古屋には無関係であるといったような安易な問題ではなさそうだ。それは資本主義大都市に共通の深刻な悩み——混乱，無秩序，不経済，危険 etc——であるのだ。

戦後十数年を通じて築きあげられてきた名古屋の都市空間ならびに都市施設にしても「現代都市の悩み」にどれほど対処し切っているのだろうか。こうした「悩み」のその出てきたるもとは，おそらく資本主義体制のなかでの現代的な諸要求のなかから見出すことができるのだが，ひとり名古屋は都市計画において Nagoya Commune と称して安閑としておれるものだろうか。

地価騰貴，旧市街地の老化といった一般的問題から最近の交通ラッシュと事故の増大，臨海工業地域開発にともなう公害の問題に到るまでの「不経済」(1)の問題，さらに都市に対する新しい要求（とくに市民の要求）につぎつぎに対処するための「経済」(1)化するといった問題等々。徐々に移り変わり行く都市の変化に都市計画は空間の創造，変革という行動を通じて対処しなければならない。それに，最近の伊勢湾台風の際には低湿地に対する計画の無防備さを簡単にバクロしてしまった。ひところまでは名古屋といえば，「高度に発達した農業地域を後背地にもち，生活費は安上がりで労働力も豊かである。気候は温和で，台風などの被害も少なく大変暮しよい」とされていた。

ところが近ごろの名古屋は台風は来るし，物価は上昇する始末で全国一暮しにくい都市になってしまったといわれている(2)。この間の事情も，単に台風がきたために偶然に物価高になったというものではなく，名古屋が資

表 1　産業3区分別人口の推移（名古屋市統計年鑑 S.35）ただし，区域は現在の市域

年別	第1次産業	第2次産業	第3次産業	年別構成比		
				第1次	第2次	第3次
昭和5年10月	33,792	163,234	209,913	8.3	40.1	51.6
〃 22年10月	27,559	155,587	142,568	8.4	47.3	43.3
〃 25年10月	28,674	170,031	216,945	6.9	40.9	52.2
〃 30年10月	24,671	244,989	305,254	4.3	42.6	53.1
〃 33年12月	24,660	284,730	335,990	3.8	44.1	52.1
〃 35年1月	23,450	303,810	373,980	3.3	43.3	53.4

表 2　名古屋市の人口
（名古屋市統計年鑑および国勢調査より）

国勢調査年度	新市域人口	増加率
大正 9年	651,596	100
〃 14年	816,660	125
昭和 5年	961,283	148
〃 10年	1,147,328	176
〃 15年	1,367,879	210
〃 22年	904,245	139
〃 25年	1,083,412	166
〃 30年	1,336,780	205
〃 35年	1,591,935	244

本主義都市として一人前になったために必然的に引き起こされた結果であると理解した方がよさそうだ。重化学工業部門の開発，第2次，第3次産業人口の急速な増大（表1），別の現象では人口の市内外への移動は昭和34年で87,047人，社会増が23,681人となって年々増加の傾向をたどり，全人口においては最近160万人[3]を越える状況であってみれば（表2および注），そこからおのずから生ずる消費物質の莫大な需要に対し，旧来の農業生産のあり方や旧来までの商業流通機構では到底間にあわず要求を満たすことにならないと判断するのが妥当であろう。こと都市空間と都市施設についても同じことがあてはまるであろう。一例を自動車交通にとろう。

名古屋における最近の自動車保有量の増加はいちじるしく実にこの数年で2倍以上のふえ方で全国の水準をはるかに上回っている（表3）。ここに生ずる膨大な交通量をさばくために広い巾員を準備するだけで足りないということは現実がよく示している。

名古屋の計画がき

ここでしばらく名古屋の都市計画の概要を眺めてみたい。名古屋の計画は大正9年都市計画法が施行されると同時に本格的に始められたと考えてよい。もともと大正初期から行なわれた耕地整理・区画整理による市街地の整理開発をもとにし，都市計画区域を始めとして総合的な用途地域，街路網，公団，運河など都市計画として決定された。この伝統は戦後にも受けつがれ発展した形で表わされた。

戦災復興事業につづいて，昭和31年には市域周辺3ヵ町を含めた面積約 282.4 km² の地域を都市計画区域とし，さらに将来計画においては昭和60年度の人口を350万人と想定して周辺1市13ヵ町村を含めた面積約 430km² を考慮している。用途地域，専用地区においても大正13年を最初として，戦後も2回にわたって改定をしているが，その動向は表4に示すごとく大正13年から約40年後の現在およそ1.73倍の増強である。

この都市計画地域内の人の集まりは，人口密度で表わすと約6,400人/km² となって，さすがに現在までのところ東京・大阪の約 14,000～15,000人/km² に比べて余裕のあるところを示している。道路計画をみよう。道路計画は戦災による焼土のなかで大規模な企画のもとでまったく新しいものとして始められた。巾員 100m の2大幹線，巾員50mのもの9路線，巾員 32.73m（18間）のもの7路線，巾員30mのもの13路線等々幹線街路総計43路線，総延長 268,451m，補助幹線街路（20～15m）55路線，総延長 177,164m といったような街路計画からなり，都心部の商業地域にあっては幹線街路を 500m 間隔に，周辺部住居地域，工業地域においては 500m～1,000m でクロスする方式をとり，さらにこれら幹線街路の中間に補助幹線街路1本配置するといった考え方である。このほか追加変更にともなって36年度現在では，幹線街路総計50路線，総延長 345,271m，補助幹線街路91路線，総延長 324,877m となっているが，これらは戦災復興事業，土地区画整理事業により大半用地が確保され，その上に平面的に造成されたものである。

高速度鉄道計画（地下鉄）をみよう。この事業は 100万人都市に必要な輸送手段を採用したというにすぎないのではあるが，計画上，技術上実施の上では大変むずかしい点が多い。当初，これらは問題になり，高架にするか地下にするか（堀割式という案さえあった！）というような問題も，地下鉄でかつ，開発工事はオープン・カ

表3　名古屋の自動車台数および全国との比較
（名古屋市統計年鑑 S.35 および国民生活白書 S.35 より）
注：（ ）内は指数

	昭和30年末	昭和31年末	昭和32年末	昭和33年末	昭和34年末
自動車総数（全国）	726,592 (100)	849,741 (117)	964,729 (133)	1,075,684 (148)	1,218,850 (168)
自動車総数（名古屋市）	49,513 (100)	61,728 (125)	71,964 (145)	85,341 (172)	106,964 (216)
貨物自動車	18,348 (100)	22,913 (125)	26,701 (146)	30,249 (165)	36,723 (200)
普通乗合自動車	719 (100)	837 (116)	962 (134)	1,116 (155)	1,237 (172)
乗用自動車	5,229 (100)	6,504 (124)	8,192 (157)	10,330 (198)	13,598 (260)
特殊用途車	1,007	1,299	1,573	1,840	2,120
特殊車	34	94	152	211	319
小型二輪車	24,176	1,537	1,667	1,748	1,801
軽自動車		28,544	32,417	39,847	51,166

表4　名古屋都市計画用途地域変遷表（名古屋市計画概要 S.36）

地域名	大正13年10月		昭和26年4月		昭和32年10月		昭和36年3月	
	面積 (ha)	%	面積 (ha)	%	面積 (ha)	%	面積 (ha)	%
住居地域	8,082.3	55	8,674.6	51.6	12,807.2	50.0	12,282.2	51.9
商業地域	1,471.4	10	2,317.7	13.7	2,699.6	10.9	2,804.5	11.0
工業地域	4,788.0	32	4,675.3	27.8	6,112.2	24.8	6,410.0	25.1
準工業地域	—	—	1,167,0	6.9	3,028.2	12.3	3,069.2	12.0
未指定地	374.5	3	—	—	—	—	—	—
計	14,716.6	100.0	16,823.6	100.0	24,647.2	100.0	25,565.9	100.0

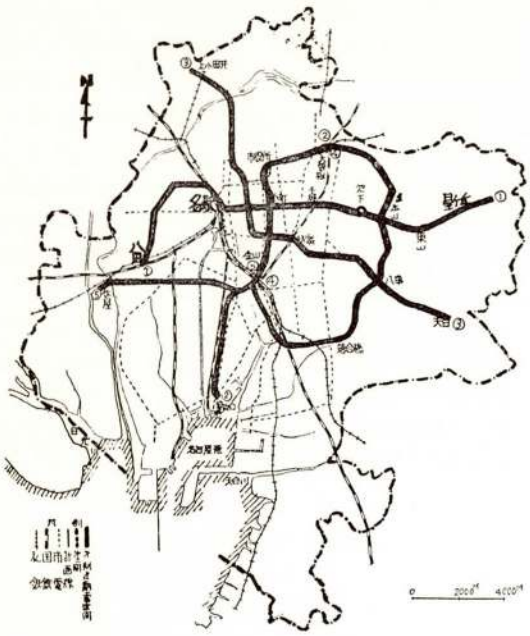


図１　名古屋市高速度鉄道計画路線網図（S．36．4）
―名古屋都市計画概要より―

ット・システムという経費のかからない法を案出，実行した。現在までのところ，東西路線「名古屋駅―地下」間であるが，バスで約30分かかるところを約13分に時間短縮した。路線配置は当初放射線型をとっていたが，最近では副都心化の傾向とにらみあわせて環状型プラス放射線型の計画へと変ってきている。これによって，都心（栄町・名駅前）―副都心（金山橋・大曽根）間の連絡も大いに改善，活発化されるであろう。将来，路面電車との交替も考えられる。（とくに都心部において路線数が多いことは，路面電車の用を十分充足するに足りる。c. f. 図１）

最近，重化学部門を中心とした工業の地域的開発が全国的にさかんであるが，名古屋市およびその周辺においてもその例外でない。このことは，計画の大きさからいって，ここでは中部経済圏の問題としてとりあげられている。愛知用水然り，港湾開発然り，臨海埋立計画然りである。さらに，施設的な計画についてみると，主なものに公園・緑地・墓地（平和公園共同墓地は田淵氏の構想で，これは高く評価されている。）の開発整備，都心部における駐車場，自動車ターミナル（名駅南，郊外バス専用，敷地面積約 13,570m²，うち建築物敷地約 7,580 m²といった概要をもつ）の整理・建設など都市計画がなされている。

さらに，他都市と異なってユニークな施設計画としては一団地官公庁施設の建設整備がある。これは，従来の市役所・県庁々舎の立地にからみ合わせて，面積19.7haの区域を官庁街としょうというものである。この計画による土地利用構成は宅地65%，道路28%，公団７%で建蔽率35%以下，容積率100%以上とし壁面は 15m 後退させ，前庭とするなどの企画で，建物の高さ，外観，構造の統一を計るといった点も都市計画上から決められている。また，住宅団地経営においても千種台で有名な名古屋においては市域東部丘陵地帯に星ケ丘団地（6.22ha）はじめ猪高 1～4 号（合計15.74ha）のごとき一団地住宅経営が行なわれている。この建設事業は日本住宅公団が実施しているが，前者で517戸，後者の合計2,083戸の予定で，その事業の大きさがうかがえる。ここには，共同施設（小学校・店舗・集会所・公団など）が含まれていることはいうまでもない。このほか敷地約21万坪といわれる名古屋大学を中心とする都市計画学校団地がある。

かくして，いまだ利用度の低かった土地に対する積極的な土地利用計画を中心とした一連の都市計画事業は着々と進行して，とくに東部丘陵地一帯の大きく新しい変貌をみたのであるが，実はその影にいまだ困難な問題がないというわけではない。もちろん，ある種のもの，例えば名古屋駅西一帯の blight した地域などは都市改造土地区画整理事業の一環として事業が進んでいるのだが，他方，台風のとき多大の被害をうけた南部地域のごとき悪い環境に対する十分な対策が講じられていない点を忘れてはなるまい。ちなみに，罹災地区の当時の状況をみると，南部４区＝熱田・中川・港・南の人口は 444,406 人で全市の29.5%にあたる。また，人口増加率では昭和25年～30年で，南区 39.9%，つぎの5年では 22.0%で全市区別で最高となっているのである。ほかの３区は若干低いけれども，この４区にはどのような人が住んでいるかをみると，労働者比率が高いのである(4)。とすれば，都市計画事業としての星ケ丘・猪高にみたホワイト・カラー層のための一団地住宅経営との対比はあまりにも明暗があるといわねばならない。こうした取りこぼしたような問題ばかりではない。いままでの施設の量的供給を主とした計画から，さらに施設の質といった面に目を向けなければならない。生産性の向上，階層分化の促進，生活様式の大衆化，マス・レジャー等々，これらは資本主義都市としての名古屋の計画の新しい条件となるであろう。

都市計画への註文がき

都市計画は広い意味の都市生活のための物理的空間の計画と実施であるが，現代における都市生活の諸要求はあまりにも多く，かつ系統だっていない。とくにその系統性をとりたててみるならば，それは企業の要求を主とした一貫性があるといえるであろう。しかし，企業が一方的に主張を通すことが決して企業にとってもプラスにならないということは都市の歴史と現実をみて明らかなことである。名古屋市の場合もその例外でない。こうした名古屋における都市空間の問題点について若干のべて

みたいと思う。

およそ，都市計画の事業や計画は土地を切り離して考えられない。したがって，土地利用といった面に端的に矛盾が現われてくる場合が多い。名古屋の都市計画事業の場合も土地利用計画が基本であり，またその矛盾が具体的に現われてきている。地域指定によって社会的分業の定着化を計ること，公園，緑地の確保によって都市大気の自然浄化機能を確保しておくことはそれなりに大切なことであるが，問題はそれだけですまされない。地域指定における名古屋の住宅地域をみると，東部丘陵地の開発による住宅地域化は今後増大するホワイトカラー層の収想しての処置であるけれども，一部既存の西部から南部にかけての低湿地の住宅地域に対する対策はどうなのか，大いに疑問を感ずるのは当然であろう。

さらに，これらの低湿地域に限って，人口密度も高いわけであるから，それなら土地の高度利用や建物の不燃耐震化への態勢を固めることこそ重要であろう。あるいはまた「如何なる都市であっても理想をいえば，蔬菜・花卉などぐらいは自給自足したい」(5)という考えがあるならば，近代的な農業生産または農産物加工業という面で土地利用を高度化することも考えられないであろうか。他方かの東部一帯の住宅地は，少なくともその南半分は南部工業地帯のベッド・コミュニティーとして計画されなかったか。名古屋市のもつ計画の矛盾がここに現われているようだ。

道路・路線計画についていえば，ともかくも区画整理方式による用地取得は結果的に大量の土地取得をみたけれども，市員が拡がっただけでは車の流れは処理できない。区画整理方式自身が地主尊重の弱い面をもつことにもよるが，その方式だけに今後も市当局がたよっていくならば，道路系統・立体交通網といった考えへは到達できないであろう。さらに区整方式によって造り出された都心の道路には多くの交差点を生み出し，主道路の車の流れを止めるように作用していることを忘れてはなるまい。道路系統の不備は都心部外への目的を持つ車を都心に招き寄せている。例えば，駅前南北線には通過交通だけのための貨物車まで混って流れを麻痺させるまでになってきている。道路は「スピード化」に順応するように考えられ配置されねばならないのに，平面的な市街地の道路が速度制限にやっきにならねばならないのは決してほめられた計画ではない。これでは，名古屋の道路は市員が広いというだけで，東京・大阪のそれと違わないのではないか。

つぎに施設面をみよう。たしかに，文化的におくれた名古屋市民を啓蒙するためには，大学の整備充実や公団を開発整備したりすることは大いに望ましいことであるけれども，それが，現代において大部分の市民の生活とどのように関係し，どのような要求を反映しているのか。一体，都市における「外部不経済」をになわされている多くの人々に，簡単に文化を要求したりすることができるであろうか。それさえも飛躍していることなのに大学を充実したからといって，都市の文化水準を上げることになると思い上がってはならない。教育 (Education) は教養 (Cultivation) をよりどころとして発展するという考えからすれば，もっと手近かな教養施設にも計画をもたねばなるまい。そうしてこそ大学も都市市民に定着したものとなるであろう。

ところで，近ごろとみに都市生活の様式が変わって生活の余暇利用の面が強く現われてきているのだが，公共投資はこれに対して早急な対処をしているであろうか。例えば先にのべた公園をとろう。かっては，当時としては画期的であった鶴舞公園，東山動・植物園を造った名古屋市であるが，レクリエーションの要求がパッシィブな行動からアクティブな行動へと変化をみている現在，相変らず，パッシィブなレクリ施設の供給にとどまっている。名古屋城の再建はこの例である。歴史博物館への投資としては意味をもつこの施設は，実際には市民よりも市外・県外の人々の観光見物に役立っており，市民の要求とは直接結びついていないのは前述の生活様式の変化からみて当然の帰結といわねばならない。東山動物園にしても，戦後の一時期から客は減る一方で，やはり市民には十分利用されていない。裏返していえば，市民の要求にこたえていないといえる。

紙数の限られた範囲で，最後に簡単にまとめると，わが国のごとき土地問題の多い所では，土地の高度利用を考えねばならない。高度利用は，投資の効果といった面だけでなく，だれのための利用なのかを明確にしたうえで，施設が高度に利用されることを目的としなければならない。一口でいうならば，外部経済は企業のためだけでなく，むしろ，外部不経済を担わされていた人々により多く享受されるのがよい。公共投資はそのとき十分意義をもつであろう。供給の面でいうと，量的供給から質的供給へと計画の次元を高くすることこそ望ましいと考えるのは私だけではあるまい。

注（1）都留重人：都市問題への一提言：朝日ジャーナル 62.1.14
同　上：米国の都市改造：朝日新聞 61.6.4

（2）34 年度の消費者物価指数（昭和30年=100）をみると，総合で106.5となって東京，神戸の106.3を上回って1位であるが，常用労働者平均賃金をみると，34年度愛知県の男子 24,539円，女子 10,028円で東京の男子 25,535円，女子 13,681円と比べて大いに下回って，6 大都市在府県中最低である。
またこういった名古屋の事情は，富田嘉郎編「名古屋」：有斐閣にくわしく述べられている。

（3）昭和36年12月1日現在の人口1,647,000人となっている。

（4）ここでの参考文献は
名古屋都市計画概要：名古屋市計画局：36.4
名古屋市災害危険区域における建築物復興状況調査：新海悟郎他：名古屋市36.6
名古屋市統計年鑑：31～35年：名古屋市

（5）田淵寿郎：都市計画—特に名古屋について—：新建築1958.3

（筆者　名古屋工業大学講師）

名古屋の土地利用計画について

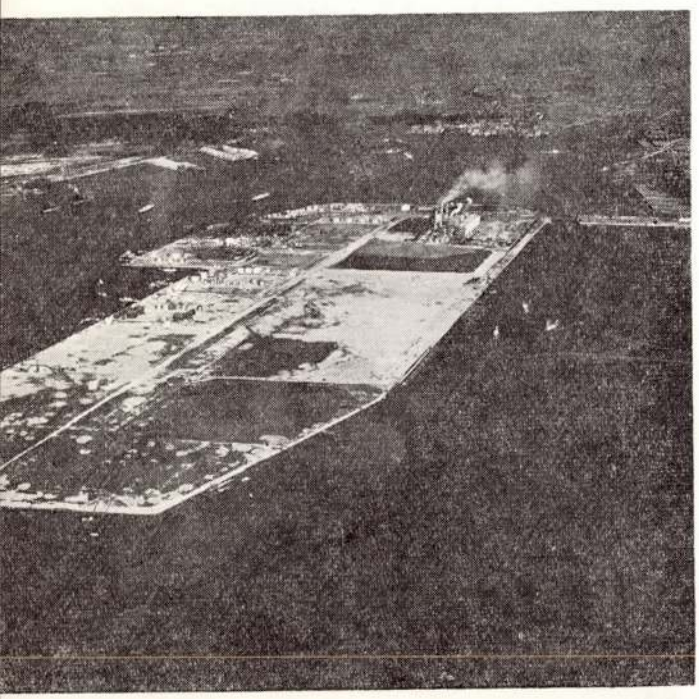
奥田千蔵

民主化された都市づくりのための土地利用計画

都市の生活に，より多くの自由が得られるようになって以来，多くの人間が都市に住むことを求めるようになってきた。精神的自由，活動の自由，楽しみを得る自由など，あらゆる生活の自由が得られるようになった現代の都市においては，都市に対する人間の集中がなおいっそうはげしくなってきた。しかし，それは必ずしも人間が，より集団的に生活することによって，お互にいっそう合理的な生活が獲得できるというような意識や自覚により集中しているとはいえない。なお現代社会の急速の進歩は科学の進歩とともに，都市の諸要求をいっそう増大させ，このような人口集中のはげしい都市はもとよりどの都市でも雑踏や混乱を増大し，市民生活のあらゆる分野にわたってその秩序化が，大きく要求されるようになってきた。

都市が存立するための本来の目的は，この自由と秩序が成立する都市，すなわち，よりいっそう民主化された都市にあるであろう。都市計画の要請もこのことによるのではないか。

こうした都市づくりのためには，まず，市民の生産，消費，文化など，都市のあらゆる生活活動の基盤となっている土地の利用方法を，秩序ある合理的なものとし，土地，建物，すなわち都市空間についての総合的整備をはかり，雑踏，混乱から救済し，この基盤のうえに民主的な社会組織を成立させるよう都市づくりを推進しなければならない。



活況をみせる名古屋港とその周辺の埋立て造成事業

個性ある都市づくりのための土地利用計画

—青年都市名古屋のために—都市が生成発展する生命体であるとの見方からして，名古屋はまさに青年都市であるといわれている。都市計画的な見方からしても，名古屋をこのような都市として理解することは，極めて妥当であると考えられる。このような見地から，名古屋のバイタリティや，ポテンシャルなどをよく理解してゆくことが，今後の名古屋をいっそう育ててゆく方策を見出すことのできる唯一の道といえよう。

また，都市にもそれ自身のもつ個性がある。当然この個性を見出し，かつ，愛して，個性を伸ばす意味において，これに適合した計画をたててゆく必要があろう。

土地利用計画をたてるにあたって，まず問題になることは，都市の将来規模および性格の想定にある。この想定にあたっては，当然，過去から現在にわたって，その発展の状況を検討する必要がある。

—中部広域圏の核心都市としてまた近代産業都市として—名古屋市は古く熱田神宮の発祥により集落が開けたと予想されるが，市井の基礎は封建時代名古屋城の築城により始まった。爾来，城下町として政治的にも軍事的にも重要な地位を占め，豊穣な濃尾平野の中央部伊勢湾に面して，商業も盛んであった。

明治以降は政治，経済の近代化とともに，その立地条件から，商工業都市に脱皮し，以後その発

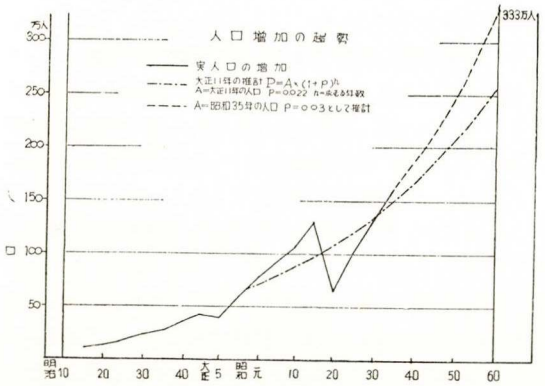
展は極めていちじるしい状況にあった。戦時態勢に入ってからは軍需産業都市として発展はいちじるしく，昭和16年には，戦前の最高 136 万人に達した。しかし名古屋が軍需都市であっただけに第二次大戦の打撃は大きく，終戦直後の人口は59万人までに激減した。しかしこの戦災復興事業はその計画の総合性からも画期的であった。戦後16年を過ぎる今日その成果は極めて顕著なものがあり，名古屋市の今後の発展の大きな基盤を築きつつあり，人口もすでに 165 万人に達し，明治22年市制が施行されて以来70数年の今日，当時の人口約15万人の一躍10倍余に達し，その面積においても13方粁から 250 方粁に拡張された。



戦災復興事業によりすつかり市街地は整備され高度利用，再開発が推進されている都心地区

この発展の要因は，豊穣な濃尾の大平野，および中部，北陸までもヒンターランドとする中部経済圏の核心都市として，この中部経済圏の拡大と発展に対応して，これを導く意味において，経済，社会，文化的核心としての使命をになってきたことにあり，また一方その立地条件が，工業の開発に好適で産業都市としての発展の要件にすぐれていることである。この点において，今日なお，近代技術の飛躍的進歩により伊勢湾沿岸の立地条件が国家的にも認識されるにおよび，その中心である名古屋港の整備拡充とともにその周辺の埋立造成により，技術革新にともなう近代的基幹産業の場として脱皮せんとしており，中部経済圏に対するこの地区の使命はなおいっそう大きなものがある。

—将来人口 350 万人の都市づくりのために—名古屋はこのように，中部経済圏の核心都市として，また近代的な発展のための多くの潜在的要素にめぐまれた，近代産業都市であり，今後の発展はなおいっそういちじるしいと予想されるが，今後の人口増加状況の推計を紹介してみよう。すなわち，この将来人口の想定にあたっては，過去の人口増加の傾向から将来の発展状況を勘案し，とくに伊勢湾臨海工業地帯などの積極的な開発にともなう第二次産業人口の増加とこれに付随した第三次産業人口の増加などを考慮し行なうものとする。



名古屋の都市計画が，都市計画法の施行された当初（大正10年）採用した人口推定式は $P=A\times(1+p)^n$ P：求める幾年後の人口　A：ある年の人口（大正11年の人口）　p：平均増加率（0.022）　n：年数（A より求める年までの年数）であった。これによると別グラフに示されるように，第二次大戦を中にはさんで大きな変動があるが，昭和30年にはほぼ推定線に復帰し，昭和60年には 261 万人が予想される。しかしここで問題になるのは，平均増加率である。戦災により激減した人口が，戦後急激に復帰し，特殊な増加を示した時期は特別としても，昭和30年以降なおも0.03と相当上回った増加率を示している。

ここで今後の名古屋の将来性および，大正11年都市計画が採用した率 0.022 とその後の実績との関係などから都市計画的には今後の増加率を0.03程度を採用することが無難であり妥当と考えられる。すなわち前の式に増加率 p を 0.03 として今後の人口を推計するとグラフに示されるとおり，昭和60年には 333 万人に達することとなる。しかしこの人口は到底現市域内に包容することができず当然はみ出すので，区域を拡張すべきは必然的で，この今後拡張が予想される区域の固有の人口を加えれば昭和 60 年における人口は，350万人としてさしつかえない。またこの将来人口を適正に収容し得る区域は，その生活圏および，市街化の予想からしても，現在の名古屋（250方粁）に周辺のほぼ 15km 圏域に包含される一市13ヵ町村を含めた区域面積約 430 方粁が妥当である。名古屋が将来の土地利用計画を推進するにあたっては少なくともこの区域について進めらるべきであろう。つぎに土地利用計画の立案，推進上の問題点を検討してみよう。

土地利用計画推進上の問題点

—都市計画と土地利用計画—　都市計画の分野におい



名古屋の地理的中心にあり，やがては副都心とし，交通の中心ともなる金山附近

て土地利用計画の策定がどのような立場にあるか，この点の認識は一般にきわめて低くかったようである。また今日までの日本の都市計画の全般の傾向がマスタープランの貧困が指摘されている。このことは名古屋においても例外ではない。土地利用のマスタープランが都市計画のどのような地位にあるかを理解し，過去における日本の都市計画に対するこのような非難や，都市計画の進歩の状況などから推察を加えれば，土地利用計画が少なくとも都市計画の基本計画であるとの認識はうすく，主体性をになうまでにいたらなかったことがいえるであろう。

たしかに既成の都市に立脚した都市計画，とくに土地利用計画などでは，現状に忠実な色のぬり分けでしかなかった面もあったにちがいない。しかし名古屋のように分後発展のいちじるしいと予想される都市に対する土地利用計画はどうあるべきか，少なくともなおいっそう前向きの姿勢で進まなければならないであろう。土地利用計画を真に将来の都市を導くための充実したものにするにはなかなか容易なことではない。すなわち，広範な都市総合調査の必要性，これらの適格な資料収集の困難性，既成市街地に対する方策など多々あり，主体性をもたせるまでにはいっそう努力が必要であろう。今後の都市計画をなおいっそう進展させる道は土地利用計画をいっそう充実させ，マスタープランを確立し，行政面においてもこれにあわせて技術的指導法の合理的改善をはかる必要がある。

—土地利用計画の指導性と保守性—　名古屋のように今後発展のいちじるしいと予想される都市に対する，土地利用計画の策定が，今後のすべての開発計画を導く意味において重要な意義をもっていることは，さきにも述べたとおりである。しかし名古屋も日本の都市の例外ではなく既成市街地が広く存在しており，大正13年土地利用計画が策定された当初といえども相当の市街地が形成されていた。また名古屋がいかに区画整理が進歩し市街地のほとんどの地域に区画整理が進められたといってもそれは決して，名古屋の土地利用計画が合理的，積極的に推進されてきたとはいうことにはならない。

この点，区画整理は市街地造成上は意義があったかも知れないが，土地利用上の積極性においてはとぼしかったともいえる。土地利用計画を積極的に推進されたものとして過去においてみるべきものは，中川運河開発による沿線の工業地開発と，臨港地帯の埋立てによる名古屋港東部工業専用地区，最近に至っては東部丘陵地の住宅団地開発，荒子川運河開発による工業団地開発などであろうが都市全般からすれば，わずかといわなければならない。しかし区画整理事業でも，市街中心部の1,000万坪の区域にわたり実施された戦災復興事業は，街路，公園，学校，鉄道，墓地の整理などの総合的配置計画から別の意味で積極的であったといえる。

このような現状にあって，土地利用計画がなんのPRもなく，守られてゆくのをただ待つばかりで，しかもそれを最後まで永年にわたり守りとおすことにおいて，その効果を発揮できるという大きな保守性に，この消極性が加わって，内面的にも外面的にも脱皮し，急速に発展して諸要求を増してゆく都市を将来どうするか，今後まことに多くの問題が残されているといわなければならない。

都市計画は常に社会経済などの諸要求に応えてこれを誘導する技術であるといわれている。たしかに土地利用計画もいったん決められたものはまったく固定し，最後までこれを消極的に，まもり通すのみでなく，その指導性において若干のフレキシブルな面も必要であるかも知れない。しかし，これはあくまでも将来についてのしっかりした見通しに立って誘導することが必要で，充実した土地利用計画がなければこの乱用はさけなければならない。

むしろこの解決は，区画整理，都市改造，住宅団地開発，工業団地開発，都心の合理的なスーパーブロック的開発，市街地再開発などの事業を大いに推進するとともに，この推進にあたって土地利用計画に積極性，指導性をもたせることにある。

—都市空間の秩序づけのための土地利用計画—　土地利用計画は都市空間の秩序づけをなす基本的な計画である。市民の生産，消費，文化などあらゆる都市活動の場として合理的，能率的であり，しかも快的な場を与えるためには，この都市活動の基盤である土地，建物について，すなわち都市空間についての合理的秩序づけが必要であろう。

現在までの土地利用計画は，土地の使われ方が木造建物が主体であったがために立体的利用といってもおのずから限界があり，主として密集をさけるための方策と，

用途的に立地条件による合理的な配置などが主体でありその計画の内容はきわめて平面的であった。しかし，今日においては，高度利用を強く要請される商業地の再開発，また住宅地でも一部にはいっそう立体的に利用することにより，多くの空地を確保する方策もたてられ，また反面オートメ化によりいっそう大きな面積を必要とするようになった工業地など，土地の利用方法がその開発目的により立体的にきわめて多くの変化を要請されるようになり，土地利用計画は建築の容積構成およびそれぞれの土地との相関関係などを主体とする，立体的な方向づけが強く要請されるに至った。

すなわち，建築容積は市民の都市の諸活動発生の根源であり，その把握および，この質的，量的な適正配置，合理的な秩序づけは，今後の都市計画においてもっとも重要なこととなってきた。この要請にこたえ，土地利用計画は平面的から立体的へと進展させ，しかも終局においては，それぞれの土地の開発目的をいっそう具体的に明らかにし，そのうえの市街地がどのような形が理想的であり，またどのようなコムミニティをつくりあげてゆくかを明らかにし，今後の市街地の再開発や開発を積極的に導いてゆかなければならない。

名古屋の将来の土地利用計画について

名古屋の土地利用計画の今後の課題は，いままで検討してきたように土地利用計画の本来の使命を達成する意味において，名古屋の個性を伸ばし，その発展を約束する意味において，また都市空間を合理的に秩序づけるため都市の開発，再開発を積極的に指導する意味において，なおそのほか，多くのいままでの問題点を解決する意味において，より立体的に充実した計画をたてる必要がある。

この要請にこたえるため，現在まですでに350万都市づくりのためつぎのような若干の作業が進められてきているのでこれを紹介する。すなわち，その主なるものは市街化計画である。

昭和60年において350万人に達すると想定された人口を如何に収容するかはきわめて重要な問題である。またこの人口の生産，消費，文化などのあらゆる都市活動の場として合理的，能率的に，しかも快適な場として，この人口を適正に収容することができ，しかも都市としての理想形態を備えることのできる区域を，現在の市域に周辺の1市13ヵカ村を含めた，面積約430方粁の区域と想定した。この想定を基本として名古屋市の個性を考慮し，土地利用計画は自然放任によって生ずる無計画な土地利用の混乱を防止し，秩序ある市街化をはかるため，産業の立地人口の配分は，自然的人為的な諸条件を勘案し，それぞれの土地についての立地条件により，土地の用途ならびに土地利用率および建築容積についての量的，形態的な想定を行ない，既成市街地および未開発地についての改造，再開発および開発の方式について，土地利用の総合的な構想をたて，つぎに示す市街化計画の構想を策定した。

名古屋市においては，すでにこのような構想にもとづき，昭和32年には，30年に合併された周辺の6ヵ町村の区域についの用途地域，空地地区の決定，ならびにあわせて旧市域の高度利用をはかるための諸般の計画変更が行なわれた。当時想定した区域もこの構想とほぼ同一であり，この合併6ヵ町村の他に周辺の1市13ヵ町村の区域を含めたものであった。

―市街化計画―　土地利用計画の根幹となるものは土



名古屋土地利用計画図

既成市街部　適正市街化計画表

区分	地区名	総面積	宅地率	宅地総面積	純容積率	建築総容積	夜間人口 人口/ha	夜間人口 人口	指定地域地区
		ha	%	ha	%	ha	人	人	
商業地	A. 都心地区	350	50	175	300	525	150	52,000	商業　防火（駐車施設の容積を含まず）
	B. 中心商業地区	850					230	196,000	〃　準防火（〃）路線防火
	イ 都心周辺地区	350	60	210	200	420	230	81,000	〃　〃
	ロ その他 官公庁地区を含む	500	60	300	150	450	230	115,000	〃　〃
	C. 副都心地区	650					230～210	148,000	〃　準防火 路線防火
	イ 高層化地区	100	50	50	200	100	210	20,000	〃　〃
	ロ その他	550	60	330	150	495	230	127,000	〃　〃
	D. 地区商業 路線商業 地区	650	55	350	100	350	210	140,000	〃　準防火
住宅地	E. 都心 副都心 周辺住宅地	2,400	65	1,560	70	1,092	190	450,000	住居　準防火
	F. 下町住宅地	700	65	455	60	273	185	130,000	〃
	G. 中間住宅地	1,900	70	1,330	55	730	175	333,000	〃　第8種空地
	H. 周辺住宅地	900	65	585	30	175	120～150	122,000	〃　第2，3種空地
工業地	I. 内陸工業地	2,200						178,000	
	軽工業地	600	70	420	50	210	120	75,000	準工業
	一般工業地	1,600	65	1,020	40	416	65	103,000	工業
	J. 運河，河川沿および臨海工業地	4,500						260,000	
	軽工業地	1,000	65	650	45	295	100	100,000	準工業
	一般工業および重工業地	3,500	60	2,100	30	630	50	160,000	工業 工業専用
合計		15,100				6,158		2,007,000	

地の用途，建物の容積，土地利用率および人口配分計画であるが，これらを総合的に計画したものが市街化計画である。これによって都市空間整備についての多くの問題を解決せんとするものである。

市民の都市活動のあり方は土地および建物の用途および容積に起因する。市民にすぐれた都市活動の場を与えるために，都市の土地および建物の用途および容積ならびに人口密度などについて，この合理的，形態的整備および量的構成の見地から各地域の地価および立地条件などの諸条件に基づいて，将来の適正な市街化をはかる必要がある。このため既成市街地（旧市域約160方粁の区域）の立体的高度利用を保進する区域と，周辺部（合併6ヵ町村および隣接の14市町村を含む区域約270方粁の区域）の近郊地区および臨海地区として考えるべき区域に分けて市街化を計画する。左に示す表は既成市街部の立体的高度利用を推進する区域の適正市街化計画である。

なお周辺部の市街化計画は下表に示すとおりである。

昭和30年に合併した6ヵ町村の区域および隣接14市町村を含む周辺部は近郊地区的な主として低密度地帯として開発する区域で，それぞれの立地条件に応じて閑静な住宅地，河川および海岸線に沿った工場地，地区中心商業地などに区分し，既に市街地を形成している部分およびその縁辺地区を計画的に整理し，また団地開発計画および工業地造成計画により，それぞれの適地に区画整理事業を起こし，統制のとれた住宅地帯，工場地帯の整備をはかる。これにより周辺部の7割程度が実質的に市街化することになる。

周辺部市街化計画表

地区名	面積	夜間人口 ha当人口密度	夜間人口 人口	摘要
	ha	人	人	
近郊住宅地	9,400	110～120	1,080,000	住居地域　第2，3種空地地区 宅地率　65%
地区中心商業地	700	200	140,000	商業地域　準防火地域 宅地率　65%
内陸工業地	2,800	70～80	205,000	準工業および工業地域 宅地率　70～65%
河川臨海工業地	2,500	30	75,000	〃 宅地率　65～60%
合計	15,400		1,500,000	

なおこれらの表は臨海工業地帯の埋立造成によって生ずる工業地帯約4,050haの面積は含まないが，この地帯の常住人口はあまり考えられないので，その後背地に対して住宅地および地区商業地などの配置について十分な考慮を払っている。

この計画にもとづく人口配分はつぎのとおりとなる。

	既成市街部 約160方粁	周辺部 約270方粁
昭和60年における人口	200万人	150万人
同上人口密度	12,500人/方粁	5,500人/方粁
現在人口（36.10）	約155万人	約31万人
同上人口密度	9,680人/方粁	1,150人/方粁

市街化計画についてのそれぞれの表はたしかにまだ不完全なところがある。それはこれらの数字についての実証的なうらづけをなす資料が得難いからである。名古屋市においては，このために，都心部建築物および人口密度実態調査，市内建物用途別，構造別現況調査，工場調査などを実施して極力この計画を充実したものとすることに努力している。

（筆者　名古屋市計画局計画課）

名古屋市の公共施設

—とくに水道事業をめぐって—

松尾博雄

はじめに

都市が健全で快適な環境に恵まれ，人間性豊かな都市生活を営むためには，都市に十分な施設が整備されていなければならない。また市民生活の利便のみならず，商工業的活動の利便と経済的発展を企てるためにも，種々の公共施設が必要である。すなわち，公園，緑地，上下水道，工業用水，電気，ガス，市場などの諸施設，また生活するに必ず排出される汚水，塵埃，屎尿は完全に処理されなければ，われわれは一日として，それらの堆積したなかに居住することは不可能である。

これら都市施設の配置が適正なものでなければ，せっかくの施設も利用上不便であり，その効果を発揮することはできない。各都市施設には，それぞれ適切なる計画が必要であるとともに，それら諸施設が長期にわたる都市計画のなかで一体化して考慮され，さらに他の諸要件に合致したものでなければならない。

民間投資と公共投資のアンバランス

最近わが国における民間投資と公共投資のアンバランスが問題にされている。池田内閣の所得倍増論に刺激されて民間における企業設備投資は予測されたよりも，はるかに急激に増加したが，これに比較し，公共投資はあまりに差があり過ぎるといわねばならない。公共投資による公共施設の整備が遅々として進まないがために，われわれの生活環境は現況よりもますます悪化する一方である。

交通はいたるところで麻痺状態となり，無理な運転による交通事故も続出する有様で，ついには「交通殺人」なる新語が生まれる始末である。また港では，何隻もかの船が荷揚げできず，沖合に停泊し，街に入れば，騒音，大気汚染は市民の健康を蝕ばみ，夏ともなれば，水道がでない，使った水が十分捌けていかないで随所にたまり，悪臭を放ち，蚊や蠅の発生源となっている。こうした状態が日本の各都市の現在あるがままの実情ではなかろうか。いかに民間事業が盛んになり，その設備が拡充され，生産性が飛躍的に向上しても，これに対応するだけの公共投資がなされなければ，せっかくの設備もその機能を十分に発揮することができない。また，このことが，将来都市の発展にとって重大な障害となるであろうことは明白である。

名古屋市においては前に述べたような種々の理由にもかかわらず，一般に都市計画は他都市と比較して，進んでいるといわれている。しかし，水道事業は他の都市と同様に，その需要に追いつけない実状である。とくに下水道事業の遅れはいちじるしく目立つところである。そこでこの文では公共施設のうち，とくに水道事業に注目し，その現実と直面する問題点について述べてみたいと思う。

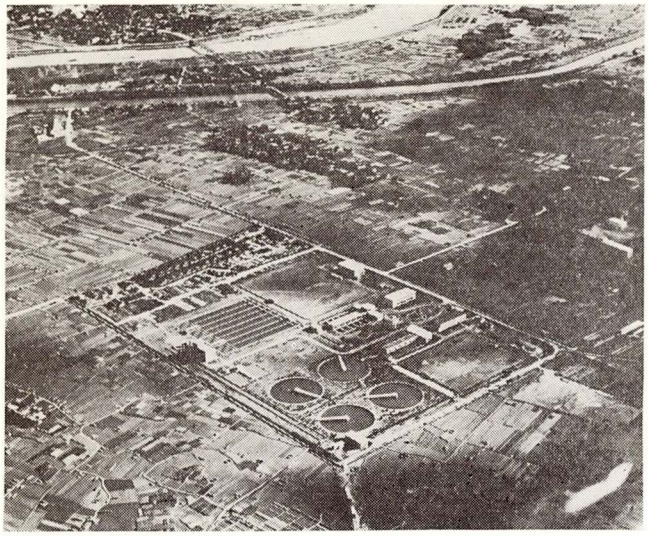
他の華やかな都市計画事業 — 土地区画整理事業，街路，公園事業，市街地再開発—に対して，つねに目立たない存在として現在まで育ってきた上下水道施設は，都市生活にとって絶対に必要な施設であるにもかかわらず，都市計画家，建築家の水道事業に対する認識は稀薄である。水道事業は「地方公営企業」として，独立してきたが，その基本計と密接な的係がなかったためであろうか。将来の都市の規模は水の供給能力によって決定されるであろうことは A. Fleisher が主張しているところであるが，われわれも他の都市施設と同様に，水の問題を真険に考えてみる必要があるのではなかろうか。

名古屋市の水道施設の現況

(1) 上水道

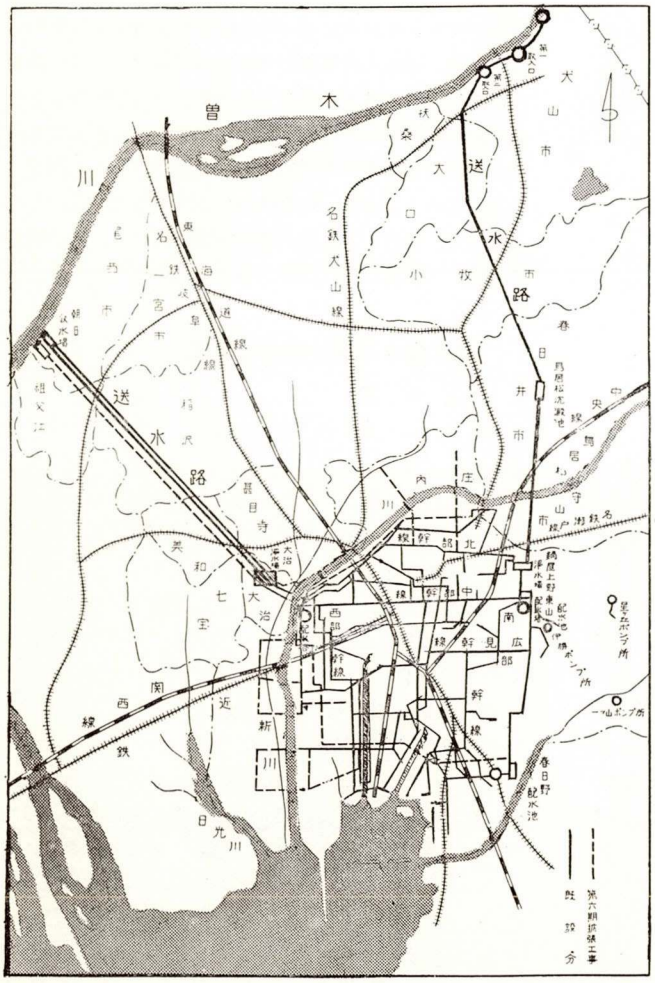
名古屋市は元来，低湿地帯が多く，しかもその地形上から地下水の伏流に乏しく，飲料水は雨水，または汚水が地中に浸透して，井戸に集合したものが多かった。そのため市民は悪水による疫病に昔から悩まされ，飲料水対策は都市衛生上極めて重大な問題であった。こうした事情もあってか，名古屋市の水道の歴史は古く徳川時代にさかのぼることができる。尾張藩第二代藩主・光友のころ（1670年ごろ）にはすでに東春日井郡大森山の近くに水源を求め，城内の各戸に給水していた。

明治22年名古屋市に市制がひかれたが，市民の飲料水は徳川時代からの土管と竹の樋による水道と，あまり良質でない井戸に頼っていた。しかし市制施行後の人口増加のため，井戸の汚染がひどくなり，また火災発生件数も激増し，昔から水に悩む名古屋市にとって，上水道の建設は衛生上のみならず，消防上からも早急な建設が望まれた。明治22年10月に起った濃尾震災を期に，その復



名古屋市大治（おおはる）浄水場

名古屋市水道一般平面図



旧ともに上水道施設を完備しようとする意見が強まった。しかし当時の財政難から実現はみず，その後上水道の必要性は認識されながらも種々の理由で遅れ，ようやく明治43年になって工事が着工され，大正３年になって長年の夢であった給水が実現された。これが現在鍋屋上野系統といわれているもので，その後いく度か施設拡長が行なわれ，現在まで40数年余市民の水源となってきている。

現在本市の上水道はこの鍋屋上野浄水場系統と終戦後昭和21年竣工した大治浄水場系統に大別される。鍋屋上野浄水場は，その水源を木曽川に求め，犬山取水場―鳥居松沈でん地―鍋屋上野浄水場を経て市内に給水されている。また大治浄水場系統は愛知県尾西市の木曽川から取水，大治浄水場を経て，ポンプで圧送給水されている。そしてその最大の給水能力は日量で，鍋屋上野浄水場28万トン，大治浄水場26万２千トン，合計54万２千トンとなっており，現状では一応水不足の不安は解消されている。しかし昭和35年夏には，最大配水量が１日に58万トンに達し，給水の危機に追いこまれたことがあった。そこでこれに対処すべく，下記表のごとく第６期拡張工事が計画され，昭和35年より着工されているが，これは昭和50年度の計画給水人口 196 万人余り，１日最大配水量95万トンを目標としたものである。

名古屋市水道第６期拡張工事の概要

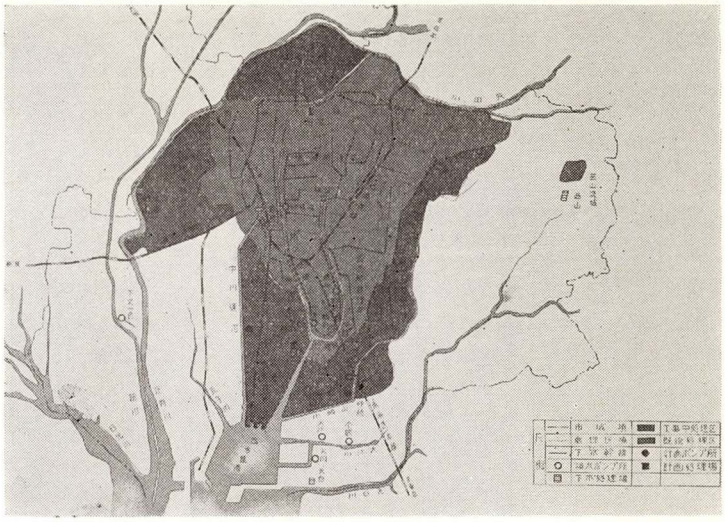
（１）計画年次		昭和50年
（２）計画人口		2,179,400人
（３）給水人口		1,961,500人
（４）普及率		90％
（５）１日１人最大給水量		480 ℓ
（６）１日最大給水量		950,000m³
内訳	鍋屋上野浄水場	280,000m³
	大治浄水場	262,000m³
	第６期拡張	408,000m³
	計	950,000m³
（７）１日平均給水量		760,000m³
（８）第６期拡張による取水量，		毎秒6.14m³
（９）工事費		105億円
（10）施工年次	昭和35年度より39年度まで	

（２）下　水　道

名古屋市の地勢は低湿の部分が多いことは前に少し述べたところであるが，このことは

少し急激な降雨があると，溝渠はたちまちあふれ，汚水が道路に氾濫し市内の各所に湛水箇所ができ，都市環境衛生上ゆゆしき問題である。

名古屋の下水施設は明治26年ごろ計画書ができていたにもかかわらず，財政上時期尚早として見送りになり，実際にその一部が完成したのは15年後の大正12年である。引き続いて下水処理場の建設計画がなり，従来の河川直接放流を止め，昭和5年から同9年にかけて，堀留，熱田伝馬町にそれぞれ下水処理場を築造，その区域の下水は下水処理場へ流入し，処理された後，河川へ放流されることになった。また昭和7年に天白汚泥処理場が建設，最終処理施設は一応整備された。しかしその後の市域拡大にともなって下水処理施設の新設はほとんどなされておらず，都市環境は悪化するばかりである。



名古屋市下水道一般平面図

下水施設が貧弱なのは日本全般的なことであるが，名古屋の下水施設は下水管延長1,791km，敷設面積3,876haであり，まだ市域の25%にすぎない。都市施設として，交通事業，上水道，道路などは十分ではないが，一応整備されているに反して下水道施設はいちじるしく立ち遅れている。その原因としては，都市への人口集中による急激な膨張に比例して，下水道需要が激増したが，都市施設全般にわたって，この歩調についていけなかったこと，さらに根本的には便所の構造が下水を必要としなかったこと，また戦前戦後の約20年におよび空白があったことなどがあげられる。けれども決定的原因となったのは下水道事業に対する特定財源の欠如であろう。

同じ水道事業のなかでも，上水道事業には水道料金という特定財源があるにかかわらず，下水道事業にはこうした類の財源がなかったのである。（現在では上水道料金の何割かを下水道料金として附加しているが）特定の財源を持たないことは，勢い下水道事業の地方税を主軸とする一般歳入に依存せしめる結果となり，元来地道で間接的消極的事業効果しか持たない下水道事業は，他の都市施設にくらべていちじるしい遅れとなったのである。名古屋市はこの立ち遅れをとりもどすべく昭和28年から15年計画で実施中の下水道4流域拡張事業がたとえ完成してもなおかつ全市域に対する下水道完成率は40%に満たない状況である。そのうえ既設処理区域においても，当初計画にくらべ，区域内の人口増加，上水道使用量の増大などを考えるとき（奥田千蔵氏原稿参照）下水道事業のはなはだ容易ならざることを考えるのである。

（3）工業用水

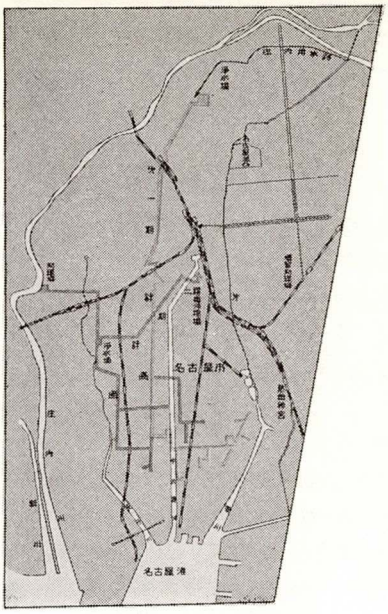
戦後，中京工業地帯は交通の便がよいこと，労働事情がよいことなど自然的地理的諸条件に恵まれ，急激に伸長してきている。そのなかにあって名古屋市は中京工業圏のメトロポリスとして，また伊勢湾臨海工業地帯の中心として，年々異常な成長率をもって躍進を続けてきている。このように前途洋々たる発展に対して，もっとも必要なのが工業用水であり，その確保如何によって工業生産のうける影響はきわめて大なるものがある。

それでは名古屋市の工業用水の事情はどんなであろうか。名古屋市における工業用水の使用量は1日で，45～50万トンと推定されている。このうち25～30万トンは淡水が使用され，そのうち7割から8割は深井戸によっている。さらに名古屋市南部の工業地帯には，「重要港湾地帯の背後地を整備する目的」で大規模な土地区画整理を行ない，これによって，運河用地，公共用地を確保し運河の開さく，街路の整理など行ない，臨海工業地帯を造成しようとする荒子川地区開発計画，また昭和43年度には埋立540万坪におよぶ広大な名港西部臨海工業地帯の造成計画（必要工業用水は日量43万トンと推定されている）などぼう大な量の工業用水を必要とする重化学工業が着々と進められている。これら工業が，その必要とする工業用水をコスト面でもっとも低廉な地下水に求めるならば（もちろん，地下水汲み揚げには限度があるが），地下水位の低下，および地盤沈下による種々の被害が憂慮されるわけで，伊勢湾台風で，ひどく痛めつけられた市民にとっては，だまってはおれない重大問題である。そこで，これら問題に対処するため，名古屋市工水の建設計画が樹立されたわけである。

そしてこの計画は，名古屋市南部工業地帯の堀川以東に愛知用水から取水して県営工業用水道が建設されるのに対応して立てられたものであり，昭和33年から着工さ

れている。この計画は下記表のごとくであるが，総配水量30万トンとして，昭和33年から7ヵ年計画で完成しようとするもので，その水源は第1期工事においては，庄内川，第2期工事においては下水処理水に求められている。ところが名古屋市の工業用水の需要は，既設工場の拡充，名古屋港西部臨海工業地帯の造成および荒子川地区開発による工場誘致にともない，昭和60年において1日320万トン推定されているが，こんごこの大量の工業用水をどう確保して行くかが重要な課題となろう。

前記の7ヵ年計画が完全に遂行し得たとしてその給水能力は30万トンであり，庄内川を水源とし得る工業用水は7万トン余り，あとの第2期工事で確保しようとする14万トンは，下水処理の還元使用にまでその水源を求めなければならなくなっている。さらに残りの第3期工事では，その水源をどこに求めるか検討中という。工業用水もその水源に苦慮しているわけであるが，中部地方はわが国でも一番水に恵まれているのに不思議な話といわねばならない。木曽川長良川，揖斐川など水量の豊富な河川が三県に集中していながら，その利水をめぐって，各県の地域的権益の問題が相反しているのである。利用度がもっとも高いといわれている利根川水源すら，その利用量は全流量の8％前後であるから，木曽川水系の場合も大きく中京工業圏という広域都市計画的見地から問題を解決することが望まれるのである。



工業用水道一般平面図

工業用水第1期計画概要

摘要		計画			
1. 水源		庄内川			
2. 給水量		70,000m³/日			
3. 取水設備	取水口	鉄筋コンクリート造暗渠 巾2m 1条 20m			
	用水路制水門	鋳鉄製 巾1.5m×高0.9m 3基			
4. 浄水設備	沈澱池	径 23.5m 深 6.7m 2池			
	硫酸バン土室	鉄筋コンクリート造 22坪			
5. 配水設備	配水池	36m×36m×3m 2池			
	配水ポンプ	渦巻ポンプ 300HP 4台			
	配水管	径 800mm～150mm 延長 14,820m			
6. 末端水圧		1kg/cm²			
7. 給水区域		堀川以西南部			
8. 使用料金		1m³につき 4円			
9. 施行期間		昭和33年4月～昭和36年3月			
10. 事業費		722,846千円			
年次別内訳	年度	33	34	35	
	事業費	千円 213,680	千円 400,000	千円 109,166	

工業用水第2期計画概要

摘要		計画			
1. 水源		下水処理水			
2. 給水量		133,000m³/日			
3. 取水設備	取水口	露橋，岩塚処理場より分水2ヵ所			
4. 導水設備	導水ポンプ	渦巻ポンプ 100HP 6台			
	導水管	径 900mm～800mm 延長 7,390m			
5. 浄水設備	沈澱池	30m×105m×3m 2池			
	急速ろ過池	1池 90m² 14池			
	硫酸バン土室	鉄筋コンクリート造 100坪			
6. 配水設備	配水池	64m×44m×3m 2池			
	配水ポンプ	渦巻ポンプ 500HP 4台			
	配水管	径 1,200mm～200mm 延長 14,680m			
7. 末端水圧		1kg/cm²			
8. 給水区域		堀川以西南部			
9. 使用料金		1m³ につき 4.5 円の予定			
10. 施行期間		昭和36年4月～昭和39年3月			
11. 事業費		2,000,000千円			
年次別内容	年度	36	37	38	
	事業費	千円 400,000	千円 800,000	千円 800,000	

おわりに

名古屋市の水道事業の概要について，たどたどしく述べてみたが，今後に残された問題が，如何に多く，また大きいかを知るのである。具体的には，各種水道の水源の問題，「地方公営企業体」として独立採算制を強いられている，水道事業の水道料金の問題あるいは上水道の2割から3割にも達するという漏水の問題などがあるが，根本的な問題が他にあるのではなかろうか。

水道事業が都市行政の現業的部門として，公費で建設し，経営する都市の施設および事業は，常に多大な設備投資と経営規模が要求されるにもかかわらず，営利追求の目的とする私企業の対象とはなり得ない。したがって他の公共施設と同じく，水道施設の完備は地方財政にとって，かなりの重圧となっている。しかもその貧弱さは生活環境の悪化を激化させ，都市の健全な発展の重大な隘路と化している。都市経営のために要する都市人口1人当りの経費は，都市の文化水準が高まれば高まるほど市民の負担も多くなるところに問題があるようである。

また現状では，公共施設を整備する事業主管が一本化されていないことが原因して，種々の公共施設全般の総合的計画が皆無といった状態はなんとかならないものだろうか。少なくともわれわれが常に街で見かける地下埋設物の掘り起こし現象のたぐいは，なくなってほしいものである。

（筆者 名古屋市建築局指導課）

地　域　計　画　と　工　場　誘　致

御　舩　　哲

生産施設を中心に名古屋地域の都市計画を考えるにあたって，まず名古屋を中核として約35粁圏を含めた中京工業圏にふれる必要がある。この工業圏を規定したのはそもそも昭和34年9月，科学技術庁資源調査会から出された「中京工業圏確立に関する勧告」である。そこでは「名古屋を中心とする中京地域の工業発展は，将来，京浜とともにきわめていちじるしいとみられており，その規模と内容からみて，その発展動向は，国民経済的にもっとも関心のある地域のひとつといえる。ところで，工業の過度な集中は，京浜・阪神にみられるごとく，諸般の混乱をひきおこしている。中京地域においても，こんごの情勢如何によっては，この二の舞をふむおそれがある。」とし，均衡のとれた経済発展を可能にする集中的分散方式を提案している。そのころからこの地域の工業開発を中心とした地域の変様はいちじるしい。ここではその一部を簡単に紹介し，都市問題の一端にふれたいと思う。

1.　名古屋南部臨海工業地帯

名古屋港は築港以来，約 800ha の埋立地を造成し，工業用地，埠頭などを提供してきたが，中京地域の産業規模の拡大，工業構造の重化学工業化などによって，伊勢湾の埋立による工業地造成の要請が生じた。こうしてこの臨海工業地帯は中京工業圏の中核として工場の計画的な配置を予定して，昭和35年2月以来埋立事業が進められている。現在，知多郡横須賀町地先の第2区には，この重化学工業地帯の原動力となる東海製鉄が工場を建設中である。



図—1　愛知県市郡別工場敷地面積　32. 12. 31

この資料は従業者4人以上の工場である。
愛知県の総計は 19,377 工場 5,131ha である。

東海製鉄の誘致については四日市市と激しい誘致合戦を行なったと伝えられ，誘致するについての協定案では（1）工業用地は県が埋立て，住宅用地は県が確保して無償で引き渡す。（2）漁業補償は名古屋港管理組合と県で行なう。（3）工業用水施設は県が建設し会社に負担をかけない。（4）操業開始までの不動産取得税は全部免除し償却資産の固定資産税を3年間免除する。これらの協定によれば県などの負担額合計は95億円にも達するといわれる。以後は進出希望が殺到し，3，4区については，いまだに配置が決定しない状態である。その配置は名古屋港管理組合が中心となって企業間のコンビナート形成などを考慮して能率の高い工業地帯となるよう決定されるであろう。一方，埋立地後背の知多半島丘陵部では社宅建設が着々と進められ，土地ブームを引きおこしている。

中京工業圏確立に関する勧告によれば，知多半島の丘陵部は名古屋南部臨海工業地帯およびやや遅れて企画された衣浦臨海工業地帯にはさまれて，新しい住宅都市の拠点適地とされていたが，現在では地方公共団体，公団などの旧来の手法では処理しえないほどに地価が上っている。

住宅建設，道路改良などの公共投資はその必要とともに困難さを増している。農家は兼業化の傾向にあり，知多半島の夢の用水として完成し，今年から本格的な給水の開始される愛知用水の受益地域は目に見えて減少している。埋立地に立地する一次の重化学工業にともなう関連工場は直接の後背地でなく，名古屋の南部に位置する国道1号線沿いの市町村にいちじるしく進出している。こうして名古屋の市街地は市域をこえて延びている。

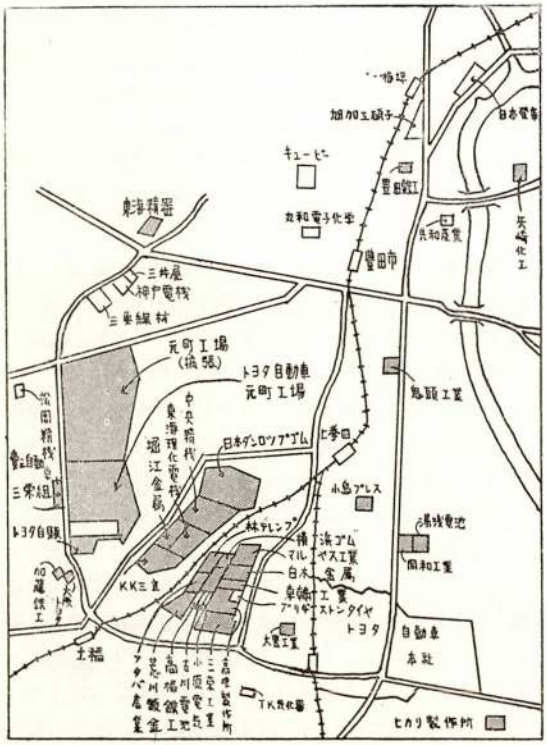
名古屋南部の大規模な土木工事，工場進出，また日本の幹線道路である国道1号線の利用増加等で，名古屋の南入口の交通難は非常に悪化している。現在，名古屋南部の幹線道路は国道1号線，国道22号線の2本しかなくそれらは2本とも市街地内に入ってきて，臨海部または名古屋の東周辺部を通って市街地を避ける環状線のないことが原因である。この港湾区域の拡大から，名古屋市

は港湾区域と市域が合致するよう横須賀町，上野町の合併を希望し準備作業を進めている。

2．豊田・刈谷地区

名古屋の中心部から東南方 20～30km のところにトヨタ自動車工業を中心とする豊田・刈谷工業地区がある。この地区はトヨタ自動車の発展とともに成長してきたといってよい。現在豊田市―豊田市はもともとは挙母市と呼んだがトヨタにあやかって改名―の市税収入の71.5%をトヨタ自動車工業から得ている。自動車工業は数百にのぼる部品の組立工業であるから当然数多くの関連，下請企業がある。したがってその量産化・合理化には，企業群として一体となって合理化を考える必要がある。そのために親工場の周辺に集中的に立地することが考えられ，一方豊田市当局の積極的な誘致策があったので，昭和34年以降54社の関連企業が条令による優遇措置をうけて誘致された。この工場群が完成したときには，市西南部の高台，トヨタ自動車工業の挙母工場，元町工場の間は工場で埋められる。

こうして開こん地ではあったが市が替え地をあっせんするなどの積極的な手を打ったこと，また自動車工業という点で統一されていたことなどから，土地利用の観点からは整理された工場地区が形成されつつある。中小企業団地として法律化された初年度に国と県の補助対象として鉄工団地が指定されることにもなった。農地の改廃も10%以下と大都市近郊にみられるようなむらのある開



豊田市誘致工場略図

発にはならなかった。

しかし雇用の面からは農業および地域社会には大きな影響を与えている。市域47,000人のまちに，流入人口が11,000人という膨大な数になっている。従業員の半数は通勤に名古屋鉄道を利用しているが，単線の上に施設規模も大さいので時差出勤によらなければ処理できない状態である。2，3 年先には誘致工場が完成し 100 近い工場がいっせいに操業を開始するので事態は深刻である。市域の農家2,900戸の 76.7%が兼業であり，流入人口のほとんども兼業農家からの通勤者である。農家経営は主婦中心となり，協業が積極的に行なわれるが，それでも人手をかける果樹野菜の栽培をやめて粗放な経営が可能な米麦が中心になっている。工業化の傾向が激しくても就業が臨時工という形をとる限り，不安定な身分をいざというときには保証する農業経営をやめてしまうわけにはいかない。

3．小牧・春日井地区

小牧市，春日井市は名古屋の北部，北東部に接する新興都市である。この地区は近年，とくに工場進出が目立ち，これまでの稲作を中心とした農村地域が工業都市に変りつつある。

小牧市では昭和33年に極東開発機械工業が進出して以来3年間に91工場 300ha の誘致決定をみている。昭和36年9月現在で15工場が操業しており，25工場が建設中である。名古屋北部の工業地帯が外へ延びてきたというだけでなく，名神高速道路と名東高速道路のインターチェンジの建設とそれにともなう名古屋・小牧間の道路改良が行なわれれば，道路交通の条件が非常によくなること，これまでは農業が主体で市街地開発が遅れていて地価の安かったことが特筆される条件である。加えて市執行部，議会，職員一体となっての誘致運動の結果でもある。最近では市民の側から積極的な働きかけもあり誘致工場は全市域に分散している。

市当局の発言では「各部落に 3～4 工場という目標は一応実現したので，今後は土地利用計画，配置計画をたて，さらに誘致を進めて行く。」ということである。ここ数年の間には固定資産税などの増収で市税収入が4億円をこえ，人口 4～5 万人の都市で財政規模が約10億円に達すると推定されている。しかし誘致結果にみられるように工場の分散傾向は土地利用の混合化をまねき，後を追うはずの公共施設整備を困難なものにするであろう。すでに下水道整備が緊急の課題になっている。名古屋から 20km 圏内に入る近郊地帯で労働人口の大半は名古屋へ通勤という現状で，はたして望まれる労働力が充足するであろうか。畜産と連繋した食品加工工場の誘致，農業人口の工業人口への転化を含めて各種の労働力を必要とする業種の選択などを考える段階にきている。

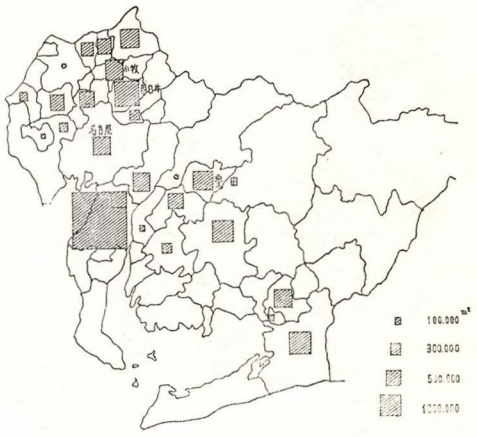
春日井市は小牧市と同様の条件であるが，やや名古屋に近く，かっての軍工場跡地があった。そこに昭和26年王子製紙春日井工場が誘致され，その関連企業が周辺に進出することで小牧市よりやや早く工業化が始まった。とくに昭和30～35年の間の工場進出は，名古屋市内から転出する中小企業を主として愛知県内でも目立って多かった。ここでも工場用地による農地蚕食が激しく用途地域制で指定された工業地域外の安い農地に工場が立つという現象もみられる。現在でも工業地域に指定された地区内にはかなりの農地が残っているが，工場は国道19号線に沿って伸びていっている。市としては単に誘致を考えるだけでなく，道路整備，住宅地整備など工業都市として完成する方向へ転換することを考えている。この住宅地の要求は，進出する企業からの要請でもある。工場を作っても住宅を手当てしなければ労働力を集めにくくなってきている。春日井市を縦断する国鉄中央本線は39年度中には市域内の複線化をほぼ完成するであろう。

こうした条件が加わって名古屋市の住宅地としての整備も要請されてくる。住宅公団によって市東部の丘陵地帯に目標人口 7～8 万人の住宅都市の計画もあり，将来の市街地拡大は目に見えているが，春日井市のみでは処理できない問題をかかえることにもなるであろう。さきに述べた国道19号線は春日井市と名古屋市を結ぶ唯一の幹線道路であるが，名古屋市へ入った大曽根附近での交通混乱は現在すでに問題となっており，ますます自動車交通の増加するなかで春日井市が発展するためのひとつの障害になっている。

× × ×

以上簡単に名古屋周辺で最近とくに工業化のいちじるしい3地区について簡単な説明をしてきたが，すでに戦前から工業地域を形成していた地区にももちろん，問題が多く残されている。代表的な地区としては，名古屋の南部，北部工業地帯，一宮，尾西を中心とする繊維工業地帯，瀬戸の窯業地帯があげられる。これらの地区は用途地域側では工業または準工業地域に指定されているが，工業の集積にともなう施設の整備という点では遅れている。すでに市街地に包囲されてしまった工場地区は拡張する土地がない。現状のままで操業を続けると公害の原因となることが多くなる。最近は拡張を機会に集団移住によって施設を整備し，また1企業では持つことのできない厚生施設を共同で運営するといった例もでてきている。しかしこの団地化が工業経営の面からは高く評価されても，ただ市街地の膨張をもたらす結果になっては問題である。名古屋市内では工業地再開発の動きはまだないが，荒子川運河の改修にあわせて区画整理による工業用地造成計画が進められている。とくにここでは中小企業の用地提供を目標としており，共同で利用するように計算センターを設置して経営合理化をはかる計画もある。

図—2 愛知県市部別誘致工場敷地面積 31.4～35.10



知多部がとくに大きいが，これは東海製鉄 596ha の進出決定のためである。内陸工業地への立地状況をみると，名古屋周辺，小牧犬山，豊田周辺，東三河の4地域に代表される。

都市計画区域はせまくなりつつある

中京工業圏，とくに愛知県の工業の成長，新設工場の伸び率は全国の最高に達する状況である。このいちじるしい工業化はその地域，その住民に大きな影響を与えずにはおかないだろう。最近全国的に工場誘致を中核とした地域開発が叫ばれ，それが一方では「地域開発のきしみ」として取上げられ，地方自治体，地域住民の過重な負担が指摘されるような例がでてきている。すぐれた都市計画的といわれる名古屋市も市街地が拡大するにつれて，都市活動の容器としての弱点が目立ってきた。

前に述べた周辺都市の工業化は，生産活動の面でも域外との交通運輸の面でも中核である名古屋市と周辺地域との人と物の流れを活発にした。それが連絡道路の不備という現状によって，大きな問題となってきている。これは名古屋市のみの問題ではない。既存の市域でそれぞれ自治体が都市事業を考え実施していたのでは，その不均衡と境界附近での混乱は大きくなるばかりであろう。名古屋市としては近い将来，周辺市町村を合併して 350 万都市を地域の目標としているが，現行の自治制度のもとでの市域決定には十分な配慮が必要であろう。「中京工業圏確立に関する勧告」に示された広域の計画および行政が要請されていることは事実である。

現在この問題をとりあげて，中部経済総合調査会が，「中部地域によせる期待と勧告」中部経済連合会が「中部経済10ヵ年計画」中部産業配置センターが「東海三県の工業立地案と工業適地」と一連の基本構想が示されている。これら三構想とも，軽工業中心から脱皮して重化学工業化を急ぐ中部地区は総合的な開発を必要とすると

図—3　愛知県市郡別誘致工場用地比率

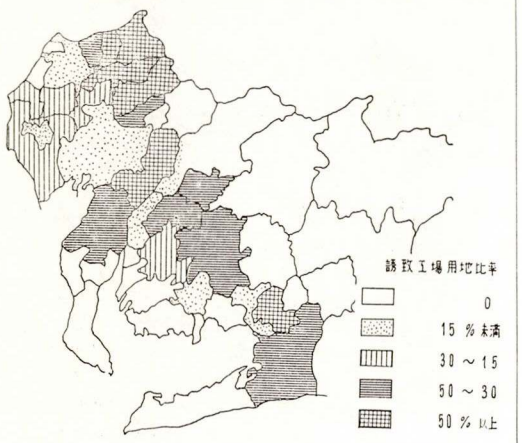
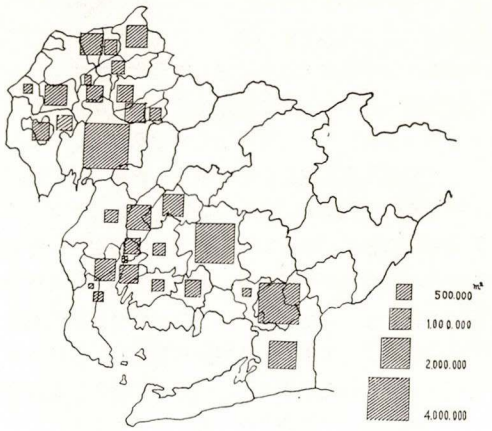


図2でみた地域指向はここではつきり示される。その内容は各地域でかなり異なつたものである。簡単にまとめると，名古屋周辺：市内工業の分散，規模は小さい。小牧犬山：道路利用による新しい工場地帯。豊田周辺：トヨタ自工関連企業の集積。東三河：大企業の進出

図—4　愛知県市郡別工場適地面積　昭和35年7月



この数字は昭和35年7月に愛知県工場誘致委が各市町の報告に基づいてまとめたもので，工場進出が必ずしもこの適地に決定するとは限らない点は問題がある。豊田市　O　は市独自に事業を進めているためである。埋立工業地についてはここではふれていない。

いう点で一致し，それぞれ工業生産の伸びから必要な行政投資，工業用地，工業用水などを推定している。

こうした企業が先導する地域開発は，必ず住宅，道路，用水，港湾などの現体制では企業の計算にのらない諸投資によって補なわれなければ地域の活動を支える基盤にならない。可能ならば先行投資が望ましいのであるが，春日井，小牧地区に典型的にみられるように，名神高速道路の路線決定だけでもいちじるしい工場進出が起るという現状である。先行投資が先行投資でなく，より大きな追従投資を必要にする場合も十分ありうる。

工場誘致によって人口が1人ふえれば，財政需要は2万円ふえるといわれている。将来の市税増収を夢みて，また雇用増を期待して工場誘致が積極的に進められているが，結果として財政規模の拡大，地域の経済活動の活発化であっても均衡のくずれる危険性は大きい。雇用についても臨時工という不安定な形をとって農業経営に大きな影響を与えていることはすでにふれたとおりである。愛知県では各市町村が工場適地として，かなりの広さの土地をあげている。それらは，おおむね建築物のほとんどない，ある程度まとまった農地，山林を取り上げたものである。はたして額面通り適地であろうか。その区域に建築物がなければ買収はいくらかでも容易ではあろうが，そこに工場または工場地区の出現することが，その土地，住民に最適の条件かどうかは大いに疑問のあるところである。誘致する際には農業をやめても工場で働けるとか工場と同時に道路が改善されるとか，いろいろな条件がつくがそれが実現するまでには数年かかることが考慮に入れられていないことが多い。土地の利用状況が変っても，地域の生活は変りなく続いているので，転換期の細かなプログラムは当然用意されなければならない。

工業の団地化——土地利用の専用化

最近はインダストリアル・パークという言葉が使われ始めている。これは，かっての工場も商店も住宅も一体となった市街地が，住生活からも生産活動からもまずいということで，土地利用の専用化という動きになり，また電力，ガス施設，道路，用排水施設などの効率の高い利用をはかるため，とくに新規工場を新設する場合には団地化が考えられるようになって，さらにその先を示すものである。工場周辺の環境整備，従業員のリクリエーション施設を設けるなどの目的で，工業地帯，敷地内に緑地公園的な空間を持つようになってきたのもインダストリアル・パークを目指すものといえる。こういう処理は都市の公害を防止する結果にもなる。土地利用の面ではこの方向で計画に乗ってくる要素が多くなってきている。豊田市の工場団地造成などは企業の側の統一があるだけに一層効果的になるであろう。

これまでは工業とその土地利用に対して積極的な政策がなかったのであるから大きな進歩をみせているといえるが，都市計画として十分であろうか。生産活動が，またそれにともなう人口増が要請する都市の事業は非常に大きなものである。現在はそれが住民の大きくは国民の負担で行なわれているのである。これらの都市事業は，とくに工業開発が集中する地域では，いつまでも不足であり，産業の要求が優先される。都市計画はフイジカルな面では工業に解答を出せるようになってきている。しかし，地域開発，都市計画……は地域住民の福祉のためという基本原則にてらしてみて，開発の背景にある経済的な力，政治的な力にふれなければならないであろう。

（筆者　日本住宅公団名古屋支所宅地開発部）

ニュータウン開発をめぐって

若林時郎

——はじめに

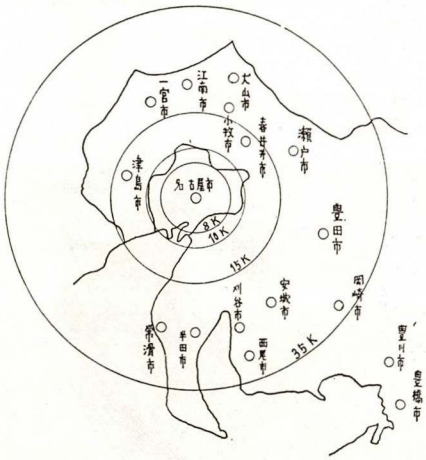
まずお断りしなければならないのは，ここで主に取り上げるのは住宅公団の高蔵寺ニュータウンであり，それは現在（昭37.1）マスタープランと用地買収を進めている段階であって，いまだその事業は具体化しているわけではない，ということである。しかし私があえてそれを取り上げたのは，このなかに名古屋の問題があるはずであるし，また名古屋を紹介するのにも私にとっては一番あいふさわしいと考えたからである。こうした独断をお許し願いたい。

1. ニュータウン計画と現状の問題

名古屋地域におけるニュータウン計画はいままでに愛知県地方計画や資源調査会の中京工業圏構想のなかに取り上げられてきた。しかしそれらは実際に建設するための努力がなされないために，具体性を持ち得ず単なる構想とか絵にすぎなくなっているきらいがある。実現への努力は第一に新しい組織，総合された組織を作ることにあるだろう。愛知県地方計画は，昭33.12に策定されたが，その後の実情に合わなくなったため—驚異的な経済成長？—昨年その全面的な改訂にのり出した。そのとき「周辺にニュータウンを建設し名古屋の過大都市化を防ぐ……」という基本方針を出したが，それが名古屋市の350万都市構想「15キロ圏を市域に編入……」と衝突し相当もめた挙句，果ては市の意向を入れざるを得なくなった。中京工業圏構想には，絵としてやや具体的な提案があったために，そこの地価上昇を促し，かえって実際の開発を困難にしてしまった。同じことが四日市でもいえる。地図上に色をぬれば，ぬられた通りに地価が上ってしまうといわれる。

組織ができなければ，また地価が上ってしまえば公的

図—1 愛知県における主要都市配置



地域区分

金山中心　8k圏；市街地域，将来の居住人口約200万人
8～10k　；近郊地域
10～15k　；周辺緑地帯
15～35k　；衛星都市地帯

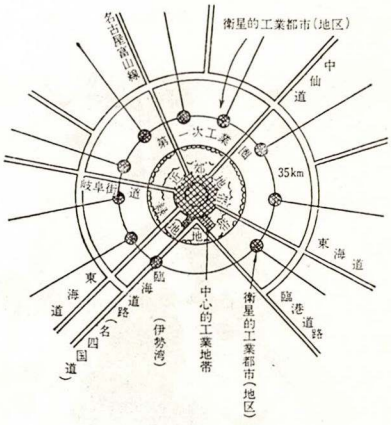
この構想において，衛星都市の配置はすでにすでにほぼ適正であり，現在の都市を核心としてその育成を図るよう計画されている。すなわちそのベツドタウン化を防止するため，その都市に適した独自の工業の発展を図るよう立地条件の整備を図るものとしている。

ニュータウン構想

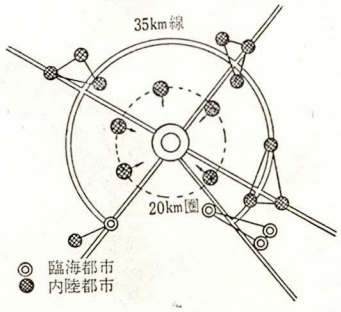
愛知県において，変化のいちじるしい地域は，名古屋市南部地区，豊田・刈谷地区，衣浦地区，小牧・春日井地区および豊橋・豊川地区でこれらの地域については，その関連産業をも考慮した新都市の建設が必要とされるのである。

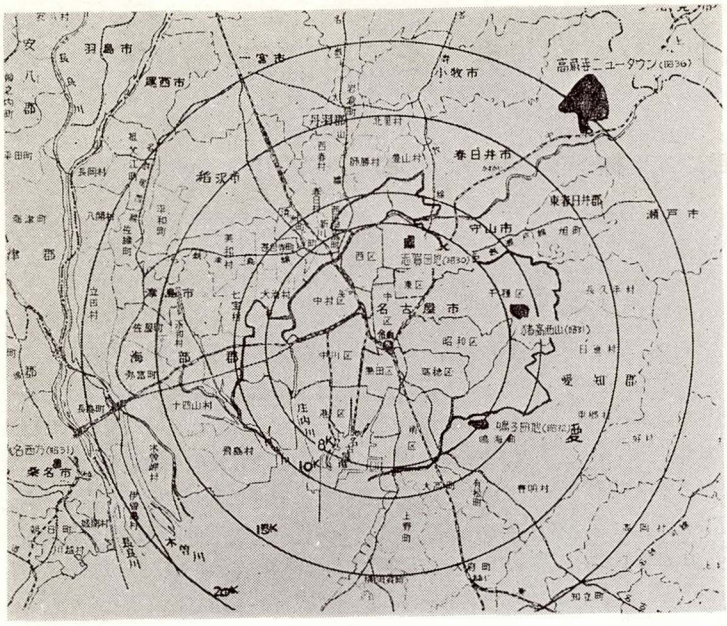
—愛知県新地方計画（愛企画資料 No.6，1961.6）—

図—2（1） 中京工業圏模式図



図—2（2） グルーピング模式図





図—3　公園住宅団地位置図

表—1　名古屋における主な公団団地

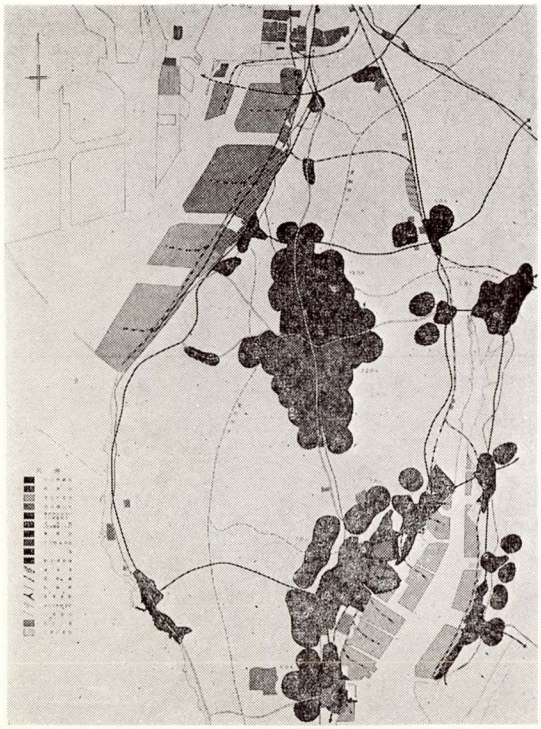
年度	団地名	所在地	都心(栄町)からの距離	開発前の地価	面積	開発方式
			k	円/坪	万坪	
昭30	志賀団地	名古屋市	4	4,000	2.3	全面買収(市有地払下げ)
昭31	桑名西方	桑名市	—	1,300	10	区画整理(桑名市施工)
昭31	猪高西山	名古屋市	8	1,200	32	区画整理(名古屋市施工)
昭32	鳴子団地	鳴海町	9	1,000	20	区画整理(公団施工)
昭36	高蔵寺ニュータウン	春日井市	20	1,000	250	区画整理

開発は不可能なのか？　現状のままで実現のみを考えるのはむしろ危険であろう。しかし一方でそうした努力と，広い視野を失なうことなくやはり実現されるものを考えなければならないのだと思う。

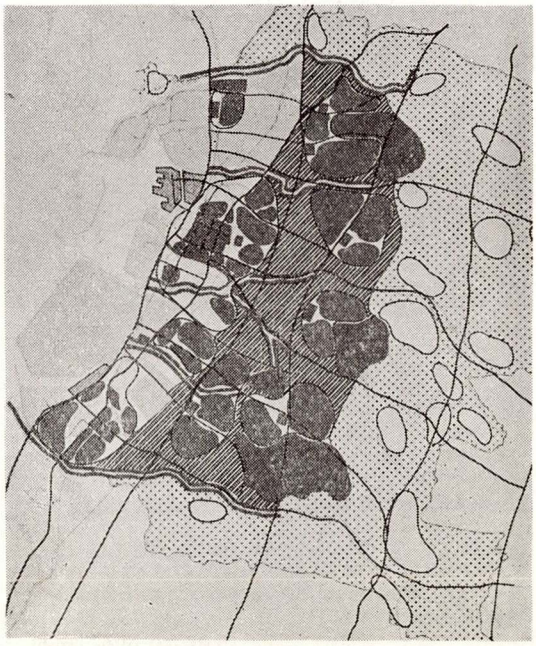
住宅公団の区画整理方式によるニュータウンは日本の現状から生まれた苦肉の策だという感じがする。それは大都市圏のあり方として，または大都市問題を解決するものとして計画されたものではない。一言でいえば，金と力のない公団が追い込まれた郊外開発の変形にすぎないといえるだろう。しかし，それがニュータウンとなるとき，一方で苦肉の策をごまかせると同時に，いままでごまかしてきた公団のあり方というものが否応なしに検討されることになるのである。

2．住宅公団の土地探しとニュータウン

名古屋における公団団地の主なものを年次別にあげると表—1のごとくである。



◀図—4　中京工業圏モデル計画



図—5　四日市マスタープラン

この表は公団の限界とニュータウンの意味をあまりにも明らかに説明してくれる。当初は公共団体のまったくの肩替りとして公共団体の用意した土地に住宅を建設していた。このころの団地は都市計画的にみても問題は少なかった，というより公団の責任は軽かったであろう。規模が小さいというばかりでなく，それは公共団体の計画の一部であったはずだから。公共団体のタネがつきてくると，公団は自分で土地を探さねばならなくなってくる。土地の値上りはますます激しくなっているのに用地費単価はほとんど変らないため，開発は年を追って遠隔化し，かつ大規模化する。大規模化する主な理由は二つあるだろう。

一は市街地を離れてしまったために日常生活に必要な施設を最少限持たなければならなくなったこと。二は公団内部の問題であるが，土地取得の困難とその見通しが立たないために一度買えそうなところをとらえるとどんどん大きくしてしまうという傾向がある。それに加えて名古屋では他よりも土地が得られやすいという理由から他支所でこなせられなくなった分までかぶせられることがある。高蔵寺ニュータウンの位置と規模はまさにそのような理由から生れたものだといえるだろう。

3. 高蔵寺ニュータウンの開発方式

――名古屋は区画整理がやりやすい。何故か？田舎だから。住民はオカミに弱いし，大都市といっても都市化はそれほど進んでいない。つまりまだ田舎なのサ――

という話は問題の所在をはぐらかしているが，現象としてみれば，またはいいようによっては，そういえるかも知れない。区画整理事業の成否は第一に住民の協力如何にかかっている。そして名古屋では住民の理解，協力と，それをうまくリードする人たちがいることも事実である。高蔵寺ニュータウンの地元説明会で公団のとったやり方は，現在の枠のなかで区画整理事業がスムースに行なわれるためのかなりうまいやり方なのかも知れない。

≪高蔵寺方式≫

① 公団先買；開発区域の半分

② 5割減歩；公共減歩3割（道路2割，公園緑地1割）
保留地 2割

先買地および減歩率は理論的には施工前の土地評価と施工後の評価によって算出されるものだといえそうだが，実際には不可能だろう。現在では第一に土地評価それ自体が問題であるし，普遍性のある評価基準などあり得ない。またもしかなり適当な評価がなされたとしても，それを認めるか否かは地主の意志にまかされる。公的開発の場合の収用権は現在ではあまりに微力であり，それを強行することは事業の失敗を意味するとさえ考えられるほどだ。したがってこれらの線は建設されるニュータウンのイメージを持ちながら，現実の諸条件を十分把握して出されなければならない。いくら名古屋といっても区画整理ではせいぜい 2～3 割の減歩が常識である。しからば半分先買，5 割減歩を可能にしたものはなにか？

③ 公有地をねらえ！

開発予定区域 350 万坪のなかには県有地約35万坪，国有地約30万坪が含まれ，その払下げが予定されている。このため半分先買といっても民有地からは約 3 分の 1 の60万坪を買収すればよいことになる。

前に述べたように，公共団体の用意したタネがつきて公団は自分で土地を探さねばならなくなったが，それでも公有地の払下げを当にしなければやって行けない。私たちの Dp―62 作業（62年度の土地探し）の基礎資料に公有地のプロットは不可欠のものである。また市街地住宅でも市有地の利用を大規模に考え出している。それにしても，せまい国土，ひしめき合う市街地に公有地の，それものんびりと放置された公有地のなんと多いことか。公有地をねらえ!?

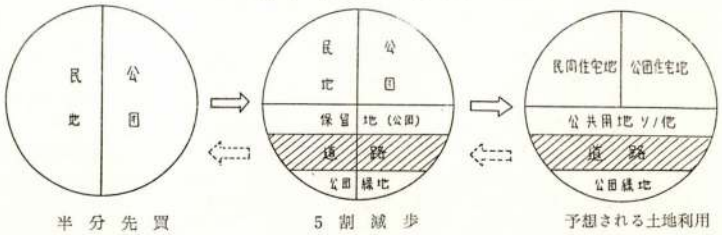
④ 住宅誘致委員会

市と地元の代表からなる組織，ニュータウンの誘致運動を行ない，とくに地元住民への説明，意見調整に大いに役立った。

市街地周辺に土地が得られる可能性がなくなったとき公団では大規模開発，ニュータウン開発の構想を持って眼を郊外に向けた。東京，大阪あたりの常識で通勤時間30分，都心から20キロ圏を名古屋にあてはめてみると，そこにはまだ驚ろくほどの土地があるようにみえた。実際高蔵寺以外にもいくつかの候補地が考えられていた。

こうした公団側の余裕が地元への最初の接渉を非常に優利にした。市当局は住宅建設がその直接の Merit 以外にそろそろ伸び悩みはじめた工場誘致に，労働力の確保という意味でプラスになるものと考え，また地元民は待ち望んでいたチャンスを逃すまいと思ったかも知れない。そのままでは収益はほとんどあがらず，この機会を逃してはいつ開発されるか，いつ値がつくかわからない土地。こうした状勢のなかで，5 割減歩，半分買収，その他換地や計画についての基本線が認められ，市と地元

図―6 高蔵寺方式



の代表は公団住宅の誘致委員会を組織して公団の事業に全面的に協力することになった。

4. ニュータウン開発と地方財政

現在のニュータウン開発にとって最大の問題の一つは地方自治体に課せられる負担が非常に大きくなるということであろう。もともとニュータウンは大都市のポテンシャルが生み出したものだし，その規模と建設されるスピードは偶然そこに居合わせたというような市町村のものとはまったくスケールを異にする。高蔵寺ニュータウンの場合人口は現在の市総人口に匹敵し，市に課せられる施設建設費だけで現在の財政規模を幾倍にも上回るものである。市当局がこの点を検討したら事業に難色を示すのは当然だろうし，安易に考えていたら市財政の破たんとその結果は眼に見えている。ここにある矛盾とそれから生ずる問題はなにも名古屋に，またニュータウン開発に限ったことではない。程度の差はあれ，いままでの団地開発への批難もここに因するものであろう。しかし私は，名古屋で公団のニュータウン開発ががもつ具体的な問題と，それに対する一つのプラニングの方法としてこれを述べたいと思う。

① 高蔵寺ニュータウンの総投資と負担区分

ニュータウン総投資のなかでは住宅以外の諸施設への投売分が団地に比してかなり大きくなる。住宅公団は形の上では団地建設からニュータウン開発へ踏み切ったが実質はなかなかともなわない。いまの公団でできることは他人褌相撲？のような区画整理と住宅だけ。施設のなかでもいくらかは建設できるものもあるのだが，これは高利貸のようなもの，しかもその予算枠はあまりに少ない。

公団以外の投資では，民間および公益企業体は十分採算が考えられる。国，県は実際にはかなり問題もあり，金を出したがらないところだが，市に比べて財政は豊かだろうし，それに反して負担額は少ないからここではふれない。市の負担する施設は採算がとれないものが大部分だし，財政規模が小さい上に負担の割合はかなり大きい。（表—2 参照）

表—2 ニュータウンの総投資と負担区分（比率） KOZ ニュータウン（単位 %）

総投資区分	総計	負担区分					
		公団	国	県	市	民間	公益企業体
宅地造成投資	○	○					
住宅投資	76.5	○				○	
都市施設投資	6.3		○		○		○
行政施設投資	1.4		○	○	○		
文教施設投資	7.9		○	○	○	○	
医療施設投資	1.7			○			
リクレーション施設投資	1.3				○	○	
交通施設投資	4.9					○	
総計	100.0	51.7	3.5	2.3	8.4	27.0	7.1

この表では算定した額そのものは若干振れることが考えられるので%のみ記してあるが，この負担額は現在の市財政規模の 4～5 倍にも達するものである。

② ニュータウン開発にともなう市の支出と収入

市の負担する施設のなかでは学校（幼，小，中）が5割を占める。また独立して経営採算を考えられるものもある。例えば上水道施設や汚水処理施設など（これが全体の約3割）。したがってこの分は以下の検討から除いてある。市の支出としてはニュータウン全体の経営維持（市の施設を含めて）のための経費を加えなければならない。これらの支出に対してニュータウンからの収入としては市税がある。市税の主なものは表—3 にあげた通りである。%は開発事業を10ヵ年とし，すべての投資が20年間になされるという一つの年次計画をもとにして，その20年間の収支総額を現在行なわれているもっとも普通の場合として算出した。（これはつぎの収支予測（1）の場合と同じもの，また%のみを記した理由は前と同じ）。ニュータウンの建設期間に固定資産の占める割合がもっとも大きい。評価額をいちじるしく低く抑えられそのうえ 1/2～4/10 の軽減措置をうける公団住宅であっても，住宅都市（ニュータウン）ではやはり最大の財源なのである。

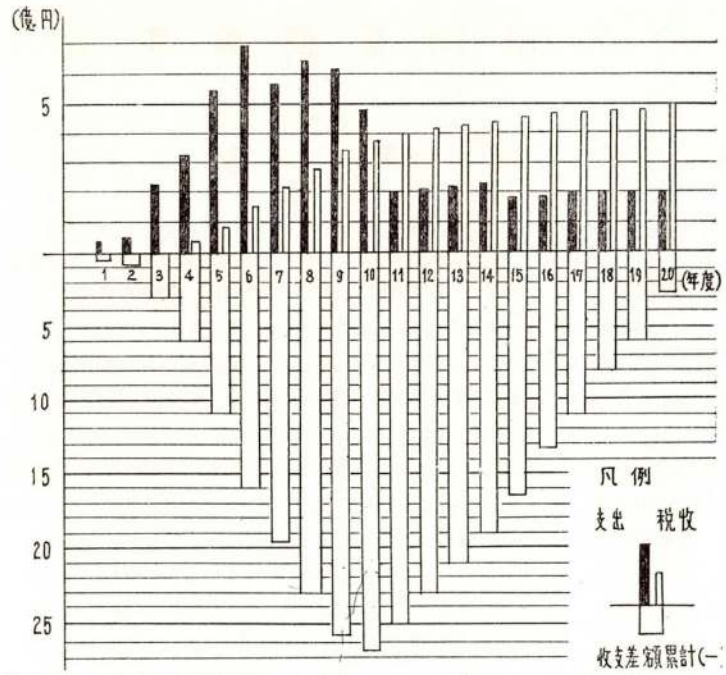
表—3 市の収支区分 KOZ ニュータウン（単位 %）

支出	100.0	市税	100.0
市投資額	59.4	市民税	37.5
		固定資産税	43.5
		市たばこ消費税	4.5
		電気ガス税	8.3
一般経費	40.6	都市計画税	6.2

③ 収支予測

ニュータウンに対する市の支出とそこから生ずる税収はもちろん，直接的な採算としては考えられないにしても，また現在の負担区分，税法または行政区画にさまざまな問題があるにしても，現在ではニュータウンの経営と採算について長期的な正しい見通しを持つことは，開発者にとっても市当局にとっても基本的に必要なことである。しかしそれを正確に予測するには煩雑な計算が必要だし，また遠い将来をそのような形で正確を期そうというのもあまり意味がない。ここではそれに対する試みとしてなるべく簡単なものにまとめてみた。

図—7，図—8 は公団の開発事業を一応10年にした場合起りそうな両極端を示したものだが実際にはその中間的なものとなるだろう。また開発の年次計画をいろいろ

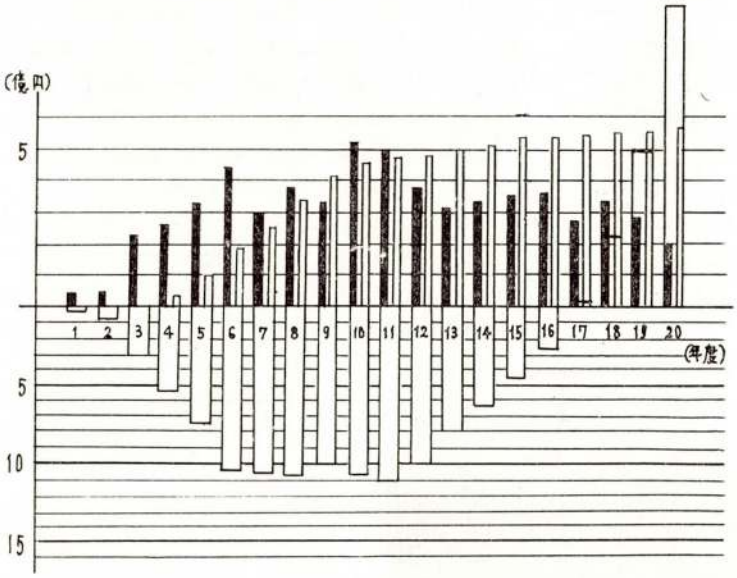


図—7 収支予測（1）
KOZ ニュータウン

支出
市の投資分と一般経費とする。公団の年次計画に合せて10年間にほとんどすべての投資を完了し，15年以降は一般経費のみの支出となる。

税収
現在行なわれているもつとも普通の場合として計算した。固定資産税は名古屋の実情に即し，公団住宅に対する軽減措置はあるものとする。

年度収支はニュータウン投資のほぼ完了する翌年から黒字となるが，税収のほとんど上らないニュータウン建設初期に投資が集中していることと，収支差額累計が非常に大きく，また20年後にも赤字を残している。ニュータウン建設を10カ年とした場合のもつとも不利な型である。



図—8 収支予測（2）
KOZ ニュータウン

支出
公団の事業は同じく10年とするが，市の投資はなるべく遅くする。ここでは市投資分の約8割を占める学校（小，中）投資を児童，生徒数の変動に合せ遅らせた。市の投資は19年でほぼ完了する。一般経費は（1）の場合と同じ。

税収
公団住宅に対する軽減措置は全然行なわないものとする。他は（1）の場合と同じ。

年度収支は7年目ごろからバランスがとれだし（1）と同じく11年目からは黒字が恒常化する。初期の投資および収支差額累計はさほど大きいものではない。ニュータウン建設を10カ年とした場合のもつとも有利な型である。

変えた場合のスタディも必要である。そして一方現在の市の財政状態の分析から将来を推測し，それにニュータウンの収支予測を加えて全体でバランスがとれるように計画する。いずれにしても問題の焦点はニュータウン開発初期の投資の山を如何に乗り切るかにある。したがって第二段階の作業としては，その時期の起債できる枠およびその方法，公団や他の公共団体による肩替り投資，団や県からの特別補助などに対する検討と積極的な提案を行なってゆかなければならない。このような作業からニュータウンの規模，性格，開発の年次計画といったマスタープランの骨組みが検討されなければならないし，またこのようなプラニングを含んでこそマスタープランは実現性を持つであろう。

——おわりに

以上述べてきたなかに私自身多くの疑問と問題を感ぜずにはいられない。これらをもっとも整理した上で，また私たちの進めている高蔵寺ニュータウンの計画についてももっと具体化されたときに，ふたたび名古屋から報告できる機会があればと思っている（620130名古屋W）

（筆者 日本住宅公団名古屋支所宅地開発部）

新しい計画（プラニング）の方法論を模索する

長峯晴夫

1. はじめに—経済学者からのひとつの提言

今年1月の「朝日ジャーナル」誌上に，「日本の都市をどうする—経済学者の提言」と題する都留重人氏の論文が掲載されていたのを読まれた方も多いことであろう。*

その中で　都留氏は資本主義経済活動の集結点としての現代の都市は，無数の営利追及機構が展開する無秩序なエゴイズムの百鬼夜行の場となっており，その結果として生じてくるさまざまな矛盾（交通マヒ，都市公害など）が都市の機能をつよく圧迫しはじめていることを指摘しておられる。都留氏の言葉をかりれば「資本主義は“外部経済”を内部化することにはほとんど妨げられることなく，“外部不経済”の内部化は拒否しつづけることによって　成長のためには無類の強さを発揮しつづけてきたのだ」というわけである。彼は結論として都市問題への今後の基本的視角を問題として，「外部経済」（都市に立地することによって享受する便益）と「外部不経済」（都市に立地することによってこうむる不利益）を，都市全体としての総合的な見地から評価すること—「外部」を「内部」とみなしうるような新しい社会会計の方法論を案出すべきではないか，と提唱しておられる。

2. 名古屋のもつ「ゆとり」のゆくえは？

私が名古屋をめぐる都市計画の課題に取組みはじめてからの日は浅いのだけれど，名古屋が直面する問題の性格—問題の性質・深さのほかに，市民の都市問題への意識などをもふくめて—には東京・大阪とは若干異なったニュアンスがあるように思われる。少なくともここには明日一日をどう生きのびるかという緊迫した危機は感せられないし，事実存在しないといってよい。雨が降ったからといって，電車やバスが遅れることはない。路線沿商店街のすぐ裏手にはキャベツ畑もちらほらしようという閑散な住宅地をつらぬいて，1メートル百万円という地下鉄工事—おどろくべき先行投資が着々と実施されている。名古屋駅から栄町にかけての目抜き中心地区には板囲いもしてない空地が随所に散見される。埃の舞う100メートル道路についてはいまさら指摘するまでもないであろう。町はスキ間だらけなのである。

しかし，昨今の中京地区への急激な設備投資のためにこのような町の「ゆとり」が，もはや「ゆとり」でなくなる日も，そう遠いことではないだろう。もしもこの町に対して旧態依然とした消極的規制程度の都市計画しか構ぜられないとすれば，東京・大阪の「外部不経済」に手をやいた資本はこの「ゆとり」にたいしてより巧妙に・より苛責なく「外部経済」のエゴイズムの論理を展開してくることであろう。「工業誘致」の幻影にまどわされて，みずからそれを求めたりするものが少なくない実情においては，それはなおさらのことである。

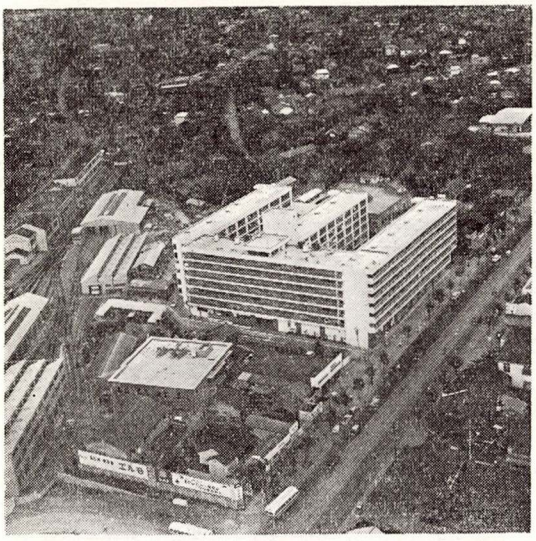
名古屋市東部の住宅地開発　（千種台・自由ヶ丘一帯）



3. 新たな計画の論理を

ここで私たちは考えなければならない。資本のエゴイズムを制御するためには，プラニングの側からの論理を明確にし　推進しなければならないのである。東京や大阪のあやまちを二度と繰り返さないために，建築の形態のみにとらわれた教祖的改革案や，独占資本のエゴイズムに

* 62年1月14日号



池下公団アパート
市街地再開発のプロトタイプは，今後ともさまざまな提案がなされなくてはならないであろう。（設計：日建設計工務KK）

奉任するような　人間不在の産業開発計画・工業立地計画にかわり得るものとしての，具体的な都市建設の指針となりうる総合的な評価のシステムが確立されねばならないのである。

冒頭にかかげた都留氏の論文は，このような問題意識にたいして大きな示唆を与えるものである。日本のトップ・レベルのジャーナリズムの上でこのような方向での問題提起がなされたことは私たちにとって喜ぶべきことであろうし，反面残念に思うべきことであるのかもしれない。というのは，われわれ都市計画関係者のあいだでは，いまだにこうした総合的見地からの都市計画方法論が明確なかたちで確立されていないばかりか，積極的に取組まれることもすくないように思われるからである。もちろん，さまざまな試みはすでに開始されてはいる。抱負としては大阪の北千里丘陵開発に匹敵する名古屋郊外の高蔵寺ニュータウン開発計画においては，地元の春日井市の公共投資と租税収入のバランスが検討され現行税法や地方自治のはらむ問題点にメスを入れることによってニュータウン開発の方法論に新しい息吹きが導入されつつある（高蔵寺　New Town. 若林君原稿参照）。

私たちはこのような方向――都市開発（郊外開発・都市改造すべてをふくめて）のインパクトを定量的に把握し，評価してゆく方法論を着実におし進めてゆきたいと考える。なぜならばこれこそ計画という新たなプロフェッションの核心にほかならないのだし，名古屋ではこの核心にとり組むことが現実の課題として要請されているからである。使い古され，気の遠くなるような混乱にしめつけられた都市ではなく空白の姿勢で将来の方向を模索する都市にとっては，どのような順序で　どのようなペースで計画を推進するかという行動の論理が，まさに現実の課題にほかならないからである。

もちろん私は　このような条件が都の大都市と本質的に異なったものとは思わないし，いままで東京や大阪の混乱と取組んできた私たちのエスプリの蓄積が役に立たないといいたいのでもない。まったく逆に，名古屋という　多少とも問題が単純化されたひとつの主題を素材として，あらたな角度からの行動論理としての方法論を組立ててみたいと念願しているにすぎないのである。

4．むすび―計画の裾野をひろげよう

このような方法論に肉迫するためには，私たち建築・土木系統の計画担当者の感覚だけではおそらく不十分であろう。財政・行政・経済等の社会科などに加えて，推計・統計・経営・ＯＲなどの分野で開拓されつつある方法論の感覚の導入が不可欠であるように思われる。

もちろん，具体的にはきわめて困難な課題が山積してはいる。たとえば一方で「論理」をときながら，およそ論理からは遊離した変動因子としての「宅地評価」の問題・ある環境の社会的・物理的居住性や都市機能への評価の指標の問題・バランスシートを構成する無数の指標の数量化の困難等々，あげればキリがない。

しかし，都留氏の論文をまつまでもなく，情勢はすでに熟していると考える。このような問題意識を日ごろ抱いておられる方々もけっして少なくないことであろう。私たちの未熟な暗中模索にたいして多くの方からのご助言・ご批判を賜ることができれば，これほどうれしいことはない。

（筆者　日本住宅公団名古屋支所事業部計画課）



御園公団アパート：名古屋の目抜き中心部に位置している。
（設計：KK 大阪建築事務所）

名古屋の駐車場

名古屋の中心部は道路面積が20%あり，大阪ほどの混雑はみられないが，昭和34.10.1.より駐車場法による条例が施行せられ，整備地区内に建築せられるビルはその対象となり設計上考慮せねばならぬことは社会的な当然の義務となったのである。

現在名古屋の駐車場はいかなる状況かを述べると，法施行より現在までに対象になったビルは，40件あり延面積 10,000m² 以上のビルは，23件である。とくにそのうち最大なものは，駅前の大名古屋ビル72,000m²で，160台収容の附置駐車場ビルの10,300m² が工事中である。

なお駅前名鉄ビル（住友を含む）の延面積132,000m² が計画され駐車台数300台，バスターミナルとして1日3,000本1時間300本の発車能力あるものが近いうちに実施せられる予定である。現在までに50～100台収容するもので竣功したものは，トヨタビル，東海銀行その他8件ほどある。つぎに駐車場における問題点を2～3あげると，

イ）カーリフトを使った場合，ビル内における駐車台数は，何台まで可能か。

ロ）吊上式立体駐車場の構造設備ならびに附置駐車場としての諸問題

ハ）用途による附置義務の問題点

ニ）3,000m²超過した場合，500m²（または 400m²）に1台の算定は，当を得た方法であろうか。

イについて行政指導上，20台までは1基でやむを得ないだろうと思われるが，30数台に1基で認めてほしいと，2～3相談があり常識論から止めてもらうようにしている。これらは理論的根拠を早急に出さねばならないと考えられている。ロについて現在名古屋では5基申請あり，構造，設備などに相当問題を残している。例えばカーリフトの独立塔はエレベーターとして確認ができ，吊上式はできない。また吊上式は通達により平家建として指導されるが，カーリフトはどのように指導されるべきか，などがある。ハについて公団アパート，病院なども附置義務にすべきではないであろうか。ニについて大阪と名古屋の駐車場設置の計算方法は，相異点があるがどちらがよいであろうか，また現在の規定では交通難緩和策として，あますぎるのではないであろうか。などこれらの問題点は徐々に解決されて行く方向にはあるが，小さなビルでも駐車場を附置することは，玄関に下駄箱でも造るぐらいの考えを持つべきではなかろうか。

アメリカの30数都市の附置義務の施行と，2.人に1台の普及度を考えるとき，日本の110人に1台は急速に縮少されつつある。名古屋のデパートが駐車場で営業面に影響し向御のホテルを大改築し，地下に180台の駐車場を造り，道路下で結ぶことにより，デパートとしての生命をよみがえらせようとして，現在工事中である。

（文責 水野 誠）

トピックス

A. C. R. & J. A. M.

終戦直後，まだろくな建築雑誌もなかったころ．戦争ボケからなんとか脱却しようと集まったメンバーが7～8人，名づけて A.C. R. (ARCHITECTURAL CULTURE RESEARCH)。バッジまで作って大いにフロンティア精神を発揮したものの，なにせ7～8年の戦争に断ち切られた空白と手掛りの少ない当時のこととて，幹事回り持ちで提出されるテーマに対しては資料集めにずいぶん苦労した。いまではなんとも感じない "NEIGHBOR-FOOD COMMUNITY" などというのも，当時のアメリカの建築雑誌からひろい出してきてディスカッスした記憶はなつかしい。

長年抑圧され片輪になった頭には社会主義的な意見も驚異であり，あるテーマを批判しながら討論するというより，その調査結果を整理してどんなカテゴリイのものでもウノミに吸収していたといった方がよかったと思う。昭和28年を過ぎるころにはそろそろ各メンバーも職場に定着し，落着いた話合いの場も持てるようになりコムペの作品批判，有名建築家の来名をとらえての意見拝聴，ジャーナリズムを通じてのPR活動などを行ない，ボストンのバックベイセンターを照介し都市核の必要を強調したりした。

昭和34年，A. C. R. の同人もそれぞれ相当の地位を得て方々へ散らばったころ，10年のギャップにあきたりないジュニアの連中が，J. A. M. (JUNIOR ARCHITECT'S MEMBER) を結成した。JAMの愛称で呼ばれ，会員は34名，民間の事務所員が主体となり，官庁，会社営繕，建設会社設計部，公団，大学研究室とバラエティに富んだ会員構成である。

会の特色は各分野で活動している小グループがそれぞれ研究した成果を持ちよって発表し合い大きく結びつく場を提供することであり，とかく散慢になり勝ちなこうした会合の目的を明確にしていることであろう。また伊勢湾台風のときも新聞を通じてRC造による災害仮設住宅案を提案しアピールした。

名古屋に芽生え，そだち，そしてうけつがれたこれらの会は，いずれも根強い抵抗精神から出発し，幾分排他的なにおいがないでもないが，それだけ純粋であり，ながつづきする可能性も多いわけである。若い会員たちが厳しい自己否定による客観性と系統立った自己主張の正しさを修練する場としてこの会合を続けて行けば，やがてメタフィジカルな混乱から抜けだして，しっかりとした建築の"型"をつかむこととなろう。名古屋とは，いままでそうした芽をそだてようとする土壌がなかったところである。

（文責 広瀬一良）

（ただし JAM の内容に関しては同会員牛山勉氏のご意見をいただきました。）

名古屋座談会

街造りの現状と将来

—地下街・駅西・バスターミナル—



座談会風景

とき	昭和37年1月10日（水）午後2時～5時	
ところ	愛知県建設業会館会議室	
出席者	（順不同，敬称略）	
挨拶	一円俊郎	（日本建築協会東海支部長）
司会	水野金市	（名古屋市建築局指導部長）
	城戸久	（工博，名工大教授）
	谷重幸	（名古屋市計画課長）
	宮本良三	（名古屋市消防部長）
	溝口閏	（名古屋市駅西都市改造事務所長）
	三輪恒	（日本住宅公団名古屋支所計画課長）
	石原巌	（建築士会会長）
	山根正次郎	（日建設計工務KK）
	片山節義	（日建設計工務KK）
	川口喜代枝	（KK篠口川口建築事務所）
	浜田瑞穂	（KK浜田建築事務所）
	宮地二郎	（KK竹中工務店名古屋支店）
	相徳定幸	（KK竹中工務店名古屋支店）

編集　本日は，大都市名古屋の建設のために，第一戦でご活躍されておりますみなさま方に，お集まりいただきまして，「名古屋の街造りの現状と将来」というテーマで，日ごろ考えておられるようなことを，お話しあっていただきたいと思います。本日の司会を水野さんにお願いいたします。

名古屋の現在おかれている立場

水野（司会）　それでは司会をさせていただきます。まず名古屋の現在おかれている立場というものですが，これは，ご承知のように，こんにち165万におよぶまでの人口を容するようになりまして，全国に誇るような雄大な都市計画が，着々とその実をみせまして，現在では計画に基づきました住みよい，明るい大都市としての基礎が確立されたと信じるのであります。名古屋市の社会的，経済的，文化的など，あらゆる面の基盤は，背後地であります広大な中部経済圏全体から育成されたものであります。なお名古屋港と四日市港を中心とします伊勢湾工業地帯の造成は将来京浜地帯とか，阪神地帯とかに匹敵する地帯となることが，いまから期待されております。いまや名古屋市は偉大なる田舎といわれました当時より脱皮しまして，中部経済圏の中心都市として，また近代的な進展のための多くの潜在的要素に恵まれた未来ある青年都市であります。産業において，また，文化において日本を代表する大都市である名古屋の街造りの現状と将来ということについて，みなさまからお話をうけたまわりたいと存じます。話の順序としまして名古屋の将来計画の基本となります計画の目標を昭和60年においているようにうかがっておりますが，その将来の人口，ならびにこの人口を適正に収容するための都市計画区域というものの考え方について谷さんからうかがいたいと思います。

谷　いま司会者からお話のありましたことについて，現在私どもの考えておりますことを話したいと思います。街造りと申しましてもいろいろの段階がありまして，街づくりの計画そのものと，それを実際に仕上げて行くための事業と二つの段階があると思うのですが，その計画自体にもいろいろと段階があります。ご承知のように名古屋が都市として発足したのが，大正9年です。同年に都市計画法の適用をうけ，それ以前には東京地区改正条例の適用を継続していましたが，みるべきものはございませんでした。近代都市計画としての名古屋が発足しましたのが，大正10年後で，それ以後大正15年までの間に5ヵ年の日月をついやしまして一応区域街路，土地利用，公園，こういった原則的な計画が達成され，それからいろいろな事業が始まりましたが，大東亜戦争に入ってそういった諸計画も駄目になり，事業の進行がストップしましたが，その間に名古屋は工業都市的な性格でふくれるだけふくれてしまったわけであります。戦争で壊滅にひんして，戦後その復興計画をたてました。

その復興計画の目標は昭和45年に人口が200万になるであろうという目途のもとに現在の市域ではなくて旧市域160方キロの市域，庄内川と天白川にかこまれた160方キロの区域のなかで人口200万人をかかえこむといった構想のもとに都心部の街路計画を修正いたしまして新らしく発足したわけであります。その後，戦災復興事業を進めてまいりまして，昭和30年に130万人すこしこえまして大体戦前の人口の規模に復しました。それから徐々に地価も高くなってまいります関係で，160方キロの区域外へ市街地が進出するという事態になってまいりまして，ご承知のような周辺6ヵ町村の合併が行なわれたわけであります。

名古屋の都市計画区域は大体従前から枇杷島町，八事辺まで含めていたのですが，30年にその区域が大巾に周辺の6ヵ町村を含んだ区域にひろがり，35年度の国勢調査の結果，名古屋の市政は単にそれにとどまらず，なおその周辺にひろがった，例えば，鳴海町あるいは守山市，こういったところが名古屋の住居の場となるような傾向になってまいりました。建設省からサゼッションもあり，また，県の計画課からもいろいろご指示がありますが，名古屋の都市計画区域が将来どうあるべきか，という作業をいまわれわれのところで進めています。ただ基本的な考え方としましては県の地方計画のなかにもうたわれておりますように現在の市域に隣接しています1市13ヵ町村がございますが，いろいろな調査の結果から，大体地理的中心であります金山から半径15キロの区域に含まれているわけであります。半径15キロといいますと，現在の交通技術の段階からみて，まあ適正な規模，ではなかろうかという考え方と，それから名古屋の人口増加の傾向からみましても，1市13ヵ町村を名古屋の都市計画区域として一元的に処理していくことが非常に妥当な適切な，いろいろな資料がでてまいります。

人口の方から申しますと日本の人口が9,300万人ぐらいで，人口問題研究所の試算では昭和65年度ごろには1

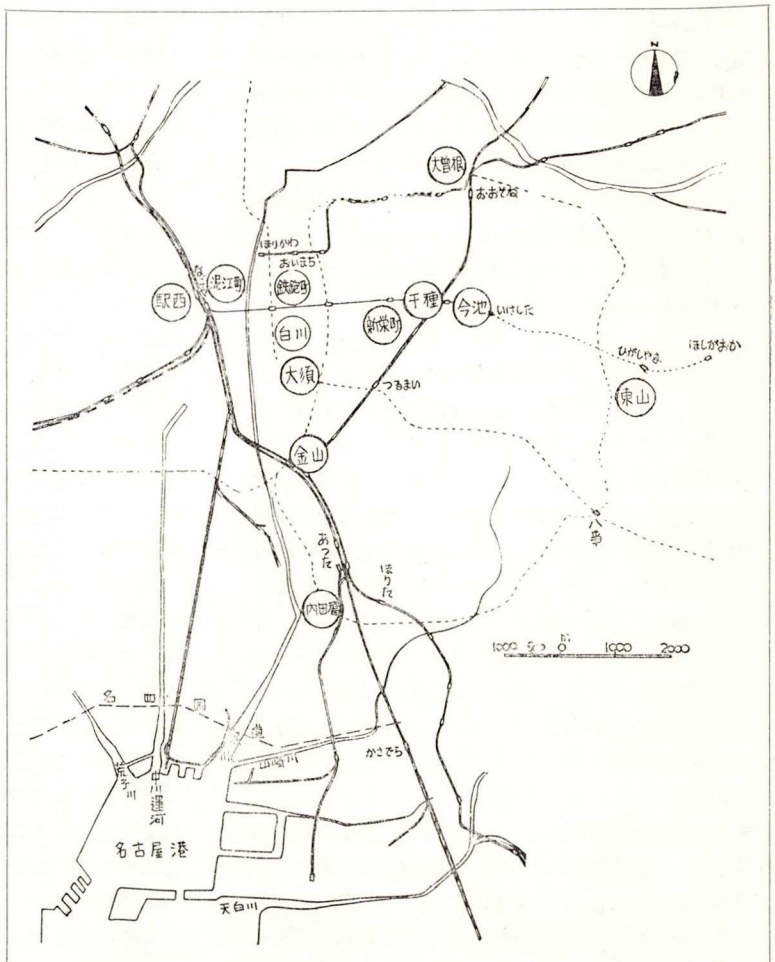
億800万，最近では1億400万ぐらいで申請しておりますが，こういった人口規模になり，なお今後も増加していきます。しかも，農山村からの余剰人口が都市に集中し，とくに大都市周辺に人口が集中するのは明白なことです。かりに1千万の10%を名古屋が引受けるといたしましても名古屋は100万ぐらいになります。したがっていまのままでいっても250万～260万ぐらいの人口になりますが，さらに周辺の地区，伊勢湾臨海工業地帯の開発，こういったものからみあわせますと，名古屋の将来人口というのは，大体350万ぐらいになるのではなかろうか。また一方これは名古屋の都市計画がはじまるときに人口の推定方式を立てていますが，この推定方式が現在でもよろしいということで試算してみますと，やはり前に申しました数字と同じような330万ないし，350万といった数字がでてまいります。

こうした人口を名古屋という地域にどのように配分したらよいか考えますと，都市の人口密度というようなことから割りだしまして終戦後の戦災復興計画で一応の構想をたてました旧市域の人口は，200万になり，これはその限度でいっぱいだろうと思います。

200万かかえこみますと，方キロあたり12,500人という人口密度になってきます。いまの東京が11,000，大阪はちょっと多くて14,000，だいたい12,500人という人口密度は都市の形態としては，まあこんなところでしょう。さらにその周辺にはその半分以下の5,500人ぐらいの人口密度で配分するとして，いま申しました1市13ヵ町村を含めた区域にばらまきますと，ちょうどうまく入るわけです。区域的には430方キロという面積になるわけで，そういった面積の区域のなかに350万ぐらいの人口を入れる。そういった街造りを将来実現すべきであろうというのが，現在の私どもの考え方です。昭和30年に周辺の6ヵ町村を合併しましたときに一応土地利用，街路計画などを検討しましたが，当時の計画を考えだしましたころは周辺の6ヵ町村はまだ入っておりませんでした。1市19ヵ町村がはいる規模で一応考えております。現在の計画はそういった将来の構想にみあった計画になっているはずです。

そこで実際にこれを仕事にして行くのにどのような考え方をするかというと，いろいろと街路事業，公団事業とか，個々の事業もございますが，戦前名古屋が都市計画的に非常にモデル地区になる素地ができたというのも，結局は区画整理という仕事のおかげだと思います。昭和の初期から大東亜戦争に入るまでの間に130あまりの民間の区画整理組合ができ，それらの総面積が2,600万坪におよんでいる。当時の160方キロと申しますと，4,800万坪ぐらいで，そのなかの2,600万坪が民間の区画整理組合の網でおおわれたことになります。

それから戦争によって都心部が壊滅しましたが，戦災



名古屋市街地再開発候補地図


一円　俊郎 氏


水野　金市 氏


城戸　久 氏


谷　重幸 氏


宮本　良三 氏

復興事業を1,000万坪取上げて，旧市域については3,600万坪という区域が都市計画の区画整理事業，民間の都市区画整理事業でやられ，なお事業が進行中でもありますが，75%から80%までの区域が土地区画整理で行なわれたということは非常に大きな区画整理事業の方式であると思います。これによってほぼ旧地域の町割りはできていることになります。周辺の部分につきましても最近の新らしい組合が続々と発生しております。これらによって一応目途がついているのは1,000万坪ほどありますがこういった区域の人たちの自主的な区画整理組合の手によりまして諸計画が実現して行くものと考えております。ただ問題は従来の区画整理事業は平面的な区画整理，土地を交換分合して公共団地を生み出す。

こういった仕事でありまして建築の集団として街を考えるという考え方は抜けており，私どもはとくに最近そういった欠点といいますか従来取り入れなかったような仕事のなかへ今後は建築集団としての街を対象として考えていかなければいけない。そうしないと最近のような自動車交通が発達しますと建築物がふえ自動車交通がいっそう激しくなってきまして，はたして現在の街路計画でもつだろうかという不安な点もでておりますので，そういった面も考え合わせて，とくに建築界，土木界，また都市社会学といった総合的見地からみた都市計画的な仕事の進め方が必要でないかと感じております。現状の組織そのままで仕事をもって行くとすれば，まだしばらく理想的な形にはならないんじゃないかと思います。その辺に問題がありますが，一応名古屋という街は平面的な区画整理ということで現在の日本のなかではモデル地区といわれているような努力を続けてきたわけであります。話があっちこっちしましたが，ざっとかいつまんでお話し申しました。

司会　どうもありがとうございました。いまいろいろ承りましたが，それを区切りましてみなさんからご意見をうかがいたいと存じます。最初に，名古屋の将来としては金山を中心として半径15キロぐらいの範囲内にある1市13ヵ町村を含めたぐらいの区域が適正な区域ではないか。いま，現在の人口増加の傾向，あるいは日本の人口の都市集中状況からいってこの区域内は人口350万ぐらいに考えるべきではなかろうか，といったようなお話がありましたが，その将来計画の想定につきましてなかで意見がありましたらおうかがいしたいと思いますが。石原さんいかがですか，

石原　350万人ですか？

司会　ええ350万です。

谷　435方キロの区域内ですよ。

石原　人口密度はどのくらいになりますか。

谷　密度は全市430方キロで割りますと8,802人ぐらいですね。都心部といいますか，旧市域にうんとこんでいることになります。

三輪　私どもの仕事はそのようなことをうかがったうえでいろいろと組んでいるつもりなんですが，350万という数字については別に不安とか不思議な感じは持たないんです。非常に素直でいまの東京がよき東京の時代というのは，それぐらいのものであったわけなんですから大きな課題とか，そういう言葉はないと思っており100人/hぐらいでしたら普通ですね。それから交通の方から心配のない数字といえばむしろそれぐらいにしないとある範囲におさまっていかないんじゃないんですか。それに持ち込む間の段取りといいますか事業化して行く場合に，ごたごたが起るか，起らないかという問題ですね。地域的にはそれぐらいの構想はむしろおかしくないんじゃないですか。

宮地　私はもう少し具体的な考え方なんですが，名古屋の都心部というものについて考えてみますと，都心部をめぐって非常に広い道路がたくさんございます。矢場町の100m道路とか，桜通りとか，これらの道路が都心部に集中している形のように思われるのですが，そうしますと金山が都心部じゃなくて，現状からみますと名古屋駅附近のように思われます。その区域には広い立派な道路ができておりますが，その区域だけを考えてみますと，道路になっている面積と建築物を建てられる面積との比率が近いですね。要するに道路に使っている面積が多すぎやしないかと思います。しかし，多いのは結構なんですが……多いからそれを利用するために，広い道路


溝口　薗氏


三輪　恒氏


石原　巌氏


山根正次郎氏


片山　節義氏

にかこまれた部分に大きい建物を建てなければいけないというような規約でもできましたら，広い道路を有効に使った建物ができるのではないかと思います。

しかし，現状をみますと間口が3間で奥行が15～6間といったような敷地が並んでおりますが，ここに，各自が一軒一軒建てたのでは周囲の広い道路に対する割合からいって建物が非常に小さくなって都心部の立派な道路にふさわしい建設ができないんじゃないかと思います。こういう点をなにかひとつもつと大規模な建設ができるようにもって行っていただきたいと思います。

司会　ただいまの宮地さんのご意見は現在都心の4割近い立派な道路を持ちながらそのブロック内の小さい敷地ごとに建物が建てられていくというようなことよりもあの道路を利用して1ブロックまたは数ブロックを合わせて考えたような街造りをして行くべきじゃないかというご意見だと思いますが，その通りだと思います。将来計画につきましては谷さんから説明があり，それについては妥当じゃないからというご意見でありましたので，将来計画につきましてはこのくらいにいたします。

さきほどお話がありました名古屋の中心部が戦災で壊滅しました機会に，理想的な街造りをやろうということで，すぐれた復興計画が立てられ，復興土地区画整理事業が実施されてこんにちにいたっておりますが，その実施が市民の協力のたまものだというお話をうかがったわけです。現在の名古屋市の構造は旧市域，その周辺に区画整理をやった区域，その周辺で土地区画整理をこれから進めて行こうとする区域と，三段の構成になっているような気がしますが，その復興土地区画整理事業が計画にもとずいて逐次進行してきたのですが，戦前の建物が残っていることで，除外された区域が，こんにちではそのまま放置できない状態になってきましたし，また，戦後の混乱期から今日まで建てられて残っているような地区もあり，また一方旧市街地におきましても，さきほどの将来計画のなかにお話がありましたが，旧市域には，200万人ぐらい，周辺には150万人ぐらいの人口配分の予定だということでありましたが，このような人口配分の基本となる，土地利用計画といったものから考えますと，土地の合理的，または，経済的な整理というような見地からそれぞれの地価および立地条件，開発目的，このような目的に応じて将来適正な市街地化をはかる仕事をやって行く方法としまして，現在都市改造三法といって「公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律」非常に長いので，市街地改造法といっておりますが……それから「防災建築街区造成法」，それから住宅地区改造法というのができまして，その他，従来の土地区域整理事業の土地区画整理法の第3条第4項によるもの，こういうような法律で行なわれる仕事になるわけですが，なお，このような事業がやりやすいように国の方でもそれぞれ補助を考えております。

この再開発の両立一体の財源となっております都市の不燃化ということについて，公庫，公団におきましては市街地施設付住宅，中高層の耐火建築物の融資とか，公営住宅につきましても併存公営住宅とか，こういうものを活用しながら，さきほどいいましたような公式をあてはめて逐次再開発をして行かなければならないわけですが，そこで，もどりまして都心部の街づくりというものについてうかがいたいと思いますが，谷さんからさきほど申しました市街地改造法とか，土地区画整理法の3条の4項で計画している地区，ならびに考え方についてお話いただきたいと思います。

谷　これは都心部じゃなくて都心部は戦災復興事業で区画整理は進行中でございますが，やけのこりは戦災復興地区のなかに入れるとして，都市改造事業という名称で，戦災復興事業の関連事業的な取扱いをしているということを考えております。戦災復興事業をやった区域とすでに民間の土地区画整理が終了した地区との境目でまだ手がつかないところ，たとえば大曽根，内田橋のすぐ南のところ，港陽町，築地口以南のところ，そういったところが7ヵ所ぐらいありますが，こういったところがどうしてものこされておりますので，適正な市街地にするためには，そこのところの区画整理をやらなければならない。これを都市改造事業という仕事でやろうと考えております。ただ焼け残った区域とか，副都心的な，かなり密集しております区域を平面的な区画整理でやる


川口喜代枝 氏


浜田 瑞穂 氏


宮地 二郎 氏


相徳 定幸 氏

ことは非常に困難なことであります。

また，最近立法されました市街地改造によりますと，換地された部分を上に積みあげていくこともできますがその対象区域として江川線，大曽根の部分を，こういった方法でやろうと考えております。いま，こういったところに手をつけるとしましても，なかなか大変な仕事です。例えば，駅西の部分は従来から戦災復興事業の区域になっていたのですが，これはやはり特別の事業として取りあげなければ格好がつかないということで，駅西土地区画整理事業として悪戦苦闘しております。まあそういった仕事がつぎからつぎから出てまいりまして私どものいまの仕事の進め方としては，そういったところを一つ一つかたづけて行こうと考えております。

司会 公団の方で再開発について調査されたり，また現在調査中の地区があるとうかがっておりますが，そのへんのことについて一つうかがいたいと思います。

三輪 いた具体的にどこを調査してどうなったということをお話しするまえに，私たちの仕事の段階を申しますと，モデルを一つでも建てられたらいいなあといった段階でございます。もちろんねらいはさきほどいわれましたように街区単位をもって街ぐるみ改造して行く方向にもって行くことですが，その前に，やはり少しでも，そういうものに似せたものでもできて，その方がいいなあという世論の支持をうけなければならないと思います。不燃化とか高層化とか，金融公庫が熱心に進められている後をうけてそれをもう少し大きくして行くというような段階で，それもことに市の方で計画されている大曽根とか，駅西とか，金山とか，将来非常に重要な場所で，どうしてもそこのところをほっておけないというところに，事業を進めていく上に一番役に立つようなものか，それに近いようなものを造れれば，まあ，一部看板が建てられればいいなあという程度の仕事のねらいを持っているのです。

それからもうひとつは，名古屋の住宅政策ですが，住宅公団というのは住宅政策に従属したものですから，以前は街造りの建設政策と若干違いますから住宅公団が街造りを全部トップをきってやっていくようなことは毛頭できません。その面からも若干矛盾があります。たとえば，名古屋の住宅事情というものは，将来相当見込まれているにもかかわらず名古屋地区は公団でいいますれば事業量では日本全国の10%を割る5%程度のウエイトしか持っていないのです。それからいままで5ヵ年間，実際には事業年度として7ヵ年間やっていますけれど，5ヵ年間の成果というのは名古屋の住宅にしますと1%に満たない建設しかしてないのですが，もちろん量的にいいましても，建設のテンポから考えても，こんなことではとてもついて行けないことです。事業量は少なくとも公団全体の2割程度ぐらいを名古屋市に，たたきこみたいというようなことや，それからある程度市営住宅をはじめ公営住宅，公庫住宅というものと公共投資の住宅が名古屋の場合非常にウエイトを占めていますから，そういう面で全体の住宅の投資量というものをかなりふやすということをしなければいけない段階じゃないかと思います。いろいろなにらみあわせで，とにかく名古屋はそのさきに待伏せした建設をやって行くといった形をPRしていきたいと思っています。それから具体的に地区の調査とかそういったものをやっていますのは，いってみれば，そのようなもので名古屋の場合にどのような問題があるかということを少しずつでもつかんでいって，仕事の上に参考にしていければいいという程度に考えています。

司会 そういう面について不燃都市建設協議会のメンバーであります浜田さんから，防災建築街区造成法で造成しようとする地区あたりについて，うかがいたいと思いますが。

浜田 どうも都心部というところの地主は，土地に対する愛着が非常に強いので共同建築をしようといってもなかなか承知しない。いまお話がありました防災建築街区造成法という法律はいい法律でして，かっての重点防火帯，あるいは防火帯というような帯状でなく街区全体を高層化していかなければいけないというものですが，もうそうやって行かなければ車の問題で行きづまっております。間口3間～4間のところに，4階～6階建を建てますが，車の処理の問題で困っております。私どもの

ところに大規模のビルを単独で建てたいという方や，2～3 人の共同で建てたいという方が相談にこられるのですが，建物を建てましても車の処理の問題からとりやめになったのもあります。さきほどの防災建築街区造成法の適用を受けまして街区の中央部にでも空地を保有してそこに車を収容する。いまアメリカ村の高山先生の基本計画にもありますが，ああいう形でもとらないと行きづまってしまうのではないかと思っているところです。

しかしここで問題になるのは地主の方の土地に対する愛着をどう説得するか，これが現在の法律ではちょっとむつかしいのではないか，もう少しつっこんだ，なにか強力な力でこれを押さないと事実上できないのではないかと考えております。それから街区といいますと，裏と表とがあるわけですが，表通りと裏通りではその性格がまるで違う。かりに本町通りを例にとりますと，一方の通りは問屋街，また一方の通りは料理屋街といったふうで性質が違っています。それを一本にまとめようといっても事実上できない（笑）。これを一本にまとめるには民間だけでいくら話しあっても，これはむつかしいのではないかと思われます。

司会　防災建築街区を造るうえの問題点について，いまお話がありましたが，そのことにつきましてはまたのちほどまとめてうかがうことにいたしまして，住宅地区改良法によります改良地区の指定による街造りのことですが，この改良地区の指定について少し申しあげますと現在指定されておりますところは汁谷地区だけですが，大体 2 月ごろに城北地区，御園地区，汐止地区，弥次衛地区が指定されますが，この地区は伊勢湾台風による被災者を一時，収容する施設として建築した応急仮設住宅が密集している地区であります。城北，御園地区は簡易木造住宅の密集している地区であります。それに白水地区とこの 5 ヵ所の地区が指定されるのではないかと思っております。このまえの法律で行なわれましたのが，ご承知のとおり中区の奥田町で昭和 3 年から 5 年にかけて 537 戸建てかえられたという記述が残っております。以上のようにいろいろの法規ができましていろいろな開発地区が考えられているわけであります。その他の地区であの辺はああしなくてはならないといったような地区についてうかがいたいと思います。

相徳　実は私はあらゆる計画が金山を中心に考えられているように考えられるのですが，金山は都市センターであって都市センターでない。私の想像なんですが，機能の中心を拠点にして物を考えられておるんじゃないかという心配があるんです。今年の正月に市長さんもおっしゃっておられましたが，例えば，駅前の広場がせまいとか，駅前の地下街の拡長，整備という案もでているわけですね。これと同じことが将来金山を都心として，あくまで考えている以上，当然考えても良いような気がいたします。あるいは非常な問題がもうすぐでてきやしないかということが考えられます。金山の表のみならず裏までいまのうちから工事をやっておく必要があるんじゃないかということを検討していただく必要があるんじゃないかといつも考えるんですが。

谷　いまおっしゃるような金山が中心ということはこれはあくまでも金山が地理的な中心であるということでありまして，これは名古屋の都心部が金山に移るという考えは私は持っておりません。

司会　そのあたりに少し誤解があったようですね。

谷　われわれは名古屋駅から新栄町までにかけての巾 1 キロぐらい，3 方キロ半ぐらいの区域が将来の都心という考え方をしています。その都心の区域の建築構造のボリュームとかいろんなことを考えますと，金山は交通の中心であって，あそこへ名古屋の既成の都心が移り得るかどうかは問題だと思います。また一面からいいますと新幹線がせっかくできたんだからあそこに新幹線の大きな駅を造って名古屋の都心を，あらかじめ用意したらどうだという意見もあったんですが，しかしそれは人為的にやれる仕事じゃないと私は思うんです。これはやはり町の歴史的な所産でもあるし，既成都心が今後も膨張する方向だろうという考え方をしております。

相徳　将来あの辺が中心になるような気がすんですが。

谷　ただ南部に工業地帯ができますと，工業地帯の工業都心といいますか，工業的機能をはたすような都心といいますか，本来の都市機能と別の都市機能ができると思います。金山では都心に近すぎますし，むしろ熱田か，それ以南にそういった工業的な中心ができるのではないかというような考え方をしています。金山はちょっと中途半端なところで交通中心という考えでおります。

相徳　交通の問題といいますと覚王山とか，八事とか非常に混雑したところがあるんですね。そういうところは将来非常に困るのではないかと思いますが。

司会　川口さん，如何ですか。

川口　いろいろお話をうかがいましたが，どうしたって街の改造ということはやはり交通の問題が一番重点であろうと考えています。名古屋の街路は日本の他の都市よりも整備されていますが，しかし，谷さんにちょっとおたづねしたいのですが……名古屋の道路の占める面積と名古屋全体の面積との割合ですね。公園敷地だとか市の所有の空地とかを除外した面積との割合ですね。本当

の道路がしめる割合は一体どのぐらいですか。

谷　それはですね，だいたい中区の中央線にかこまれた都心ですね。金山以北の区域で39%ですね。戦災復興で継続してやっております1,000万坪の区域ですが，これを旧市域までに引きのばしますと，だいたい22%ぐらいになります。道路年報には9.6%とでていますが，これは旧台帳でございまして，戦前の道路面積に都市区画整理事業で街路が拡巾されるもので，道路認定されるものだけ含まれており，1,000万坪の戦災復興区域は含まれておりませんので，相当数字が違います。大体20%前後のものになります。

川口　それは仮に東京だとか，大阪だとかの各都市と比較してみるとどうなりますか。

谷　さすがに東京ですね。東京の都心は40%ぐらいあります。ちょっと外へでますと，区部全体の合計でいきますと10%～11%で名古屋は東京の2倍です。

川口　伏見通り，桜通りを車で走りますと，夕方の5時～6時ごろになりますと信号で止められましていっぱい並んでしまってどうにもならなくなります。外国の例から比較しましても，まだ道路敷地がせまく，これからますます大きな問題となってきます。いま，中心部は比較的良いのですが，周辺の新しい地域に入ったところ，あるいはこれから入るところの交通問題はいまのうちに大きな環状線を造るとか，なにかいまのうちから考えておかなくてはなりません。いま，浜田さんがおっしゃいましたお話は，切実な具体的な例を示されたんですが，都心の改良を建物と結びつけて考えますと道路が下へ延びていきますね。

谷　ご指定のとおりなんですが，建築の方はスーパーブロック方式でやればよいと申されますが，私どもの心配な点は，果して街区構造が最後であろうかという問題がひとつあるのです。それで考えましたのは，一応現在の都心であります栄町を中心とする区域の宅地に対する容積率を300%ぐらいと考えますと，300%を延べにする建築物ができた場合には，よほど車をさばく施設がないと，いまの街区では問題があるんです。

私はこう考えているんです。問題は通勤交通なんですね。普通の自動車交通はあの程度の道路網があればなんとかさばけるんじゃないかと思いますし，さらに今後も新らしい線をこれからも敷いていかなければなりませんが，今後考えなければならないのは都心交通統計学上のこと，例えば，東山地区の大きな住宅団地から自家用車をみなさんがお持ちになって都心に入るとすれば，何台ぐらい入ることができるだろうかということを，現在ある都市線で計算しますと10万台入ることができます。10万台都心に入れますが，止るところはもちろんございません。どこかに駐車できるところを造らなければなりませんが，しかし10万台分の駐車場を都心部に造ることは，広い名古屋の道路でも今後ともできないでしょう。これは地下鉄をできるだけ拡充しまして通勤交通はそういった大量運送機関で片づけなければとても片づかないですね。ロスアンゼルスでも3分の1ぐらいは道路なんですが，通勤交通が結局行きづまっておりますから，大都市の都心交通の処理はそういった交通機関を使わなければ駄目だということを，いま，考えています。まあこういうことでいけばなんとかいまの街路でいけるんじゃないかと考えています。

司会　比率が40%ぐらいというのはどういうことですか。

谷　それはボリュームによります。私がお願いしたいのは建築物を設計される際に，現在ある街路から後退して前面に空地を残すべきじゃないかと考えますね。

石原　しかし，その点ですが，道路というものは土木の専門なんだが，道路の横に建築物ができてはじめて道路なんですからね。土木と建築と協力して道路計画を立てるものではないでしょうか。

谷　ところが，いまからやっては遅いんですよ。そこでさっきも公団の三輪さんとも話してたんですが，公団の下駄ばき住宅にしても，大規模なものを作る場合にしても，前面道路との関連をみて，少なくとも20mぐらいの前面道路がなければ，今後こまると思います。20mと申しますと4車線道路なんですが，ビルが建ちますと駐車線ができます。駐車線を両側において中側は2車線になってしまいますので，相当広い道路を前に持たなければそのビルは使いものにならなくなってしまいます。少なくともそういった道路を予定してビルの計画をすべきではないでしょうか。まあ，そこまでわれわれも割切っておりませんが，もう少し研究しなければいけないと思っております。

石原　それは建築家でなくて企業者で，家を建てる人がその気になってくれないとそんな設計はできない。やはり地価の問題とか利用度の問題からなるべく空地を少なくして建物を建てようとするから空地がなくなるわけです。

司会　三輪さんさっきちょっとおっしゃいましたが……。

三輪　道路技術のことなんですが，名古屋，東京，大阪はほとんど10%ぐらいの統計だと思って，ただ不思議に思ったんですが，20%程度と申しましても外国の統計あたりと比べますと，まあ半分ぐらいか，それより低い

数字ですね。それをふやして行くような，原則というようなものはでてこないんですか。

谷　あとはもうフリーウェーをを造るよりほかはないですね。あれ以上ひろげることはちょっと無理ですね，実施能力もないし。それでお願いしたいのは，建てるときに後退することです（笑）。

三輪　幸い大きなロットがありまして，細い道路がまわりにあるのは基準法で後退しなければ高くできませんからうまくいくんですが，ただね，大きな道路が小さなロットと組んでいくつもある場合にはどうにもならない。駅西の計画を拝見いたしましても少し道路が多すぎて，しかも細すぎる。換地の操作やいろいろからみあって，ああいうようになったのでしょうが，もう少し太くて数が少ない方がいいんじゃないかという感じがするんですが，建築基準法からいって建てられなくなってきますからね……高くしょうと思っても，ちょうど建てやすいロットの方がいいと思うんですが。

石原　道路としてやる方がある程度強制力もあるし，やりやすいんじゃないですか。やはり建築主としては敷地いっぱいに利用するというか，建てたいでしょうから。

谷　その問題ですが，まだ戦災復興をうけるめどがつかない間に一方的にどんどんビルが建っていくというのに，私はおそれをいだいているんですよ（笑）。

城戸　名古屋は道がひろいから2階を道路にして，その下を駐車場にして2階を通す。そうすれば問題はなくなると思います。

溝口　現在はひろいと申しましても道路用地というのはパーセンテージからいえば22%程度でしょう。これは道路をひろくすればそれにこしたことはないんですが，やはり都市計画をやるには区画整理事業にたよるか，買収方式にたよるか，この2つしか方法はないんですが，区画整理方式でいった場合，公共減歩を3割5分以上とるということになると，その事業はやれないんですよ。それでは3割5分の公共減歩のなかから道路敷地を一体どれだけとるかというと，もう3割以下になってしまう。こういうような関係から建物を建てるには前面道路がひろいのにこしたことはないが，やはりそこにはひとつの制約をうけるわけです。

司会　道路関係についていろいろご意見をうかがいましたが，つぎに進みます。

駅西地区について

司会　ただいまは，街造りや，再開発をやらなければならないというような地区についていろいろうかがいましたが，その地区の細部について一つ一つうかがっていきたいと思います。まず駅西地区ですが，これはさきほど谷さんからお話がありましたように駅西地区は復興土地区画整理事業の区域にふくまれて仮換地の指定を行ない，その他一部の事業として行なわれましたが，東海道の新幹線が計画されたためにその拡張計画を取り入れると同時に戦災直後の指定計画を再検討されて，新らしく土地区画整理法による3条の4項による土地改造事業として実施されておりますが，これにつきまして溝口さんか，谷さんから公共施設の整備改善計画といいますか，その概要についてお話していただきたいのですが。

溝口　計画の面はやはり谷さんからですね。実施の方は私の方ですが。

司会　それでは谷さんから計画をうかがって，溝口さんからいろいろな現場の苦心談というようなものを一つうかがいたいと思います。

谷　計画と申しましても実は駅西の計画につきましては，いろいろな案があったんですが，新幹線を引くということで，その案をねりなおしまして新幹線の規模にみあうような，かなり思い切った計画をしたんでございますが，それを実際の事業にあてはめますとできないという線がでてまいります。区画整理事業もやるということになりますと，従来のやり方では平面的な区画整理と，実際に減歩率が大きくなってやれないという問題がでてまいります。やむを得ず計画を縮小しまして平面的な区画整理がやれるような型を取り，当時としては，区画整理に立体換地の制度がございまして，それを適用して思い切ってやったらどうだという話もありましたが，あの条文には強制力がございません。それで，土地所有者，あるいは権利者の同意を得なければやれないということになりまして，結局やれない。やむを得ず縮小せざるを得なかったという，まあ計画上の問題が今後にのこされております。例えば駅西の広場を一応5,000坪ぐらい取りましたけれども，そこを立体的に利用する場合に，出入する道路をどこにおくかという問題，そういった問題も今後に解決しなければならない問題です。また

買収でいくか全然別途の事業としまして取りあげていくかしなければいけないという問題が残されております。一応，いま仕事を進めておりますような，十分じやないが，事前策の形として仕事を進めております。とくに，あそこに笈瀬通りという通りがあります。駅からその附近までが一番混みあって消防部長さんも頭を悩ましておられる区域でありますが，こういう区域はなんとかひとつ早くしょう。そこにまた一番苦労の種があるようですが，その辺の苦心談の方は溝口さんから（笑）。

司会　溝口さんから苦心談をうかがいます前に，宮本さんから，この地区の火災に関する被害についてうかがいたいと思います。

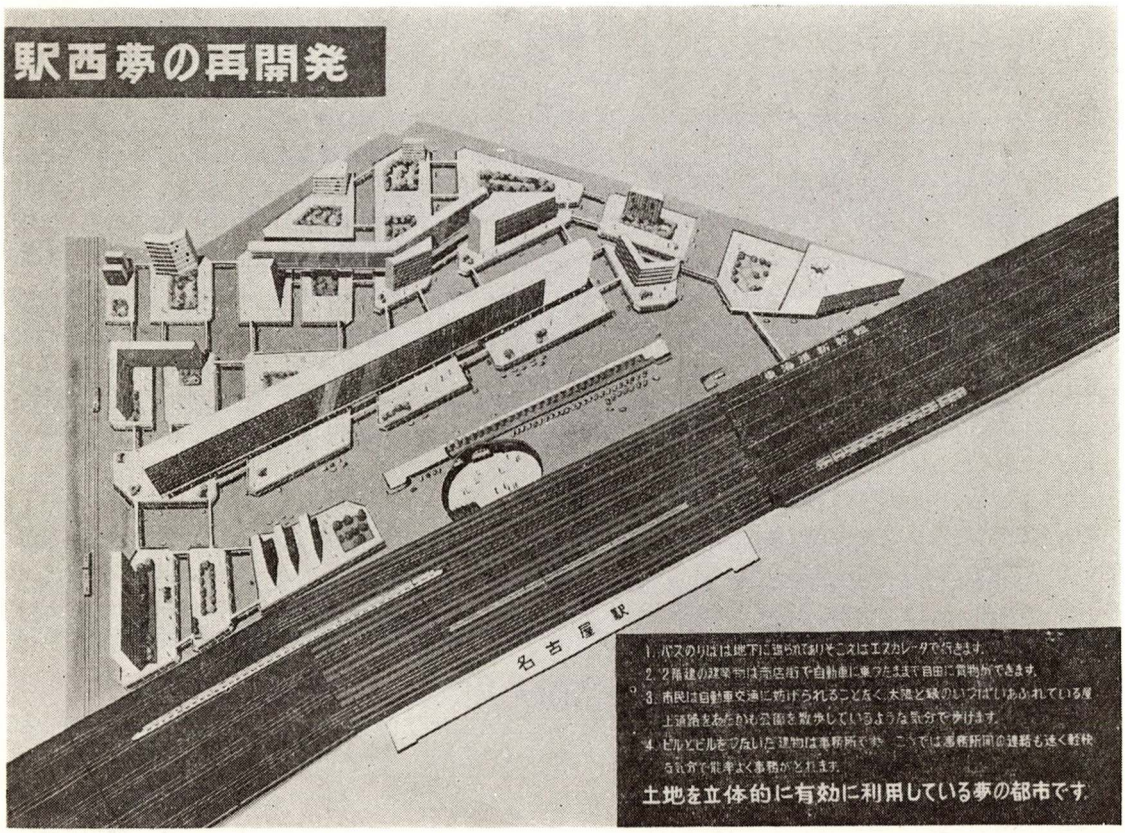
宮本　まあ，あの地区は比較的新聞で報導されたり，また大きいという火事は回数は少ないのですが，人口密度が非常に高い。それで火事になりかけという事故は無数にある。それを自分たちの力でもみ消しちゃうんですね。いままでそういうことをやかましく指導している関係で大きくならないですんでいるんですが，しかしひとたび間違えるととんでもないことになるという素地を持っているんですね。それで去年の暮れに，ちょっとした火災があったんですが，そこは本当にバラック建で，とてもひどく，いわゆる宿泊所が密集している地域で，まあよくあれだけですんだという感じがするんですが，私どもの方としては，まったく自信がもてぬというのか，こうするんだという断言のできない地区だということなんですね。しかしあまり密集しすぎてしまって，火事が起った場合に，われわれ自身が走って通ることが困難で，ホースをのばしたり，車をひっぱったりさえできないので，このままでいったら本当に頭痛の種になってしまいます。あの地域が整備されるとなればひじょうにありがたいと思います。

司会　あの地域は早く整備しなければいけないということですね。

宮本　まあそういうことですね。

司会　じゃあ，それを現場で担当しておられる溝口さんからいろいろうかがいましょう。

溝口　実はこの地区は昭和25年に一応計画ができておったんですが，ところが谷さんがさきほどおっしゃったとおり，新幹線が乗り入れるということで計画が一応ご破算になりまして，その計画ができ上ったのが昭和34年で，ようやく幹線用地の巾員が決まりまして，それから実は事業をはじめたわけで，あの地区はだいたい戦災で



焼けてしまって，一応はやけ野原となったというかっこうだったんです。ところがたまたま，中央線，関西線の始発点および東海道線の中央になるので，終戦直後，近郷の農村から米，魚が入ってくる。そういう関係で必然的にあすこへバラックマーケットができ，終戦後のどさくさもあって目茶苦茶に建ったという現実が現在なのです。そこへ大上段に振りあげて公共減歩を3割5分取って駅前に匹敵するような都市を建設しようということが都市改造の目的になってきております。

実際まあ一つの構想ができますときには，点が線になり，線が面になって都市が発展していくだろうと思うのですが，あの地区17万坪のうち，5万坪はそんなことおかまいなく無茶苦茶に建って行くというところなのです。そこへ30mの道路巾と，新幹線用の敷地と，駅前広場の1,000坪を公共減歩で取るんだとなると，現在乱雑に建っている人たちの家屋を根こそぎにひっくりかえすという大事業になってくるんです。この換地をどんなにしてやったらよいかというので，最初は立体換地だのなんだのとやってみたのですが，とどのつまりはもうそれでもできないということで，一応いままでやってきている平面換地でいこうじゃないかということで，平面換地を実はやったわけなんです。これについても非常に非難があるわけなんですが，終った以上は，そこへ入ってもらおうということで，実は現在進んでいるわけなんですが，おかげさまで笈瀬通りから西についてはこれは指定計画をあまり変えないでできたし，対象になる方々が常識ある人たちだったからすみやかに移転ができたのですが，いよいよ笈瀬通りから東5万坪の用地内には第三国人の方が60%の比重を占めております。

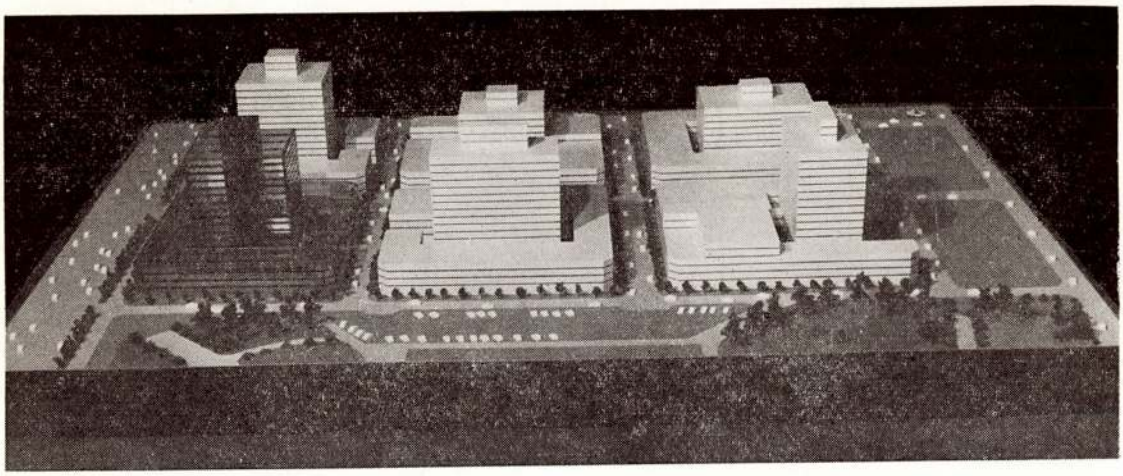
昼の人口と夜の人口は多少違うんですが，むしろ私は夜の人口が多いんじゃないかと思うんです。浮浪者や，日雇い，艶歌師といろいろな方が住んでおりまして，畳一帖のところに3人も4人もいっしょになって暮している方が非常に多いのでそこをどうやって立退かしていくかですが，換地のある人はそれでいいのですが，それのない方，駅裏の公共用地上にマーケットが建っておりますが，そういった方の行き先がないんです。行き先がないからといって根こそぎ取ってしまえるかといいますと，人権問題ということもでてきますし，そうかといってその人たちにまで土地をあてがうことは不合理ですので一体全体どうやったらよいかということで協議をしたり，お智恵を拝借したりしているんですが，まだいい考えがでていないんです。そうかといって昭和39年のオリンピックまでにどうしても新幹線を通したいと思いますし，外国からお客さまもくることだし，新幹線が名古屋駅でそれが止まってしまったといえば，名古屋の恥ですし，はやくやらなくてはいかんというので新年そうそうから関係者のところにまいりまして，なんとか立退いてくれないかと交渉にいってきたんです。あの地区をのかすか立ちのかさないかで，名古屋が偉大なる都市計画をやったというけれど駅の裏に出てみたら，あのようなものがあるではないかということになっては，せっかくの都市計画がゼロになってしまう。

私の方はなんとか道路だけは確保しなければ二次元的な都市建設の足場ができない。せめて道路だけを造ればその後は高層ビルが建つなり，どんな使用方面に使われようともいいわけです。路巾さえ確保できれば都市としての形ができて行くというので努力しているわけなんです。あの地域はあすこからしばらく西へいきますと庄内川という天然の要塞があり，それを越しますと海部(あま)郡の農村に入るのですが，この地域は地理的にいって栄町附近のようになっていくのか，それとも現在ある卸屋街になっていくのか，ビジネスセンターになるのか，それとも多少育成された，もっと変った形で町ができていくのか私にはわかりませんが，現在としては路巾を確保し，新幹線を通そうということで精いっぱいです。

司会　どうもありがとうございました。いま現場の責任者であります溝口さんから，いろいろと苦心談や今後どのようになるかということについてお話をしていただきましたが，駅西地区は第一次的には路巾だけでも確保しようということでお骨折りいただいているのですが，それでは将来の駅西はどのようになったらいいのかというような夢のようなことをお話し合っていただきたいと思います。

溝口　私はいま申しあげましたように，ただ，路巾だけ確保できれば，その後はバラックが建とうが，高層建築物ができようが区画整理屋はそこまで考えていないんです（笑）。私は現在のような駅前の形じゃなくて変った形でもいいですが，やはりスマートな建物が建ってもらいたいという願いはあるわけなんです。またそこがビジネスセンターになった方がいいのか，ということについては，わからないのです。ただ私の小さいときにゆかた姿で大須なんか散歩できた記憶があるんですが，近代化されてきますと市民の憩いの場所というものがどこを探してもみあたらないようになってきた感じがしますね。それで駅前が現在の姿なら駅西区域は変った形で，憩いの場所であってもいいのではないかしらといったような，まあ特殊な考え方なんですが，そんなことを考えることもあります。

司会　川口さん，片山さん，宮地さんの方々は，日ご



白川地区

ろ駅前の性格や，建物について，いろいろご研究になって設計にあたっておられますが，そういう経験から押して駅西区域は将来どういった性格のものになって行くべきかということについてお話をうけたまわりたいと思います。

宮地　私はいま，お話のありました路巾ということより建築の方に興味がありまして……夢のような希望なんですが，あの地区全体を市で買いあげまして，そうして計画が全然自由にできるようになりましたら，そこに私たちの夢が入れられるような気がいたします。私はここはアミューズメント・センターとして大須の近代化されたようなものとして，これに対して建築的な夢が実現されたらと思います。

溝口　市でいったん全部買い上げるというのは市街地改造法の適用ですね。

宮地　そういうことができますかどうか。

溝口　現在では，区画整理法一本でいっている関係から市街地改造法の適用はもうおそいんですね。

司会　山根さんいかがですか，いま宮地さんからご意見がございましたが。

山根　ただいまのお話しは楽しくて結構だと思いますが，計画をやってみましてもいつもぶつかるのが，現在の建築基準法とか，いろんな法規ですよ。大学の研究室なんかでいろんな構想をたてますときは法規なんかおかまいなしにやりますから非常に楽しい計画が，でき上るのですが，実際にそれを現実に移して考えますと，たちまちにぶつかるんです。そこでそういう計画のときに何か，実現しやすくなるような裏づけといったようなものがほしいと，いつも思うんですが，その点についてちょっとうけたまわりたいのですが。

司会　おっしゃられることはよくわかります。だいたい法規の改正の機運にあって，それを見通して計算されていることをおっしゃっておられることだと思うのですが，ただいまお話しのありましたように仕事のやりやすいように去年12月4日から容積制限のできる，特定街区の指定ができるようになったのですが，逐次，建築基準法がいまお話しのあったように，検討されたり，改正されたりすることと思います。

谷　容積制限には耐震構造的には別に疑問はないんですか。

司会　構造的には疑問があるのです。非常に高層になった場合いまの震度計算をどうするかという問題は，まだ，解明されていないと思うんです。

谷　耐震構造的に解決すれば道路交通との見合いでいくら高くなってもいいと思うんです。

白　川　地　区

司会　つぎに，白川地区の高山構想についていろいろお話をうかがいたいと思います。片山さんのところで現在一つのブロックについていろいろご検討いただいているようですが，その地区の構想について，お話しいただきたいと思います。

片山　白川地区につきましては，高山先生の構想，その他結構な計画ができていると思っているのですが，そ

の後いろんな条件で周囲の環境もいろいろ変化しているように聞いていますが……。そういった計画があるにもかかわらず，それを無視したり，また，現にできているというのは非常に残念なことなんです。その意味で都心を開発したり，改造するとなりますと，その都市に住んでいる市民の協力や意欲がないとまとまらないということを強く感じます。これをどうしたら一番よいかということは，さきほどの浜田さんのお話にもありましたが，その点で一番行き悩んでおります。といいますのは，政府の都市計画の環境の指導も強力にしなければなりませんが，市の方々の協力を求めるのにどうしたらよいかということも，今後考えて行くべきだと思っております。

谷　いま白川地区に現在建物が建ってしまっているお話を聞きましたが，私は白川地区に防火地域をかけたのは失敗だったと思っております。防火地域を指定したために不燃構造にしなければならないですからね。そうするとあとはどうにもならなくなってしまって，ある地区のそういった計画ができ実際にまとまってきたころに防火地域を指定して処理していった方がいいんじゃないんでしょうか。それで駅西地区にも防火地域を指定するかどうかでまよっているんですよ。

司会　駅西地区は白川地区とは別だと思うんですが，駅西は木造で建てさせておいても2次的にブロックでまとめていくことも可能ですが，白川地区は現在空地になっており，最初のうちはブロック全体で考えた時期もございましたが，ぽつぽつ建ちはじめてきたことから考えて，木造で建てさせておいてあとで建て直しをさせるのがいいのか，最初から防火地域を指定してあるために耐火構造の建物を建てなくてはならないので建てることを辛抱している。それでいままでどおり辛抱してもらっている方がいいような気がするんですが。

谷　あそこは細いものがどんどんできていきますね（笑）。

石原　外国の都市ではできている建物をこわしてまで再開発をやっているでしょう。名古屋は新地があるのにあれがやれないようでは名古屋市はあかんですよ（笑）白川地区は試金石ですよ。もう少し強制力をもった法律を作らなければ……。いろいろ法律ができても力が弱いし，都市不燃化というのか，再開発というのか，そういったものをカモフラージュしたような法律なんですよ。もっと力のあるものでやらなければ。やればできると思うんだが，これは是非全体計画をやって実現してもらいたいものですね。そりゃあね，計画みたいなものはできますよ。はたして実現できるかどうかですよ。いまの話のように小さいものがちょこちょこできたのではもう駄目ですよ。（笑）

司会　再開発について，いろいろうかがいましたところみなさん方からPRが大切だということや，石原さんがただいま指摘されましたように，もっと強力な最開発法というような基本法を作って再開発をやりやすいようにしなければいけないということや，市民へのPRのためにマスタープランを作製しなければならないとか，いろいろご意見がでてまいりました。またさきほど浜田さんから土地に対する権利だとか，資金の調整が問題だとかお話がありましたが，この他に，こういう点が問題だという点がありましたらうかがいたいと思います。

三輪　私たちは住宅をともなった仕事しかしておりませんので私どもの一番問題になるのは名古屋の用途，性格です。駅西のお話や，白川地区のお話をうかがっておりましたが，そういうところへは住宅をのせていく場所じゃないという感じがするんです。しかし，そういった場所は建築物としては，なんとかまとめていかなけりゃいけないと思います。名古屋のどこかに公団住宅とか，高層アパートとか，そういったものが，どこかに建つわけなんですが，そういった場所は，いったいどこなんだ，ということをもっとはっきりした方がよいと思います。名古屋全体のパターンといいますか，イメージがもう少しかたまってくれないと建てにくいですね（笑）。やたらに高く建てなさいとPRしましてもね，いざそれが建ってしまったときに逆に恐いといった感じがしますね。

谷　例えば，東新町に公団住宅を建てるときに，そんなもの建ててくれるなといった憶えがあるんですよ。やはりわれわれのマスターベーションかも知れませんが都心部というのは，一つのまとまったところと考えているんですが，その周辺のいわゆる下町的なところ，計画もれのしているところは今後一つ一つ相談しながらやっていきたいと思ってますが。

三輪　それですね，法適制までいかなくともちょっとした指導要領まで，もう出してもいいじゃないですか。池下あたりやってみましても，2階，3階あたりに入っておられる方が，喜んで入っておられるからまだいいものの，住宅なんていうものじゃないですね。電車がすぐ目の前を通ったりして非住宅地といえるのですが，そうかといって，ああいうものは外国でもやっているものですから，なければいけないし，そういった場所はどこなんだということですね。住宅にはやはり緑が必要ですしどのような住宅じゃなけりゃいけないかというパターンが日本にはないんですが，名古屋ではできるような気がするんです。

山根　それについておおよそのことは田淵さんの構想でまとまっているんじゃないですか。

谷　田淵さんはそういった構想はたてておりません。

三輪　高層住宅といった概念はまだどこにもないんじゃないですか。

宮地　住宅には環境が必要ですからね。環境も調べて位置をきめなきゃなりませんしね。

三輪　一足飛びに団地の形式みたいな形にまでもっていくか。都心のオフィスビルと，郊外の団地との中間のビルに近いような住宅とは，どんなパターンになるか。それはそんな場所で，どんな環境を持たなければいけないかというが，イメージとしてもでてこないですね。

バスターミナル

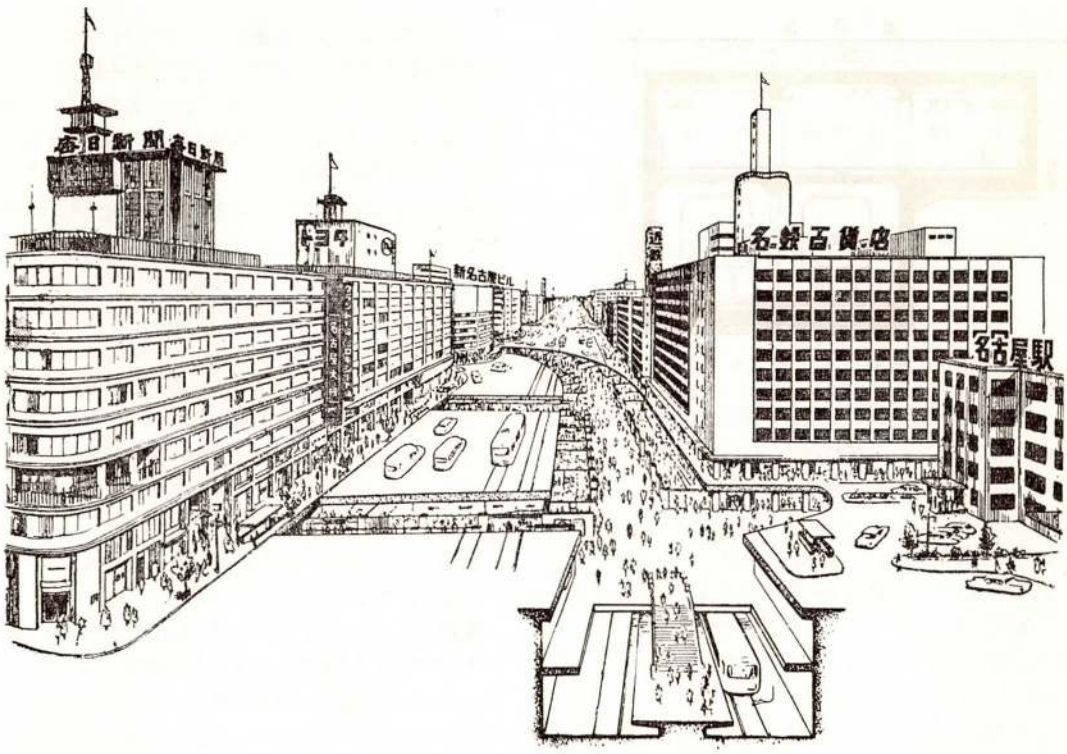
司会　このへんでバスターミナルの問題に移りたいと思います。バスターミナル施設は路面交通対策の一環としまして一般交通と密接な関係がありながら，いままであまり関心がもたれなかったような感じがいたします。最近このバスターミナルの効用とか認識が高まってまいりまして，札幌，青森，新潟，大阪，広島，岡山といったところに整備されたものができるようになりました。名古屋におきましても，このバスターミナルの整備計画ができたようにうかがっておりますので，このことについて谷さんからどうぞ。

谷　バスターミナルの問題は都市交通審議会でも一応の結論が出されておりますが，これは昭和60年に，こういう場所が欲しいという一つのサゼッション的な絵としてです。私どものところで具体的に取扱っておりますのは，昨年都市計画としての手続きをきめました名古屋鉄道のやります駅前の郊外バスターミナルですが，これは1日3,200両を取扱う郊外バスターミナルのビルができる予定です。ただいま，これについて日建の片山さんのところで設計中だとうかがっておりますが，これとは別に，栄町の100m道路の下にバスターミナルを造ったらという計画は田淵さんが助役当時から話はでていたのですが，当時は地下鉄の南北線があそこにできますが，その地下鉄の天井から地盤面までの間の11mの空間を利用して地下バスターミナルを建設したらということで，いろいろ設計していたんですが，情勢の変化で，あのへんの駐車需要に応ずるためのスペースを確保しなければならなくなったことや，市バスのバスターミナルとした場合に，近距離バスが地下までもぐることが妥当かどうかという批判もありましてまだまとまっておりません。総括的な設計は，片山さんのところにお願いしております。しかし，一昨日幹部が集まりましてバスターミナルの問題と今後どう扱っていくか，どのような方針でやっていくか，いろいろ検討しましたが，あそこに東西一号線の地下鉄，南北2号線の地下鉄の両駅ができます。それに続いて広小路線を南へ地下道でくぐったところにバスの集まる場所を造る。さらに駐車場を建設しようとする計画ですが，この駐車場を考えます場合に100m道路の沿線が大規模なビル化した場合にどれぐらいの駐車需要が発生するかという目途を一応出してみたのですが，それによると，1日3,000台ぐらいの延べ駐車台数が発生するだろうということになり，一般バスターミナル，プラス3,000台規模の駐車場と，それから中村百貨店，松坂屋，その周辺のビルと地下鉄を結ぶ地下街的なものそういった総体的なものを造る必要があるだろうということで，これを従来栄町バスターミナルといっておりましたが，今後栄町交通センターという名称でこの総合的な交通処理施設を呼ぼうと決定いたしました。

片山　私どものところで関係し計画しております駅前の名鉄バスターミナルですが，だいたい敷地としては現在の名鉄ビルの南側に造る予定ですが，その規模は地下3階，地上10階ぐらいのものを考えています。バスターミナルのバスの扱い数は昭和45年度の朝のピーク時から算出して一時間300本，1時間に乗り降りする人がそれぞれ10,000人。バースの数は24バース見当で考えております。だいたい3階にバス階を造り，2階はコンコース1階はビルおよびバスターミナルの入口です。車路は下広井町より電車通りを西に地下でわたり，地上に首を出して誘導車路で3階のバス階に導くという構想です。建物全体としては上の方に貸室とかホテルとか，映画館とか，下の方に金融機関などいろいろなものが入りバスターミナルの人の流れ，車の流れに対して非常に複雑な条件が入っておりますので，それをスムースにやるように計画中です。

司会　いま計画中の名鉄バスターミナルについてうかがいましたが，さきほど谷さんから栄町交通センターの考え方についてご意見がありましたら。

宮地　私の考えでは，あの場所へ駐車場を造るのはどうかと思うのですが，まあ市内バスの一つのセンターとしては北から入って南へ通りぬけできるようなセンターでいいんじゃないですか，バスの駐車は郊外にもって



名古屋駅前および地下街の見取図

いけば広い敷地がとれるし，市内に残った広いスペースは一般乗用車の駐車場に十分あてたらよいと思います。

司会　栄町に市バスの駐車場を設けるというのはバスの車庫を造るという意味じゃないと思うのですが，

谷　栄町を始発，終着にしている車が非常に増えており，あそこで3,200回の車の出入りがあります。そのうちの2,200回が始発，終着で，それであそこに人が集まるという結果になり，それを合理的に処理しようと計画しております。

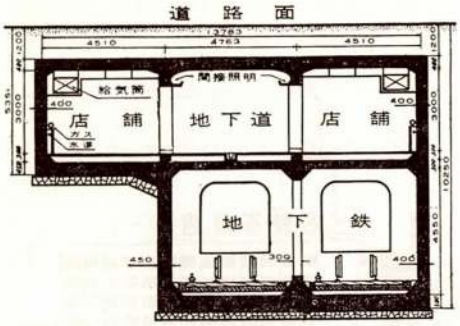
宮地　私の考えでは市バスはターミナルにしないでループにして，ぐるぐるまわる方が，なにか交通が円滑に行くような気がするのですが。

谷　ある限度までですね。一定量をこえますともう街路上では処理できません。

地　下　街

司会　つぎに地下街に話題を移しまして，いろいろとうかがってみたいと思います。駅前の地下街ですが，これは高速鉄道の上部を利用して民間融資で造られたものです。32年ごろ造りましたが，その後北に伸び地下鉄の名店街，あるいは栄町の地下街，それより遠くなりまして規模は小さいのですが，千種，池下等に地下街ができましたが，これらの地下街のことについてうかがいたいと思います。竹中工務店で豊田ビルと地下街の連絡の工事でお骨折りいただきましたが，そのあたりについて宮地さんから一つお話しください。

宮地　工事は非常にむつかしく，建築的に一番むつかしいのは建物との接合のところですが，いつも防火関係がうまくいきません。それから高さの問題なんですが，豊田ビルの前面の地下街は最初から計画しておりましたのでよかったのですが，建物を建てたのちに地下街と連絡しますと必ず高さが違ってきます。そこで段をとらないとおさまりがつかない。地下街では階段が非常に不適ですので今後こういう計画があった場合は，できるだけスロープでおさめたいと思いますが，埋設管の関係でどうしても段でなければおさまらないというのが駅前では多いのです。最近やりました豊田ビルと新名古屋ビルとの連絡にしても上って，下って，また上ってというような複雑な高さの関係になってしまいましたが，今後はもっと簡単にやりたいと思います。



名古屋駅前地下街断面図

司会　駅前では地下鉄の隧道の上端と地盤面との間の高さが非常に苦しいんですね。

宮地　地上から 1.2m でおさえられ，下から地下鉄に押さえられ，非常に苦しいですね。ああいう場所に地下街を造ることが無理なんですね。また私の夢になりますが，ああいう地下1階は地下街にするにはこれからはもったいないと思います。むしろ交通機関に使って，もう1階下に地下街を造ってもいいのではないかと思いますね。各ビルが必ず地下に商店街をもっているのですから地下1階を交通に使いますと，各ビルに直接入ることもできます。考え方がだいぶん飛躍いたしましたが……。

片山　地下1階は商店のない通路ですね。

司会　地下街で一番困るのは，いったん火災がおきますと，煙が充満して消火活動ができないことや，窒息して避難が安全にできないことなど，消防関係でご指導を願っておりますが，このような排煙と消火の関係，あるいは避難について宮本さんからお話しして下さい。

宮本　何分間に何人の人が避難できるかどうか計算的にやったことがあるのですが，今年の正月のようなときは計算どおりいかないんです。事故が起きれば大事にいたると考えられますが，一般的にそのようなことはまずないだろうと思っていますから平気で地下街に入っていられるわけですね。現在の地下街は，そのようなことを念頭に入れた設計がなされていませんから煙がでたら自然排気の方法しかないわけですから，われわれの心配している状態が起ることは当然なんです。したがって，将来建設される場合は排煙設備，消火設備を設置していただきたいと考えています。さらに地下街をつくる場合，地下鉄に接続して造り，地下鉄の電車の運動によってピストン的に空気を動かしております。地下鉄から離れた場所に地下街ができれば，おそらく排気設備などの問題がでてきます。

司会　従来の建築基準法では地下街に対してなんの制限もなかったのですが，34年の改正で，地下街の店舗はある程度の長さをもって地下道に接せよとか，あるいは高さとか，巾員の問題，避難上の直通階段の設置とか地下道の末端の巾員，避難時における照明の確保，このようなことが規制されておりまして，後は条例によるという形をとっておりますが，消防関係ではなにか規制されておりますか。

宮本　いまのところ格別の規制はありません。

司会　指導だけでやっておられるのですね。

宮本　火災感知の設備や規模に応じた消化の設備といったものは規制されておりますが，問題はいかに十分な排気をするか，また，避難通路，出入口をどこにどのように造るかということです。このようなことは計画のときに十分考慮してほしいと思います。

司会　各ビルと地下街を結ぶ，また，その背後のビルと地下道で結ぶといったようなことで，地下が平面的に伸びるような傾向があるのですが，どの辺まで伸ばしたらいいのだろうか，その伸びをどの範囲でとめるべきだろうか，という限界があるような気がするのです。現在のところ豊田ビル，毎日ビル，中小企業センター，大名古屋ビルとの接続といったところで，それより伸びて行くことは疑問があると思いますが。

山根　やはり限界があるような気がいたしますね。

谷　地下街もある程度の収入がなければ維持できないので，そういった面からも限界があるようですね。

司会　いまお話がありましたように，地下街を造っても採算がとれなければ資財を投資する者もないから，採算がとれるか，とれないかということからも限界がでて

特許 防火シャッター全般
小俣式
電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖・オートマチック
ステンレス・アルミニウム・シャッター
株式会社小俣製作所大阪支店
大阪市北区若松町30
電話(341)9004・9016・4835
本社及工場・埼玉県与野町
東京事務所及工場・東京都北区田端町

くるように思えますね。

谷　いまごろ申しあげてもおそいのですが，駅前の交通処理ですが，笹島の交差点，ロータリのところの処理をスムースにやろうとすれば道路を2階建てにするかただいまのお話のように地下に入るかしないと処理ができない。そうしますと地下街が邪魔になりますので地下街はできるだけ消極的でありたいというのが私の願いなのです。

山根　やっぱり地下街というのは邪道じゃないですか

溝口　地価が高いからやむを得ず地下にもぐるのですね。

浜田　名古屋の駅前はあれが限度じゃないでしょうかね。現に長者町の地下街は全滅状態でしょう。地下街でありさえすればよいという考え方は駄目で結局ターミナルに直結してないといけませんね。

司会　駅前は現在が限界で将来としては栄町，今池あたりが期待できますが，それ以外はいまのところ困難じゃないですか。

さきほど，宮地さんから地下は将来地下3階ぐらいにした方がいいというご意見がございましたが，将来の地下街のあり方というものについてお話しください。

宮地　さきほどお話しいたしましたように，地下街というものは各ビルが持っておりますので，大きなビルが建ちならべば，地下街の心要がなくなるのではないでしょうか。現在の地下街は交通に附随して店舗ができた形になっておりますので，今いったように大きなビルが建ちならべばそれらの地下街でこと足りるので地下は交通を主要とした，自動車も通れるぐらいの構想にしたらと思います。要するに地下街不要論です。

片山　地下街は地下1階にすべきで地下3階に造りましても，わざわざ3階まで降りていきませんよ。いまのお話にもありましたが，通路だけの地下道を造るのは私も賛成です。むしろ，そのようなことは交差点で必要です。現在は人の歩行が優先されていますが，車は非常に迷惑になっているわけです。人の通路を地下街と関係なく考えた方がよいと思いますよ。

谷　地下道は造らないです。私は人よりも車をいためつけるべきだと思います。

石原　いまのうちなら立体交差もできるような気がするが，もう4〜5年もするとやろうとしても事実上できなくなりますね。

三輪　都市のグランドラインから下は，都市施設だとか，駐車場とか，あまり人の入らないものを造り，人は2階を歩いたらどうですか。2階以下はパブリックにしないで，2階に歩道を設け，店舗などは2階にもうけたらどうですか。

浜田　仁王門通りの設計はそういったようになっております。建物を1m後退させまして，2階部分に片持ち梁で歩道を造った設計になっております。

三輪　飲食店だとか，現在の地下街の性格のようなものを下に下げないで2階のレベルまで上げてしまう。

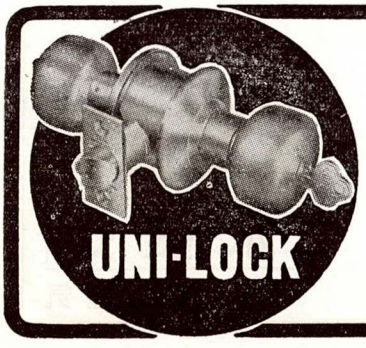
谷　お話のように地下だとか，上の方に人を歩かせるにはそこに魅力をもたせないと駄目ですね。交通施設だけを下げたり上げたりしないで総合的に考えなければいけない。

石原　2階にしても，どうして人間をそこにあげるかが問題だ。理屈どおり人間は動いてくれないから。

三輪　外国の雑誌なんかに空中横断歩道の例がでてますね。

谷　名古屋の幹線道路は500m間隔ぐらいでできてます。その中のブロックは7〜8万坪ありますが，それをスーパーブロック方式で積み上げて，中にいっさい車を入れない。中に入れるのは駐車場とか，そういったようなものを置いて，車は幹線道路しか通らないという形にすればよいと思います。

司会　みなさんからいろいろお話をうけたまわりまして名古屋の街造りの現状がどのようなものであるということがよくわかりましたし，それを通じて名古屋の将来といものも想像できるようです。本日はどうもありがとうございました。



建築界待望の新扉錠------!
ゴールユニロック
GOAL
日本住宅公団・公営住宅御指定
株式會社 谷山製作所
シリンダーレバーハンドル錠
押ボタン式シリンダー錠
アンチ式シリンダー錠
シリンダーナイトラッチ
シリンダー抽斗錠
各種高級彫込錠
大阪市東淀川区三津屋北通四丁目　電話(37)3117・5871・7724

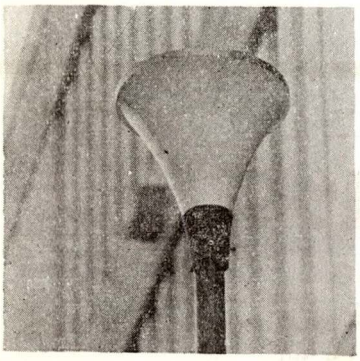
特許吹付タイル・内装・外装用化粧材
セラスキン
CERAMIC SKIN
建造物の外壁面に!! 陶器の壁紙
セラクロス
CERAMIC CLOTH

山本窯業化工株式会社
大阪市東淀川区西淡路町3—176 TEL (371) 9025
関東地区取扱店・小林窯業株式会社
東京都太田区新井宿2—1500 TEL (771) 6347

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北(341)四一三一～四

=特許=
氣光式通風器 製造販売
兩用式レヂスター
特許第一五二六号
カタログ進呈
大阪市西区江戸堀下通2-17
田辺工業株式会社
電話土佐堀(441)7437—9

ブロックの防水塗料!
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り 常備淡彩12色
安価・速乾・美麗
水谷ペイント


NEC水銀ランプは 特殊螢光体とプレス方式電極により独特のやわらかい光と明るさを生み出しました。このランプを使用したNEC水銀灯は用途に応じたモダンなデザインで好評をいただいております。
NEC
水銀灯
NEC 新日本電気

神戸地方裁判所

（旧称　神戸地方及区裁判所）



竣工当時の姿・西南側よりみる（神戸地方裁判所提供）

所　在　神戸市生田区橘通り
起　工　明治33年10月
竣　工　明治37年３月
設計者　河合　浩蔵
工事監督　河合　浩蔵
工　費　353,622.065円
施　工　直　営
敷　地　4,455.495坪
（14,704.134m²）

構造規模
本　館　総坪数　600.000坪
（1,980.000m²）
馬車寄　76.574坪
（252.694m²）
門衛所　一　棟　5.316坪
（17.543m²）
供待所　一　棟　15.00坪
（49.500m²）
便　所　二　棟　19.58坪
（64.614m²）
本　館　煉瓦造三階建　中央
中央正面の軒高
48尺7寸8分
中央屋根上避雷針
頭上まで　74尺

概　説

神戸地方裁判所は神戸駅に近く，湊川神社の東にあって，赤煉瓦造り三階建の大建築である。

この位置の東には，旧神戸市庁舎（明治42年）があり，明治時代官庁建築の風貌を伝える建物が並立したかたちで建っている。またこの建物がもつ重厚なドイツ風の建築様式は，当時，山口半六の手になる兵庫県庁舎が表現した，近世フランス風ルネッサンスの様式と好対照を示すものであった。

現庁舎は戦災にあい全館焼失したが，主壁体が残り昭和23年５月より24年10月にかけて復旧工事が行なわれ外観はほぼ旧規を保ち得るごとく修復されたが，屋根勾配が緩傾斜となり，棟飾りやネオ・バロック的な屋根窓の扱いが失なわれた。内部も



南面よりみる・当時の写真（神戸のあゆみ・市制70周年より）

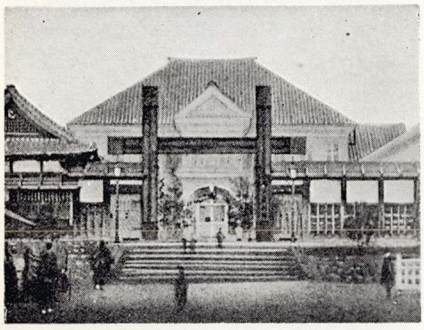


戦災後の復旧による現在の正面中央部



最初の兵庫裁判所

この建物は明治元年9月，現裁判所の位置に新築移転した兵庫県庁舎と推定される。明治6年県庁舎が再度移転したため，以後，兵庫裁判所として独立した。（〝神戸古今の姿〟より）



擬洋風が加わった神戸裁判所旧庁舎

位置は現在地で，明治8年頃の建築と推定。上の写真の建物中，左側建物と冠木門は変らず，中央の主棟と表札が変っている。（〝神戸古今の姿〟より）

仕上げにかなりな改変が加えられている。

設計者　河合浩蔵について

河合浩蔵は安政3年武州に生まれ，明治15年工部大学造家学科第四回の卒業で，同期生に中村達太郎，新家孝正らの俊英がいた。

卒業後直ちに工部省営繕局に奉じ，皇居御造営局に出仕したが，工部省の廃止に伴ない，明治19年臨時建築局の設置とともにこれに移った。

当時，議院建築や中央官庁集中案の計画が起り，またドイツ風の流行があったが，政府に招かれてきたドイツ人技師エンデ・ベックマンらの勧誘を得て，妻木頼黄，渡辺譲らの技師と，17名の高等職工とともにドイツに派遣され，その地にあって三年間ドイツ風建築技術の修得を行なった。

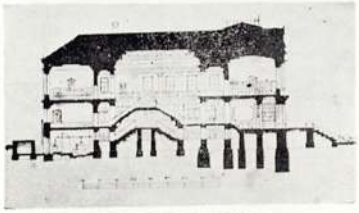
明治21年帰国後，直ちに司法省の建築主任を命ぜられ，エンデ・ベックマン事務所の設計になるこの建物の工事を担当した。以後，大阪控訴院および地方裁判所（M29～33）の設計監督に従い，この間明治30年神戸地方裁判庁舎改築に関する設計，見積を依嘱され，大阪に引続いて明治33年3月より，同37年の完成まで，神戸地方裁判所の建設に尽力した。

明治38年4月，神戸に建築事務所を開設したが，これは工部大学出身の著名な建築家が，神戸に本拠を定めた初めての例ということができる。彼は以後神戸にあって，明治末期より大正にかけて活発な建築活動を行ない，神戸を中心として多くの作品を生み出している。

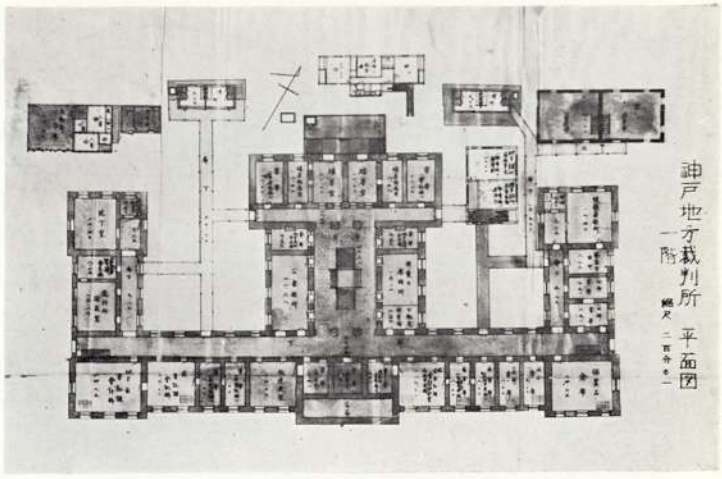
彼の作品歴には，前記のほかに春木座（東京 M23年），内外綿株式会社（大阪M42年），日濠館（兼松商店，神戸 M43年），岩井邸（神戸 T3年），三井物産神戸支店（T8年）などがある。



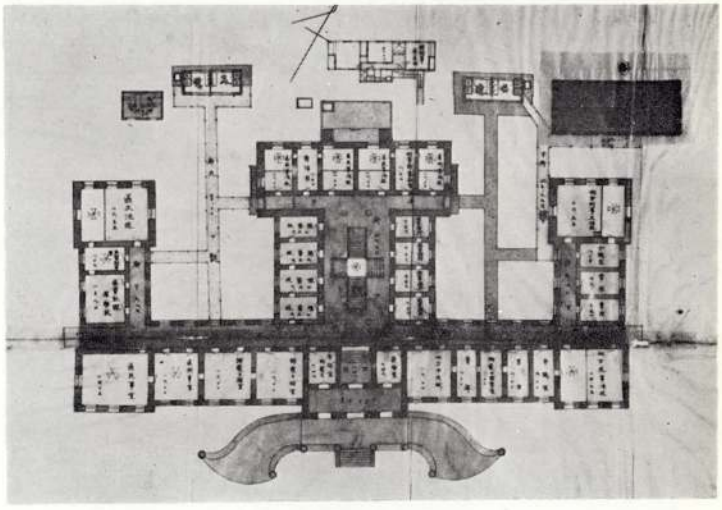
西北側よりみた現在の裁判所



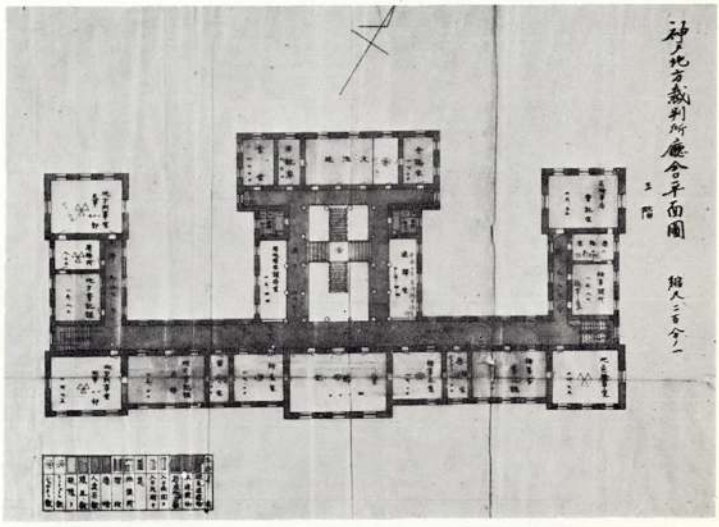
断面図（建築雑誌19号より転載）



1 階 平 面 図



2 階 平 面 図



3 階 平 面 図（平面図は神戸地方裁判所提供）

昭和2年事務所を廃し，昭和9年10月6日神戸で死去した。

彼は日本建築学会の創設にも多くの寄与をなしており，また多芸多趣の才能は，晩年もっぱら書画に親しんだといわれる。

神戸地方裁判所は，ドイツ人建築家エンデ・ベックマンらについてドイツ建築の作風を受け，またベルリンのポリテクニクムでアカデミックな建築教育を修めた河合浩蔵が，司法省・大院控訴院に引続いて行なった司法庁舎であり，ドイツ風ネオ・ルネッサンス様式の流れをくむ，彼の代表作とみなすことができる。

また，この建物の音響効果が良好であったことは，当時，神戸弁護士会長　桜井一久よりの書状にうかがうことができるが，河合浩蔵が明治時代ドイツ風建築様式や技術の日本における定着に果した役割は大きいといわなければならない。

あ と が き

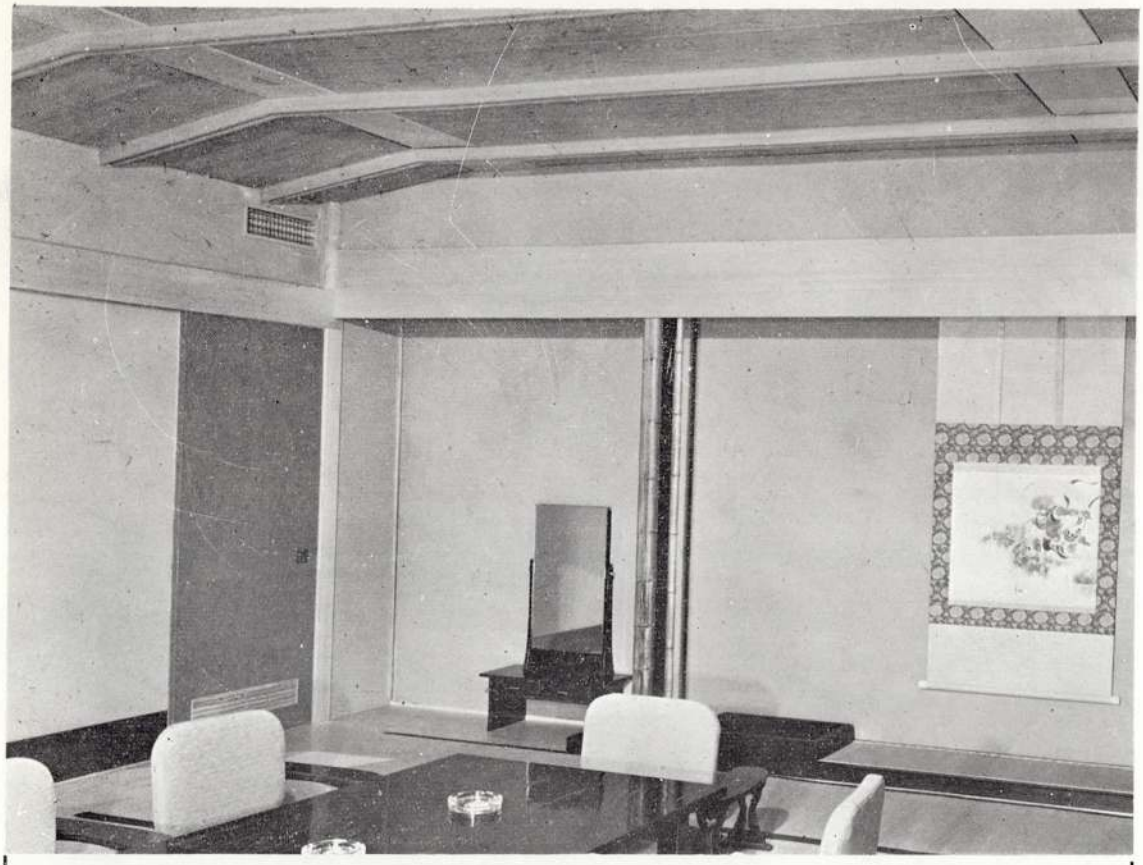
神戸地方裁判所における建物の変遷を調査した際，旧庁舎の建築について若干の資料をうることができたので，その前身建物の写真を掲載する。

なお神戸地方裁判所高橋重臣氏より諸資料の提供をうけた，篤く御礼申し上げる。

（坂本勝比古記）

参考文献

建築雑誌	第 19 号	（明治38年4月）
建築雑誌	第 591 号	（昭和9年11月）
建築士	第 84 号	（昭和34年10月）
明治工業史	建築篇	



化学が生んだ京壁仕上げ

ジュラクサテンは 7～8時間の スピードで仕上ります

- 耐アルカリ性ですから早く仕上げができます
- 従来の京壁にない近代感覚にマッチした和・洋いずれの色調をもお選びになれます
- ボード・テックス・ベニヤ板・モルタル・プラスター・スレート・漆喰・和壁などサテンに特殊な砂をまぜスプレーするだけで仕上ります
- サテンの強い塗膜が砂を覆いますからこすつても砂が落ちたりハゲたりすり心配はいりません

PACEMAKER OF LATEX PAINT

発売元
石産商事
東京都千代田区大手町2－2　TEL（231）4331(代)
大阪市西区土佐堀通1大同ビル　TEL（441）4235～6
名古屋・福岡・札幌
製造元
石原産業

スプレッド
サテン
100% 合成ゴムラテックスペイント

（カタログ進呈）



伊奈の
衛生陶器

伊奈製陶株式會社

本社・工場　愛知県常滑市扇面新田　電常滑700(代)
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2－8　電(551)6371(代)
大阪事務所　大阪市西区新町南通1－23　電(541)5484(代)

カタログ送呈

優秀な設備技術と卓越せる設計の成果

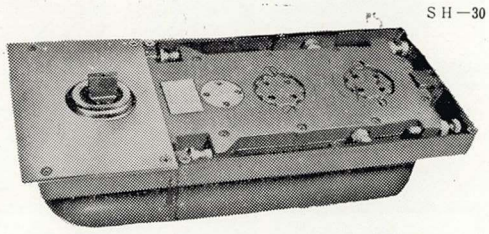
OHTORI Diamond

耐久力ある調子の狂わぬ!!

タイヤモンド印

日本板硝子タフライトドアー指定

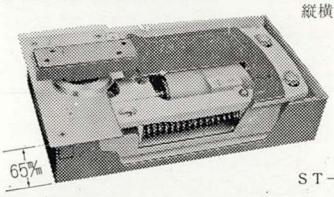
フロアーヒンヂ



SH—30

90°ストップ付両開中心吊（H型）ヒンヂ本体ノミニテ縦横ニ調整可能

90°ストップ付両開中心吊（浅型）ヒンヂ本体ノミニテ縦横ニ調整可能



ST—30

ドアーチェック並にピボットヒンヂ

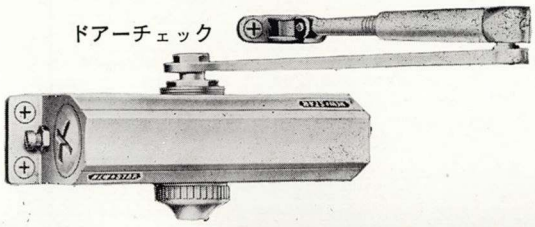
大鳥機工株式会社・金物部

大阪市北区永楽町8（日産生命館内） 電話 大阪(341)4975
東京営業所 東京都千代田区神田金沢町11 電話 東京(291)8632
工場 鳥取市富安 電話 代表2201

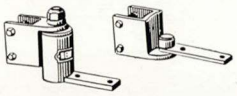
NEW★STAR

創業大正八年

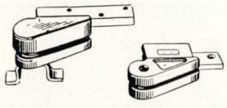
ドアーチェック



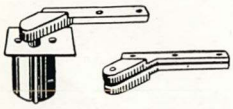
ラバトリーヒンヂ



ピポットヒンヂ



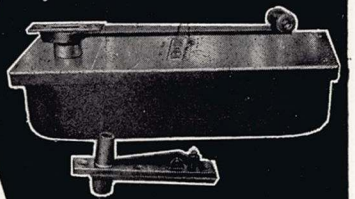
ピポットヒンヂ



ドアーチェック



フロアーヒンヂ



日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長 出向井啓蔵

本社工場 大阪市生野区巽矢柄町222 電話 大阪(716)2231(代)
東京支店 東京都千代田区神田錦町1丁目23 電話 東京(291)1920・4920
福岡出張所 福岡市舟津町1番地 電話 福岡(74)2372・3312
名古屋出張所 名古屋市中区下園町1丁目5番地 電話 名古屋(23)7361

世界に誇る驚異的建材！

ガスにも熱にもビクともしない！

40年の厂史と最新技術の産物

特許…… 耐酸，耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした色つきのひふく鉄板

オリエンタル カラーメタル

美しいアルミ箔 ひふく鉄板

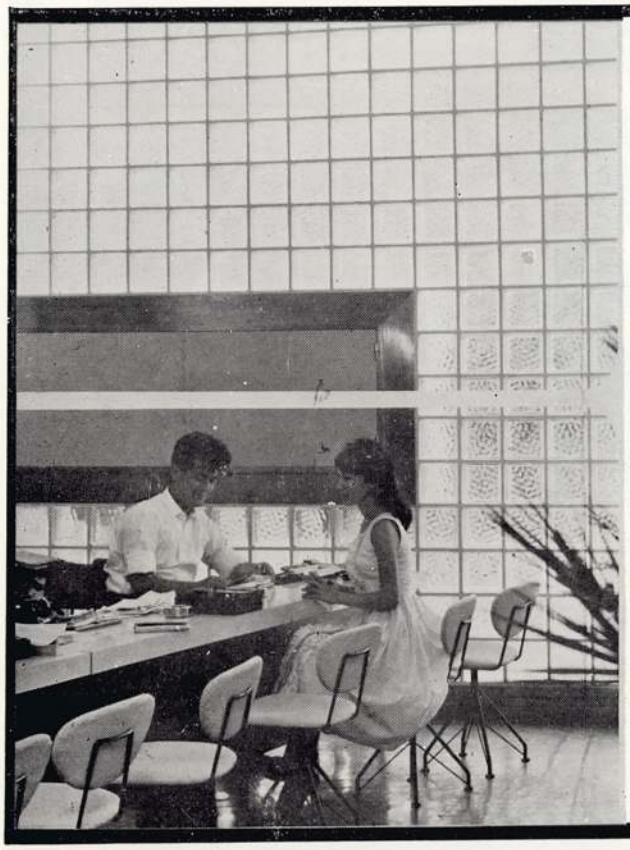
オリエンタル アルシート

型録送呈

責任施工

オリエンタルメタル製造株式会社

本社並工場　尼崎市大物北口　電話（481）4947～9
東京支店並工場　埼玉県蕨市大字塚越1620　電話 蕨 3252～4
名古屋支店　名古屋市中村区黄金通8丁目6　電話（54）1023
支店、出張所　八幡・都山・敦賀・徳島・三原・徳山・延岡・岩国・宇部・川崎



くらしに
あふれる
光を……

NE

ガラスブロック

日本電気硝子株式会社

営業部・大阪販売所
大阪市北区高垣町16　TEL 312・3237～9
東京販売所
東京都品川区大井鮫洲町199　TEL 491・2819
工場　大津・藤沢

マルエス

永久防水材
ハイダック

特　絶対に裂けない
　　永久に腐らない
長　冷工法で施工出来る

接着剤
ハイダックセメント
No. 1 ジョイント用
ハイダイン　No. 2 貼付用

メルタン
ルーフィング

国内の気温較差の著しい所に於ても能くその苛酷な条件に抗して老化せず　特に寒冷地に於ける投術的困難は殆んど解決されたと云つても過言ではありません

特許
ビニエス
タイル

お部屋のポイントは
床材から

明るい配色……
落ちついたムード

マルエスルーフイング製造元

日新工業株式会社

本　　社　東京都足立区千住東町93　TEL東京(888)2101～9
大阪営業所　大阪市西区新町北通1丁目40　TEL大阪(531)5281～3
出張所　名古屋 TEL名古屋(54)9996・広島 TEL中(2)1019
　　九州 TEL福岡(5)0768・札幌 TEL (5)6885

会　報（1月分）

理　事　会

13日　1時――2時　於大阪建設会館
出席者　東畑副会長外8理事，山内，井手各支部長
新年午餐会終了後，席をあらためて開催。
議　事（1）通常総会の開催通知方法に関する件
（2）個人会費値上げに関する件
（3）入退会者承認の件
（4）報告事項

評議員懇談会（技術部門）

9日　正午――2時　於会館会議室
出席者　三品評議員外6評議員
技術部門選出の監事1名，評議員16名の候補者推せんに関して懇談。

編集委員会

幹　事　会

17日　4時――7時　於会館会議室
出席者　上林副委員長，石原幹事外3幹事
5月「水特集」号の企画について協議。

委　員　会

19日　4時――8時　於会館集会室
出席者　上林副委員長外6委員
議　事（1）会費値上げに伴なう会誌内容の質の問題について
（2）経過報告
（イ）2月「建物管理特集」号
（ロ）3月「名古屋特集」号
（ハ）4月「構造特集」号
（3）5月「水特集」号企画審議
（4）6月特集号に関する件

事業委員会

22日　6時――7時　於箕面観光ホテル
出席者　岩崎委員長，岡本，原田各副委員長外10委員
議　事（1）報告事項
（2）2月，3月の事業企画について
（3）創立45年記念事業の総務委員会関係行事に関する件

近代建築調査委員会

19日　3時半――5時　於会館会議室
出席者　滝沢委員長外6委員
議　事（1）3月号発表建物の件
（2）熊本洋学校教師ジェーンス氏邸に関する件
（3）西日本工業クラブの建物に関する件
（4）報告事項

記念事業委員会

住宅展委員会

19日　6時――9時半　於会館会議室
出席者　塚本委員長外7委員
議　事（1）小島委員案の説明並に検討
（2）構造体に関する宮川委員案の説明
（3）実施についての今後の問題点に関する検討

Toryinol トルギノール 継目のない床材

合成樹脂塗料
トルギノール
コスミペイント

合成樹脂
塗床材
壁材内装
・外装用

Cosum Coat

コスミコートとは特殊合成樹脂を主体とした高分子粒状塗料であります。
特　徴　通気性があるため，コンクリートが生乾きでも塗装ができ，剥離することがありません。その上乾燥も極めて早く，従つて工期の短縮ができます

トルギノールは合成樹脂の塗装式（コテ仕上）の床材で継目がなく衛生的で，圧力，磨耗に耐えて永もちのする理想的床材で保温防音にも富み踏む感じのよい適度の弾力をもつています。
★　不変色　　色調自在　★　　誌名記入カタログ御請求下さい

製造元　大元工業株式会社

本　社　大阪市東淀川区三津屋北通り1の38　TEL 大阪(301) 2734～5
営業所　大　阪　TEL (94) 3012　東　京　TEL (561) 4678　名古屋　TEL (24) 4491

出版委員会

25日　1時半——4時　於会館会議室

出席者　浦辺，足立正副委員長外10委員

議　事（1）資料確保見込一覧表の作成

（2）資料不足地方について提供方依頼の件

（3）東京方面の原稿受け取りに関する件

（4）本の型並に出版費の見積について

総務委員会

小委員会（会員余技展）

19日　正午——1時　於会館会議室

出席者　三品主査，駒委員

出品勧誘について協議。

小委員会（表彰）

25日　5時半——7時　於会館会議室

出席者　岡本主査外4委員

感謝状贈呈者の詮考基準，記念品などについて協議

小委員会（式典，祝賀会）

30日　正午——1時半　於会館会議室

出席者　尾亀，浅海，中村各委員

記念式典，表彰式，祝賀会などの次第並に招待先，一般記念品などについて協議。

建築団体合同新年交礼会

4日　1時——2時　於大阪建設会館

日本建材協会の当番で開催。左藤大阪府知事も出席されて挨拶があった。出席者約400名。

新年午餐会

13日　11時半——1時　於大阪建設会館

恒例により前年末国家褒章を受けられた会員を招待して祝辞を呈し午餐会を開催。出席者31名。

杭

株式会社　武智工務店

取締役社長　福留並喜

大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階

電話(202)3233・3234

若い会員の集い

「新春若い会員の集い」

10日　6時——8時　於郵政会館

三宅忠一氏（日本工芸館館長）を招いて「生活と民芸」についてお話を聞く。出席者41名。

見　学　会

「新阪急ビル見学会」

設計施工　竹中工務店

18日　3時——6時

大阪府建築士会と共催。出席者250名。

編　集　後　記

今回の「名古屋特集」の企画については，すべて，東海支部におまかせした。担当幹事を，名古屋の片山金市氏（住宅公団），木村義雄氏（同），水野誠氏（名古屋市）横井良一氏（日建），五十嵐昇氏（三共建築事）らの方々にお願いし，とくに，昨年12月13日は，東海支部において，一円俊郎東海支部長をはじめ，支部役員参加のもとに編集幹事会をもつた。本部より森忠一委員長代理として，上林博雄編集副委員長が出席した。この幹事会で，大体の企画の方向が決められ，その後幾度か打合せを行なつて企画をきめたものである。執筆者に対する配慮・依頼なども，これらの担当幹事で行なつていただき，感謝の至りである。一円支部長はじめ，担当幹事，ならびに執筆者に厚くお礼申しあげます。

次号は「構造特集」の予定である。



屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器 連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

大島応用化学工業株式会社

本 社 大阪市城東区野江東之町4の104 (931) 7071—3
支 店 新 居 浜・名 古 屋・四 日 市・広 島

田中式
スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK **田中工業株式会社大阪出張所**

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2～89

本社 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1～25
東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4～122
小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37
川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3～43
札幌出張所 北海道札幌市北大通東4丁目4
盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設（株）
名古屋代理店 愛知県名古屋市西区西菊井町2～12・岡田建材KK
米子代理店 鳥取県米子市祇園町2～93・吉田工務店

TEL 大阪 (40D)6341(代表)・(40D)6342
TEL 東京(623)代表0106～0108・(622)0790
TEL 東京(611)2118～9
TEL 小倉(52)0653・2833
TEL 川崎(2)7594～5
TEL 札幌(3)6762・0515
TEL 盛岡 7642
TEL 名古屋(53)0121・2057
TEL 米子 4683

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地 電話大阪(341)207～8・4836～7

暖冷房・温湿度調整
水道・衛生・環境衛生装置
設計施工
山田工業株式会社
本社 大阪市西区京町堀1丁目62
電㊵(代表)2613・(代表)9431
営業所 神戸市生田区北長狭通7丁目1の1
電④1778・4386
出張所 名古屋市中村区牧野町1－6 電話㊹0966
〃 東京都北区上十条1の10 電(911)2346
〃 広島市中町2番地の4 電②7575・7588

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工
株式会社 **三晃商会**
本社 大阪市北区富田町一六 ㊵7031㊸6793
出張所 東京都中央区宝町二・六(村幸ビル2階)(561)5441
名古屋市中区新栄町二丁目一 ⑨1820
福井市宝永上町一〇五 1596
松江市東本町四丁目一四九 5098
広島市紙屋町八 ②1938
福岡市養巴町二二 ④1158

給排水・衛生
暖冷房・換気 設計施工
株式会社 **大阪城口研究所**
代表取締役 城口庸平
大阪市北区高垣町一・電話大阪㊼7575(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル電話京都⑥4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話 神戸④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工
株式会社 **大阪電気商会**
株式会社 **大阪暖房商会**
取締役社長 菅谷三郎
本店 大阪市西区江戸堀一丁目60番地
電話 大阪㊵大代表8231番
支店 東京・名古屋・福岡
出張所 京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
(旧斎藤久孝事務所)
斎久工業株式会社大阪支店
大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話大阪㊺代表4496～8・4993～4番
本店 東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話(281)局6505～8番
金沢営業所 金沢市高岡町三五 電話金沢②2074
福井出張所 福井市城之橋下町一〇 電話福井②2436
高松出張所 高松市二番丁九 電話高松②5195
岡山出張所 岡山市大供松ノ木三八〇ノ一 電話岡山③7047

創業 大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生
株式会社 **斎藤省三商店**
東京店 東京駅前丸ビル6階676区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店 大阪市西区土佐堀通 大同ビル714号
電話大阪㊵1568・1569・2594
札幌店 札幌市北四条西16丁目1番地 高田屋ビル二階
電話札幌②0010・0956・③4661
名古屋店 名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号
電話中局㉔1766

建築設備・金属製建具
荷役運搬機械・環境衛生施設
化学・鉱山機械
三機工業大阪支店
取締役社長 山田熊男
取締役支店長 池田英太郎
大阪市東区高麗橋3丁目1番地 電話大阪(202)代表3071
本店 東京都千代田区有楽町1丁目10番地
支店・出張所 名古屋・福岡・札幌・広島・仙台・富山・金沢・高松
工場 鶴見・六郷・中山・高槻

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工
須賀工業株式会社
大阪市西区土佐堀通1丁目14番地
電話㊵代表5171番
東京支店 東京都港区芝田村町6丁目 電話(431)代表7121
名古屋支店 名古屋市中区材木町1丁目 電話㉓代表7856
京都支店 京都市下京区烏丸通松原下ル 電話㉟9153番
神戸支店 神戸市生田区北長狭通2丁目 電話③代表5101
福岡支店 福岡市千代栄町 電話㊺代表4731

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備
株式会社 **西原衛生工業所大阪店**
大阪市大淀区中津南通4丁目44 電話大阪㊺3415番

空気調和装置・熱風乾燥装置
設計施工
株式会社 **建材社**
大阪支店
大阪市北区中ノ島二丁目(新朝日ビル5階)
電話大阪㉑6041・㉚7046(代)
本社及東京支店 東京都中央区八重洲三丁目七
営業所 名古屋市中区西万町二丁目一
連絡所 広島市基町一(朝日ビル)

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設計施工

高砂熱学工業株式会社大阪支店

大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話大阪（312）4521（代表）
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店

大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電話大阪㊵局8356（代表）
本社 東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支店 東京・名古屋 出張所 九州
工場 東京都足立区下沼田町360番地

暖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 **栄興商会**

取締役社長 中山敏正

本店 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊺3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話（351）2177～8番
神戸出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三 電話元町④3035番
仙台出張所 仙台市東四番丁四五 電話②5136番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工

株式会社 **朝日工業社**

大阪市北区中之島4—39 電㊶6671～5

東京支店 東京都港区芝浜松町2—7 電（431）7341～5
北海道支店 札幌市北四条西15丁目 電②2203・③5374・5969
仙台支店 仙台市元寺小路（五城ビル）電②8061・③9261
名古屋支店 名古屋市中区東陽町6—5 電㉔1270・1484
広島支店 広島市大手町8—155 電 ③7949
福岡支店 福岡市薬研町3 電㊼0788・㊻0296

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30 電話大阪㊵（代表）0977
0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内2—10
電話（281）2631—5
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話 7332
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3—6
電話 ⑨2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社 京都市中京区両替町通り姉小路上ル
電話㉒（代表）7975・（夜間専用）5532
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1-37（天満橋北詰）
電話㊱8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2—111 電話3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工

日本熱学工業株式会社

社長 牛田正郎
大阪市北区万才町50 北大阪ビル
電話 大阪㊱代 8675～9・4953～5
東京支店 東京都千代田区神田和泉町1
電話（866）7683・7716・2594
名古屋支店 名古屋市中区城代町7
電話 ㉓4690・4317
営業所・出張所 下関・金沢・藤沢・新潟・八幡・京都

暖房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設計施工

大嘉熱工業株式会社

取締役社長 嘉幡政四郎

大阪 大阪市北区万才町四三浪速ビル六階
電話大阪㊱直通2085・5725
（代）9851～9・9951～9
東京 東京都千代田区西神田町一ノ八
電話東京（291）8002～3
出張所 愛媛県川之江市・九州福岡市

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区天満橋筋4—71
電話㊱2808・2809・2800・2134
本社 東京都文京区元町2丁目17番地
電話（811）（代表）6294
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

冷暖房・温湿度調整装置・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪営業所 大阪市北区宗是町1（大ビル）
電 大阪代㊹8621番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の3
電 東京代（901）3191番
本社・分室 東京都港区芝佐久間町1の46（大同ビル）
電 東京代（501）3156番
営業所 名古屋・仙台 連絡所 福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町六九
電話・大阪㊽2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8・3330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄
本社 大阪市東区北浜二丁目六九
電話大阪㉑5273—5・5451—2
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)8621～4・3573
営業所 名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英

大阪市北区永楽町8番地 (日産生命館)
電話 大阪㊸代表 1234～9
支社 東京・名古屋
出張所 舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰

本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話 大阪代表㊸ 8131～7
東京支店 東京都港区金杉町二丁目十三番地
営業所 名古屋・新宮・御坊

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

森井電業株式会社

東京本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451) 9611～5番
工場 東京都港区麻布新広尾町一丁目一三四番地
電話 東京(451) 0535番
大阪支店 大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(441)9516～8番夜間専用(441)502番
名古屋出張所 名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話 笹島(54) 6865・9495番
福岡出張所 福岡市東職人町二七番地
電話(4) 7813番(5) 3516番
広島出張所 広島市三川町二六番地電話(4) 2449番

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎

本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(341)代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京(541)7464
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三

本社 大阪市北区絹笠町五〇 (堂ビル三階)
電話 (312) 1471(代)
支店 東京都中央区西八丁堀四丁目十(後関ビル三階)
電話 (551) 5590～2
営業所 名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話 (98) 236～7
〃 小松市符津町才四四ノ三
電話 (粟津) 237
〃 堺市三宝町七丁目三六九

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三

本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル6階
電話大阪局㊾9531(大代表)
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目八番地
電話大阪局㊽5201番(代表)～3
出張所 京都市右京区西院今田町六番地
電話 京都局㊽3481番

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎
本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話 (716) 4035(代)～8
支社 東京・都新宿区淀橋533
電話 東京(371) 6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明

本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話(931) 2193

鈴木式防火シヤタア

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話 ㊶ 0098・5837・8729・6810

北陸営業所　金沢市三構町7～17　電話 ③1086

電気工事設計施工

株式会社 三興社

取締役社長 坪井 大

本社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 ㊱ 2138（代）～9
支店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 ㊼ 1478（代）～9
出張所 堺・下関

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）

八千代電設工業株式会社

取締役社長 梶本秀尾

大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 ㊹ 6531（代）～5
支店 名古屋
出張所 東京・岡山・門司

青写真とマイクロフイルム

株式会社 内外写真

製図・トレース・複写写真

大阪市北区堂島北町16　TEL ㊱ 9055（代表）

エレベーター・コンベヤー・リフト
エスカレーター・ホイスト・クレーン
N・T・E型オートパーキングステーション
設計・製作

日本エレベータ工業株式会社

本社 大阪市大淀区天神橋筋6（天六阪急ビル）
電話（351）4927(代)～9・7071（ビル交換）
東京営業所 東京都台東区長者町2－7（豊富ビル）
電話（831）7 9 4 9
東淀川工場 大阪市東淀川区小松中通5－6－2
電話（381）0363・4588

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

本店 大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話大阪 ㊵ 3426～7

コペンハーゲンリブ

商月報無料送呈

井田ベニヤ

井田商事株式会社

大阪市浪速区西円手町一〇一七番地　湊町駅貨物八号門前
電話（562）0800，0808～9

PAINTING CONTRACTOR

塗装工事請負

株式会社 **林塗装店**

TEL. 大阪 ㉕ 1756—7・東京 ㉔ 1335

諸官庁御指定
吹付及び掻落ソリジットスタイン
床材（合同リグノイド）マグネシート
外壁シリコン防水
製造。販売。責任施工

合同特許建材工業株式会社

取締役社長 山下謙治

本社 大阪市東住吉区田辺東之町3－109 電大阪 ㊸ 9086
営業所 大阪市東住吉区駒川町3－54 電大阪 ㊴ 4370・7660
出張所 広島市比治山本町1180 電広島 ④ 4967
出張所 東京都新宿区花園通46 電東京(351)5298・5264

TKK

アルミニウム
ステンレス　　カーテンウオール
ブロンズ

東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話　(891) 8131～8
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚﨑ビル3階）
電話　㊿ 91 54～7
名古屋支店　名古屋市東区久屋町5の9（住商ビル）④ 2578～9
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）　㉞8825

工業用及建築用各種石灰製造販売
セメント
小野田 レミコン 特約販売店
ブロック
セントラル硝子特約販売店

樫野石灰工業株式会社
大阪支店

大阪市北区曽根崎新地三丁目十四番地
（桜橋電停曽根崎新地西入）電話大阪㊶1274～6
支店・東京・神戸・姫路・徳島・高松

特許　白蟻

松平式白蟻殺滅予防所

奈良市南城戸南方町28　電話奈良4098
（近日移転先）
奈良市登大路二番町（博物館前）電話 奈良4098
出張所　奈良市春日町尾田組内　電話6011・6012
本部　高知県宿毛市宿毛町2639



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
三幸商會
大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪 ㊶ 3145

軽量鉄骨
設計・施工

新鋼建設工業株式会社

取締役社長　吉田信武
本社　大阪市西区新町通2丁目25
電話　㊶ 7418・609・6575
工場　神戸市東灘区本庄青木古堂町53
電話　神戸　⑧ 616
広島県御調郡向島町立花3010
電話　尾道2868　向島西19

FUTABAYA DECORATORS, LTD.

建築物船舶等造作工事
家具・建具・室内装飾工事　設計施工
内外織物・敷物類一式

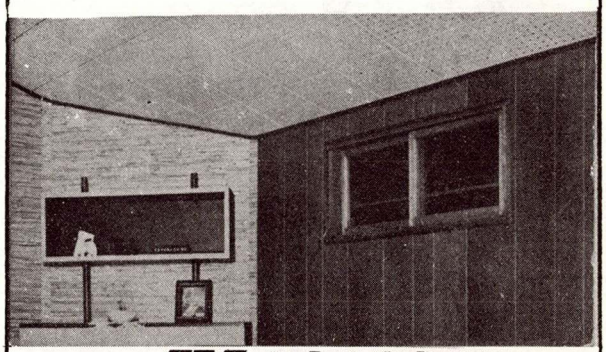
（創業大正7年）

二葉屋装備工業株式会社

取締役社長　若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
（天六電停西北2丁）
電話・大阪 ㊶ 3321～3・3630

ノトーの新建材

プリント合板
ビニオン
九徳天井板
美装パネル
リズムウッド
スーパーショイナー



ノトー製品製造発売元

浪速合板株式会社

大阪市浪速区幸町通の3の20
TEL (561) 2201 (代)



だいわ
大和洋瓦

雨風に強く緩勾配に最適
超軽量荷重（坪当37貫）
和型より安い

発売元
大仏組
大仏瓦，各種和洋瓦
美術タイル・工事請負

本店　京都市東山区今熊野池田町九　⑥ 3555
大阪営業所　大阪市東区内淡路町一丁目　㊿ 975
名古屋営業所　名古屋市瑞穂区堀田通一丁目　㊾ 2703

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店



株式会社 吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪(341)2403・3904

奉仕感謝の店
タイル 衛生陶器

㊊ 株式会社 **川岸窯業商店**
大阪市西区靱南通２丁目21　市電靱南通り電停前
電話大阪・ ㊿ 2435・2788・8597番

株式会社 **矢橋大理石商店**
大阪出張所
大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話大阪 ㉑ 4257－8番

特許植物性　型枠離剥塗料
サンヒット
メタルフォーム用特号
関西代理店　株式会社 **金剛商会**
大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道　野里電停前
製造元　東京サンヒット商会　電 大阪㉑0417・4091

雨水浸入剥落防止
耐震耐風
安定軽量



大阪市浪速区元町一丁目壱一電話(641)壱壱番
ナニワ瓦株式会社
ナニワ緩勾配瓦
３寸緩勾配最適軽量水止付(空葺)瓦

Acoustic Tex
吸音テックス



株式会社 **室谷商店**
本社　神戸市生田区長狭通四ノ一英和ビル
TEL神戸 ③ 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町五〇　堂ビル５階
TEL大阪(312) 2031～4
出張所　岡山市内田京町158
TEL　岡山 ② 5189

平安瓦・大安瓦
各種瓦葺工事請負業
合資会社 **佐村木商店**
（昭和36年11月１日より下記に移転）
大阪市東住吉区西長居町811
電話　(691) 3368 (代表)

つねなりすたじお
建築写真
大阪市東区北浜・電 ㉑ 0141

デラックス床材の決定版！



御一報次第係員参上致します

新製品

TLモザイク・フローリング
TLモザイク・ブロック

★**フローリング**はランパーコア合板式で狂いがなく簡単に張る事が出来ます寸法が一定していますから取扱が便利ですその上値段は寄木の½位の格安です
★**ブロック**はタイル式でコンクリートや板の上に接着剤で簡単に安価に豪華な寄木張の床が出来ます。
（各々樹種はなら、さくらがございます）

製造元　天塩川木材工業株式会社
関西総代理店　**太洋木材工業株式会社**

カタログ進呈　大阪市東区横堀6丁目21　電話　大阪(251)1025・5127

TIGER BRAND

■待望の世界の建材
ニュータイガーボード

燃えない建築資材！
■準不燃材料・難燃材料

■新時代の壁材
YNプラスター

■60年の歴史・最大の生産
吉野の耐火ボード

■特性
長手の方向を表面の厚紙でへり折り被覆した強靱で美麗な新しい耐火ボード

カタログ進呈

石膏ラスボードを下地にすれば和洋壁が3－7日で出来る

石膏ラスボード
タイガートーン
アートボード
秋田杉耐火ボード

吉野石膏株式会社大阪支店
大阪市西区土佐堀1の1（大同ビル）
電話（441）8912～4
本社　東京都千代田区丸ノ内2の6
営業所　東京・名古屋・福岡・仙台・札幌・広島
工場　東京・福岡・四日市
（菱化吉野石膏）秋田・高砂

何よりも安心できる　**年限仕様**

Ⓐ アスタイト防水

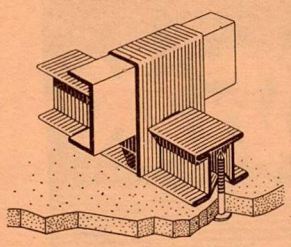
地区	組合員名	住所	電話
近畿（順不同）	(株) 久保商店	大阪市北区真砂町5	大阪 (341)0207～8・4836～7
	(株) 木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5ノ35	大阪 (441)5408・5486
	(株) 井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1ノ7	大阪 (441)8531～5
	(株) 大和商会	大阪市南区高津町4番丁73	大阪 (631)6221～4
	(株) 石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通り1ノ31	大阪 (371)3340・3505
	内外工業株式会社	大阪市阿倍野区旭町1ノ51	大阪 (631)3434～6
	旭化建工業株式会社	大阪市北区茶屋町38	大阪 (371)6555～7
	日本瀝青工業(株)大阪支店	大阪市北区富田町40	大阪 (341)1804
	石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神戸 ⑤2140・2697
	(株) 中出商会	神戸市兵庫区上沢通6ノ9	神戸 ⑤4630
	タテバヤシ商店	京都市下京区四条大宮南入学校前	京都 ⑧④4468
	田島応用化工(株)大阪出張所	大阪市西区京町堀1ノ74	大阪 (441)5951代表
東海	岡田建材株式会社	名古屋市西区西菊井町2ノ12	名古屋⑤③2057・0121
	(株) 名建商会	名古屋市中区宮出町41ノ2	名古屋②④1329・2817・2106
	高橋建材店	名古屋市中区材木町1ノ12	名古屋②③3295
北陸	北川工業株式会社	金沢市西側町8	金沢②4552～3
	北川工業(株)富山営業所	富山市奥田新町23	富山②2218 ③1014
	北川工業(株)福井営業所	福井市大和中町70	福井②4532
	(株) 小島工務店	高岡市大坪旭町2丁目32ノ1	高岡 2463
	(株)小島工務店富山営業所	富山市神通町3区1003	富山②8221
中国・四国	青盛建材株式会社	広島市鉄砲町108	中 ②2281～4
	青盛建材(株)岡山営業所	岡山市東田町3	岡山②7911・8169
	(有) 小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山②4272
	(株) 浜原豊商店	尾道市若宮町	尾道 2760
	(株) 浜原豊商店防府支店	防府市大林寺	防府 1037
	古市断熱工業株式会社	高松市宮脇町960	高松③5034
	正和商事株式会社	松山市1番町21	松山②8161～5
九州	青盛建材(株)福岡営業所	福岡市万行寺前町14	東 ③1225～6
	高稲工業株式会社	長崎市大橋町138	長崎④1726

建設省阪建22号認可　　出資金600万円

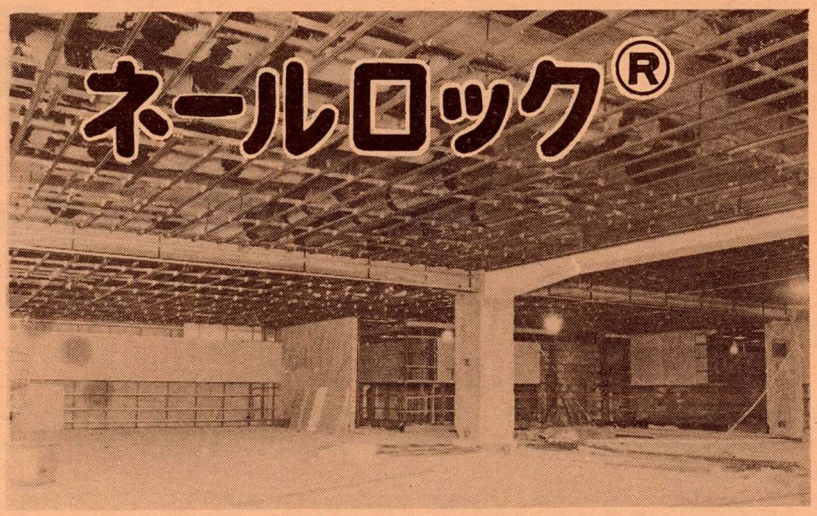
三星　**西日本アスファルト事業協同組合**

大阪市西区京町堀1－74　TEL ㊵代表 5951
東京連絡所　東京都千代田区神田岩本町13（田島応用内）　TEL(866)代表 6101
北陸・東海・近畿・中国・四国・九州

マンテンの　ＳＫ式軽量鉄骨天井下地



燃えない
狂わない
取りつけ易い

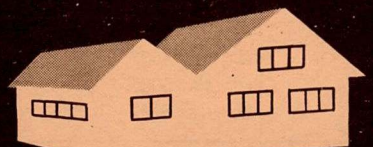


MAN TEN

発売元 住友商事株式会社
製造元 株式会社 満点製作所
大阪市南区日本橋筋３丁目２番地　電話 大阪（641）1156～8

東京出張所　東京都江東区亀戸町2丁目114（新協和ビル内）電話東京（681）8425

住友の　押出し型材使用
アルミサッシ・ドア



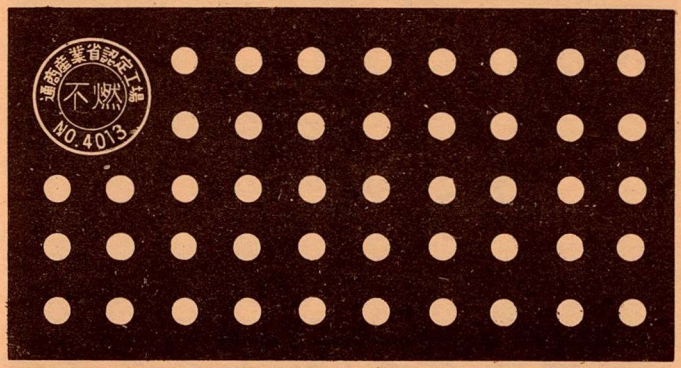
アルミサッシ使用率　米国 70%　西独 26%　日本 6.5%

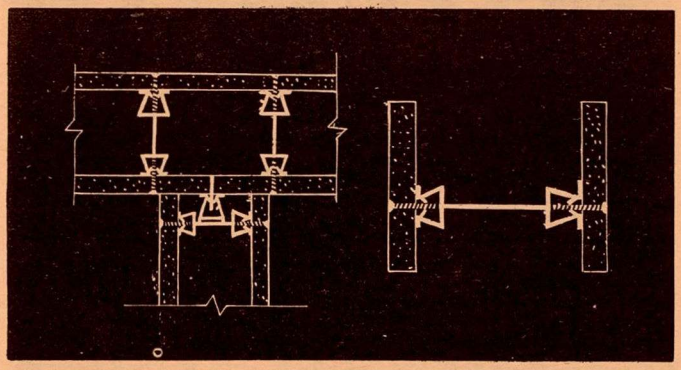
雨の多い日本には……
雨仕舞の良い気密な窓を
錆びない・軽るい・精度が高い



製造　取付
アルケン工業株式会社

大阪市西区新町通４－３９　電話（541）0865 2905





ファイアボード

（法定不燃材・軽量石綿耐火板）

完全耐火性
軽量・断熱性・吸音
変形は全くない
木材と同様の加工が出来る
釘打ち・鋸引き・孔あけ等

トムレックス

（吹付石綿・責任施工）

吸音・断熱・結露防止
耐火・耐振動・腐食防止

N.A.K.

日本アスベスト株式会社

本　　社　東京都中央区銀座西６の３　電(572)0321・0331(代)
大阪支店　大阪市南区塩町通４の２５　電船場(251)５４９１～８
名古屋支店　名古屋市中区下前津町 117　電　南(321)６５９１～５
九州支店　福岡市薬院大通り２の８１　電福岡(741)1747・2827
札幌出張所　札幌市北三条西２丁目西向　電　(2)6472 (3)520 (5)308

タムラ　最高の品質・新しい建築資材

内装材専門

天井材	パールタイル(アルミ吸音板)・吸音板
	インシュレーションボード・スパンドレル
壁材	ハードボード：高級化粧合板
	パーテイクルボード：コペンハーゲンリブ
床材	フローリング：モザイクパーケット
	アスハルトタイル：リノリューム
防火建材	プラスターボード：木毛セメント板
	フレキシブルシート：石綿板
プラスチック材	ヒッターライト：メラミン・ビニール合板
	樹脂ガラス：ヱンビリブ・ナミ板
壁下地材	リブラス：ラスボード
	シージングボード：ルーフイング
金属材	ボードサッシュ：レヂスター
	ノンスリップ：コーナービード

創業明治24年
貿易・木材・建材

田村商會 建材部

本　店　神戸市生田区京町七二（クレセントビル）　電話　神戸㊴局0881(代表)
　　市外専用神戸55
支　店　東京都中央区八重洲一丁目一西河岸橋西詰　電話　東京(271)局6181～2

サッシ・ドアの設計・施工は

伝統と信用のある

下記協会員へ

西日本規格サツシ（株）
大阪市北区神山町26（富国ビル）　㊱1 6501

朝日建材工業（株）
高松市木太町洲端2169　高松 ③3181

旭サッシ工業（株）
大阪市域東区野江西之町1ノ44　(931) 3561

尼鉄建材（株）
尼崎市西向島町270　㊵1 6301

（株）石井工業所大阪営業所
大阪市北区老松町3—23(新老松ビル)　㊱1 5965

（株）岩住鉄工所
大阪市西淀川区千舟東2ノ31　㊼1 5123

栄進鋼業（株）
大阪市城東区野江西之町2—2　(931) 8261

（株）栄進社大阪営業所
大阪市大正区南恩加島1　㊺1 7170

大阪機工（株）
大阪市大淀区豊崎西通1ノ4　㊼1 0664

大阪建材工業（株）
堺市松屋町1ノ6　(022) ③ 5241

（株）大阪鉄工所
大阪市西区本田町1ノ44　㊸1 1254

大阪理研工業（株）
豊中市大字洲到止359　㊴1 0661

加地シヤツター工業（株）
大阪市生野区中川町3ノ15　㊸1 1020

川鉄建材工業（株）
神戸市東灘区魚崎町魚崎　神戸 (85) 4343

（株）関西鋼業製作所
大阪市城東区野江中之町2ノ5　(931)・6045

（株）建鋼社
広島市中広町1002　広島 ③ 6616

三機工業（株）大阪支店
大阪市東区高麗橋3—1(東綿ビル)　(202) 3071

昭和鋼機（株）大阪支店
大阪市西淀川区佃町3—155　㊼1 6051

田中工業株式会社大阪出張所
尼ケ崎市南竹谷町2～89　電話 ㊵1 6341

（株）高橋サツシュ製作所
新居浜市中村字西松木223　新居浜 5111

大建サッシ工業（株）
大阪市東区野江東1—12　(931) 3351

谷山鋼機（株）
大阪市城東区茨田横堤町230　(931) 7191

中国理研サツシユ（株）
広島市舟入幸町612ノ1　広島 ③ 2081

東京鋼板工業（株）大阪支店
大阪市北区絹笠町18（聚嘻ビル）　㊱1 9154

（株）中本鉄工所
大阪市福島区海老江下2ノ74　㊺1 6573

浪速建材工業（株）
大阪市城東区茨田横堤町41　(931) 1171

日本建業（株）
大阪市城東区蒲生5—39　(931) 0071

日本建鉄（株）大阪営業所
大阪市北区堂島上2ノ36(毎日産業ビル)　㊱6758

日本スピンドル製造（株）
大阪市東区備後町（綿業会館）　㉓1 7958

（株）汎建製作所
大阪市此花区恩貴島北之町11　㊻1 2903

不二サツシ工業（株）大阪支店
大阪市西淀川区御幣島中3ノ4　㊼1 7651

（株）三高製作所
大阪市東淀川区西中島町7ノ69　(301) 0737

理研鋼機（株）大阪営業所
大阪市北区宗是町1（大阪ビル）　㊹1 8621

六甲工業（株）
大阪市西成区旭北通2—2　㊸1 2921

社団法人
日本サッシ協会関西支部
大阪市北区神山町26（富国信用ビル）(361)6501

広告目次 (50音順)

建築と社会 昭和37年 Vol. 43 No. 3

ア アサヒカラコン ……16
アルケン工業kk ……10
浅海電気kk …… 4
kk 朝日工業社…… 3
朝日石綿工業 …… 表4
旭化工板 ……前付
伊奈製陶kk ……中挟
井田商事kk ……15
泉石綿工業 ……14
岩元工業kk ……18
宇部スレート工業kk ……本文
kk 栄興商会…… 3
栄進鋼業kk ……17
小俣製作所 ……本文
オリエンタルメタル製造KK ……中挟
大阪建材工業kk ……20
kk 大阪城口研究所…… 2
kk 大阪電気暖房商会…… 2
大阪耐酸工業所 ……18
大島応用化工業kk …… 1
大島機工kk ……中挟
kk 奥村重兵衛商店……本文
奥山化工業kk ……19
織本建築事務所 ……16
カ 堅野石灰工業kk …… 6
kk 川岸窯業…… 7
川口ゴム工業kk ……前付
亀井kk ……17
関西暖房工業kk ……15
関西三星タイル会 …… 表4
工藤電気kk …… 4
kk 久保商店…… 1
クマガイ工業kk ……前付
栗原工業kk …… 4
黒川化学工業所 ……17
kk 建材社…… 2
江東電気kk ……4
合同特許建材工業kk …… 5
kk 金剛商会…… 7
サ 斎久工業kk …… 2
kk 斎藤省三商店…… 2
佐村木商店 …… 7
三栄建材 ……15
三機工業kk …… 2
kk 三幸商会…… 6
kk 三晃商会…… 2
kk 三興社…… 5
三宝電機kk …… 4
三和シヤッターkk ……前付
敷島金物kk ……前付
新鋼建設工業kk …… 6
kk 新興建材工業所……14
新日本電気 ……本文
須賀工業kk …… 2
鈴木シヤタア商会 …… 5
タ 田島応用化工kk …… 表2
田中工業kk …… 1
kk 田中風呂製作所……17
田辺工業kk ……本文
田村商会建材部 ……11
谷山製作所 ……本文
第一企業kk …… 3
第一工業kk …… 3
大嘉熱工業kk …… 3
大日本硝子工業kk ……18
大元工業kk ……本文
大仏組 …… 7
太洋木材工業kk …… 8
高砂熱学工業kk …… 3
kk 武智工務所……本文
淡陶 kk……挟込
中央電気工業kk …… 4
朝陽電気kk …… 4
つねなり・すたじお …… 7
寺西金庫工業所 ……20
東京鋼板工業kk …… 6
東洋キヤリア工業kk …… 3
東洋シャッター ……前付
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
東洋レーヨンkk ……前付
ナ ナニワ瓦kk …… 7
内外工業kk ……16
内外建材kk ……18
内外写真 …… 5
中本電気kk …… 4
浪速合板 …… 6
浪速建材工業kk ……19
日共冷熱機材kk ……前付
日新工業 ……中挟
日本アスファルト防水工業会関西事務所 ……前付
日本アスベストkk ……11
日本管工業kk …… 3
kk 日本金具製作所……前付
日本サッシ協会関西支部 ……12
kk 日本シヤッター製作所… 表3
日本セメント防水剤製造所…表3
日本ドアーチエツク製造KK ……中挟
日本電気硝子 ……前付
日本熱学工業kk …… 3
日本レイヨン ……前付
日東紡績kk ……前付
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト事業協同組合…… 9
kk 西原衛生工業所…… 2
ハ kk 林塗装店…… 5
kk 平川鉄工所……前付
平田タイル ……14
フタバ黒板 ……17
福屋工業kk …… 5
平和工業kk ……17
マ 満点製作所 ……10
水島商店 ……前付
水谷ペイントkk ……本文
kk 三高製作所……15
kk 室谷商店…… 7
森井電業kk …… 4
ヤ 山田工業kk …… 2
八橋大理石商店 …… 7
八幡製鉄 ……前付
kk ヤマト電気商会…… 4
八千代電設工業kk …… 5
kk 山本建材社……前付
山本窯業 ……本文
kk 油脂化工社…… 表3
kk 吉田芳雄商店…… 7
吉野石膏kk …… 8
kk 寄木商会……15
ラ 理研鋼機kk …… 3

タイル

衛生陶器

エスロンタイル

サンウェーブ
流し台・調理台

株式会社 平田タイル

大阪市西区阿波座中通1
電話 (531)1003～5 (541)8731～3

泉

石綿セメントの
最高水準を行く!!

アスベストバリヤ

Asbesto. Barriev
(硬質石綿板)

建物内外壁、間仕切、天井扉、電気室
発電所、配電室、製鋼、ガラス工場
の壁、製糖、製油製薬工場の床スカ
ート壁などに最適

泉石綿工業株式会社

大阪市北区同心町1の11
電話 ㊾3442・4078

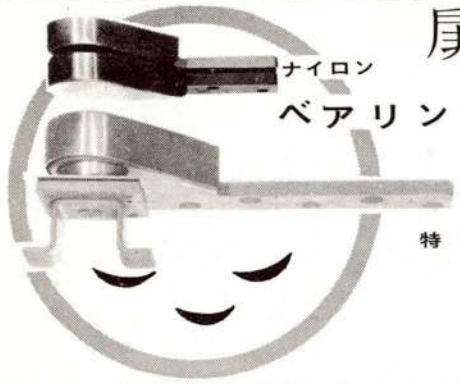
(呈カタログ)

・優美な繊維の京壁材 →
日本壁
← ・繊維の床砂材……
新日本壁
・塗りつける織物壁材 →
パビロン壁
← ・パルプの日本座敷壁材
錦上壁
・近代的な趣味の壁材 →
いすゞかべ
← ・吹付のできる京砂壁材
新いすゞかべ
・繊維の色土…… →
大和壁

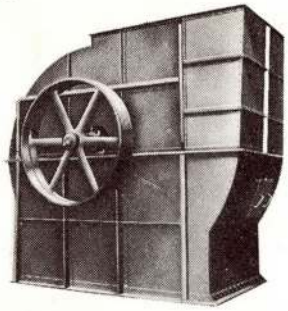
SK
近代的上塗壁材
繊維塗料製品

製造発売元 株式会社 新興建材工業所 ■ 全国有名建材店にございます
本社 大阪市西局区内四ツ橋 電話大阪(541)5756～9
営業所 明石市西王子町1丁目39 電話 明石 5852
営業所 福岡市西唐人町1番地 電話 福岡㊻7373

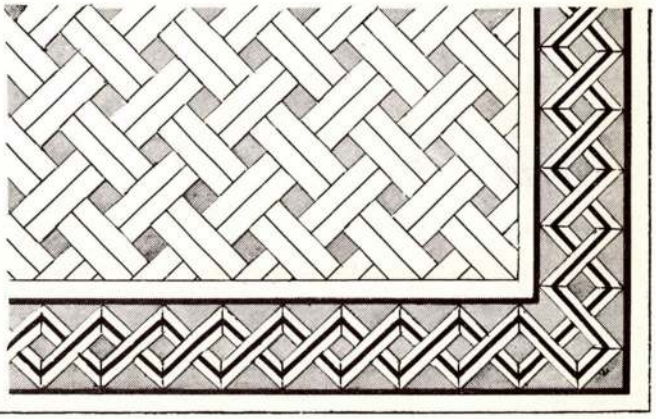
三高式 サッシュ.ドアー.シャッター
オペレーター
ドアーハンガー
TRADE MARK
M.T.K.S
株式会社 三高製作所
本社工場　大阪市東淀川区西中島町7－69
電　話　大　阪 301－0737（代表）


扉
ナイロン
ベアリングで扉の開閉が軽快
555
ピボットヒンヂ
特徴 ◘ボンデライジングに依る完全防錆加工品
◘回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品
三栄建材工業株式会社
大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大　阪（741）4655・0189（716）0188番

KANDAN
煖冷房温湿度調整
設計　施工
各種送排風機
設計　製作
関西煖房工業株式会社
本社　大阪市住吉区万代東6丁目3番地
電話大阪671－6751(代表)～4・1570・1590
堺工場　堺市浜寺石津町中2丁目200番地
電話　堺　②1213 ③1322
出張所　名古屋・福岡・徳島



寄木貼床板
フローリング施工請負
ブロック
ベニヤフラッシュドアー造作取付
グラインダー床削
株式会社 寄木商会
営業所　大阪市東区横堀6－49
電話(251)3731・3960
工　場　大阪市浪速区勘助町1



減らず・滑らず・美しい
モルタル打と同時仕上る 美装床材

カラーコンクフェロコン

超硬骨材に顔料、薬品等を配合した粉末剤でその儘水練り、金鏝仕上げの為特に技術を要せず、色ムラ、ノロ汚れ等の欠点がない耐磨耗性特に強大、表面滑らかで美しく清潔、耐水性に富み価格低廉であります。（坪当り材料代¥ 950）仕上り厚さ約2㎜程度学校、工場、病院、事務所、商店、ガレーヂ、ガソリンスタンド、住宅の玄関、流し、浴室等に最適であります。

（カタログ進呈）

製造発売元

アサヒカラコン株式会社

大阪市此花区四貫島旭町1—3　TEL（461）3594
工場　大阪市此花区四貫島旭町1

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C式

N.G.インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ．コンパウンドアスファルト販売

内外工業株式会社

脇山静夫

本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話（641）3434～6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N．G．インシュライト断熱材製造発売元

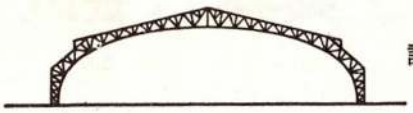
経験と技術

Y.C.コンベス（リグノイド）

ゴムタイル　スポンヂシート
プラスチックラブ　アスファルトタイル

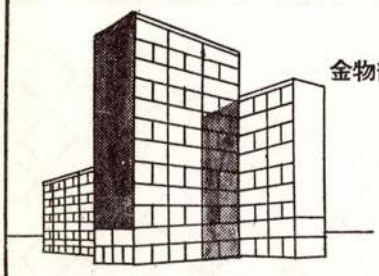
大阪コンベス建材社

大阪市北区浪花町三五　電話豊崎㈹6760・7063



綜合建築設計への道

設計部　1．各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2．ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理

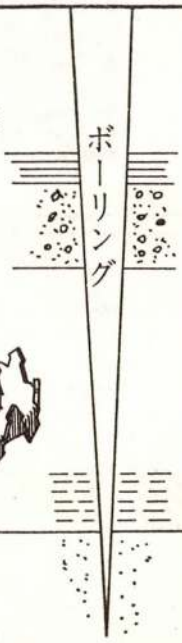


金物部　耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT.O式（織本式）ヂベル及クランプ



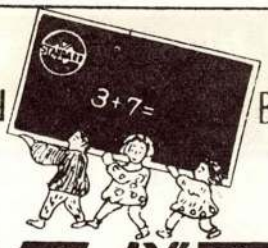


地質部　ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査



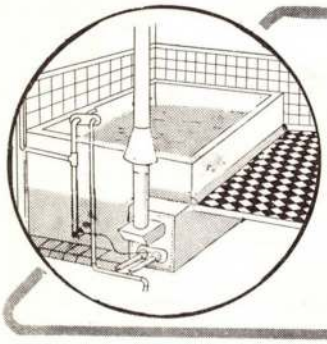
株式会社　**織本建築事務所**　所長　織本道三郎
（旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体）
東京都中央区日本橋かきがら町3の2　電話（671）6443・7007・7062

標準セメント防水材・特許ニッポン
特許ニッポン防水液・急結液一号（噴水急止）
二号（湧水防止）・姉妹品粉末ニッポン
施工指導並ニ責任模範施工
黒川化学工業所
（国立大阪工業試験所創製）セメント防水材特許権実施工場
（大阪営業所）北区芝田町六八　電話大阪㈹7916
（本社・工場）神戸市灘区住吉町反高林1876・
神戸⑧2723



Standard Board & Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地電話 大阪 (741)4692番

窓掛、緞帳、日際、壁紙 室内装飾 絨毯、舗床材一般
東洋リノリユームの 東リカーペット 発売元
亀井株式会社
大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)
電話 大阪(251)1353(代)～6


田中のガス風呂
各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂
大阪ガス会社指定
田中風呂製作所
大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　(641)5313・8128

平和式

親切丁寧ヲ御照会
軽量シャッター
平和工業株式会社
大阪工場　大阪市浪速区河原町2丁目　電(641)5750・8444
東京工場　東京都太田区糀谷町4丁目　電(741)0160・1733

鋼製建具
製作・販売
栄進鋼業株式会社
大阪市城東区野江西之町2—2　電話 (931)8261-3・9586
支店・福岡　営業所・広島・長崎

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

内外式電動ベンチレーター

電気扇付　屋上強制換気装置

内外建材株式会社

旧名（株）内外土木建材社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）ＴＥＬ（441)3983
工場　大阪市城東区天王田町１の141　ＴＥＬ（981)1149

内外式スカイライト

工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

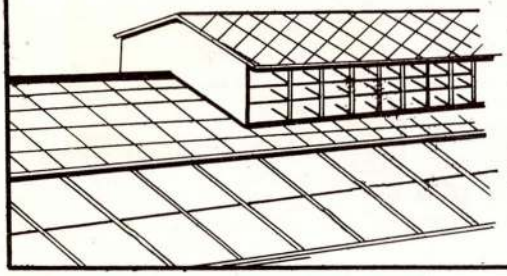
内外式

コンチニアスベンチレーター

筒型各種ベンチレーター

設計　施工

岩元式 **スカイライト並固定筒型コンチニアスベンチレーター**



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈



岩元工業株式会社

本社　大阪市東成区東今里町４の40
電話(981)０６１６～０６１８

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波）長サ 965㍉ 1818㍉

ダイニチ・アーモライト　波板・平板

（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波，寸法（長尺物有）

製造販売　**大日本硝子工業株式会社**

大阪支店　大阪市北区玉江町２ノ４（三菱倉庫ビル）電㊊1389・3389
本　社　神奈川県相模原市小山字久保224　電⑦3101～4

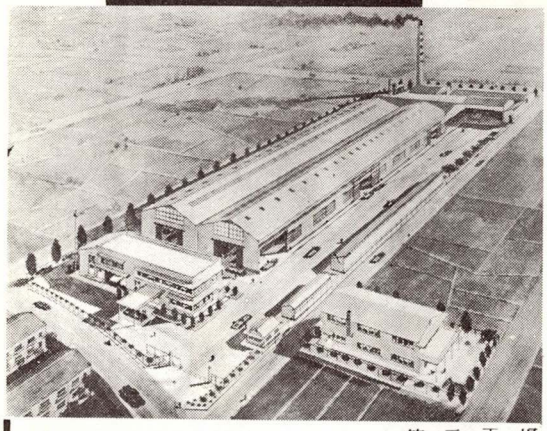
冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　**電話大阪(371)1333番**



第二工場

浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地電話大阪(931)1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地電話大阪(931)6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館 607号室 電話 東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地(サンビル内)電話 福岡 ④ 8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地電話 大分 1366番

浪建式

アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シャッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
— 製造販売 —

NANIWA
大正十四年
創業

日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE MARK

陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

カッパー防水帯

コーパータイト

特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8の3 TEL㊧2703～4・2370・4064・0264
名古屋出張所 名古屋市南区若草町33 TEL ㊨ 3660

●御申越次第カタログ進呈

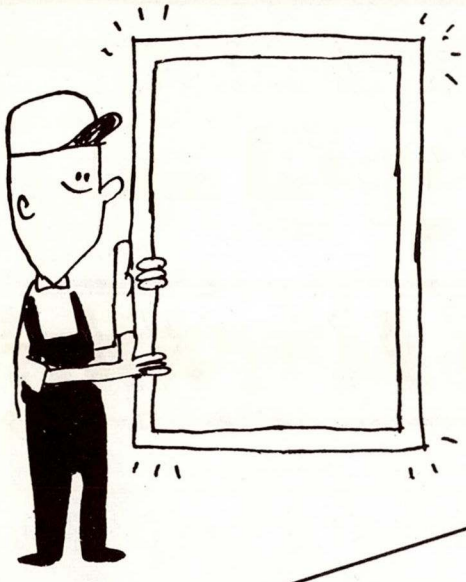


古い信用と
新しい技術

各種金庫扉
各種鋼製家具

寺西金庫工業所

大阪市北区北森町30番地　電話(231)　5888・4938・(361)6484



近代建築に….

大建の
アルミサッシ

住友軽金属工業株式会社と提携

■錆びないスチールサッシは
オートメーション焼付塗装ラインに依る
大建の2重焼付塗装で
■部材で1回、成品で1回

建

大阪建材工業株式会社

本社工場　堺市松屋町1の6　電堺(3)5241～9
大阪営業所　大阪市南区九郎右衛門町21　電(211)0836～9
名古屋営業所　名古屋市東区東新道町2の7　電名(97)7264

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号



株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚（6）2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626（直通）
出張所電話　東京（431）0874・名古屋㉜1331
ウォータイト式防水工事　仙台③0721・札幌⑤7171
代行店電話　大三工業 高松②8697 安藤工事　福岡③5765
豊永建材　広島④3567

仕様書 型録 贈呈

紫綬褒章に輝く

JIS合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

責任・施工・請負

株式会社 油脂化工社

本　社　東京都品川区二葉町1－441　電話東京(781) 1715
大阪営業所　大阪市東成区西今里町2－48　電話(971)4765・0063
取締役社長　矢中龍次郎

防火シャッター

甲種
乙種

パイプシャッター

電動式・手動式・バランス

株式会社 日本シャッター製作所

本社工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話 大阪(301)3656～9番
東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話中原局(047)5325～7番
九州工場　福岡県粕屋郡粕屋町仲原釜屋2727　電話 福岡(65) 4779番
名古屋支店　名古屋市中川区福川町1－1　電話名古屋(36)4351－2番
高松営業所　高松市丸ノ内10番地(井筒ビル内)　電話 高松(2) 4008番
岡山営業所　岡山市内山下777　電話 岡山(3) 3524番
高知営業所　高知市長浜紺屋町10番地　電話 高知(2) 7349番
神戸営業所　神戸市生田区加納町3－2　電話 神戸(39)2650番

（呈カタログ・資料）

代行販売店

中塚光商店	札幌市北13条通11丁目（雨川通） 電話 代表(41)0281番
理研興業株式会社	小樽市色内町5ノ45番地 電話(2)0872・2656・7523番
三協建材株式会社	東京都中央区八重洲3ノ1(京橋ビル2階) 電話(271)2165～6番
栄進鉄工所	沼津市大岡南千林3400 電話 沼津 955番
佐野鋼材株式会社	清水市江尻竹下町8 電話(2) 3628・4615番
石本金属株式会社	静岡市古町五番町624 電話(23)3181～5番
福田商店	富山市末広北町8番地 電話代表(8)5411市外9
永見金属株式会社	松江市朝日町駅南口通 電話3224・5452番
三宗交易株式会社	福岡市千鳥口町23番地 電話(3)0144(2)4647番
〃 小倉出張所	小倉市旅籠町72ノ1 電話(5) 3673番
〃 長崎出張所	長崎市下西町1ノ9 電話(2) 0890番
大石産業株式会社	八幡市通町202口 電話(61)195～6番
中村金物株式会社	鹿児島市武町570番地 電話代表6650～3番
〃 鶴本支店	熊本市紺屋町1ノ30 電話(2)1231・4684番
田中鉄工株式会社	丸亀市城西町142 電話329・1221番
小川建材店	千葉市少見ヶ丘24番地 電話(2) 0897番
橋本工作所	福島県郡山市北田町16 電話 郡山 2830番

昭和二十四年三月十九日　第三種郵便物認可
昭和三十七年三月二十日印刷　昭和三十七年三月廿五日発行　（毎月廿五日発行）

総てのビルに住宅に法定不燃建材を

通産省認可 不燃 NO. 3012

朝日フレキシブルボード
姉妹品　朝日カラーボード

朝日スレート
大浪7.5山・小浪

吹付石綿 朝日プロベスト

ASK
朝日石綿工業株式会社
大阪営業所　大阪市北区神山町四六　電話大阪(341) 7236 2095 代表～9 夜間専用
本　社　東京銀座七
営業所　東京、横浜、名古屋、岡山、新居浜、門司、札幌
工　場　東京、横浜、山梨、名古屋、大阪、岡山、門司、宮城

三星の床材
ソフトンタイル

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話(441)5408・5486

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話(341)0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪営業所
大阪市西区南堀江大通1の19　電話(541)6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20（道頓堀電停前）
電話　(211)0571～4
京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル　電話㉓3299

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話(631)0137　(641)3286・7335

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話⑤2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル　電話㉞4468

岡田建材株式会社
名古屋市西区西菊井町2ノ12
電話㊸1021・2057・7464

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話㉔1329・2106・2817

日東物産株式会社
本　社・名古屋中区東瓦町39　電話㉔6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27　電話③2261・2360

青盛建材株式会社
本　社・広島市鉄砲町108　電話②2281～4
岡　山・岡山市東田町3　電話②7911・8169
福　岡・福岡市万行寺前町14　電話②1255～6

関西三星タイル会員

売価　一部　金百五十円（送料共）

御入会の御申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人日本建築協会　大阪市東区北浜3—37　電話大阪(231)9648・9649・9640
振替口座大阪39975番